

ユーザーズ ガイド

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

DocuScan C4260/C3210

Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の
各国での登録商標または商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server、Windows Vista は、
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における
登録商標または商標です。
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を受けています。
Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の米国およびその他の国における商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

この取扱説明書のなかで △ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

本機には偽造防止機能が搭載されているため、まれに原稿によっては適切なコピーが得られないことが
あります。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかね
ますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら当社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがありま
す。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるた
め使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗
品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、THE DOCUMENT COMPANY、“デジタル X”のマーク、Ethernet（イーサネット）、
および CentreWare は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

はじめに

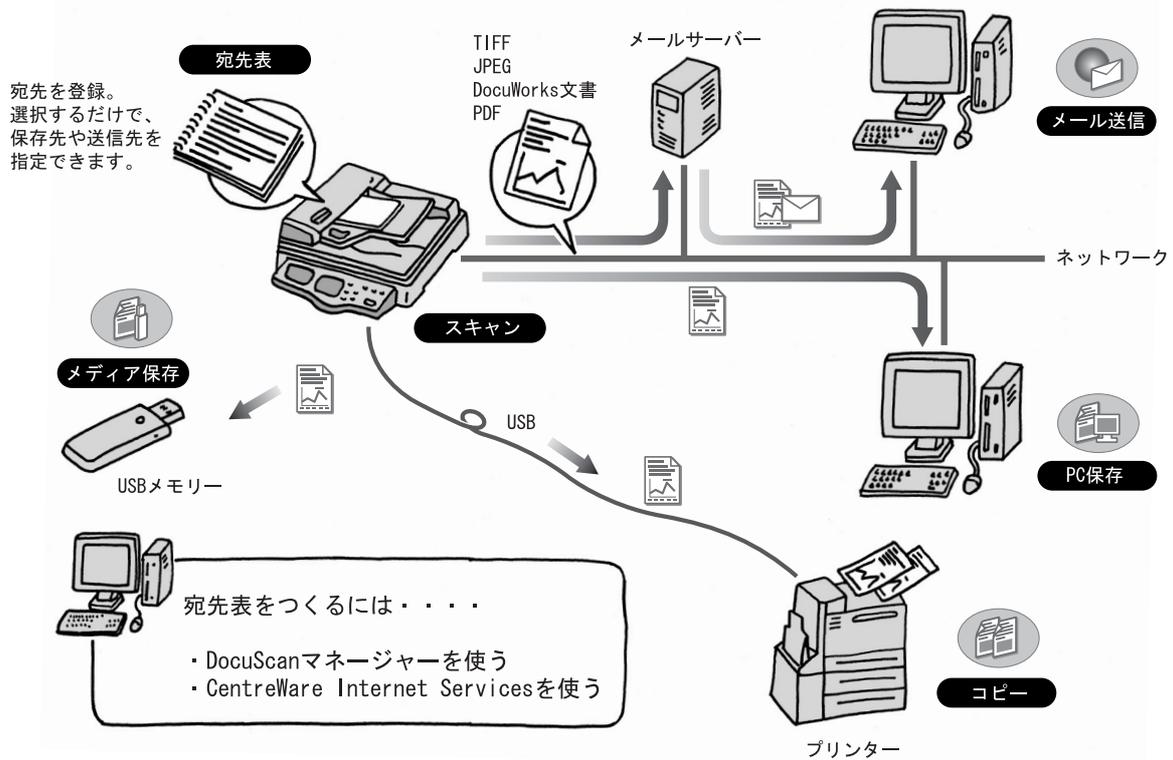
このたびは DocuScan C4260/C3210 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書には、本機でスキャンするための準備、操作方法、使用上の注意事項などを記載しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書は、読んだあとも必ず保管してください。

本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックス株式会社

本機はこんなことができます



スキャンした画像の編集や宛先表を管理する

DocuScanマネージャー

コンピューター上で、画像の表示や編集ができます。また、宛先表への宛先の登録・変更・削除ができます。

参照：「8 DocuScanマネージャーを使用する」
DocuScanマネージャーのオンラインヘルプ



コンピューター上でスキャナーの状態を確認/管理する

CentreWare Internet Services

Webブラウザを使用して、スキャナーや、スキャン指示をしたジョブの履歴を確認できます。また、宛先表への宛先の登録・変更・削除ができます。

参照：「1.4 CentreWare Internet Servicesでスキャナーを設定する」



こんな機能があります。

※【S】はスキャン、【C】はコピーの機能です。無印はスキャン、コピー両方で使えます。

■色や画質も

※カラーコピーができるのは、カラープリンター接続時のみです。

●画質を調整する

画質のシャープさやコントラストなどの調整ができます。

- ・シャープネス
- ・コントラスト【S】
- ・彩度【C】
- ・地色除去
- ・おまかせ画質調整【C】
- ・カラーバランス【C】

●色を選択する

カラー原稿を白黒で読み取るなど、フルカラーと白黒を（スキャンではグレースケールも）選択できます。

- ・カラーモード

●濃さを調整する

元原稿が薄いとき、濃いとき、濃度を調整して読み取れます。

- ・読み取り濃度【S】
- ・コピー濃度【C】

■サイズや倍率も

●読み取り倍率を指定する

倍率を指定して、スキャン/コピーできます。

- ・読み取り倍率【S】
- ・倍率選択【C】



●読み取りサイズを指定する

余白を付けたり、余分な部分を含めずに読み取れます。

- ・読み取りサイズ【S】
- ・原稿サイズ入力【C】

■解像度や圧縮率の指定もできます-スキャン

●出力ファイルのサイズを小さくする

画像の解像度や圧縮率を指定して、スキャンできます。メール送信のときに便利です。

- ・読み取り解像度【S】
- ・画像圧縮率【S】

●細かい文字もはっきり読めるようにする

高解像度を指定して、細かい文字などもはっきり読みとれるようにスキャンできます。

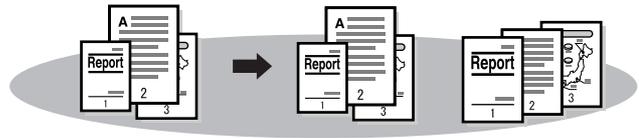
- ・読み取り解像度【S】

■両面やいろいろな原稿の画質、サイズの混在した原稿に対応

●サイズの混在した原稿を読み取る

異なるサイズの原稿を、元原稿のサイズのまま、または同じサイズにスキャン/コピーできます。

- ・ミックスサイズ原稿送り（DocuScan C4260のみ）



●原稿の画質にあわせて読み取る

文字、写真など、原稿の画質に適したスキャン/コピーができます。

- ・原稿の画質

●両面原稿を読み取る

両面原稿を片面や両面にコピーできます。

- ・両面原稿送り【S】
- ・両面/片面選択【C】

（接続プリンターが両面印刷機能付きの場合のみ）

■2ページを1枚に、ソートもできます-コピー

●本のとじしろの影を消してコピーする

本のとじしろなどの影を消してコピーできます。上下/左右/中央の影を消せます。

- ・わく消し

●2ページを1枚にコピーする

1枚の用紙に2ページずつ割り付けてコピーできます。

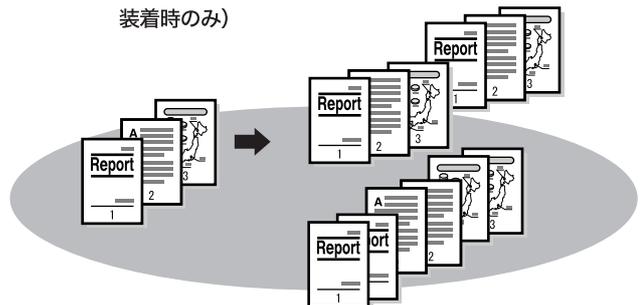
- ・まとめて1枚-2アップ【C】

●複数部数コピーしたときにソートする

複数部数コピーするときに、ソートして出力できます。

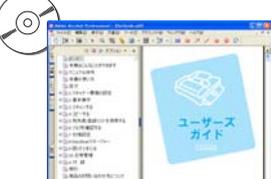
- ・仕分け【C】

（接続プリンターが仕分け機能付き、増設ハードディスク装着時のみ）



マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアルと記載内容

最初に読むマニュアル	<p>スキャナーを設置したい</p> <p>スキャナーを使ってみたい</p>	<p>セットアップ & クイックリファレンスガイド (製本 / PDF)</p> 	<p>本機の設置手順、原稿のセット方法、スキャン / コピーの基本操作、困ったときの対処方法などを説明しています。</p> <p>→このマニュアルのPDFは、「Software Pack」CD-ROM に収録されています。</p>
	<p>同梱 CD-ROM について知りたい</p> <p>DocuScan マネージャーをインストールしたい</p>	<p>ソフトウェアバック操作ガイド (DocuWorks 自己解凍文書形式)</p> 	<p>「Software Pack」CD-ROM の内容や、「Software Pack」CD-ROM から DocuScan マネージャーをインストールする方法などを説明しています。</p> <p>→このマニュアルは、「Software Pack」CD-ROM に収録されています。</p>
スキャナーを使用中に読むマニュアル	<p>スキャナーのすべての機能を知りたい</p> <p>操作パネルの文字の入力方法を知りたい</p> <p>清掃の方法を知りたい</p>	<p>ユーザーズガイド (PDF) (本書)</p> 	<p>スキャン / コピー機能の操作方法、困ったときの対処方法、日常の管理方法、各種設定項目、および使用上の注意事項などを説明しています。</p> <p>→このマニュアルは、「Software Pack」CD-ROM に収録されています。</p>
	<p>宛先表に宛先を登録したい</p> <p>スキャンデータの画像を編集したい</p>	<p>DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ</p> 	<p>DocuScan マネージャーの項目や各機能の設定方法を説明しています。</p> <p>→このマニュアルは、DocuScan マネージャーの [ヘルプ] メニューから表示します。</p>
	<p>Web ブラウザーでスキャナーを管理したい</p>	<p>CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ</p> 	<p>CentreWare Internet Services の項目や各機能の設定方法を説明しています。</p> <p>→このマニュアルは、CentreWare Internet Services の [ヘルプ] ボタンから表示します。</p>

オプション製品に同梱されているマニュアル

<p>スキャナースタンド設置手順書</p>	<p>スキャナースタンドの設置手順を説明しています。スキャナースタンドを使用すると、スキャナーとプリンターの設置スペースを効率化できます。</p>
-----------------------	---------------------------------------------------------------------------

補足

- PDF を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、「Software Pack」CD-ROM を使って、まず Adobe® Reader® をインストールしてください。

目次

はじめに	3
本機はこんなことができます	4
マニュアル体系	6
本機に同梱されているマニュアルと記載内容	6
オプション製品に同梱されているマニュアル	6
本書の使い方	7
目次	8
1 スキャナー環境の設定	13
1.1 使用できる環境について	13
1.2 ケーブルを接続する	14
1.3 ネットワーク環境を設定する	14
1.4 CentreWare Internet Services でスキャナーを設定する	15
CentreWare Internet Services の概要	15
CentreWare Internet Services を使用するための設定	16
CentreWare Internet Services の使用方法	17
CentreWare Internet Services で設定できる項目	18
オンラインヘルプの使い方	19
1.5 DocuScan マネージャーをインストールする	19
アンインストールについて	19
1.6 PC 保存の環境を設定する	20
保存先の設定	20
Mac の場合の設定	20
SMB の場合の共有フォルダーの作成	21
Mac OS X に保存するための設定	30
CentreWare Internet Services で設定すること	32
1.7 メール送信の環境を設定する	34
2 基本操作	35
2.1 各部の名称と働き	35
前面	35
右側面部および背面	36
自動原稿送り装置	37
操作パネル	38
2.2 文字の入力方法	40
入力モード	40
数字ボタンの使い方	41
文字を確定する	43
カーソルを移動する	43
文字を削除する	43
文字を修正する	43
文字入力の流れ	43
2.3 電源を入れる / 切る	46
電源を入れる	46
電源を切る	46
2.4 節電モードを設定 / 解除する	47
2.5 原稿をセットする	48
使用できる原稿	48
自動検知できる原稿サイズ	48
原稿セットの注意	49

	原稿セットのヒント	50
	原稿をセットする	52
3	スキャンする	55
3.1	スキャン操作の流れ	55
	Step1 準備する	55
	Step2 原稿やメディアをセットする	56
	Step3 スキャンの種類を選択する	56
	Step4 スキャン条件を設定する	57
	Step5 スキャンを開始する	58
	Step6 ジョブの状態を確認する	61
	Step7 スキャンデータを利用する	61
3.2	スキャンを中止する	62
3.3	スキャン設定項目一覧	63
3.4	PC に保存する	66
	操作のポイント	67
	PC 保存の設定をする	68
3.5	メールで送信する	79
	操作のポイント	79
	メールの設定をする	80
3.6	メディアに保存する	88
	メディア保存の設定をする	89
3.7	基本スキャン項目を設定する	95
	カラーモード (スキャンする色を選択する)	96
	出力ファイル形式 (スキャンデータのファイル形式を選択する)	97
	両面原稿送り (原稿の両面をスキャンする)	98
	原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)	100
	読み込み濃度 (原稿の読み込み濃度を調整する)	102
3.8	その他のスキャン項目を設定する	103
	画像圧縮率 (画像の圧縮率を指定してスキャンする)	104
	読み取りサイズ (原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする)	104
	原稿セット向き指定 (セットした原稿の向きを指定する)	106
	読み取り倍率 (原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする)	107
	読み取り解像度 (読み取る解像度を指定してスキャンする)	108
	シャープネス (画像のシャープさを調整する)	109
	コントラスト (コントラストを調整する)	110
	わく消し (原稿の枠やとじしろの影を消してスキャンする)	111
	地色除去 (原稿の下地を除去する)	112
	ミックスサイズ原稿送り (サイズが異なる原稿を一度に読み取る) (DocuScan C4260 のみ)	113
4	コピーする	115
4.1	コピー操作の流れ	115
	Step1 準備する	115
	Step2 原稿をセットする	115
	Step3 コピー操作を選択する	116
	Step4 コピー条件を設定する	116
	Step5 部数を入力する	117
	Step6 コピーを開始する	117
	Step7 ジョブの状態を確認する	119
4.2	コピーを中止する	119
4.3	コピー設定項目一覧	121
4.4	基本コピー項目を設定する	122
	用紙選択 (コピーする用紙を選択する)	123
	倍率選択 (拡大縮小してコピーする)	125

	カラーモード（コピーする色を選択する）	127
	両面 / 片面選択（両面 / 片面にコピーする）	129
	コピー濃度（コピー濃度を調整する）	132
4.5	画質調整のコピー項目を設定する	133
	おまかせ画質調整（画質イメージを選択する）	133
	原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）	135
	地色除去（原稿の下地を除去する）	136
	カラーバランス（カラーバランスを調整する）	137
	シャープネス（画像のシャープさを調整する）	139
4.6	彩度（画質の彩度を調整する）	140
4.6	その他のコピー項目を設定する	141
	仕分け	142
	まとめて1枚-2アップ（2ページの原稿を1枚にまとめてコピーする）	143
	原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）	144
	ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る） （DocuScan C4260のみ）	145
	わく消し（原稿の枠やとじしろの影を消してコピーする）	146
	原稿サイズ入力（原稿の読み取りサイズを指定してコピーする）	148
5	宛先表 / 登録リストを使用する	150
5.1	宛先表の概要	150
	宛先表とは	150
	宛先の種別	151
	宛先を登録するには	151
	スキヤンの定型設定	151
	宛先表の登録内容	152
	宛先表を使うには	159
5.2	登録リストの概要	159
	登録リストとは	159
	件名、コメントを登録するには	159
	登録リストの登録内容	160
	登録リストを使うには	160
5.3	スキヤナーでの宛先表の使い方	161
	宛先表を表示する	161
	宛先を選択する	164
	宛先を検索する	165
	宛先の詳細を表示する	166
6	ジョブを確認する	168
6.1	操作パネルで確認する	168
6.2	CentreWare Internet Servicesを使う	169
7	仕様設定	170
7.1	仕様設定の流れ	170
	Step1 [仕様設定] 画面を表示する	170
	Step2 機械管理者暗証番号を入力する	170
	Step3 項目を選択して設定する	171
	Step4 仕様設定を終了する	171
7.2	仕様設定項目一覧	172
7.3	画面コントラスト調整	174
7.4	共通設定	174
	システム時計 / タイマー設定	175
	音の設定	178
	初期画面の設定	181

	原稿サイズボタン	183
	機能の使用許可	185
	機能認証	186
	その他の設定	189
	保守 / 診断	191
7.5	ネットワーク設定	196
	ポート設定	196
	プロトコル設定	197
	PKI (公開鍵基盤) 設定	199
7.6	コピー設定	201
	基本コピー画面	201
	コピー機能設定初期値	203
	地色除去レベル	209
	プリンター認証の設定	212
7.7	スキャナー設定	213
	スキャナー機能設定初期値	213
	ファイル名の詳細設定	220
	機能の制限	222
	TIFF の形式 / 色空間	223
	PC 保存プロトコル	224
	宛先表初期画面	226
7.8	機械管理者情報の設定	227
	暗証番号の設定	227
8	DocuScan マネージャーを使用する	228
8.1	DocuScan マネージャーとは	228
	DocuScan マネージャーでできること	228
	DocuScan マネージャーとスキャン操作の流れ	230
8.2	宛先を登録する	231
	スキャナーを選択する	232
	宛先表フォルダーを登録する	233
	PC 保存で使用する宛先「サーバー」を登録する	234
	メール送信で使用する宛先「メール (個人)」を登録する	246
	メール送信で使用する宛先「メール (グループ)」を登録する	248
	メディア保存で使用する宛先「メディア」を登録する	252
8.3	宛先の登録内容を変更する	255
8.4	スキャンデータを取り込む	257
	スキャナーで原稿をスキャンする	257
	スキャンデータを取り込む	258
8.5	画像をまとめて編集する	259
	画像編集アイコンを用意する	259
	画像編集を実行する	260
8.6	画像を 1 つずつ編集する	262
	画像を表示する	262
	画像を編集する	263
8.7	画像を印刷する	265
8.8	画像を保存する	265
9	困ったときには	266
9.1	どのような症状で困っていますか	266
	トラブル対処の流れ	266
9.2	原稿が詰まったときは	267
	DocuScan C4260 の場合	267
	DocuScan C3210 の場合	269
9.3	スキャナー本体のトラブル	271

9.4	画質のトラブル	276
9.5	スキャナー機能使用時のトラブル	278
	スキャン機能全般に関するトラブル	278
	PC 保存に関するトラブル	279
	メール送信に関するトラブル	281
	DocuScan マネージャー使用時のトラブル	282
	CentreWare Internet Services 使用時のトラブル	283
9.6	エラーコード	285
	その他のエラーについて	299
9.7	こんなときには Q & A	300
10	日常管理	305
10.1	Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する	305
10.2	スキャナーの清掃	306
	本体外部の清掃	306
	本体内部の清掃	307
10.3	スキャナーを移動するときは	312
A	付 録	316
A.1	DocuScan C4260/C3210 の主な仕様	316
	スキャナーの主な仕様	316
	自動両面原稿送り装置の主な仕様	318
	スキャン機能の主な仕様	319
	コピー機能の主な仕様	320
	DocuScan マネージャーの動作環境	320
	倍率一覧表	321
A.2	オプション品の紹介	322
	オプション品	322
A.3	補修用性能部品について	322
A.4	製品情報の入手方法	322
	本機のファームウェアのバージョンアップについて	322
A.5	注意 / 制限事項	322
	各機能共通の注意 / 制限	322
	スキャン機能使用上の注意 / 制限	323
	コピー機能使用上の注意 / 制限	324
A.6	用語集	325
	索引	329

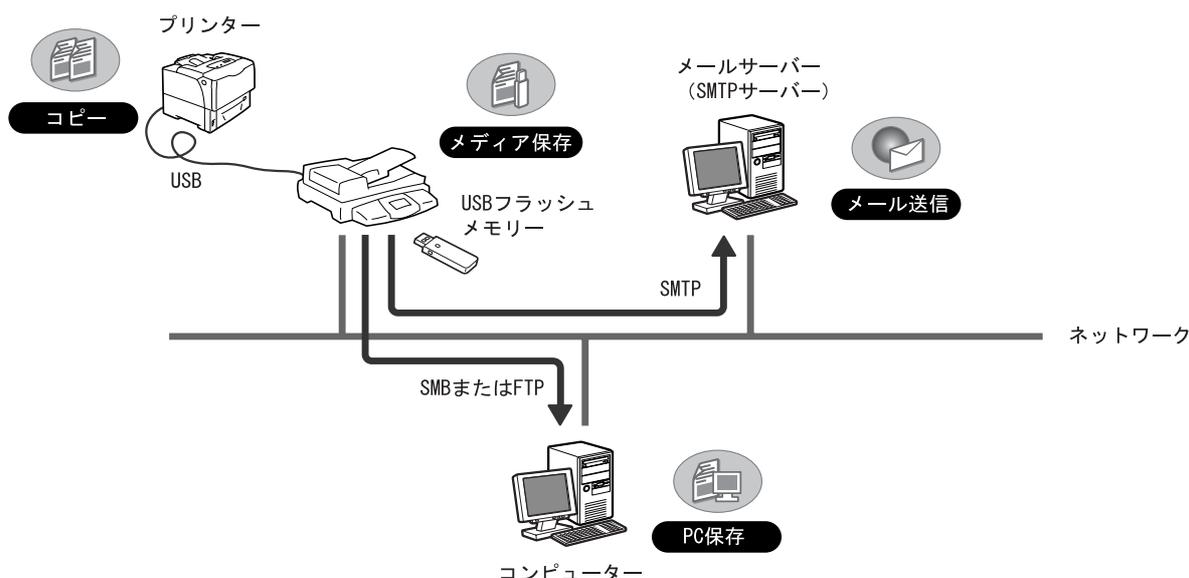
商品のお問い合わせ先について

1 スキャナー環境の設定

スキャナーでスキャンやコピーをするために必要な、環境の設定について説明します。

1.1 使用できる環境について

本機は、ネットワークを経由するとネットワークスキャナーとして使用できます。また、直接プリンターと USB 接続するとコピー機能を使用できます。



■ ネットワークスキャナーとして使用する場合

ネットワークスキャナーとして使用する場合は、次の環境で使用できます。

- ・ SMB : Windows® ネットワークを使用して、スキャンデータを保存する場合 (PC 保存) に使用します。
- ・ FTP : FTP サービスを利用して、スキャンデータを保存する場合 (PC 保存) に使用します。
- ・ SMTP : スキャンデータをメールに添付して送信する場合 (メール送信) に使用します。

■ プリンターと接続してコピー機能を使用する場合

プリンターと接続してコピー機能を使用する場合は、次の接続形態があります。

- ・ USB 接続 : 本機とプリンターを USB ケーブルで接続して使用します。

1.2 ケーブルを接続する

スキャンする場合

スキャンデータをコンピューターに保存したり (PC 保存)、メールに添付して送信したり (メール送信) する場合は、ネットワークケーブルで、スキャナーをネットワークに接続します。

ネットワークケーブルを用意してください。

接続方法については、『セットアップ & クイックリファレンスガイド』の「1 スキャナーの設置」の「ネットワークに接続する」を参照してください。

コピーする場合

プリンターと USB 接続してスキャナーのコピー機能を使用する場合は、スキャナーとプリンターを USB ケーブルで接続します。

スキャナーに接続できるプリンターは、1 台だけです。

接続方法については、『セットアップ & クイックリファレンスガイド』の「1 スキャナーの設置」の「プリンターと接続する」を参照してください。

1.3 ネットワーク環境を設定する

工場出荷時は、[IP アドレスの取得方法] が [DHCP/Autonet] に設定されています。そのため、DHCP サーバーがあるネットワーク環境では、スキャナーをネットワークにケーブル接続するだけで、自動的にスキャナーに IP アドレスが設定されます。

DHCP サーバーがない、または使用しない場合は、『セットアップ & クイックリファレンスガイド』の「1 スキャナーの設置」の「ネットワークに接続する」を参照して、操作パネルから IP アドレスを設定してください。

1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する

スキャナーをネットワークスキャナーとして、PC 保存やメール送信に使用するときには、CentreWare Internet Services で設定が必要です。

PC 保存を使用するときには、お使いの環境などによって設定が必要です。

メール送信を使用するときには、必ず設定を行います。

参照

- ・ PC 保存の場合の設定：「1.6 PC 保存の環境を設定する」の「CentreWare Internet Services で設定すること」(P. 32)
- ・ メール送信の場合の設定：「1.7 メール送信の環境を設定する」(P. 34)

CentreWare Internet Services の概要

CentreWare Internet Services は、TCP/IP 環境が使用できる場合に、Web ブラウザーを使用して、スキャナーの状態やジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。

本サービスの [プロパティ] タブで、スキャンのためのネットワークに関する設定ができます。



CentreWare Internet Services を使用するための設定

CentreWare Internet Services を使用できる環境、および使用するための設定について説明します。

対象ブラウザ

以下のブラウザで動作することを確認しています。

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista の場合

- ・ Microsoft® Internet Explorer 6、7
- ・ Mozilla Firefox 2

Mac OS X 10.4 の場合

- ・ Mozilla Firefox 2
- ・ Safari 2

CentreWare Internet Services を使用するときの Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Services を使用するとき、プロキシサーバーを経由した場合の動作については保証していません。

補足

- ・ プロキシサーバーを経由して本機のアドレスを指定すると、次のような状態になることがあります。
 - 表示言語が不正に切り替わる
 - 入力した設定内容が反映されない
 - 応答が遅くなる
 - 画面が表示されない
- ・ お使いのブラウザ側で、次の設定を行ってください。
 - ・ JavaScript を有効にする
 - ・ SSL 通信を可能にする操作方法は、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ、またはお使いの Web ブラウザーのオンラインヘルプを参照してください。

また、Web ブラウザーで表示言語の設定を変更すると、CentreWare Internet Services の操作画面を各国語表示に切り替えることができます。

参照

- ・ 設定方法：お使いの Web ブラウザーのオンラインヘルプ

本機側の設定

CentreWare Internet Services を使用する場合は、本機の IP アドレスが設定されていることと、[CW インターネットサービス] が起動されている必要があります。

[CW インターネットサービス] を停止している場合は、操作パネルで [起動する] に設定してください。

初期値は、[起動する] です。

参照

- ・ 設定方法：「7.5 ネットワーク設定」の「ポート設定」(P. 196)

CentreWare Internet Services の使用方法

本サービスを使用する手順は、次のとおりです。

1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、または FQDN を入力し、〈Enter〉キーを押します。

・ IP アドレスの入力例



・ FQDN の入力例



補足

- ・ ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（初期値のポート番号）を指定してください。ポート番号は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [HTTP] で変更できます。ポート番号を変更した場合は Web ブラウザーから接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。



CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。



ネットワーク設定を変更するには

[プロパティ] タブで、ネットワークスキャナーとして使用するための設定を行うことができます。

CentreWare Internet Services で設定できる項目

CentreWare Internet Services の各タブで設定または表示できる主な機能は、次のとおりです。

タブ	主な機能
状態	<ul style="list-style-type: none"> 一般 スキャナーの情報や状態が表示されます。
ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> ジョブ履歴 コピーを含むスキャンしたジョブのうち、処理が終了した最新の 20 件分のジョブに関する詳細な情報が表示されます。
登録 / 変更	<ul style="list-style-type: none"> フォルダーの一覧 宛先表フォルダーの一覧が表示されます。宛先表フォルダーを登録、変更、削除します。 宛先の一覧 宛先の一覧が表示されます。宛先を登録、変更、削除します。また、宛先に対して、スキャンの定型設定を登録、変更、削除します。 件名の一覧 件名の一覧が表示されます。件名を登録、変更、削除します。 コメントの一覧 コメントの一覧が表示されます。コメントを登録、変更、削除します。
プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> 本体説明 製品名が表示されます。また、スキャナーの名前、設置場所、連絡先、および機械管理者メールアドレスを設定します。 本体構成 スキャン機能の主な仕様が表示されます。 カウンター表示 現在までのコピーを含むスキャン量が表示されます。 初期化 [プロパティ] で設定した、NIC (ネットワークインターフェイスカード) の NV メモリーを初期化します。 セキュリティー SSL/TLS サーバー通信の設定と、自己証明書の生成、確認、削除ができます。また、各タブの操作を制限できます。^{*1} Internet Services 設定 CentreWare Internet Services の機械管理者 ID や機械管理者パスワードなど、CentreWare Internet Services について設定します。 ポート起動 SNMP、SNTP クライアントを起動するかどうかを設定します。 ポート設定 Ethernet (イーサネット) について設定します。 プロトコル設定 各プロトコルの詳細を設定します。
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> エラー履歴 最新の 20 件分のエラーに関する情報が表示されます。
サポート	<ul style="list-style-type: none"> サポート情報が表示されます。当社ホームページへのリンクがあります。

*1 登録データ (宛先、件名、コメント) を登録、変更、削除できる権限を [管理者のみ] に制限できます。登録データの編集制限は、[プロパティ] > [セキュリティー] > [タブ操作の表示制限] > [登録 / 変更]、または操作パネルの [仕様設定] で設定します。登録データの編集制限については、「登録データの編集」(P. 223) を参照してください。

オンラインヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、[ヘルプ] ボタンを押して、オンラインヘルプを参照してください。

補足

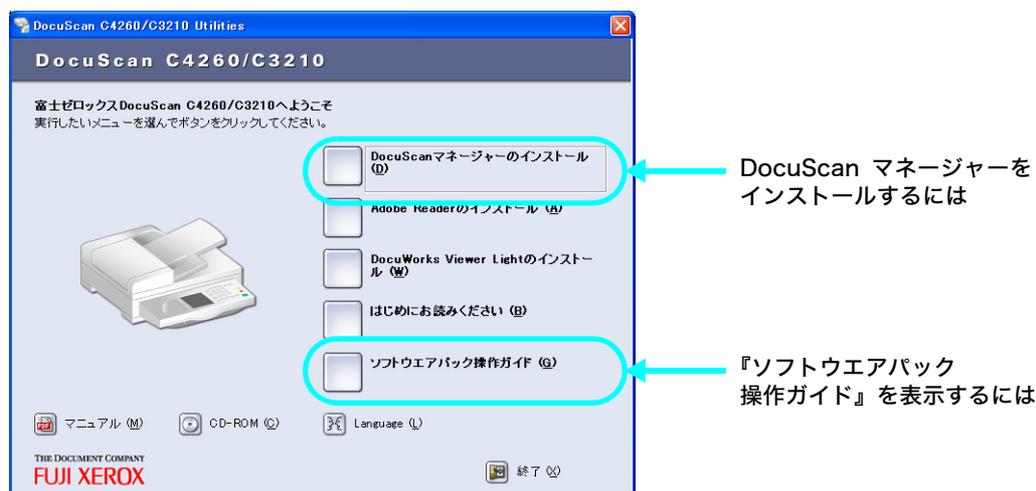
- ・ [ヘルプ] ボタンをクリックすると、当社ホームページ上のオンラインヘルプが表示されます。インターネットに接続できる環境が必要です。

1.5 DocuScan マネージャーをインストールする

DocuScan マネージャーは、PC 保存、メール送信、メディア保存で使用する宛先を、スキャナーの宛先表に登録するソフトウェアです。また、コンピューターに取り込んだスキャンデータに対して、傾きの補正やノイズ除去などの画像編集ができます。

DocuScan マネージャーは、本機に同梱されている「Software Pack」CD-ROM からインストールします。

CD-ROM 内の『ソフトウェアパック操作ガイド』で、手順を確認してから、実行してください。



アンインストールについて

DocuScan マネージャーのアンインストールは、Windows のコントロールパネルから行います。詳しくは、「Software Pack」CD-ROM 内の『ソフトウェアパック操作ガイド』を参照してください。

1.6 PC 保存の環境を設定する

PC 保存機能を使うには、次の設定をします。

保存先の設定

■ SMB の場合

保存先コンピューターに、スキャンデータの保存場所になる共有フォルダーを作成します。

参照

- ・ SMB の場合の操作方法：「SMB の場合の共有フォルダーの作成」(P. 21)

■ FTP の場合

保存先コンピューターに、スキャンデータの保存場所になるフォルダーを作成します。

参照

- ・ FTP の場合の操作方法は、各 OS のオンラインヘルプを参照してください。

■ CentreWare Internet Services の設定が必要な場合

次の場合、CentreWare Internet Services でネットワーク環境を設定します。

- ・ 保存先コンピューターの名前に FQDN 形式のホスト名や DNS ホスト名を設定する場合、DNS サーバーの設定をする
- ・ 保存先コンピューターが、スキャナーと異なるサブネット上にあり、WINS サーバーが設置されている場合、WINS サーバーの設定をする

参照

- ・ CentreWare Internet Services の設定項目：「CentreWare Internet Services で設定すること」(P. 32)

■ 固定 IP アドレスの設定が必要な場合

保存先コンピューターが、スキャナーと異なるサブネット上にあり、WINS サーバーが設置されていない場合、保存先コンピューターに固定 IP アドレスを設定します。

補足

- ・ 設定した IP アドレスは、宛先（保存先）を宛先表に登録するときに使います。

参照

- ・ 宛先の登録方法：「転送プロトコルが SMB の場合（かんたん設定モードを使用しない）」(P. 239)

Mac の場合の設定

Mac OS X の場合は、次の設定が必要です。

- ・ SMB の場合、[Windows 共有] を起動する
- ・ FTP の場合、[FTP サービス] を起動する
- ・ 保存先フォルダーを作成する

参照

- ・ 操作方法：「Mac OS X に保存するための設定」(P. 30)

SMB の場合の共有フォルダーの作成

Windows の場合の、主な OS の共有フォルダーの作成方法を説明します。

注記

- 各 OS のバージョンアップなどにより、ここで説明している画面や操作手順と異なることがあります。画面や操作手順が異なる場合は、各 OS のオンラインヘルプを参照してください。

Windows XP Home Edition の場合

Windows XP Home Edition をお使いの場合、転送プロトコルに SMB を使うときは、次の手順で、保存先の共有フォルダーを作成します。

注記

- Windows XP Home Edition では、「コンピュータの管理者」以外のユーザーアカウントのデスクトップでは、共有の設定ができません。必ず、「コンピュータの管理者」のデスクトップで、以降の操作を行ってください。

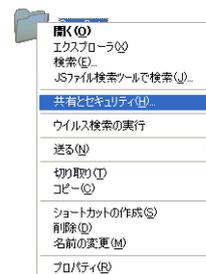
- 共有フォルダーを作成したい場所（アイコンのないところ）を右クリックし、[新規作成] > [フォルダ] を選択します。



- 作成したフォルダーに名前を付けます。



- 作成したフォルダーを右クリックし、[共有とセキュリティ] を選択します。[(フォルダー)のプロパティ] ダイアログボックスの [共有] タブが表示されます。

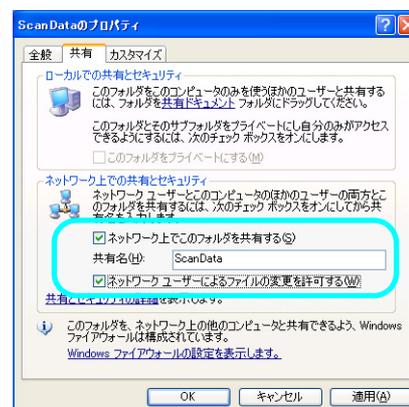


- [ネットワーク上でこのフォルダを共有する] にチェックを付けます。

- 他のユーザーからも共有フォルダーにアクセスできるようにするために、[ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する] にチェックを付け、[OK] をクリックします。

補足

- Windows XP Home Edition Service Pack2 以外の場合、画面下部に表示されている Windows ファイアウォールのメッセージは表示されません。



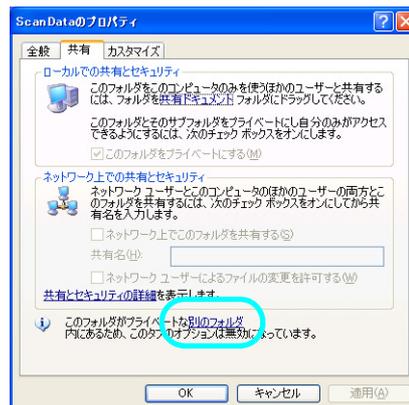
作成したフォルダーのアイコンの形が変わり、共有フォルダーとして設定されます。



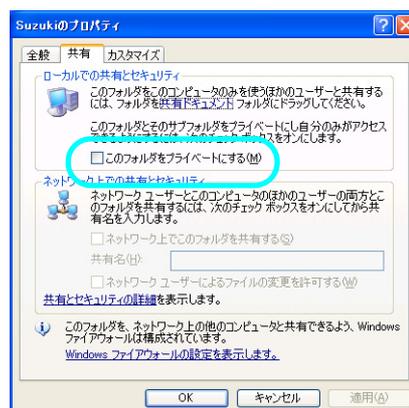
注記

- 手順 4、5 のチェックボックスが使用できない場合は、次の操作を行ってください。

a. [別のフォルダ] をクリックします。



b. 作成したフォルダーの上位にあるフォルダーのプロパティダイアログボックスが表示されるので、[このフォルダをプライベートにする] のチェックを外して、[OK] をクリックします。



Windows XP Professional / Windows 2000 Professional の場合

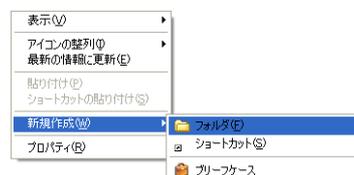
Windows XP Professional または Windows 2000 Professional をお使いの場合、転送プロトコルに SMB を使うときは、次の手順で、保存先の共有フォルダーを作成し、アクセス許可を設定します。

補足

- DocuScan マネージャーから、かんたん設定モードを使って宛先表に登録する場合は、あらかじめ保存先フォルダーを作成しておくだけで、自動的に共有化の設定ができます。かんたん設定モードについては、「転送プロトコルが SMB の場合 (かんたん設定モードを使用する)」(P. 234) を参照してください。

画面例には、Windows XP Professional を使っています。

1. 共有フォルダーを作成したい場所 (アイコンのないところ) を右クリックし、[新規作成] > [フォルダ] を選択します。

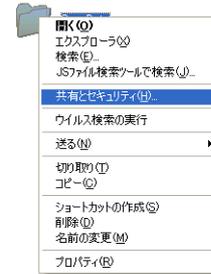


2. 作成したフォルダーに名前を付けます。

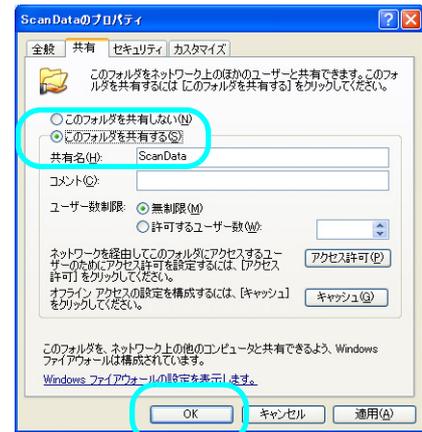


- 作成したフォルダーを右クリックし、[共有とセキュリティ] (Windows2000 の場合は [共有]) を選択します。

[(フォルダー) のプロパティ] ダイアログボックスの [共有] タブが表示されます。



- [(フォルダー) のプロパティ] ダイアログボックスの [共有] タブで、[このフォルダを共有する] を選択し、[OK] をクリックします。



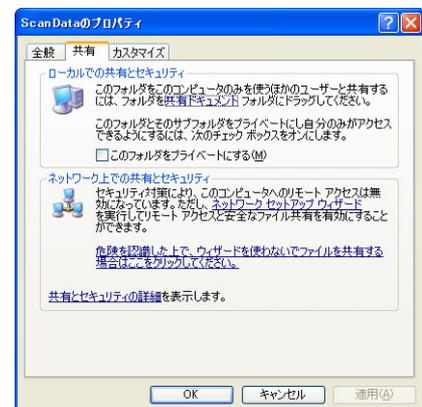
作成したフォルダーのアイコンの形が変わり、共有フォルダーとして設定されます。



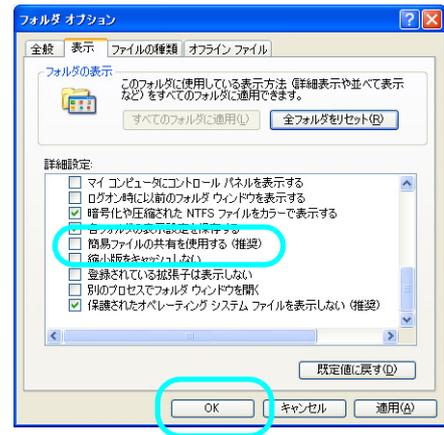
注記

- 手順 4 の [共有] タブが右画面のような表示の場合は、いったんダイアログボックスを閉じ、次の操作を行ってから、再度手順 3 の操作を行ってください。

- コントロールパネルの [フォルダオプション] を開き、[表示] タブをクリックします。



- b. [簡易ファイルの共有を使用する (推奨)] のチェックを外し、[OK] をクリックします。



■ アクセス許可の設定

共有フォルダーは、他のユーザーもアクセスできるため、情報漏洩やファイルの書き換えなど、セキュリティ上の問題が起こる可能性があります。そのため、共有フォルダーにアクセスできるユーザーを指定して、そのユーザーにアクセス許可を設定することをお勧めします。

スキャナー専用新規にユーザーアカウントを作成してアクセス許可を与えたり、既存のユーザーアカウントをスキャナーに割り当てることによって、アクセス許可を与えたりすることができます。

新規に作成したユーザーアカウントでスキャナーにアクセス許可を与える場合は、次に説明する手順の前に、あらかじめユーザーアカウントを作成しておいてください。

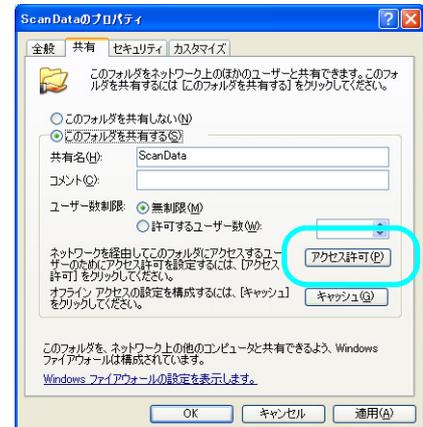
Windows XP Professional の場合

1. アクセス許可を設定する共有フォルダーを右クリックし、[共有とセキュリティ] を選択します。

[(フォルダー) のプロパティ] ダイアログボックスの [共有] タブが表示されます。

2. [アクセス許可] をクリックします。

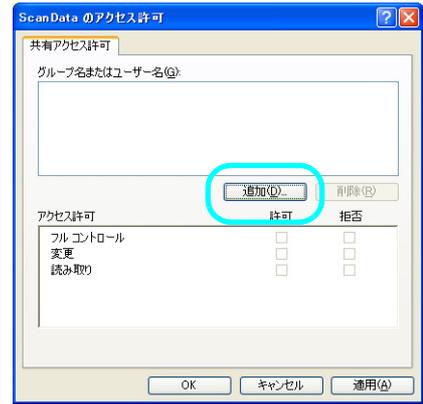
[(フォルダー) のアクセス許可] ダイアログボックスが表示されます。



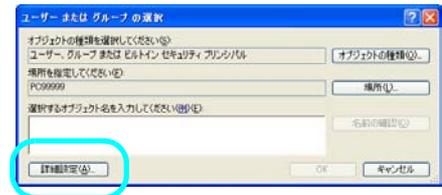
3. 「Everyone」は、すべてのユーザーにアクセス権を与えていることになるので、削除します。「Everyone」を選択して、[削除] をクリックします。



4. アクセス許可を与えるユーザーを設定するために [追加] をクリックします。
[ユーザーまたはグループの選択] ダイアログボックスが表示されます。



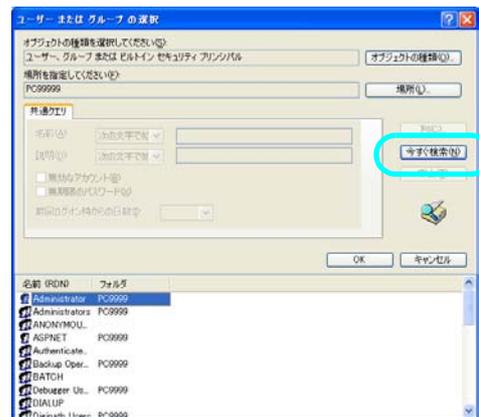
5. [詳細設定] をクリックします。



6. [今すぐ検索] をクリックして、名前リストの中から、このフォルダーにアクセス権を与えたいユーザーまたはグループを選択し、[OK] をクリックします。

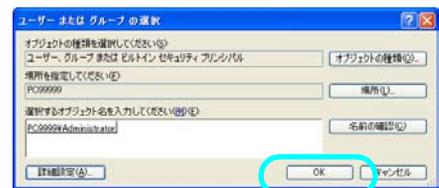
補足

- ・複数のユーザーまたはグループを一度に選択できません。



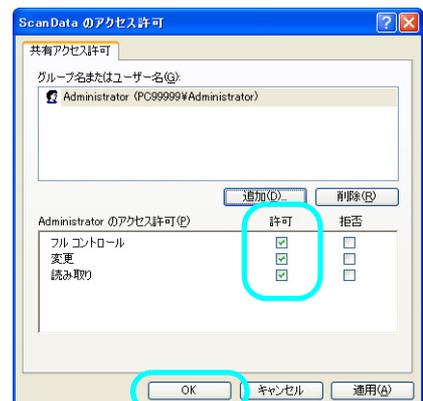
選択したユーザーまたはグループが、[選択するオブジェクト名を入力してください] に表示されます。

7. [OK] をクリックします。



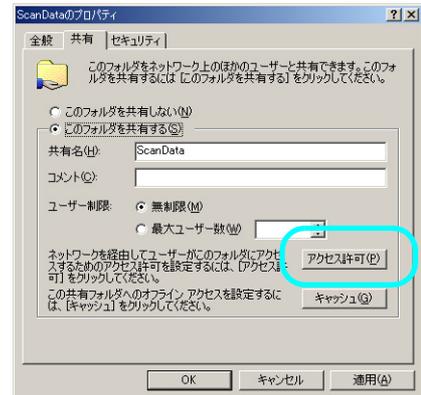
8. [(グループ名またはユーザー名) のアクセス許可] でアクセスを許可するユーザー名またはグループ名を選択し、[フルコントロール] の [許可] にチェックを付けます。

9. ほかにアクセス許可を与えるユーザーがないときは、[OK] をクリックします。ほかにアクセス許可を与えるユーザーがいる場合は、[適用] をクリックして手順 8 を繰り返し、最後に [OK] をクリックします。

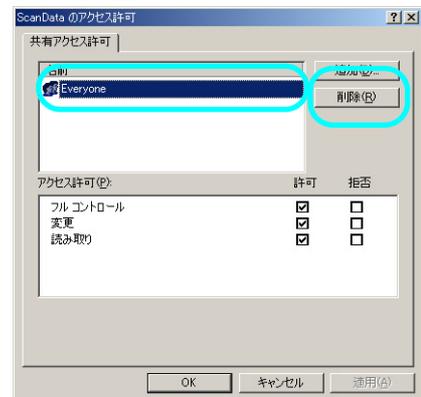


Windows 2000 Professional の場合

1. アクセス許可を設定する共有フォルダーを右クリックし、[共有] を選択します。
[(フォルダー)のプロパティ] ダイアログボックスの [共有] タブが表示されます。
2. [アクセス許可] をクリックします。
[(フォルダー)のアクセス許可] ダイアログボックスが表示されます。



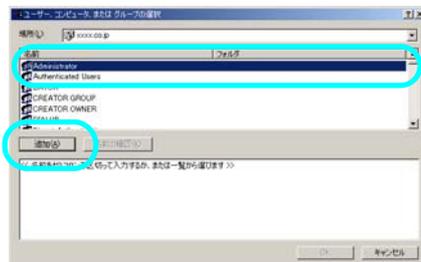
3. 「Everyone」は、すべてのユーザーにアクセス権を与えていることになるので、削除します。「Everyone」を選択して、[削除] をクリックします。
[ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択] ダイアログボックスが表示されます。



4. 名前リストの中から、このフォルダーにアクセス権を与えたいユーザーまたはグループを選択し、[追加] をクリックします。

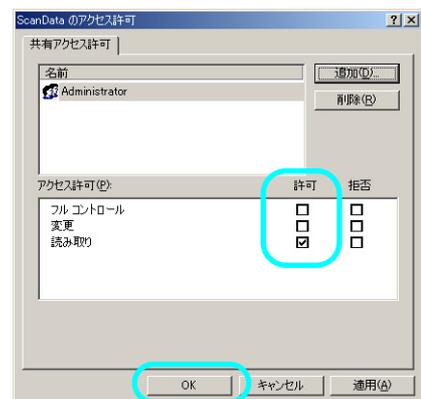
補足

- 複数のユーザーまたはグループを一度に選択できません。



[(フォルダー)のアクセス許可] ダイアログボックスに戻り、選択したユーザーまたはグループが、名前リストに表示されます。

5. [アクセス許可] でアクセスを許可するユーザー名またはグループ名を選択し、[フルコントロール] の [許可] にチェックを付けます。
6. ほかにアクセス許可を与えるユーザーがないときは、[OK] をクリックします。
ほかにアクセス許可を与えるユーザーがいる場合は、[適用] をクリックして手順5を繰り返し、最後に [OK] をクリックします。



Windows Vista の場合

Windows Vista をお使いの場合、転送プロトコルに SMB を使うときは、次の手順で、保存先の共有フォルダーを作成し、アクセス許可を設定します。

共有フォルダーは、他のユーザーもアクセスできるため、情報漏洩やファイルの書き換えなど、セキュリティ上の問題が起こる可能性があります。そのため、共有フォルダーにアクセスできるユーザーを指定して、そのユーザーにアクセス許可を設定することをお勧めします。

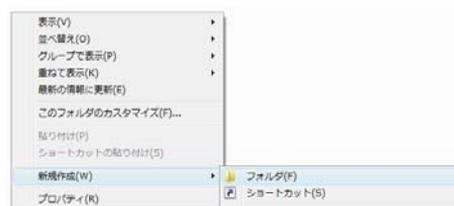
スキャナー専用に関新にユーザーアカウントを作成してアクセス許可を与えたり、既存のユーザーアカウントをスキャナーに割り当てることによって、アクセス許可を与えたりすることができます。

新規に作成したユーザーアカウントでスキャナーにアクセス許可を与える場合は、次に説明する手順の前に、あらかじめユーザーアカウントを作成しておいてください。

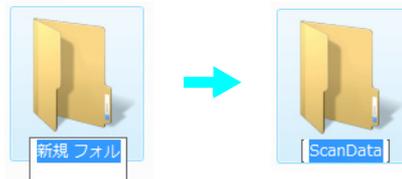
補足

- DocuScan マネージャーから、かんたん設定モードを使って宛先表に保存先を登録する場合は、あらかじめ保存先フォルダーを作成しておくだけで、自動的に共有設定できます。かんたん設定モードについては、「転送プロトコルが SMB の場合 (かんたん設定モードを使用する)」(P. 234) を参照してください。

- 共有フォルダーを作成したい場所 (アイコンのないところ) を右クリックし、[新規作成] > [フォルダ] を選択します。



- 作成したフォルダーに名前を付けます。



- 作成したフォルダーを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
プロパティのダイアログボックスが表示されます。



- [共有] タブをクリックします。

5. [共有] タブで、[詳細な共有] をクリックします。
[詳細な共有] ダイアログボックスが表示されます。



6. [このフォルダを共有する] にチェックを付けて、[アクセス許可] をクリックします。
[(フォルダー) のアクセス許可] ダイアログボックスが表示されます。
7. 「Windows XP Professional / Windows 2000 Professional の場合」(P. 22) の「アクセス許可の設定」(P. 24) 手順 3 以降を参照して、アクセス許可の設定を行います。



作成したフォルダーのアイコンの形が変わり、共有フォルダーとして設定されます。



Windows 98 Second Edition の場合

Windows 98 Second Edition をお使いの場合、転送プロトコルに SMB を使うときは、次の手順で、保存先の共有フォルダーを作成し、アクセス許可を設定します。

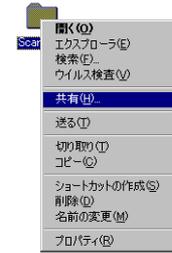
1. 共有フォルダーを作成したい場所（アイコンのないところ）を右クリックし、[新規作成] > [フォルダ] を選択します。



2. 作成したフォルダーに名前を付けます。



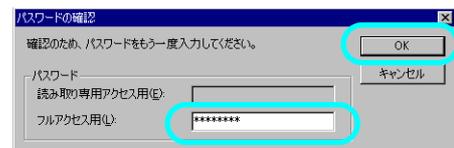
- 作成したフォルダーを右クリックし、[共有] を選択します。
[(フォルダー) のプロパティ] ダイアログボックスの [共有] タブが表示されます。



- [共有する] を選択します。
- [アクセスの種類] で [フルアクセス] を選択し、[パスワード] に [フルアクセス用] のパスワードを入力します。
- [OK] をクリックします。
[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。



- パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



作成したフォルダーのアイコンの形が変わり、共有フォルダーとして設定されます。



Mac OS X に保存するための設定

Mac OS X にスキャンデータを PC 保存するには、あらかじめ次の設定が必要です。

参照

- ・ 保存先フォルダーの作成方法については、Mac ヘルプを参照してください。

注記

- ・ OS のバージョンアップなどにより、ここで説明している画面や操作手順が変更されることがあります。画面や操作手順が異なる場合は、Mac ヘルプを参照してください。

SMB で転送する場合

Windows 共有を開始する

1. Mac OS X を起動します。
2. アップルメニューから、[システム環境設定] をクリックします。
[システム環境設定] ウィンドウが表示されます。
3. [共有] をクリックします。
[共有] ウィンドウが表示されます。
4. [Windows 共有] にチェックを付けます。
これで、Windows 共有が開始しました。



Mac OS X 10.3 の場合：ユーザーアカウントの確認

[システム環境設定] ウィンドウで、[アカウント] をクリックすると、使用できるユーザーアカウントを確認できます。

PC 保存では、保存先の設定時に、このユーザー名とパスワードを入力します。

パスワードは、「*」で表示されますので、システム管理者にご確認ください。

Mac OS X 10.4 の場合：ユーザーアカウントの設定

[Windows 共有] にチェックを付けると、[アカウントを有効にする] ボタンが表示されます。[アカウントを有効にする] ボタンをクリックすると、使用できるユーザーアカウントが表示されるので、Windows 共有を利用するユーザーにチェックを付けます。パスワード入力のウィンドウが表示されるので、チェックを付けたユーザーのパスワードを入力してください。

PC 保存では、保存先の設定時に、このユーザー名とパスワードを入力します。

パスワードは、「*」で表示されますので、システム管理者にご確認ください。

保存場所について

PC 保存時に保存場所を指定しないと、スキャンデータは、ログインするフォルダーの直下に保存されます。

保存場所を指定する場合、ログインするフォルダーの、下位にあるフォルダーを「パス 1/パス 2」の形式で指定します。

FTP で転送する場合

FTP サービスを開始する

次の作業は、システム管理者の作業です。システム管理者以外のユーザー権限でログインしている場合は、システム管理者の ID とパスワードを求められます。システム管理者にご相談ください。

1. Mac OS X を起動します。
2. [システム環境設定] をクリックします。
[システム環境設定] ウィンドウが表示されます。
3. [共有] をクリックします。
[共有] ウィンドウが表示されます。
4. [FTP サービス] にチェックを付けます。
これで、FTP サービスが開始しました。



ユーザーアカウントの確認

[システム環境設定] ウィンドウで、[アカウント] をクリックすると、FTP サービスで使用できるユーザーアカウントを確認できます。

PC 保存では、保存先の設定時に、このユーザー名とパスワードを入力します。

パスワードは、「*」で表示されますので、システム管理者にご確認ください。

保存場所について

PC 保存時に保存場所を指定しないと、スキャンデータは、ログインするフォルダーの直下に保存されます。

保存場所を指定する場合、ログインするフォルダーの、下位にあるフォルダーを「パス 1/パス 2」の形式で指定します。

CentreWare Internet Services で設定すること

CentreWare Internet Services で設定が必要な場合と、設定項目について説明します。

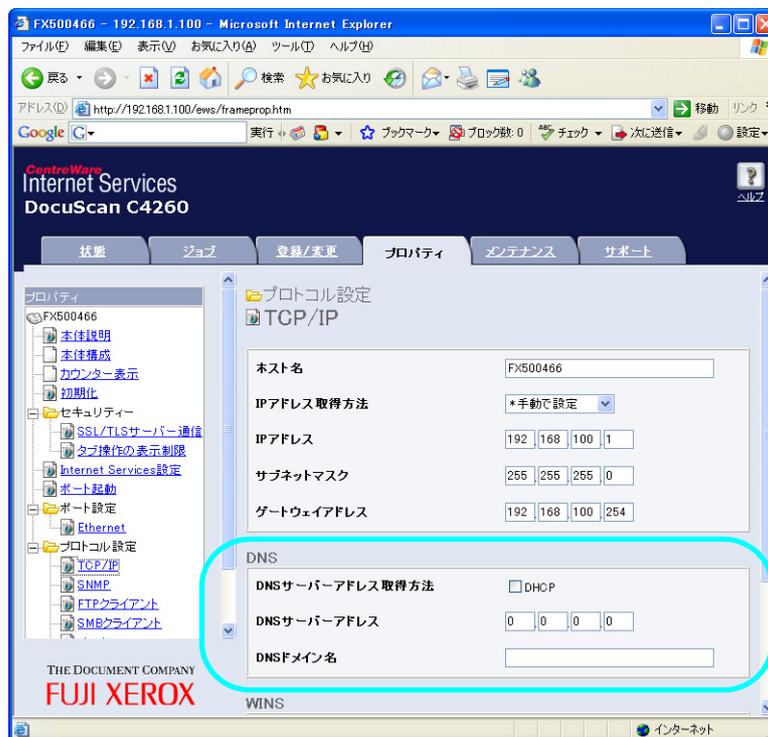
参照

- CentreWare Internet Services の使い方:「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)
- 設定項目についての詳細: CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

保存先コンピューター名を FQDN 形式などで設定する場合

保存先コンピューター名 (サーバー名) に FQDN 形式のホスト名や DNS ホスト名を設定するときは、DNS サーバーの設定が必要です。

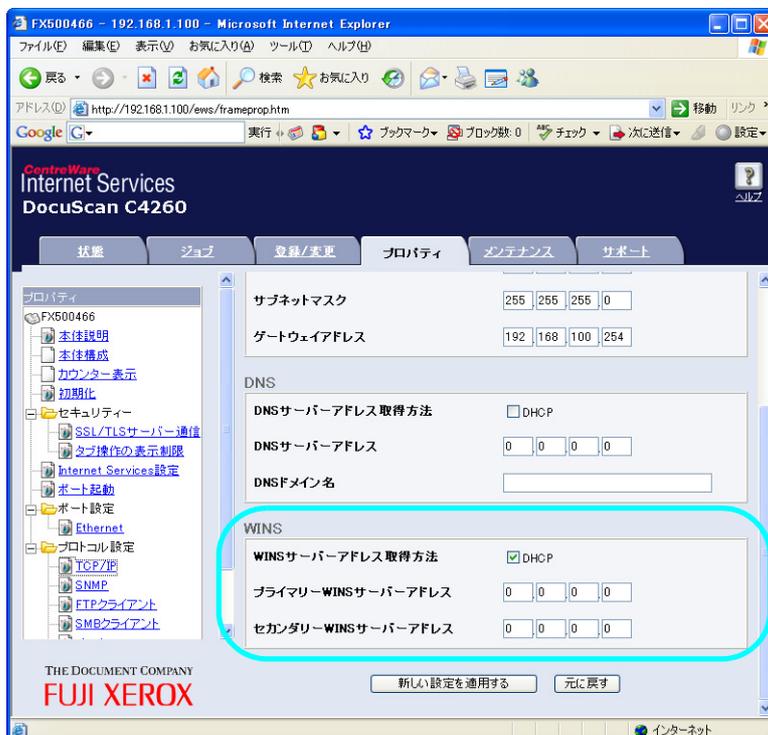
DNS サーバーの設定は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DNS] で行います。



スキャナーと異なるサブネット上のコンピューターに保存する場合

保存先コンピューターが、スキャナーと異なるサブネット上にある場合、WINS サーバーが設置されているときは、WINS サーバーの設定が必要です。

WINS サーバーの設定は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [WINS] で行います。



WINS サーバーが設置されていないときは、保存先コンピューターに固定 IP アドレスを設定します。

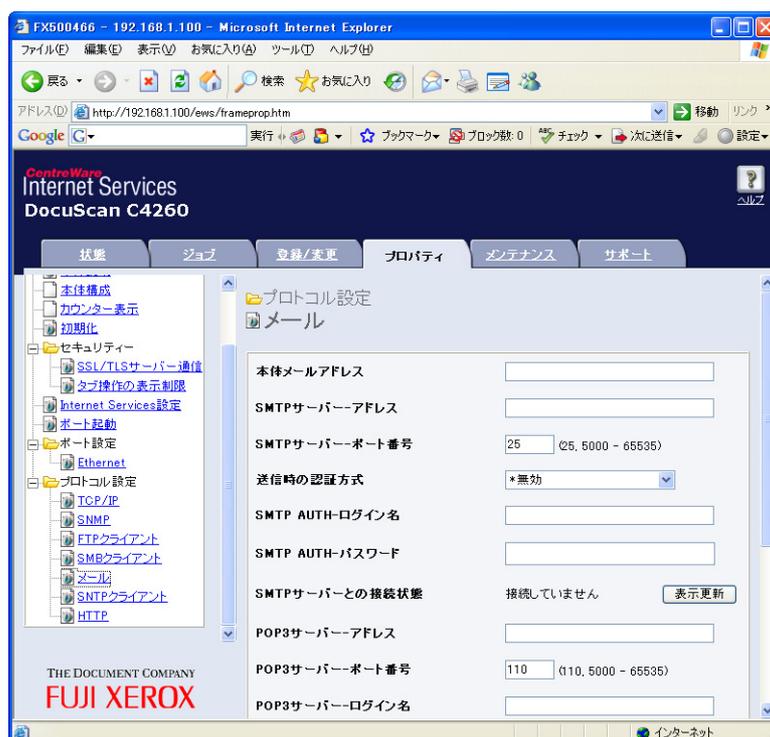
1.7 メール送信の環境を設定する

メール送信機能を使うには、CentreWare Internet Services で、メール環境を設定します。

参照

- CentreWare Internet Services の使い方：「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)
- 設定項目についての詳細：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

メール環境の設定は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [メール] で行います。



補足

- [本体メールアドレス] に設定するメールアドレスは、スキャナーから送信されるメールの「From:」に記載されます。エラー時には、このメールアドレスにメールサーバーからメールが送られます。この項目には、スキャナーの機械管理者のメールアドレスなど、受信できるメールアドレスを設定してください。
- このスキャナーは、メールを受信できません。
- SMTP サーバー、POP3 サーバーを FQDN 形式 (例: server.example.com) で設定するには、DNS サーバーの設定が必要です。設定は、CentreWareInternet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DNS] で行います。設定画面は、「保存先コンピューター名を FQDN 形式などで設定する場合」(P. 32) を参照してください。

2 基本操作

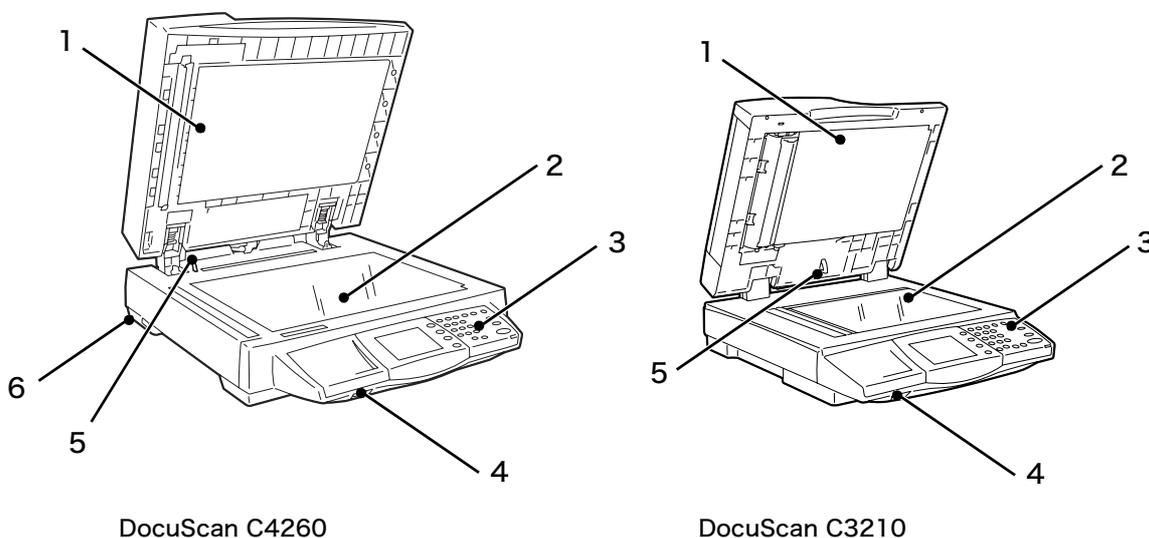
2.1 各部の名称と働き

DocuScan C4260/C3210（以降、本機と呼びます）の、各部の名称と働きについて説明します。

補足

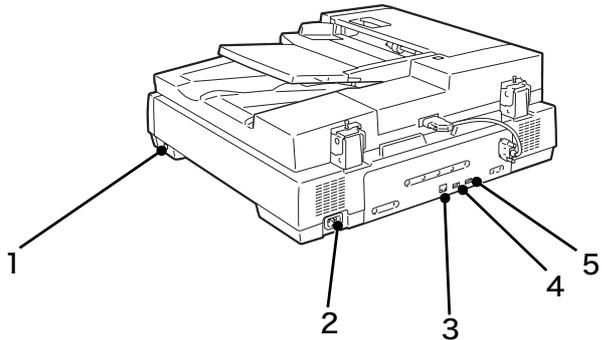
- ・ DocuScan C4260、DocuScan C3210 それぞれの固有の機能や操作などを説明する場合は、機種名を記載しています。

前面

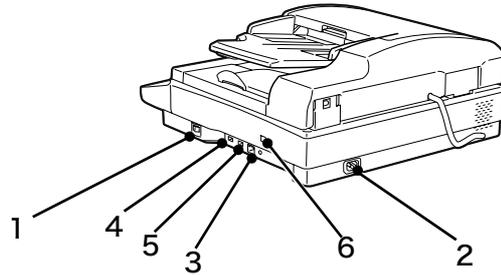


No.	名称	説明
1	原稿カバー	原稿を押さえます。
2	原稿ガラス	原稿をセットします。
3	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。 参照 ・「操作パネル」(P. 38)
4	USB コネクター	USB フラッシュメモリーを接続します。 補足 ・ 本機の USB インターフェイスは、USB2.0 (Hi-Speed) に対応しています。 ・ USB ハブは接続できません。
5	原稿カバー開閉センサー	セットされた原稿のサイズを検知します。
6	キャリッジロック (DocuScan C4260)	キャリッジ（読み取りヘッド）を固定 / 解除するスイッチです。固定（ロック）すると、移動中の振動からキャリッジを保護できます。

右側面部および背面



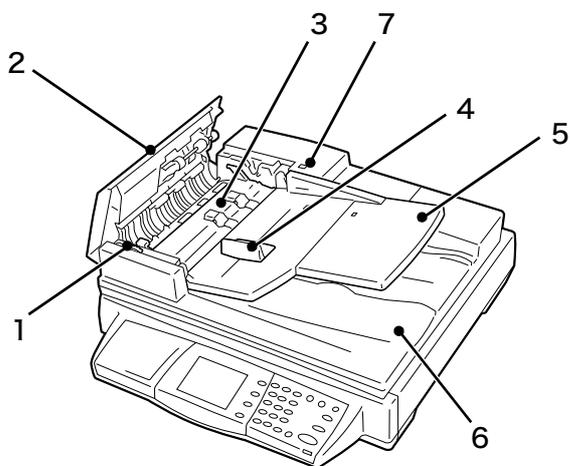
DocuScan C4260



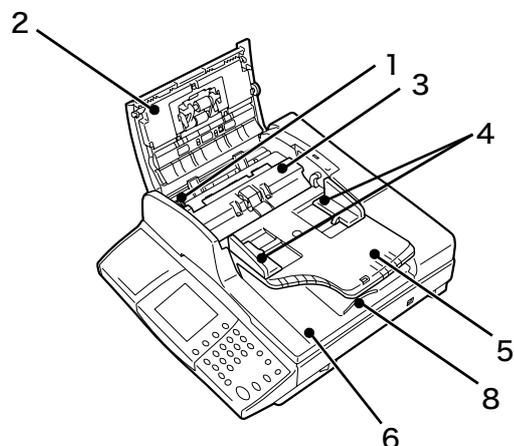
DocuScan C3210

No.	名称	説明
1	電源スイッチ	機械の電源を入 / 切するスイッチです。
2	電源コードコネクタ	電源コードを接続します。
3	ネットワークコネクタ	ネットワークケーブルを接続します。 補足 ・ 本機の Ethernet (イーサネット) インターフェイスは、100BASE-TX/10BASE-T に対応しています。
4、5	USB コネクタ	USB ケーブルを接続します。 補足 ・ 本機の USB インターフェイスは、USB2.0 (Hi-Speed) に対応しています。 ・ USB ハブは接続できません。
6	キャリッジロック (DocuScan C3210)	キャリッジ (読み取りヘッド) を固定 / 解除するスイッチです。固定 (ロック) すると、移動中の振動からキャリッジを保護できます。

自動原稿送り装置



DocuScan C4260



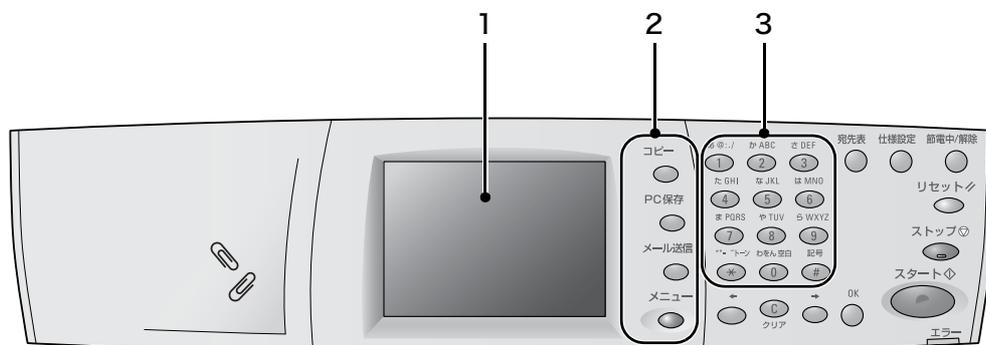
DocuScan C3210

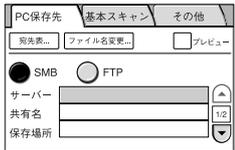
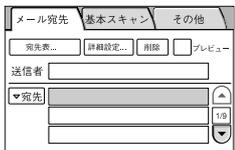
No.	名称	説明
1	ノブ	原稿づまりを処置するときに回します。
2	左側カバー	原稿づまりを処置するときに開けます。
3	内カバー	原稿づまりを処置するときに開けます。
4	原稿ガイド	原稿の端をそろえるガイドです。
5	原稿送りトレイ	原稿をセットします。
6	原稿受け	原稿が排出されます。
7	原稿検知ランプ (DocuScan C4260 のみ)	原稿が正しくセットされるとランプが点灯します。
8	延長ガイド (DocuScan C3210 のみ)	長い原稿が排出される時に引き出します。

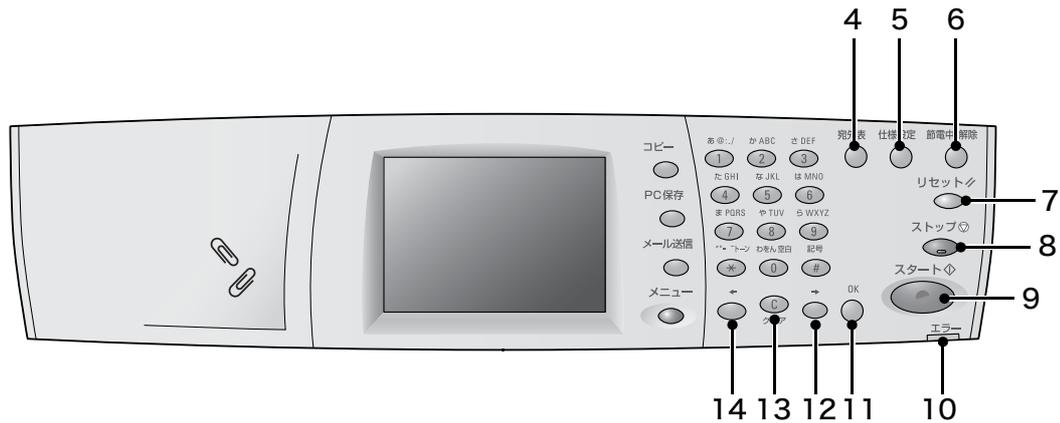
操作パネル

補足

- ・ 操作パネルは、DocuScan C4260 と DocuScan C3210 で共通です。



	名 称	働 き	
1	タッチパネルディスプレイ	操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。タッチパネルディスプレイに直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。	
2	機能ボタン 補足 ・ 機能の割り当てを変更できます。 詳しくは「7.4 共通設定」の「初期画面の設定」(P. 181)を参照してください。	〈コピー〉ボタン 	コピー機能の画面を表示するときに押します。
		〈PC 保存〉ボタン 	PC 保存機能の画面を表示するときに押します。
		〈メール送信〉ボタン 	メール送信機能の画面を表示するときに押します。
	〈メニュー〉ボタン	[メニュー] 画面を表示するときに押します。 	
3	数字ボタン	数字や文字を入力するときに押します。	



	名 称	働 き
4	〈宛先表〉ボタン	宛先表の画面を表示するときに押します。次の画面が表示されるので、[メール送信]、[PC保存]のどちらかを選択すると、宛先表の画面が表示されます。 
5	〈仕様設定〉ボタン	本機の初期設定などを行う仕様設定の画面を表示するときに押します。 
6	〈節電中/解除〉ボタン	節電モードを解除するときに押します。しばらく本機を使用しないと、本機は消費電力量を下げて節電モードに入ります。節電中は、ボタンが点灯します。 参照 ・「2.4 節電モードを設定/解除する」(P. 47)
7	〈リセット〉ボタン	表示されている機能の設定を初期状態に戻すときに押します。
8	〈ストップ〉ボタン	スキャンやコピーを中止するときに押します。
9	〈スタート〉ボタン	原稿の読み込みを開始するときに押します。
10	〈エラー〉ランプ	エラーが発生したときに点灯します。
11	〈OK〉ボタン	文字入力のために使います。文字の入力を確定します。
12	〈→〉ボタン	文字入力のために使います。カーソルを移動します。または文字を確定します。
13	〈C〉(クリア)ボタン	部数の入力を取り消します(1に戻す)。また、文字入力のために使います。文字を削除したり、文字の確定を取り消したりします。
14	〈←〉ボタン	文字入力のために使います。カーソルを移動します。または文字の入力順序を逆にします。

2.2 文字の入力方法

文字の入力には、操作パネルの数字ボタンを使います。

入力できる文字は、全角のひらがな、カタカナ、記号、半角の数字、英字、記号です。漢字は入力できません。

入力モード

入力モードによって、入力できる文字の種類が切り替わります。

入力モードには、次の4種類があります。

- ・ ひらがなモード
- ・ カタカナモード
- ・ 英数モード
- ・ 数字モード

補足

- ・ 入力する項目によって、使用できる入力モードは異なります。

入力モードを切り替えるには、タッチパネルディスプレイに表示される「数字ボタン入力設定」の入力モードボタンを押します。

「数字ボタン入力設定」が薄いグレーで表示されていて使用できないときは、数字だけが入力できます。

「数字ボタン入力設定」が表示されていないときは、英数字または数字だけが入力できます。

■ 「数字ボタン入力設定」が表示されている場合

(例：「メール宛先の検索」)

「表示開始番号」の入力欄が選択されているとき

→ 「数字ボタン入力設定」が薄いグレーで表示される

数字ボタンで入力できるのは、数字だけ

「検索文字」の入力欄が選択されているとき

→ 「数字ボタン入力設定」では、すべてのモードが選択できる

数字ボタンで入力できるのは、ひらがな、カタカナ、英数字、記号

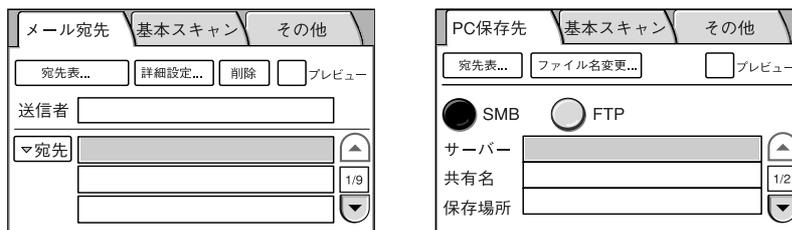
「メールアドレス」の入力欄が選択されているとき

→ 「数字ボタン入力設定」では、「英/数」/「数字」が選択できる

英数モード：
数字ボタンで入力できるのは、英数字、記号

数字モード：
数字ボタンで入力できるのは、数字だけ

■ **【数字ボタン入力設定】が表示されていない場合**
(例：【メール宛先】 / 【PC 保存先】 画面)



数字ボタンで入力できるのは、英数字、記号

数字ボタンの使い方

1つの数字ボタンには、複数の文字が割り当てられています。
数字ボタンを複数回押すことによって、現在のモードで入力できる文字が順に切り替わります。
入力中（確定前）に〈←〉ボタンを押すと、押すごとに入力候補が逆順に表示されます。

■ ひらがなモード

あ、い、う、え、おの順番で切り替わります。
割り当てられている文字がすべて表示されると、最初の文字に戻り、繰り返されます。

補足

- ・〈1〉ボタンの場合、「お」のあとは小さい「あ」になります。
- ・〈8〉ボタンの場合、「よ」のあとは小さい「や」になります。

【例】〈1〉ボタンの場合 あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お→あ→い・・・

■ カタカナモード

ア、イ、ウ、エ、オの順番で切り替わります。
割り当てられている文字がすべて表示されると、最初の文字に戻り、繰り返されます。

補足

- ・〈1〉ボタンの場合、「オ」のあとは小さい「ア」になります。
- ・〈8〉ボタンの場合、「ヨ」のあとは小さい「ヤ」になります。

【例】〈1〉ボタンの場合 ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ・・・

■ 英数モード

英字から数字の順番で切り替わります。英字は、小文字のあと大文字になります。
割り当てられている文字がすべて表示されると、最初の文字に戻り、繰り返されます。

【例】〈2〉ボタンの場合 a→b→c→A→B→C→2→a→・・・

■ 数字モード

押したボタンの数字が入力されます。

【例】〈2〉ボタンの場合 「2」が入力されます。

■ 【数字ボタン入力設定】がグレー表示で使用できないとき

押したボタンの数字が入力されます。

【例】〈2〉ボタンの場合 「2」が入力されます。

■【数字ボタン入力設定】が表示されていないとき

英数モードと同じです。

英字から数字の順番で切り替わります。英字は、小文字のあと大文字になります。

割り当てられている文字がすべて表示されると、最初の文字に戻り、繰り返されます。

【例】〈2〉 ボタンの場合 a → b → c → A → B → C → 2 → a → …

注記

・ PC 保存の [サーバー] 欄への入力時だけは、数字から英字の順番で切り替わります。

入力モード	ひらがなモード	カタカナモード	英数モード	数字モード
			【数字ボタン入力設定】が表示されていない	【数字ボタン入力設定】がグレー表示で使用できない
〈1〉 ボタン	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	1 @ : . /	1
〈2〉 ボタン	かきくけこ	カキクケコ	2 abcABC	2
〈3〉 ボタン	さしすせそ	サシスセソ	3 defDEF	3
〈4〉 ボタン	たちつてと	タチツテト	4 ghiGHI	4
〈5〉 ボタン	なにぬねの	ナニヌネノ	5 jklJKLM	5
〈6〉 ボタン	はひふへほ	ハヒフヘホ	6 mnoMNO	6
〈7〉 ボタン	まみむめも	マミムメモ	7 pqrsPQRS	7
〈8〉 ボタン	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	8 tuvTUV	8
〈9〉 ボタン	らりるれろ	ラリルレロ	9 wxyzWXYZ	9
〈0〉 ボタン	わをん (SP)	ワワン (SP)	0 (SP)	0
〈*〉 ボタン	^ ° _ ~ ・ 、 「 」	^ ° _ ~ ・ 、 「 」	- _ ~	_____
〈#〉 ボタン	! " # \$ % & ' ~ ^ ¥ ` ; : ? @ _ . + - * / = () [] { } < >	! " # \$ % & ' ~ ^ ¥ ` ; : ? @ _ . + - * / = () [] { } < >	! " # \$ % & ' ~ ^ ¥ ` ; : ? @ _ . + - * / = () [] { } < >	_____

補足

・ (SP) は、スペース (空白) を表します。

文字を確定する

数字ボタンで文字を表示し、別の数字ボタンを押すと、最初に表示されていた文字が確定されて、あとから押した数字ボタンの文字が入力されます。

また、〈OK〉ボタンを押して文字を確定することもできます。〈OK〉ボタンで確定すると、I字型のカーソルが文字の直後に表示されます。

カーソルを移動する

文字を修正したり削除したりするときには、カーソルを修正 / 削除したい文字の直後（右側）に移動します。

カーソルを移動するには、〈←〉ボタンまたは〈→〉ボタンを押します。

文字を削除する

文字を削除するには、カーソルを削除したい文字の直後に移動して、〈C〉（クリア）ボタンを押します。

また、入力した文字の確定前は、入力した文字が反転した状態になっています。この状態で〈C〉（クリア）ボタンを押すと、入力した文字を取り消すことができます。

補足

- ・入力欄によっては、〈C〉（クリア）ボタンや画面上の〔削除〕ボタンで入力欄内のすべての文字を一度に消すことができます。

文字を修正する

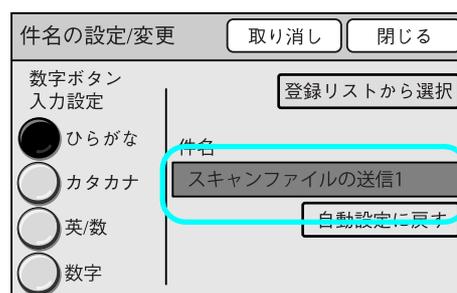
文字を修正するには、カーソルを修正したい文字の直後に移動して、〈C〉（クリア）ボタンで文字を削除し、数字ボタンで新たに文字を入力します。

文字入力の流れ

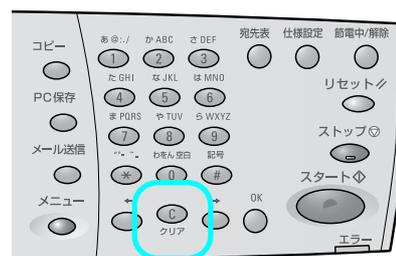
文字入力は、次のような流れで操作します。

メール送信の〔件名〕に「カタログです」と入力する場合の操作を説明します。

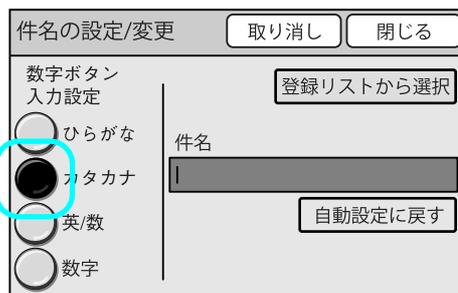
1. タッチパネルディスプレイの〔件名〕の入力欄を押します。
2. 〈→〉ボタンで、表示されている初期値の直後にカーソルを移動します。



3. 〈C〉（クリア）ボタンを必要な回数だけ押して、表示されている初期値を消します。

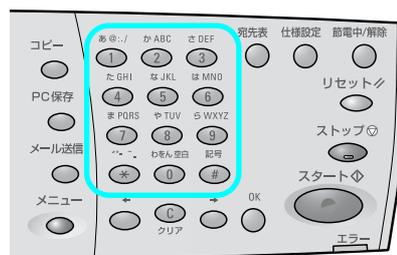


4. [数字ボタン入力設定] の [カタカナ] ボタンを押します。

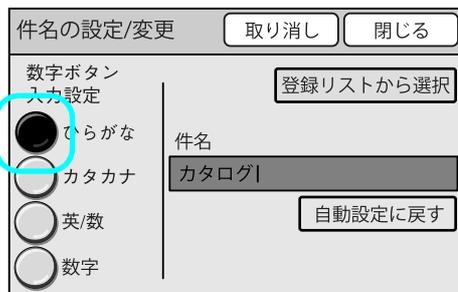


5. 数字ボタンを、次のように押します。
 (2) ボタンを 1 回→
 (4) ボタンを 1 回→
 (9) ボタンを 5 回→
 (2) ボタンを 3 回→
 (*) ボタンを 1 回

「カタログ」と入力されます。

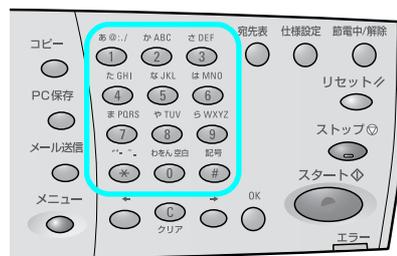


6. [数字ボタン入力設定] の [ひらがな] ボタンを押します。

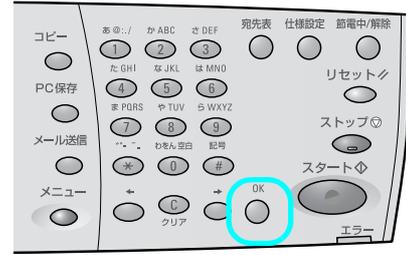


7. 数字ボタンを、次のように押します。
 (4) ボタンを 4 回→
 (*) ボタンを 1 回→
 (3) ボタンを 3 回

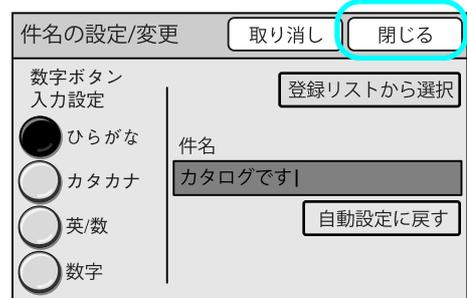
「です」と入力されます。



8. 〈OK〉ボタンを押して、文字を確定します。



9. [閉じる] を押します。



2.3 電源を入れる / 切る

電源を入れる

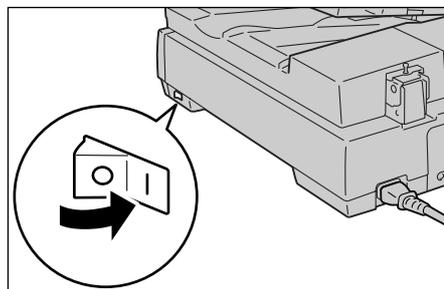
1. スキャナーの電源スイッチの〈|〉側を押します。
2. 電源を入れると、操作パネルのタッチパネルディスプレイに起動画面が表示されます。

注記

- ・ エラーメッセージが表示された場合は、表示されている指示に従って対処してください。エラーコードが表示された場合は、「9.6 エラーコード」(P. 285) を参照して対処してください。

補足

- ・ 本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

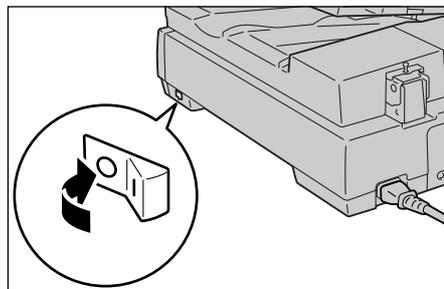


電源を切る

注記

- ・ スキャン中は本機の電源を切らないでください。電源を切ると、本機内に残っているスキャンデータや本機のメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

1. 操作パネルのタッチパネルディスプレイ表示などで、スキャナーが処理中でないことを確認します。
2. スキャナーの電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。



2.4 節電モードを設定 / 解除する

本機は、待機しているときの電力の消費を抑えるために、節電モードを備えています。工場出荷時は、10 分間操作しない状態が続くと、節電モードに移行する設定になっています。

節電モードになると、〈節電中 / 解除〉ボタンだけが点灯し、ほかのランプは消灯します。タッチパネルディスプレイも消灯し、何も表示されません。



節電モードに切り替わるまでの時間は、1 ～ 60 分の間で設定できます。節電モード時の消費電力は、9W 以下で、節電モードからスキャンできる状態になるまでの時間は、約 12 秒です。

補足

- ・ 節電モードは、移行しないように設定することもできます。

参照

- ・ 節電モードの詳細および設定の変更手順：「節電モード設定」(P. 178)

節電モードを解除する

節電モードを解除するには、操作パネルの〈節電中 / 解除〉ボタンを押します。

2.5 原稿をセットする

原稿は、原稿ガラスまたは自動原稿送り装置にセットします。
自動原稿送り装置は、複数枚の原稿をまとめてセットできます。

補足

- ・ ジョブの途中で原稿の読み取りを追加して行う場合、最初に読み取りを行った位置に、原稿を置いてください。
- ・ ジョブの途中で、原稿ガラスから自動原稿読取装置に、切り替えて読み込ませることはできません。また、自動原稿送り装置から原稿ガラスに、切り替えて読み込ませることもできません。

使用できる原稿

原稿ガラス、または自動原稿送り装置に原稿をセットしてスキャン / コピーする場合、以下の範囲の原稿を使用してください。

	機種名	原稿ガラス	自動原稿送り装置
セットできる原稿サイズ	C4260	[最大] 334.5 × 452.0mm	[最小] 100.0 × 148.0mm [最大] 297.0 × 432.0mm
	C3210	[最大] 220.0 × 300.0mm	[最小] 140.0 × 140.0mm [最大] 215.9 × 355.6mm
読み取り可能エリア	C4260	[最小] 15.0 × 15.0mm [最大] 297.0 × 432.0mm	[最小] 100.0 × 148.0mm [最大] 297.0 × 432.0mm)
	C3210	[最小] 15.0 × 15.0mm [最大] 215.9 × 297.0mm	[最小] 140.0 × 140.0mm [最大] 215.9 × 355.6mm
原稿の質量 (メートル坪量* 1)	C4260	_____	35 ~ 120g/ m ² (片面原稿) 50 ~ 120g/ m ² (両面原稿* 2)
	C3210	_____	60 ~ 105g/ m ² (片面原稿) 60 ~ 105g/ m ² (両面原稿* 2)
原稿セット可能枚数		1 枚	50 枚 (普通紙の場合: 60 ~ 100g/ m ²)

*1メートル坪量とは、1 m²の用紙 1 枚の質量をいいます。

*2両面原稿のおもて面 / うら面両方を読み込ませてスキャン / コピーする場合の値です。

自動検知できる原稿サイズ

本機は、スキャンするときに原稿サイズを自動で検知します。原稿が次の表の定形サイズの場合、原稿サイズを指定する必要はありません。

補足

- ・ 表は、AB 系の場合の定形原稿サイズです。AB 系 (八開 / 十六開)、インチ系の場合の原稿サイズ、およびサイズ検知の切り替えについては、「サイズ検知切り替え」(P. 190) を参照してください。
- ・ 原稿が非定形サイズの場合は、[その他] 画面の [読み取りサイズ] (スキャン時) または [原稿サイズ入力] (コピー時) で原稿のサイズを指定してください。原稿サイズの入力は、「読み取りサイズ (原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする)」(P. 104) または「原稿サイズ入力 (原稿の読み取りサイズを指定してコピーする)」(P. 148) を参照してください。

機種名	原稿ガラス	自動原稿送り装置
C4260	B5☐、B5☐、A5☐、A5☐、 A4☐、A4☐、 8.5 × 11 インチ☐、B4☐、 A3☐、11 × 17 インチ☐、 A6☐、B6☐	B5☐、B5☐、A5☐、A5☐、 A4☐、A4☐、B4☐、A3☐
C3210	B5☐、A5☐、A5☐、A4☐、 A6☐、B6☐	B5☐、A5☐、A5☐、A4☐

原稿セットの注意

原稿をセットするときの注意点について説明します。

■ 使用できない原稿

原稿ガラスの場合

次のような原稿の場合、原稿のサイズを自動検知できずにエラーメッセージが表示されたり、スキャンデータの画像が切れたりすることがあります。

以下の方法で対処してください。

原稿	対処方法
非定形サイズの原稿	[その他] 画面の [読み取りサイズ] (スキャン時) または [原稿サイズ入力] (コピー時) で原稿のサイズを指定してください。
光沢のある原稿	
厚みのある原稿 (冊子など)	
透過度が高い原稿 (OHP フィルムなど)	原稿の上に同じサイズの白紙をのせてください。または、[その他] 画面の [読み取りサイズ] (スキャン時) または [原稿サイズ入力] (コピー時) で原稿のサイズを指定してください。
破れ、しわ、穴あき、激しいカールがある原稿	

注記

- ・ 多量の水分を含んだ原稿は、セットしないでください。機械内部に水分が入り、機械が故障するおそれがあります。
- ・ 5kg 以上の原稿は、セットしないでください。原稿ガラス、および機械が破損するおそれがあります。

補足

- ・ 写真ホルダーを用いた原稿の場合、フィルムの波打ち状態によっては、正しくスキャン / コピーされないことがあります。

参照

- ・ [読み取りサイズ]: 「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)
- ・ [原稿サイズ入力]: 「4.6 その他のコピー項目を設定する」(P. 141)

自動原稿送り装置の場合

次のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因になります。原稿ガラスにセットしてください。



折り目、しわ、
やぶれた原稿



切り貼り
原稿



薄紙



カールした
原稿



裏カーボン紙



穴の多い
原稿

そのほか、以下の原稿は原稿ガラスにセットしてください。

- ・ 光沢がある原稿（写真など）
- ・ クリップ、ホチキス、のり付けなどで留めた原稿、付せんがついた原稿
- ・ 厚みがある原稿
- ・ 透過度が高い原稿（OHP フィルムなど）
- ・ 感熱紙

また、DocuScan C3210 は、ミックスサイズ原稿（異なるサイズの混在する原稿）を自動原稿送り装置にセットできません。

原稿セットのヒント

■ 原稿セットの向きについて

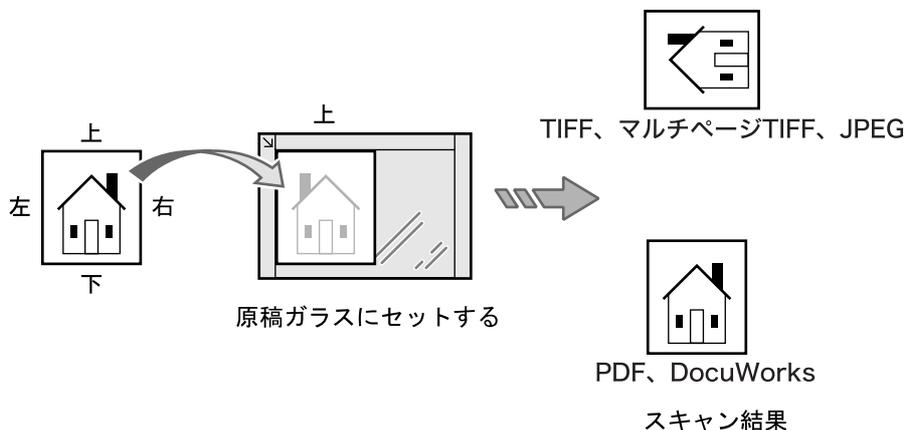
スキャン / コピーするときは、原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

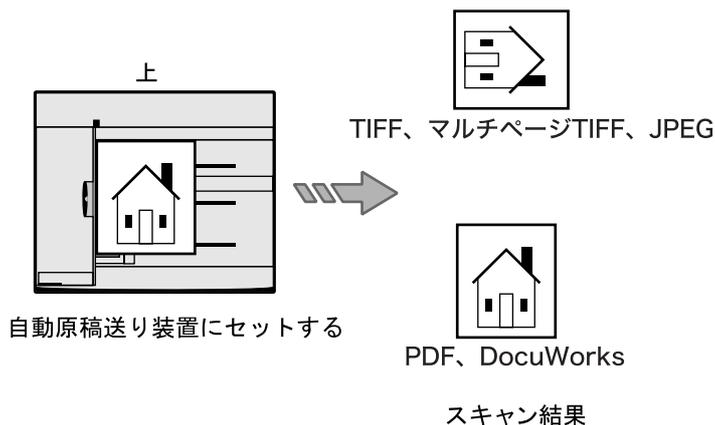
スキャン画面またはコピー画面の [その他] 画面にある [原稿セット向き指定] で、[読める向き]、または [左向き] を選択してください。

出力ファイル形式が TIFF、マルチページ TIFF、JPEG の場合、通常は原稿を「左向き」にセットしてください。

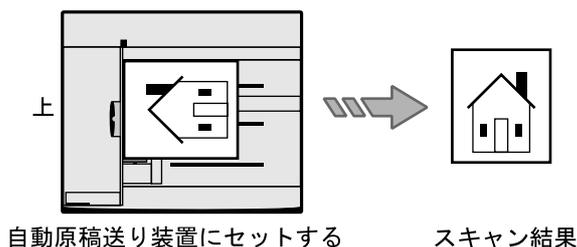
また、両面原稿を読み込む場合は、[両面原稿送り]（スキャン時）または [両面 / 片面選択]（コピー時）の [原稿セット向き指定] とセットされた原稿の向きが合っているかを確認してください。

読める向き





左向き



参照

- ・ スキャン時の【原稿セット向き指定】：「両面原稿送り（原稿の両面をスキャンする）」(P. 98)、「原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）」(P. 106)
- ・ コピー時の【原稿セット向き指定】：「両面 / 片面選択（両面 / 片面にコピーする）」(P. 129)、「原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）」(P. 144)

■ 定形サイズでない原稿の場合には

非定形サイズ of 原稿や、付せんが貼られている原稿を付せんをはがさずスキャンしたいときなど、原稿が定形サイズでない場合は、【その他】画面で原稿サイズを設定します。

- ・ スキャンの場合

【その他】画面：【読み取りサイズ】の【任意指定】

- ・ コピーの場合

【その他】画面：【原稿サイズ入力】の【任意指定】

参照

- ・ 【読み取りサイズ】：「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)
- ・ 【原稿サイズ入力】：「4.6 その他のコピー項目を設定する」(P. 141)

■ サイズがいろいろある原稿の場合には (DocuScan C4260 のみ)

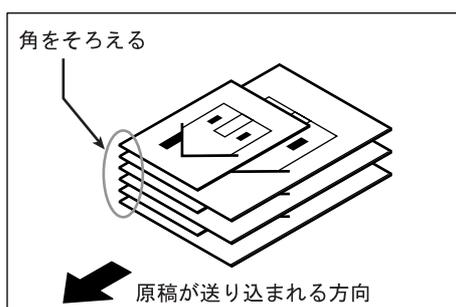
いろいろなサイズの原稿が混在しているときには、[ミックスサイズ原稿送り] を [する] に設定します。

参照

- ・ [ミックスサイズ原稿送り]: 「その他のスキャン項目を設定する」(P. 103) または 「4.6 その他のコピー項目を設定する」(P. 141)

ミックスサイズ原稿の場合は、次の点に留意して原稿をセットしてください。

- ・ A5 は必ずよこ置きにします。
- ・ 原稿は左上の角をそろえます。そろえないと原稿が詰まります。



原稿をセットする

原稿のセット方法について説明します。

⚠ 注意

- ・ 書籍などの厚手の原稿をスキャンするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。
- ・ 原稿カバーを開けたまま原稿を読み取るとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

注記

- ・ 節電中、または節電解除中 (タッチパネルディスプレイに「お待ちください。」と表示されている状態) は、原稿ガラスにセットした原稿のサイズを検知することができません。節電中、または節電解除中に、原稿ガラスでスキャンするときは、〈節電中 / 解除〉ボタンを押して「お待ちください。」という表示が消えてから原稿をセットしてください。

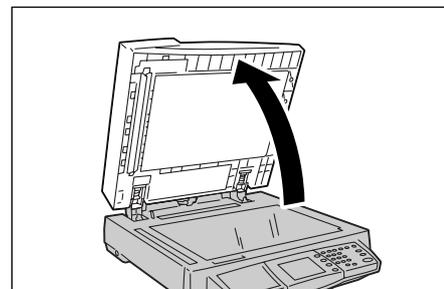
■ 原稿ガラスにセットする

原稿を原稿ガラスにセットする方法を説明します。

1. 原稿カバーを開けます。

注記

- ・ 原稿カバーは原稿カバー開閉センサーが離れる位置まで開けてください。センサーが一度離れないと、原稿サイズの自動検知機能が動きません。



2. スキャンする面を下に向けて、原稿ガラス左奥の角に合わせて原稿をセットします。

補足

- ・ OHP フィルムやトレーシングペーパーなど透過度の高い原稿は、原稿の上に白紙をのせてください。

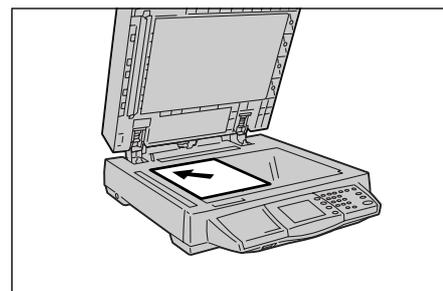
3. 原稿カバーを閉じます。

補足

- ・ 原稿カバーは静かに閉めてください。原稿ガラス破損の原因となるおそれがあります。

注記

- ・ 厚手の原稿をスキャンするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガをする原因となるおそれがあります。
- ・ 原稿カバーを開けたままスキャンするとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。



■ 自動原稿送り装置にセットする (DocuScan C4260 の場合)

自動原稿送り装置は、100.0 × 148.0mm ~ 297.0 × 432.0mm の範囲の原稿を、50枚 (普通紙: 60 ~ 100g/m²) まで、まとめてセットすることができます。50枚以上セットするときは、50枚ずつ (50枚単位+端数) セットしてください。

補足

- ・ 50枚以上セットする場合、スキャン操作時に画面上の [次原稿あり] を押してスキャンを続けます。操作については、「Step5 スキャンを開始する」の「次原稿なし / 次原稿あり」(P. 59)、または「Step6 コピーを開始する」の「次の原稿があるとき」(P. 118)を参照してください。

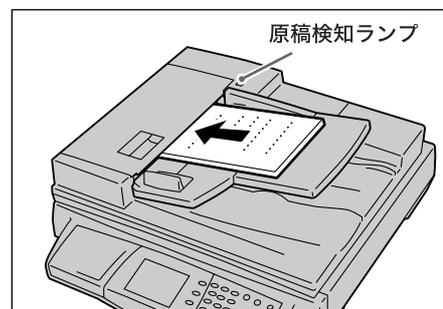
セットした複数枚の原稿をいちばん上から順に送り込んでスキャンし、スキャン面を下にして排出します。

ここでは、原稿を自動原稿送り装置にセットする方法を説明します。

注記

- ・ 原稿ガラス上に原稿を置いたままの状態、自動原稿送り装置からスキャンしないでください。原稿がまりの原因になることがあります。

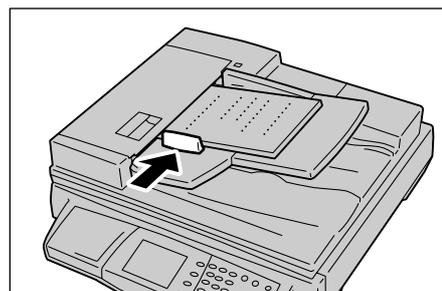
1. 原稿の端をそろえます。原稿をクリップやホチキスで留めている場合は外します。
2. スキャンする面 (両面原稿の場合は表面) を上に向けて、自動原稿送り装置の左奥側に原稿を沿わせて、矢印方向へセットします。
原稿が正しくセットされると、原稿検知ランプが点灯します。



3. 原稿ガイドを移動して、原稿の端に軽く押し当てます。

注記

- ・ 原稿づまりや原稿破損の原因になるので、以下の事項に注意してください。
 - 原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
 - 排出された原稿を原稿受けにためすぎないでください。
 - 原稿受けにものを置かないでください。



■ 自動原稿送り装置にセットする (DocuScan C3210 の場合)

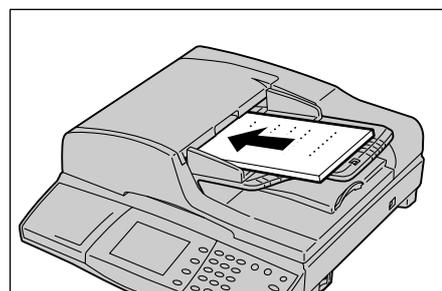
自動原稿送り装置は、140.0 × 140.0mm ~ 215.9 × 355.6mm の範囲の原稿を、50枚 (普通紙: 60 ~ 100g/m²) まで、まとめてセットすることができます。50枚以上セットするときは、50枚ずつ (50枚単位+端数) セットしてください。

補足

- ・ 50枚以上セットする場合、スキャン操作時に画面上の [次原稿あり] を押してスキャンを続けます。操作については、「Step5 スキャンを開始する」の「次原稿なし / 次原稿あり」(P. 59)、または「Step6 コピーを開始する」の「次の原稿があるとき」(P. 118) を参照してください。

セットした複数枚の原稿をいちばん上から順に送り込んでスキャンし、スキャン面を下にして排出します。ここでは、原稿を自動原稿送り装置にセットする方法を説明します。

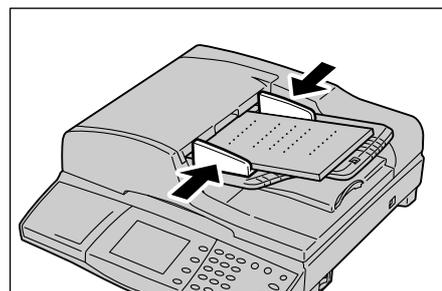
1. 原稿の端をそろえます。原稿をクリップやホチキスで留めている場合は外します。
2. スキャンする面 (両面原稿の場合は表面) を上に向けて、自動原稿送り装置の中央に原稿に沿わせて、矢印方向へセットします。原稿が奥に突き当たるまで、しっかりセットしてください。



3. 原稿ガイドを移動して、原稿の両端に軽く押し当てます。

注記

- ・ 原稿づまりや原稿破損の原因になるので、以下の事項に注意してください。
 - 原稿搬送中に原稿を押さえないでください。
 - 排出された原稿を原稿受けにためすぎないでください。
 - 原稿受けにものを置かないでください。



3 スキャンする

3.1 スキャン操作の流れ

原稿を読み取って電子データにするスキャン操作の流れを説明します。詳細は、各操作の説明箇所を参照してください。

Step1 準備する



スキャンするには、ネットワーク環境の設定などの準備が必要です。

スキャンの種類	準備する項目	設定方法
PC 保存	<input type="checkbox"/> IP アドレスの設定	操作パネル (または CentreWare Internet Services)
	<input type="checkbox"/> 保存先フォルダーの作成 <input type="checkbox"/> 保存先フォルダーの共有設定	スキャンデータを保存するコンピューター
	<input type="checkbox"/> 宛先の登録	DocuScan マネージャー (または CentreWare Internet Services)
メール送信	<input type="checkbox"/> IP アドレスの設定	操作パネル (または CentreWare Internet Services)
	<input type="checkbox"/> メール環境の設定	CentreWare Internet Services
	<input type="checkbox"/> 宛先の登録	DocuScan マネージャー (または CentreWare Internet Services)
メディア保存	<input type="checkbox"/> USB フラッシュメモリー	_____
	<input type="checkbox"/> 宛先の登録	DocuScan マネージャー (または CentreWare Internet Services)

参照

- スキャンのための準備：「1 スキャナー環境の設定」(P. 13)、『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「2 スキャンの準備」

Step2 原稿やメディアをセットする



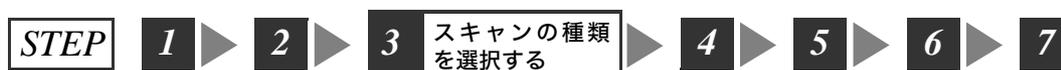
原稿ガラスまたは自動原稿送り装置に、原稿をセットします。

メディア保存の場合は、USB フラッシュメモリーを本機の USB コネクターにセットします。

参照

- ・ 原稿のセット方法：「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
- ・ USB フラッシュメモリーのセット方法：「3.6 メディアに保存する」(P. 88)

Step3 スキャンの種類を選択する



スキャンデータを保存する場所に応じて、スキャンの種類をメニューから選択します。次の3種類があります。

PC 保存

スキャンデータを、SMB または FTP プロトコルを使ってネットワーク上のコンピューターに保存します。

参照

- ・ 詳しい操作方法：「3.4 PC に保存する」(P. 66)

メール送信

スキャンデータを、メールに添付して送信します。

参照

- ・ 詳しい操作方法：「3.5 メールで送信する」(P. 79)

メディア保存

スキャンデータを、USB フラッシュメモリーに保存します。

参照

- ・ 詳しい操作方法：「3.6 メディアに保存する」(P. 88)

1. 操作パネルの〈PC 保存〉 / 〈メール送信〉ボタン、または [メニュー] 画面の [PC 保存] / [メニュー送信] / [メディア保存] を押します。

補足

- ・ 操作パネルの機能ボタンの動きは、変更することができます。変更方法については、「登録ボタン 1 ～ 3」(P. 182) を参照してください。
- ・ 暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、[確定] を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 186) を参照してください。
- ・ 機能が使用禁止の設定になっている場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。機能の使用許可 / 禁止の設定方法は、「機能の使用許可」(P. 185) を参照してください。



2. 保存先などを設定します。
設定を行う画面は、[PC 保存] の場合は [PC 保存先] 画面、[メール送信] の場合は [メール宛先] 画面、[メディア保存] の場合は [保存先] 画面です。



補足

- ・ 前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと初期値に戻ります。

Step4 スキャン条件を設定する



原稿の画質、出力ファイル形式などを、必要に応じて設定します。
設定画面は、2種類あります。

基本スキャン

原稿を読み取るときの色、画質、濃度や、スキャンデータのファイル形式を設定します。

参照

- ・ 詳しい操作方法：「3.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 95)

その他

原稿を読み取るときのサイズ、倍率などを設定します。

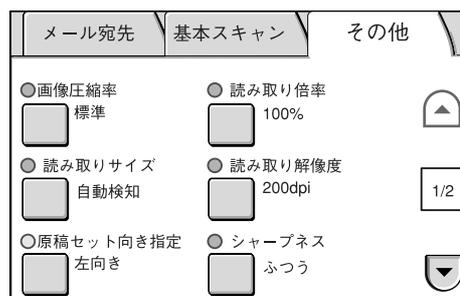
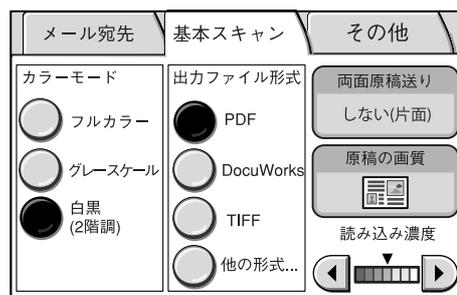
参照

- ・ 詳しい操作方法：「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)

1. [基本スキャン] タブまたは [その他] タブを押して各画面を表示し、設定します。

補足

- ・ 前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと初期値に戻ります。



Step5 スキャンを開始する



スキャン条件の設定が終わったら、スキャンを開始できます。

初期設定では、「Step3 スキャンの種類を選択する」(P. 56) で保存先などを設定した画面 ([メール宛先] / [PC 保存先] / [保存先]) に戻ってから、スキャンを開始する設定になっています。

なお、[仕様設定] で [スタート可能画面] の設定を [制限しない] に変更すると、スキャン条件の設定が完了していれば、どの画面でもスキャンを開始できます。

注記

- ・ [スタート可能画面] の設定で [制限しない] に設定している場合でも、宛先表の検索画面だけは、スキャンを開始できません。

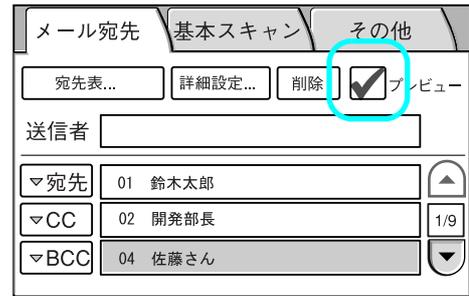
参照

- ・ スタート可能画面の設定：「スタート可能画面」(P. 222)

スキャンの前にプレビューを表示して、スキャンの内容を確認してから開始することができます。

ここでは、プレビューを表示してから、スキャンを開始する操作を説明します。

1. プレビューを表示する場合は[プレビュー]の□を押してチェックを付けます。



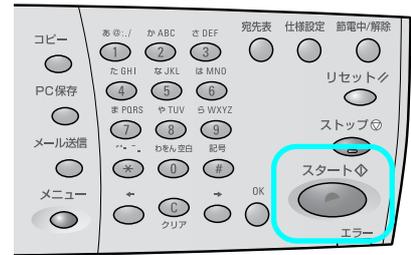
2. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

注記

- ・自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。

補足

- ・問題が発生すると、タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。エラーコードが表示された場合は、「9.6 エラーコード」(P. 285)を参照して対処してください。
- ・保存先 / 送信先の状態を確認後、読み込みを開始するので、読み込み開始まで時間がかかることがあります。



プレビュー

[プレビュー] の□にチェックを付けた場合、〈スタート〉ボタンを押すと、スキャン画像がプレビュー表示され、内容を確認できます。

補足

- ・細かい線は、プレビューで表示されない場合がありますが、保存時は、スキャンされた内容どおりに細かい線も保存されます。

1. プレビュー画面で、画像を確認します。

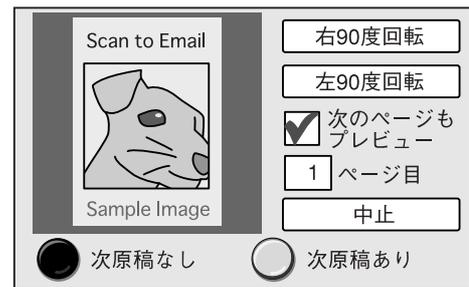
右 90 度回転 / 左 90 度回転

画像を回転して保存できます。

回転は、以降、すべてのページに反映されます。

補足

- ・出力ファイル形式が PDF または DocuWorks 文書の場合に回転できます。
- ・両面原稿の場合、おもてページ、うらページごとに回転の設定ができます。たとえば、おもてページに回転の設定をした場合、以降のおもてページすべてに反映されます。うらページには反映されません。



次のページもプレビュー

次のページもプレビューする場合は、チェックを付けます。

中止

スキャンを中止します。

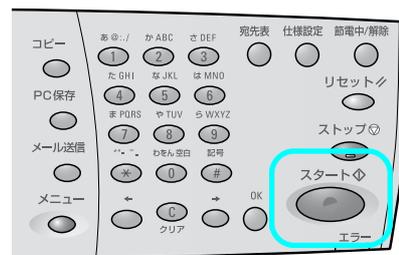
次原稿なし / 次原稿あり

次の原稿があるか、ないかを設定します。

- 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。原稿の読み込みが開始します。

補足

- 保存先 / 送信先の状態を確認後、読み込みを開始するので、読み込み開始まで時間がかかることがあります。



次の原稿があるとき

セットした原稿に続けて、ほかの原稿を同じジョブとしてスキャンしたい場合、最初の原稿を読み込み中に、タッチパネルディスプレイに表示される画面の「次原稿あり」を押します。

最大 500 ページまで読み込めます。

注記

- 原稿ガラスでスキャンしたあと、「次原稿あり」で (1 つのジョブとして) 自動原稿送り装置からスキャンすることはできません。また、自動原稿送り装置からスキャンしたあと、「次原稿あり」で (1 つのジョブとして) 原稿ガラスからスキャンすることはできません。

補足

- 自動原稿送り装置には、原稿を一度に 50 枚ずつ (50 枚単位+端数) セットできます。原稿枚数が、50 枚以上の場合、「次原稿あり」を使って、スキャンデータをまとめて 1 つにすることができます。
- 500 ページを超えた場合は、その旨を知らせるメッセージが表示され、それ以降の読み取りは、ジョブが終了するまで、できなくなります。500 ページを超えた残りの原稿は、500 ページまでのジョブの終了後、次のジョブとして、スキャンし直してください。

- 原稿を読み込み中に、「次原稿あり」を選択します。

補足

- 送信先のアドレスを表示したくない場合は、仕様設定で「個人情報の表示」を「しない」に設定します。詳しくは、「個人情報の表示」(P. 191) を参照してください。



最初にセットした原稿の読み込みが完了すると、メッセージが変わります。

補足

- 一定時間何も操作しないと、自動的に次の原稿がないと判断され、「次原稿なし」を押したときと同様に、読み込んだデータが、保存または送信されます。

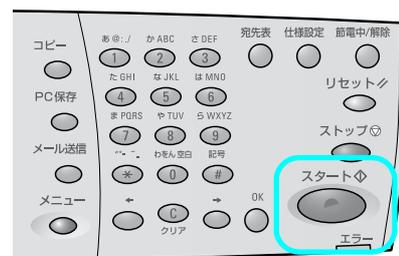
- 次の原稿をセットします。

参照

- 原稿のセット方法：「2.5 原稿をセットする」(P. 48)



3. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。さらに次の原稿があるときは、原稿のセットと〈スタート〉ボタンを押す操作を繰り返します。



4. すべての原稿を読み込んだら、[次原稿なし]を選択します。

Step6 ジョブの状態を確認する



必要に応じて、正常にスキャンされたかどうかを確認します。

[メニュー] 画面で [ジョブ確認] を押すと、[ジョブ実行完了] 画面が表示されます。

参照

- ・「6 ジョブを確認する」(P. 168)

Step7 スキャンデータを利用する



PC 保存

指定したコンピューターに、スキャンデータが保存されます。

補足

- ・ 付属のソフトウェア DocuScan マネージャーを使ってスキャンした画像を編集する場合、保存先フォルダーを DocuScan マネージャーに設定しておく便利です。

参照

- ・ DocuScan マネージャーのインストール方法：『ソフトウェアパック操作ガイド』
- ・ DocuScan マネージャーの基本的な操作方法：「8 DocuScan マネージャーを使用する」(P. 228)
- ・ DocuScan マネージャーの詳しい操作方法：DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ

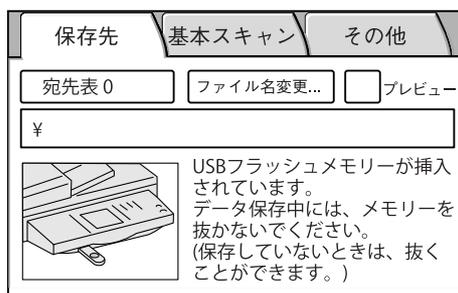
メール送信

指定したメールアドレスに、スキャンデータが送信されます。メールアプリケーションでメールを受信すると、受信したメールにスキャンデータが添付されています。

メディア保存

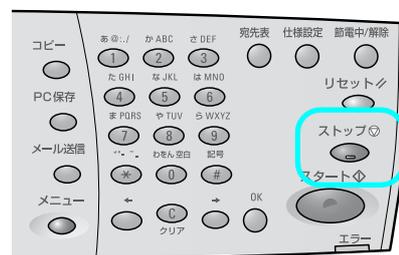
USB フラッシュメモリーに、スキャンデータが保存されます。

この画面が表示されているときは、メディアを取り外すことができます。

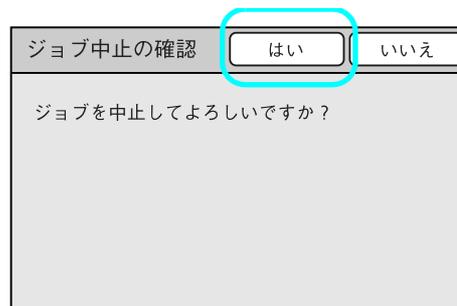


3.2 スキャンを中止する

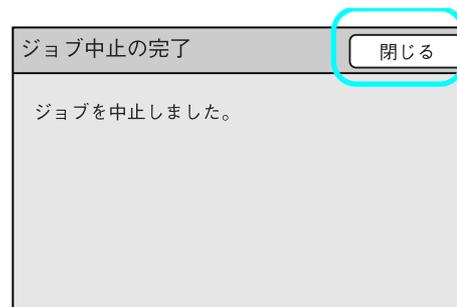
1. 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。
中止確認のメッセージが表示されます。



2. [はい] を押します。
中止操作完了のメッセージが表示されます。



3. [閉じる] を押します。



3.3 スキャン設定項目一覧

スキャン操作で設定できる項目は、以下のとおりです。

■ PC 保存

画面	項目	参照先
PC 保存先	宛先表	「保存先を宛先表を使って設定する」 (P. 68)
	ファイル名変更	「ファイル名を設定する」 (P. 73)
	プレビュー	「プレビュー」 (P. 59)
	SMB/FTP	「転送プロトコルを設定する」 (P. 69)
	サーバー	「サーバーを設定する」 (P. 69)
	共有名	「共有名を設定する (SMB の場合)」 (P. 70)
	保存場所	「保存場所を設定する」 (P. 71)
	ユーザー名	「ユーザー名を設定する」 (P. 71)
	パスワード	「パスワードを設定する」 (P. 73)
ファイル名変更	ファイル名	「ファイル名を設定する」 (P. 73)
	スキャン開始日付 / 時刻	「スキャン開始日付 / 時刻を設定する」 (P. 74)
	詳細設定	「ファイル名の詳細設定をする」 (P. 75)
詳細設定	フォルダー作成	「フォルダー作成」 (P. 75)
	ファイル名重複時の処理	「ファイル名重複時の処理」 (P. 76)
	機器の識別情報	「機器の識別情報」 (P. 77)

■ メール送信

画面	項目	参照先
メール宛先	宛先表	「宛先を設定する」 (P. 81)
	詳細設定	「件名 / コメントなどを設定する」 (P. 83)
	削除	「宛先を設定する」 (P. 81) 「送信者を設定する」 (P. 83)
	プレビュー	「プレビュー」 (P. 59)
	送信者	「送信者を設定する」 (P. 83)
	宛先	「宛先を設定する」 (P. 81)
詳細設定	件名	「件名 / コメントなどを設定する」 (P. 83)
	返信先アドレス	
	ファイル名	
	コメント	

■ メディア保存

画面	項目	参照先
保存先	宛先表	「保存先のパスを宛先表を使って設定する」(P. 90)
	ファイル名変更	「ファイル名を設定する」(P. 91)
	プレビュー	「プレビュー」(P. 59)
	パス	「保存先のパスを文字入力で設定する」(P. 90)
ファイル名変更	ファイル名	「ファイル名を設定する」(P. 91)
	スキャン開始日付 / 時刻	「スキャン開始日付 / 時刻を設定する」(P. 92)
	詳細設定	「ファイル名の詳細設定をする」(P. 92)
詳細設定	フォルダー作成	「フォルダー作成」(P. 92)
	ファイル名重複時の処理	「ファイル名重複時の処理」(P. 93)

■ スキャン条件

画面	項目	参照先
基本スキャン	カラーモード	「カラーモード (スキャンする色を選択する)」(P. 96)
	出力ファイル形式	「出力ファイル形式 (スキャンデータのファイル形式を選択する)」(P. 97)
	両面原稿送り	「両面原稿送り (原稿の両面をスキャンする)」(P. 98)
	原稿の画質	「原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)」(P. 100)
	読み込み濃度	「読み込み濃度 (原稿の読み込み濃度を調整する)」(P. 102)

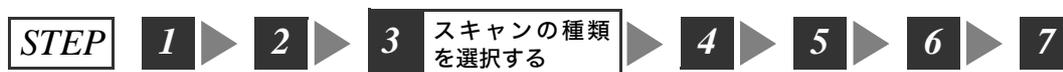
画面	項目	参照先
その他	読み取りサイズ	「読み取りサイズ (原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする)」 (P. 104)
	読み取り倍率	「読み取り倍率 (原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする)」 (P. 107)
	読み取り解像度	「読み取り解像度 (読み取る解像度を指定してスキャンする)」 (P. 108)
	画像圧縮率	「画像圧縮率 (画像の圧縮率を指定してスキャンする)」 (P. 104)
	原稿セット向き指定	「原稿セット向き指定 (セットした原稿の向きを指定する)」 (P. 106)
	シャープネス	「シャープネス (画像のシャープさを調整する)」 (P. 109)
	コントラスト	「コントラスト (コントラストを調整する)」 (P. 110)
	わく消し	「わく消し (原稿の枠やとじしろの影を消してスキャンする)」 (P. 111)
	地色除去	「地色除去 (原稿の下地を除去する)」 (P. 112)
	ミックスサイズ原稿送り ^{*1}	「ミックスサイズ原稿送り (サイズが異なる原稿を一度に読み取る) (DocuScan C4260 のみ)」 (P. 113)

*1 この項目は、DocuScan C3210 にはありません。

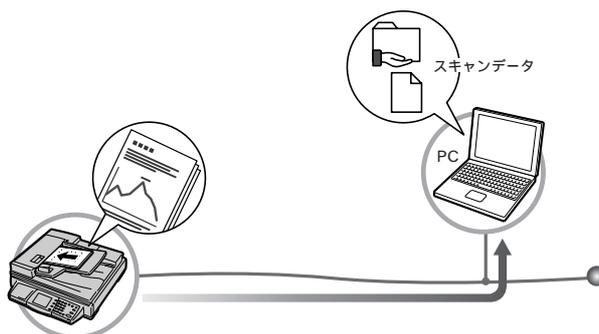
3.4 PC に保存する

スキャンデータを PDF、DocuWorks 文書、TIFF、または JPEG ファイルに変換し、SMB や FTP のプロトコルを使ってネットワーク上のコンピューターに保存する場合の、固有の操作を説明します。

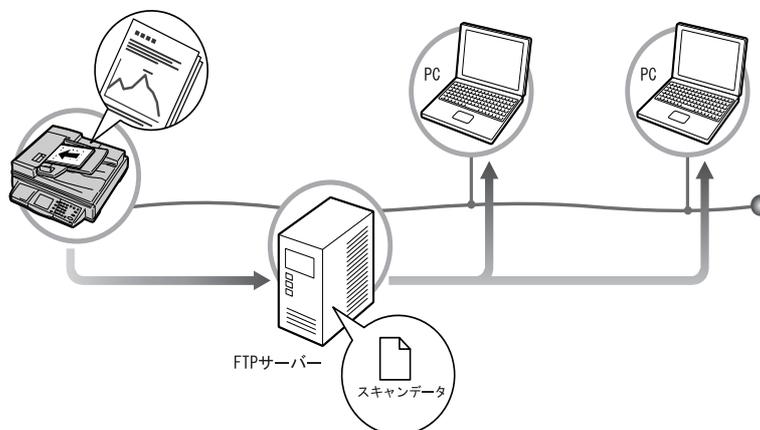
「3.1 スキャン操作の流れ」の「Step3 スキャンの種類を選択する」(P. 56) の操作です。



自分のコンピューターに取り込みたいときは、SMB で手軽に保存できます。



また、スキャンデータを複数のユーザーで共有したいときなど、FTP サーバーに保存して利用できます。



操作のポイント

PC 保存の準備

PC 保存をするには、あらかじめ次の準備が必要です。

- SMB の場合、保存先コンピューターに共有フォルダーを作成する
保存先のコンピューターで行います。
- FTP の場合、保存先コンピューターに保存先フォルダーを作成する
保存先のコンピューターで行います。
- IP アドレスの取得方法、IP アドレスを設定する
操作パネルで行います。
- 保存先が Mac OS X の場合、必要な設定を行う
保存先のコンピューターで行います。

補足

- ・上記のほかに、CentreWare Internet Services での設定が必要な場合があります。詳しくは、「1 スキャナー環境の設定」(P. 13) を参照してください。

参照

- ・SMB の場合の共有フォルダーの作成：「1.6 PC 保存の環境を設定する」(P. 20)
- ・FTP の場合の保存先フォルダーの作成：各 OS のオンラインヘルプ
- ・IP アドレスの取得方法、IP アドレスの設定方法：『セットアップ & クイックリファレンスガイド』
「1 スキャナーの設置」
- ・Mac の場合の設定：「1.6 PC 保存の環境を設定する」(P. 20)

保存先の設定方法

PC 保存するサーバー名 (IP アドレス) / 共有名 / 保存場所 / ユーザー名 / パスワードの設定方法は、次の 2 通りがあります。

- ・あらかじめ宛先としてスキャナー内の宛先表に登録し、操作パネル上で選択する
- ・操作パネルの数字ボタンで、直接入力する

宛先表で設定した内容は、操作パネルの数字ボタンを使って修正することもできます。

宛先表のデータは、DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で登録しておきます。

補足

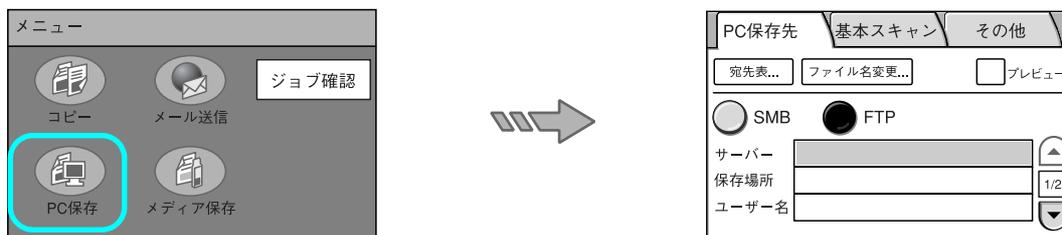
- ・仕様設定で、[保存先の直接入力] を [禁止する] に設定している場合は、操作パネル上での直接入力
はできません。
- ・宛先表に登録する宛先には、保存先のほかに、ファイル名やスキャン条件など (スキャンの定型設定)
を設定できます。

参照

- ・文字入力の方法：「2.2 文字の入力方法」(P. 40)
- ・各項目の入力制限などについての詳細：「宛先を登録するには」(P. 151)
- ・宛先表について：「5 宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 150)
- ・保存先の直接入力の設定：「保存先の直接入力」(P. 222)
- ・DocuScan マネージャーのインストール方法：『ソフトウェアバック操作ガイド』
- ・DocuScan マネージャーの基本的な操作方法：「8 DocuScan マネージャーを使用する」(P. 228)
- ・DocuScan マネージャーの詳しい操作方法：DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・CentreWare Internet Services の使用方法：「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナー
を設定する」(P. 15)
- ・CentreWare Internet Services での宛先 / 件名 / コメントの設定方法：CentreWare Internet
Services のオンラインヘルプ

PC 保存の設定をする

操作パネルの〈PC 保存〉ボタンを押す、または〔メニュー〕画面で、〔PC 保存〕を選択すると、PC 保存画面の〔PC 保存先〕画面が表示されます。

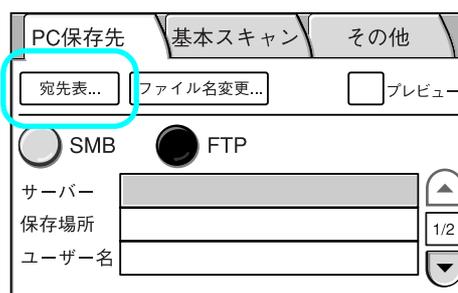


補足

- 機能の暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、〔確定〕を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 186)を参照してください。
- 機能が使用禁止の設定になっている場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。機能の使用許可 / 禁止の設定方法は、「機能の使用許可」(P. 185)を参照してください。
- 〔PC 保存先〕画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、〔仕様設定〕で変更できます。〔仕様設定〕については、「7仕様設定」(P. 170)を参照してください。

保存先を宛先表を使って設定する

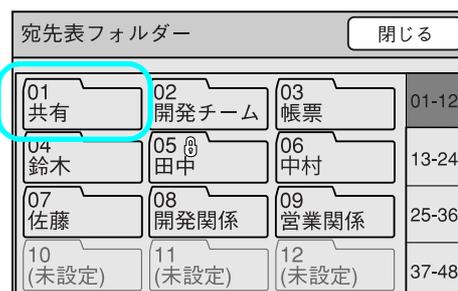
1. 〔PC 保存先〕画面で、〔宛先表...〕を押します。



2. 〔宛先表フォルダー〕画面で、指定したい宛先が登録されているフォルダーを選択します。

補足

- 〔仕様設定〕の〔宛先表初期画面〕で〔宛先表を表示する〕を選択している場合は、この画面は表示されません。〔宛先表...〕を押すと、フォルダーを選択したあとの〔宛先表〕画面に進みます。
- フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。
- 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されます。



3. 〔宛先表〕画面で、保存先を選択します。

補足

- 〔検索...〕を押すと宛先を検索できます。また、〔詳細情報...〕を押すと、選択されている宛先の詳細情報を表示できます。操作方法は、「5宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 150)を参照してください。
- 〔フォルダーへ〕を押すと、選択を取り消して〔宛先表フォルダー〕画面に戻ります。



4. 〔閉じる〕を押します。

5. [PC 保存先] 画面に戻ります。

補足

- ・ 設定された宛先を修正することもできます。

保存先を文字入力で設定する

設定された保存先を修正する場合も、ここで説明する方法で操作します。

補足

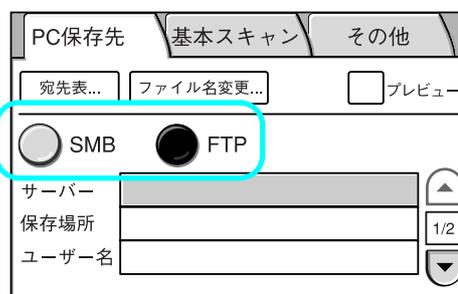
- ・ 宛先表で設定した保存先を操作パネルで修正しても、宛先表の内容は修正されません。
- ・ 仕様設定で、[保存先の直接入力] を [禁止する] に設定している場合、操作パネル上での直接入力はできません。

■ 転送プロトコルを設定する

スキャナーからスキャンデータを転送するときの方法を選択します。

スキャンデータを、Windows の共有フォルダーに保存する場合は [SMB]、FTP サーバーに保存する場合は [FTP] を選択します。

1. [SMB] または [FTP] のどちらかを押し
ます。



■ サーバーを設定する

スキャンデータを保存するコンピューターのコンピューター名（サーバー名）、または IP アドレスを設定します。

この項目は、必ず設定します。

入力する場合は、以下の規則に従います。

- ・ 次の形式で設定します。

FQDN 形式

例: pcname.example.com

コンピューター名 (NetBIOS 名)

例: pcname

DNS ホスト名

例: pcname

IP アドレス

例: 192.168.1.100

- ・ 半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、64 文字以内で設定します。
- ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。

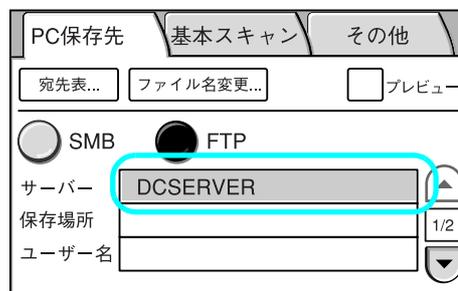
補足

- FTP の場合の設定値については、システム管理者にお問い合わせください。
- お使いのコンピューター名は、Windows の [マイコンピュータ] の [プロパティ] で確認できます。Windows XP は [コンピュータ名] タブの [変更] の [コンピュータ名] です。Windows 2000 は [ネットワーク ID] タブの [プロパティ] の [コンピュータ名] です。その他の OS については、各 OS のオンラインヘルプを参照してください。
- FQDN 形式で設定する場合、CentreWare Internet Services で、[プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DNS] の [DNS サーバーアドレス] が設定されている必要があります。
- コンピューター名 (NetBIOS 名) が指定できるのは [転送プロトコル] が SMB の場合です。
- SMB で、ほかのサブネット上のコンピューター名を設定する場合で、WINS サーバーを使用するときは、CentreWare Internet Services で、[プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [WINS] の [WINS サーバーアドレス] が設定されている必要があります。
- DNS ホスト名で設定する場合、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DNS] の [DNS サーバーアドレス] / [DNS ドメイン名] で設定されているドメインに、保存先が属している必要があります。
- SMB で、DNS ホスト名で設定する場合、スキャナーと同一サブネット上に、この DNS ホスト名と同じコンピューター名 (NetBIOS 名) を使用しているコンピューターが存在するときは、コンピューター名を使用するコンピューターに対してファイル送信します。

参照

- お使いのコンピューターの IP アドレス：「9.7 こんなときには Q & A」(P. 300)

1. [サーバー] の入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンでサーバー名またはサーバーの IP アドレスを入力します。



■ 共有名を設定する (SMB の場合)

[SMB] を選択した場合に表示される項目です。スキャンデータを保存する共有フォルダーの、共有名を設定します。この項目は、必ず設定します。

入力する場合は、以下の規則に従います。

- 全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内で設定します。
- 制御文字 (改行など) は、使用できません。

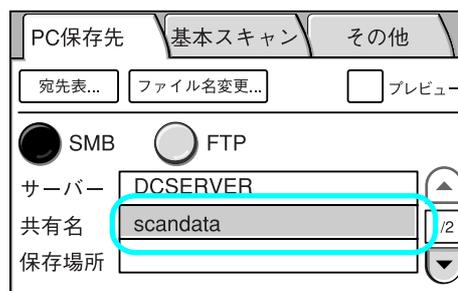
補足

- 共有名は、事前に作成した共有フォルダーの [プロパティ] で確認できます。[共有] タブの [共有名] です。

参照

- 共有フォルダーの作成方法：「1.6 PC 保存の環境を設定する」(P. 20)

1. [共有名] の入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンで共有名を入力します。



■ 保存場所を設定する

スキャンデータを保存するフォルダーの名前を設定します。

[SMB] の場合、事前に作成した共有フォルダー下のフォルダーを設定します。[FTP] の場合、ログインするフォルダー下のフォルダーを設定します。

この項目の設定は、省略できます。省略すると、[SMB] の場合、[共有名] で設定した共有フォルダーの直下にスキャンデータが保存されます。[FTP] の場合、ログインするフォルダーの直下に保存されます。

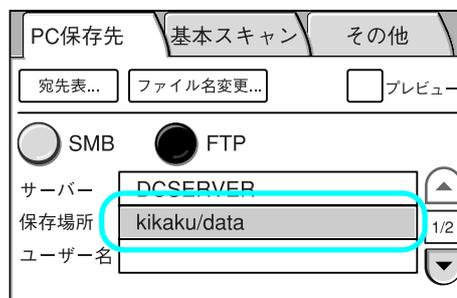
入力する場合は、以下の規則に従います。

- ・ 全角文字の場合は 48 文字以内、半角文字の場合は 96 文字以内で設定します。
- ・ 制御文字（改行など）は、使用できません。
- ・ FTP の場合は「パス 1/パス 2」、SMB の場合は「パス 1¥パス 2」のような形式で設定します。

補足

- ・ FTP の場合、FTP サーバーが Mac OS X のときは、全角文字は使用できません。

1. [保存場所] の入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンで保存先フォルダーのパス名を入力します。



■ ユーザー名を設定する

スキャンデータを保存するコンピューターおよびフォルダーに対して、アクセス権をもつユーザーを設定します。

この項目は、必ず設定します。

次のいずれかの形式で設定します。

■ ローカルユーザー名

- ・ 半角の英数字記号（ASCII 文字）で、97 文字以内で設定します。
- ・ 制御文字（改行など）、および次の文字は使用できません。
： “ * + , / : ; < = > ? [¥] | ”
- ・ 先頭または末尾に、半角スペースは使用できません。
- ・ 「. (ピリオド)」だけの文字列は、設定できません。

参照

- ・ お使いのローカルユーザー名の確認方法は、Windows のオンラインヘルプ、または Mac ヘルプを参照してください。

■ NetBIOS 形式ドメインユーザー

Windows NT Server のドメインコントローラー環境下のネットワーク上にあるコンピュータの共有フォルダーに PC 保存 (SMB) する場合は、ユーザー名を「ドメイン名 ¥ ユーザー名」の形式で指定します。

例： domain¥user

「ドメイン名」「ユーザー名」には次の制限があります。

- ・ 制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。
： “ * + , / : ; < = > ? [¥] | ”
- ・ 先頭または末尾に、半角スペースは使用できません。
- ・ 「. (ピリオド)」だけの文字列は、設定できません。
- ・ ユーザー名は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、32 文字以内で設定します。
- ・ ドメイン名は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、64 文字以内で設定します。

補足

- ・ Windows Server 2003、Windows 2000 Server の Active Directory 環境下でも、この形式で指定できます。

■ UPN 形式ドメインユーザー

本機は、Active Directory に対応しています。

Windows Server 2003、Windows 2000 Server の Active Directory 環境下のネットワーク上にあるコンピュータの共有フォルダーに PC 保存 (SMB) する場合は、ユーザー名を「ユーザー名 @ ドメイン名」の形式で指定します。

例： user@domain1.domain2

- ・ ドメイン名に、制御文字 (改行など)、スペース、および次の文字は使用できません。
! " # \$ % & ' () * + , / : ; < = > ? @ [¥] ^ ` { | } ~
- ・ ユーザー名は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、32 文字以内で設定します。
- ・ ドメイン名は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、64 文字以内で設定します。

補足

- ・ UPN 形式のユーザー名は、お使いのネットワーク環境のシステム管理者に確認してください。
- ・ 本機は、SMB 署名にも対応しているので、デジタル署名を付与した SMB 通信を要求するサーバーに対しても、PC 保存 (SMB) できます。

1. [ユーザー名] の入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンでユーザー名を入力します。

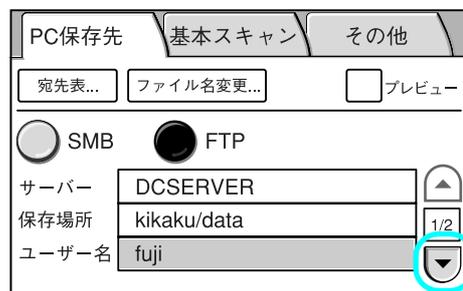
The screenshot shows a software interface for PC save settings. At the top, there are three tabs: 'PC保存先' (selected), '基本スキャン', and 'その他'. Below the tabs are three buttons: '宛先表...', 'ファイル名変更...', and 'プレビュー'. There are two radio buttons for 'SMB' (selected) and 'FTP'. Below these are three input fields: 'サーバー' (DCSERVER), '保存場所' (kikaku/data), and 'ユーザー名' (fuji). The 'ユーザー名' field is highlighted with a red rectangle. To the right of the '保存場所' and 'ユーザー名' fields are up/down arrow buttons and a '1/2' indicator.

■ パスワードを設定する

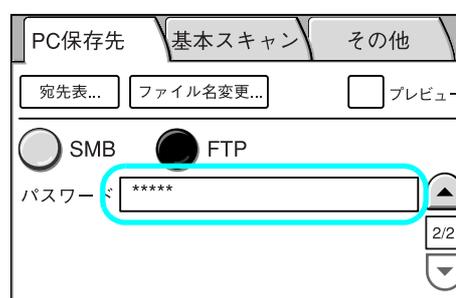
[ユーザー名] で指定したユーザーにパスワードが設定されている場合、そのパスワードを設定します。

半角の英数字記号（ASCII 文字）で、32 文字以内で設定します。

1. [PC 保存先] 画面右側にある [▼] を押して [パスワード] の入力欄を表示します。



2. [パスワード] の入力欄を押します。
3. 操作パネルの数字ボタンでパスワードを入力します。



ファイル名を設定する

[PC 保存先] 画面で [ファイル名変更...] を押すと、[ファイル名変更] 画面が表示されます。保存するスキャンデータのファイル名を設定できます。



■ ファイル名

スキャンデータのファイル名を設定します。

設定しないと、自動的に次の規則でファイル名が設定されます。

- ・ 先頭に「img-」が付き、保存時の日時を表す9桁の数字が続きます。
ただし、10月は「X」、11月は「Y」、12月は「Z」になります。

例： img-102030400 (1月02日03時04分00秒)
img-X11123045 (10月11日12時30分45秒)

入力する場合は、以下の規則に従います。

- ・ 全角文字の場合は10文字以内、半角文字の場合は20文字以内で設定します。
- ・ 全角ひらがな / カタカナ、半角英数字、記号が使用できます。
- ・ 次の文字使用できません。
* " / ¥ < > : | ? = , . ; [] +

補足

- ・ [スキャン開始日付 / 時刻] が、[付けない] に設定されている場合でも、[ファイル名] が [(自動設定)] に設定されているときは、自動設定されたファイル名の末尾に上記の規則の日付時刻が続きます。
- ・ 全角文字を使用すると、お使いのSMBサーバーまたはFTPサーバーのOSが全角文字に対応していない場合、保存したファイルのファイル名が文字化けする可能性があります。SMBサーバー、FTPサーバーの対応OSについては、「スキャナーの主な仕様」(P. 316)を参照してください。
- ・ FTPの場合、FTPサーバーがMac OS Xのときは、全角文字は使用できません。

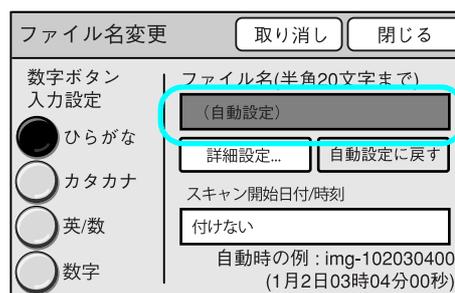
1. [ファイル名変更] 画面で、[ファイル名] の入力欄を押します。

2. 操作パネルの数字ボタンでファイル名を入力します。

補足

- ・ [自動設定に戻す] を押すと、ファイル名は初期値に戻ります。

3. [閉じる] を押します。



スキャン開始日付 / 時刻を設定する

ファイル名の末尾に付加するスキャンの開始日付 / 時刻を設定します。

[ファイル名] を指定しないで、[スキャン開始日付 / 時刻] だけを指定することもできます。その場合、[スキャン開始日付 / 時刻] で指定した数字だけのファイル名になります。

日付

日付の書式を [年月日]、[月日年]、[日月年] から選択します。日付を付けない場合は、[付けない] を選択します。

時刻

時刻の書式を [時分秒]、[時分] から選択します。日付を付けない場合は、[付けない] を選択します。

1. 【ファイル名変更】画面で、【スキャン開始日付 / 時刻】 を押します。

2. 【スキャン開始日付 / 時刻】画面で、【日付】の書式を押します。日付を付けない場合は、【付けない】を押します。
3. 【時刻】の書式を押します。時刻を付けない場合は、【付けない】を押します。
4. 【閉じる】を押します。

ファイル名の詳細設定をする

【ファイル名変更】画面で【詳細設定...】を押すと、【詳細設定】画面が表示されます。スキャンデータを保存するフォルダーの作成、ファイル名重複時の処理の設定、ファイル名の末尾に機器の識別情報を付加する設定ができます。

■ フォルダー作成

【保存場所】で設定されている保存先フォルダーの直下に、PC 保存時に新規のフォルダーを作成するかどうかを設定します。スキャンデータは、作成したフォルダーに保存されません。

フォルダー名は、ファイル名の設定と同じ規則で設定されます。

参照

- ・ ファイル名の設定：「ファイル名を設定する」(P. 73)

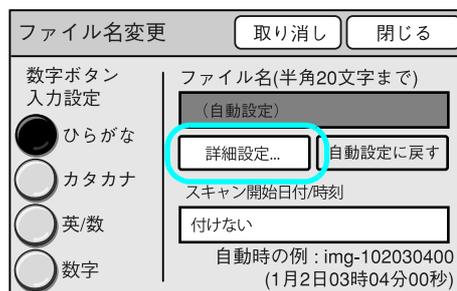
【自動】を選択すると、スキャンデータが次のファイル形式のときだけ、フォルダーを作成します。

- ・ TIFF
- ・ JPEG
- ・ PDF (1 ページ 1 ファイル)
- ・ DocuWorks (1 ページ 1 ファイル)

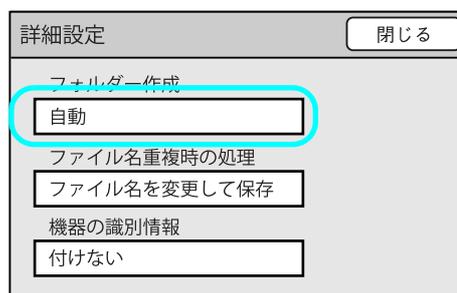
[しない] (作成しない) を選択すると、スキャンデータのファイル形式にかかわらず、フォルダーは作成しません。

[する] (作成する) を選択すると、スキャンデータのファイル形式にかかわらず、フォルダーを作成します。フォルダー名は、[自動] の場合と同じ規則で設定されます。

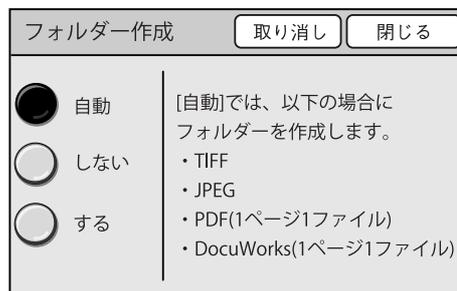
1. [ファイル名変更] 画面で、[詳細設定...] を押します。



2. [詳細設定] 画面で、[フォルダー作成] を押します。



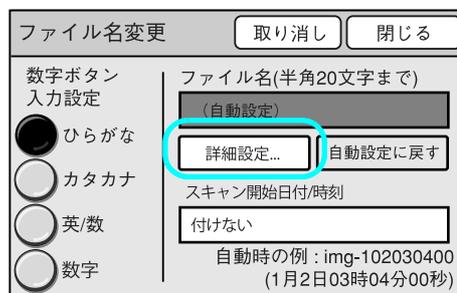
3. [フォルダー作成] 画面で、[自動]、[しない]、[する] のいずれかを押します。
4. [閉じる] を押します。
5. [閉じる] を押します。



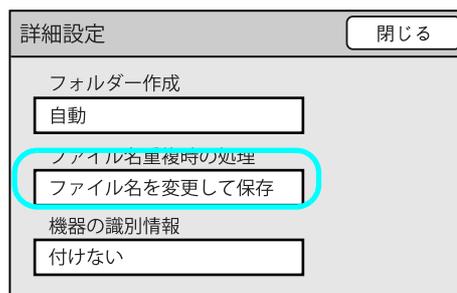
■ ファイル名重複時の処理

同じファイル名のファイルが保存先に存在するときの処理方法を設定します。

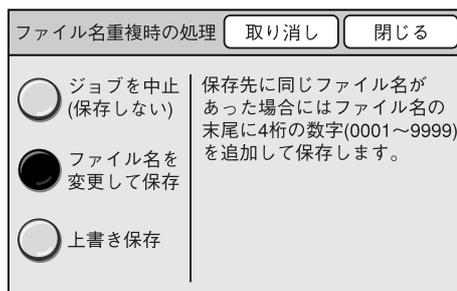
1. [ファイル名変更] 画面で、[詳細設定...] を押します。



2. [詳細設定] 画面で、[ファイル名重複時の処理] を押します。



3. [ファイル名重複時の処理] 画面で、[ジョブを中止 (保存しない)]、[ファイル名を変更して保存]、[上書き保存] のいずれかを押します。
 [ジョブを中止 (保存しない)] の場合は、保存先に同じ名前のファイルがあると、処理を中止して、保存しません。
 [ファイル名を変更して保存] の場合は、保存先に同じ名前のファイルがあった場合に、自動的にファイル名の末尾に 0001 ~ 9999 の数字を追加して保存します。
 [上書き保存] の場合は、保存先の同じ名前のファイルを上書きします。



4. [閉じる] を押します。

5. [閉じる] を押します。

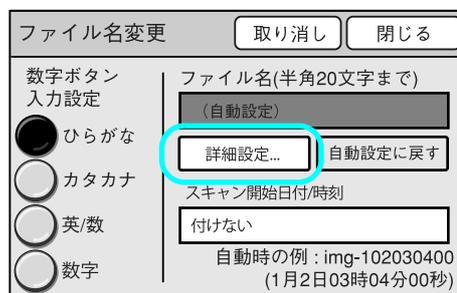
■ 機器の識別情報

ファイル名やフォルダー名の末尾に、スキャナーについての次の識別情報を付加できます。

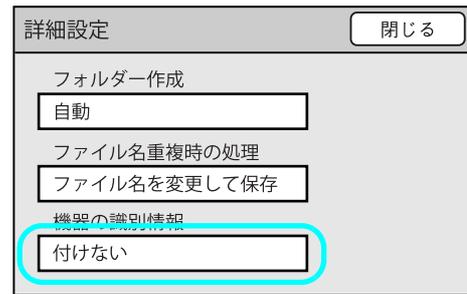
- ・ IP アドレス
- ・ MAC アドレス
- ・ シリアル番号

同じネットワーク上に複数のスキャナーが接続されている場合に、識別情報を付加することによって、ファイルやフォルダーを区別できます。

1. [ファイル名変更] 画面で、[詳細設定...] を押します。



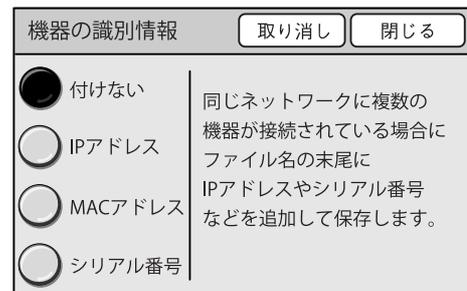
2. [詳細設定] 画面で、[機器の識別情報] を押します。



3. [機器の識別情報] 画面で、[付けない]、[IP アドレス]、[MAC アドレス]、[シリアル番号] のいずれかを押します。

4. [閉じる] を押します。

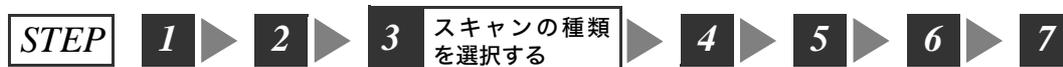
5. [閉じる] を押します。



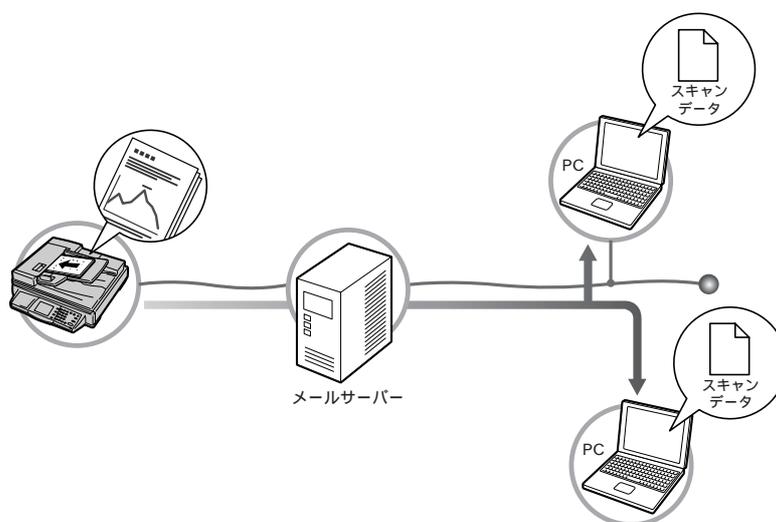
3.5 メールで送信する

スキャンデータを PDF、DocuWorks 文書、TIFF、または JPEG ファイルに変換し、メールで送信する場合の、固有の操作を説明します。

「3.1 スキャン操作の流れ」の「Step3 スキャンの種類を選択する」(P. 56) の操作です。



スキャンデータを、メールに添付して送信できます。手書きの注文表など、ファクスではほかの文書にまぎれてしまうことがありますが、メールなら特定の相手に直接届けられます。



操作のポイント

メール送信の準備

メール送信をするには、あらかじめ次の設定が必要です。

- IP アドレスの取得方法、IP アドレスを設定する

操作パネルで行います。

- メール環境を設定する

CentreWare Internet Services で行います。

参照

- ・ IP アドレスの取得方法、IP アドレスの設定方法：『セットアップ & クイックリファレンスガイド』
「1 スキャナーの設置」
- ・ メール環境の設定：「1.7 メール送信の環境を設定する」(P. 34)

宛先 / 件名 / コメントの設定方法

メールの宛先、件名、コメント（メールの本文）の設定方法は、次の2通りがあります。

- あらかじめスキャナー内の宛先表や登録リストに、宛先、件名、コメントを登録し、操作パネル上で選択する
- 操作パネルの数字ボタンで、直接入力する

宛先表や登録リストで設定した内容は、操作パネルの数字ボタンを使って修正することもできます。

宛先表や登録リストのデータは、DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で登録しておきます。

補足

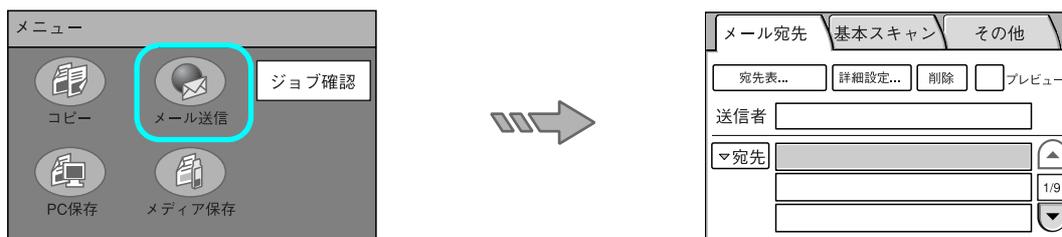
- 仕様設定で、[保存先の直接入力] を [禁止する] に設定している場合、[宛先]、[送信者]、[返信先アドレス] の設定では、操作パネル上での直接入力はできません。
- 宛先表に登録する宛先には、送信先メールアドレスのほかに、ファイル名やスキャン条件など（スキャンの定型設定）を設定できます。

参照

- 文字入力の方法：「2.2 文字の入力方法」(P. 40)
- 各項目の入力制限などについての詳細：「宛先を登録するには」(P. 151)
- 宛先表、登録リストについて：「5 宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 150)
- 保存先の直接入力の設定：「保存先の直接入力」(P. 222)
- DocuScan マネージャーのインストール方法：『ソフトウェアバック操作ガイド』
- DocuScan マネージャーの基本的な操作方法：「8 DocuScan マネージャーを使用する」(P. 228)
- DocuScan マネージャーの詳しい操作方法：DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- CentreWare Internet Services の使用方法：「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)
- CentreWare Internet Services での宛先 / 件名 / コメントの設定方法：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

メールの設定をする

操作パネルの〈メール送信〉ボタンを押す、または [メニュー] 画面で、[メール送信] を選択すると、[メール宛先] 画面が表示されます。



補足

- 機能が暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、[確定] を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 186) を参照してください。
- 機能が使用禁止の設定になっている場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。機能の使用許可 / 禁止の設定方法は、「機能の使用許可」(P. 185) を参照してください。
- [メール宛先] 画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、[仕様設定] で変更できます。[仕様設定] については、「7 仕様設定」(P. 170) を参照してください。

宛先を設定する

スキャンデータを送信する宛先のメールアドレスを設定します。

宛先表から選択、または数字ボタンで入力します。

この項目は、必ず設定します。

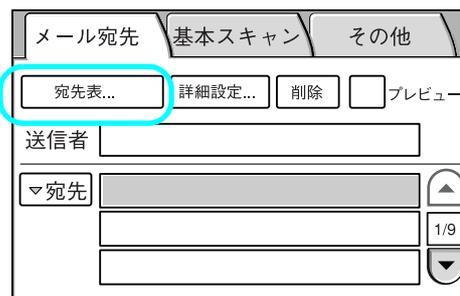
補足

- 宛先は、最大 27 件まで設定できます。

■ 宛先表を使って設定する

宛先表から宛先を選択すると、[宛先名] に設定されている名前が設定されます。

- 宛先の入力欄を選択して、[宛先表...] または操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。



- [宛先表フォルダー] 画面で、指定したい宛先が登録されているフォルダーを選択します。

補足

- 【仕様設定】の【宛先表初期画面】で【宛先表を表示する】を選択している場合は、この画面は表示されません。【宛先表...】を押すと、フォルダーを選択したあとの【宛先表】画面に進みます。
- フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。
- 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されます。



- [宛先表] 画面で、使用する宛先名の を押して、チェックを付けます。

左側に [宛先] が表示されます。

補足

- チェックボックスを押すごとにチェックの有 / 無を切り替えられます。
- 【宛先】を押すと、【宛先】 / 【CC】 / 【BCC】を切り替えることができます。
- 宛先にメール（グループ）を選択した場合、そのメール（グループ）に登録されている【宛先】 / 【CC】 / 【BCC】が、一度に設定されます。メール（グループ）については、「宛先の種別」(P. 151) を参照してください。
- 【検索...】を押すと宛先を検索できます。また、【詳細情報...】を押すと、選択されている宛先の詳細情報を表示できます。操作方法は、「5 宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 150) を参照してください。
- 【フォルダーへ】を押すと、選択を取り消して【宛先表フォルダー】画面に戻ります。



- 必要に応じて、[宛先] を押して [CC] または [BCC] に変更します。
- 同じフォルダー内の宛先に同時に送信する場合は、手順 3～4 を繰り返します。

注記

- 複数のメール（グループ）は、選択できません。1つのメール（グループ）と複数のメール（個人）は、選択できます。



- [確定] を押します。
- 別のフォルダー内の宛先にも送信する場合は、手順 1～6 を繰り返します。

補足

- [メール宛先] 画面で設定内容を取り消す場合は、取り消したい宛先を選択して [削除] を押します。

■ 文字入力で設定する

宛先を文字入力する場合は、以下の規則に従います。

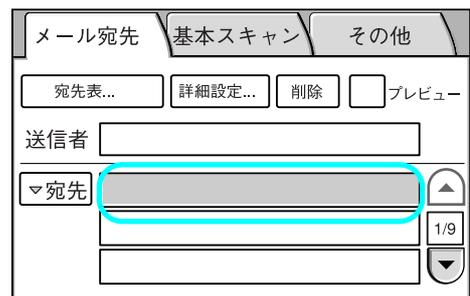
- 半角の英数字記号（ASCII 文字）で、64 文字以内で設定します。
- スペース、制御文字（改行など）、および次の文字は使用できません。
() < > [] ; ¥ , " ' `
- 「@（アットマーク）」が含まれない文字列も設定できます。
- 「@」が 2 つ以上含まれる文字列は設定できません。
- 「@」が含まれる場合は、「@」の前後に 1 文字以上必要です。

設定された宛先を修正する場合も、ここで説明する方法で操作します。

補足

- 宛先表で設定した宛先を操作パネルで修正しても、宛先表の内容は修正されません。
- 仕様設定で、[保存先の直接入力] を [禁止する] に設定している場合、操作パネル上での直接入力はできません。

- 宛先の入力欄を押します。
- 宛先のメールアドレスを入力します。



送信者を設定する

メールの送信者を設定します。宛先表から選択、または数字ボタンで入力します。宛先表から選択すると、[宛先名] に設定されている名前が表示されます。

補足

- ・ スキャナー本体はメールを受信できません。エラー時にメールサーバーから送信者にメールが送られることがあるので、この項目には、スキャナーの機械管理者のメールアドレスなど、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。
- ・ 初期値は、「本体メールアドレス」に設定したアドレスです。
- ・ 「本体メールアドレス」は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [メール] > [本体メールアドレス] で設定します。
- ・ この項目の設定は、削除できます。ただし、お使いの SMTP サーバーの設定によっては、メールの送信時にエラーになります。
- ・ 入力する場合に設定できる文字は、「宛先を設定する」(P. 81) で説明している「宛先」と同じです。

1. [メール宛先] 画面で、[送信者] を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンでメールアドレスを入力します。

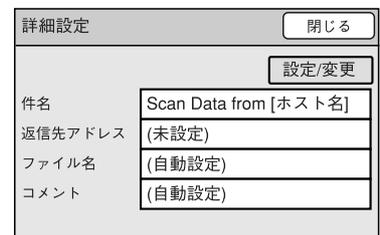
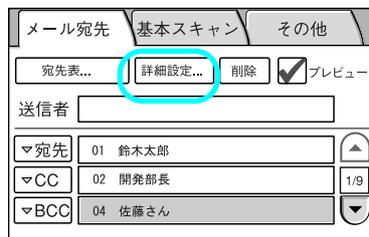
補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[削除] を押します。
- ・ 仕様設定で、[保存先の直接入力] を [禁止する] に設定している場合、操作パネル上での直接入力できません。



件名 / コメントなどを設定する

[メール宛先] 画面で [詳細設定...] を押すと、[詳細設定] 画面が表示されます。メールの件名、返信先のメールアドレス、添付するスキャンデータのファイル名、コメントを設定できます。



■ 件名

スキャンデータを送信するときの、メールの件名を設定します。登録リストから選択、または数字ボタンで入力します。

この項目の設定は省略できます。省略すると初期値になります。工場出荷時の初期値は、「Scan Data from [ホスト名]」です。

入力する場合は、以下の規則に従います。

- ・ 全角文字の場合は 32 文字以内、半角文字の場合は 64 文字以内で設定します。
- ・ 制御文字（改行など）は、使用できません。

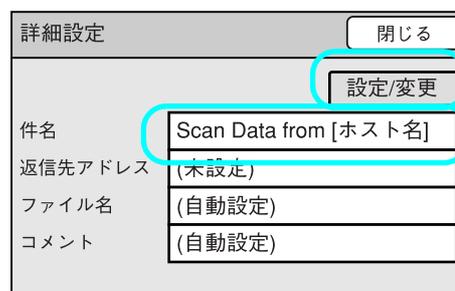
補足

- ・ 件名の初期値は、CentreWare Internet Services の [登録 / 変更] > [件名] > [初期設定の件名番号] で変更できます。

CentreWare Internet Services では、件名の内容を登録できます。[件名] には、CentreWare Internet Services で設定されている [初期設定の件名番号]、[番号]、[内容] から初期値が設定され、表示されます。ただし、[初期設定の件名番号] の値が「0」の場合、および [初期設定の件名番号] に「0」以外の番号が設定されているが、その番号の件名の内容が設定されていない場合、スキャナーによって自動生成される文字列「Scan Data from [ホスト名]」が初期値として表示されます。

- ・ 「Scan Data from [ホスト名]」の [ホスト名] は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [ホスト名] で設定されている内容が使用されます。

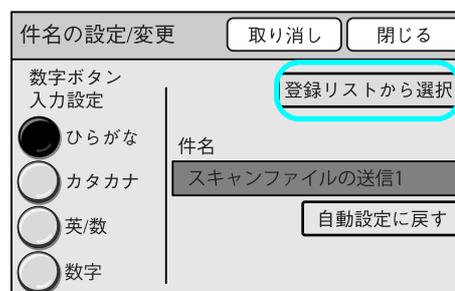
1. [詳細設定] 画面で、[件名] を選択して、[設定 / 変更] を押します。



2. [件名の設定 / 変更] 画面で、[登録リストから選択] を押します。
文字入力の場合は、[件名] の入力欄に件名を入力します。

補足

- ・ [自動設定に戻す] を押すと、件名は初期値に戻ります。



3. [登録リストから選択] 画面で、設定したい件名を選択します。

4. [閉じる] を押します。

5. [件名の設定 / 変更] 画面で、[閉じる] を押します。



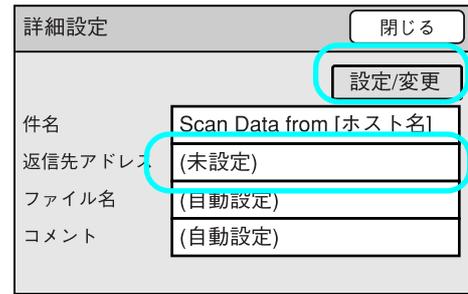
■ 返信先アドレス

スキャンデータを送信するときの、メールに設定する返信先アドレスを設定します。宛先表から選択、または数字ボタンで入力します。宛先表から選択すると、[宛先名] に設定されている名前が表示されます。

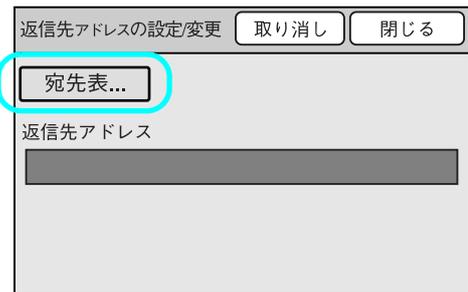
補足

- ・ スキャナー本体はメールを受信できません。エラー時にメールサーバーから返信先アドレスにメールが送られることがあるので、この項目には、スキャナーの機械管理者のメールアドレスなど、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。
- ・ 入力する場合に設定できる文字は、「宛先を設定する」(P. 81) で説明している「宛先」と同じです。

1. [詳細設定] 画面で、[返信先アドレス] を選択して、[設定 / 変更] を押します。



2. [返信先アドレスの設定 / 変更] 画面で、[宛先表...] を押して、宛先を設定します。文字入力の場合は、[返信先アドレス] の入力欄にメールアドレスを入力します。



補足

- ・仕様設定で、[保存先の直接入力] を [禁止する] に設定している場合、操作パネル上での直接入力できません。

参照

- ・宛先の設定方法：「宛先を設定する」(P. 81)

3. [閉じる] を押します。

■ ファイル名

スキャンデータのファイル名を設定します。

設定しないと、自動的に次の規則でファイル名が設定されます。

- ・先頭に「img-」が付き、保存時の日時を表す 9 桁の数字が続きます。ただし、10月は「X」、11月は「Y」、12月は「Z」になります。

例：img-102030400 (1月02日03時04分00秒)
img-X11123045 (10月11日12時30分45秒)

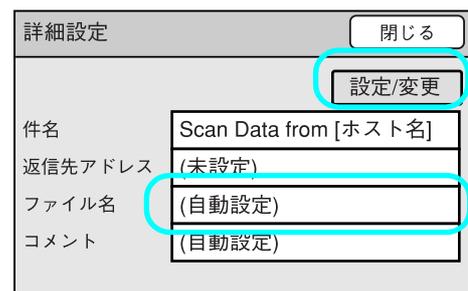
入力する場合は、以下の規則に従います。

- ・全角文字の場合は 10 文字以内、半角文字の場合は 20 文字以内で設定します。
- ・全角ひらがな / カタカナ、半角英数字、記号が使用できます。
- ・次の文字は、使用できません。
* " / ¥ < > : | ? = , . ; [] +

補足

- ・[スキャン開始日付 / 時刻] が、[付けない] に設定されている場合でも、[ファイル名] が [(自動設定)] に設定されているときは、自動設定されたファイル名の末尾に上記の規則の日付時刻が続きます。

1. [詳細設定] 画面で、[ファイル名] を選択して、[設定 / 変更] を押します。



2. [ファイル名の設定 / 変更] 画面で、[ファイル名] の入力欄を押します。
3. 操作パネルの数字ボタンでファイル名を入力します。

補足

- ・ [自動設定に戻す] を押すと、ファイル名は初期値に戻ります。

4. [閉じる] を押します。

スキャン開始日付 / 時刻を設定する

ファイル名の末尾に付加するスキャンの開始日付 / 時刻を設定します。

[ファイル名] を指定しないで、[スキャン開始日付 / 時刻] だけを指定することもできます。その場合、[スキャン開始日付 / 時刻] で指定した数字だけのファイル名になります。

日付

日付の書式を [年月日]、[月日年]、[日月年] から選択します。日付を付けない場合は、[付けない] を選択します。

時刻

時刻の書式を [時分秒]、[時分] から選択します。日付を付けない場合は、[付けない] を選択します。

1. [ファイル名の設定 / 変更] 画面で、[スキャン開始日付 / 時刻] を押します。

2. [スキャン開始日付 / 時刻] 画面で、[日付] の書式を押します。日付を付けない場合は、[付けない] を押します。

3. [時刻] の書式を押します。時刻を付けない場合は、[付けない] を押します。

4. [閉じる] を押します。

■ コメント

スキャンデータを送信するときの、メールのコメント（本文）を設定します。登録リストから選択、または数字ボタンで入力します。この項目の設定は、省略できます。

入力する場合は、以下の規則に従います。

- ・ 全角文字の場合は 96 文字以内、半角文字の場合は 192 文字以内で設定します。
- ・ 改行以外の制御文字（タブなど）は、使用できません。

1. [詳細設定] 画面で、[コメント] を選択して、[設定 / 変更] を押します。

詳細設定

閉じる

設定/変更

件名 Scan Data from [ホスト名]

返信先アドレス (未設定)

ファイル名 (自動設定)

コメント (自動設定)

2. [コメントの設定 / 変更] 画面で、[登録リストから選択] を押します。
文字入力の場合は、[コメント] の入力欄にコメントを入力します。

補足

- ・ [削除] を押すと、入力した文字を一度に全部削除できます。

コメントの設定/変更

取り消し 閉じる

数字ボタン
入力設定

削除 登録リストから選択

ひらがな

カタカナ

英/数

数字

コメント

3. [登録リストから選択] 画面で、設定したいコメントを選択します。

補足

- ・ [すべてを表示する] を押すと、コメントの全文を表示できます。

4. [閉じる] を押します。
5. [コメントの設定 / 変更] 画面で、[閉じる] を押します。

登録リストから選択

取り消し 閉じる

すべてを表示する

お世話になります。スキャンしたデータを送

お疲れ様です。カタログのスキャンしたデー

スキャンファイルを送ります。何かあったら

早急にご確認くださいませようをお願いいたし

スキャンファイルを配布してください。

1/2

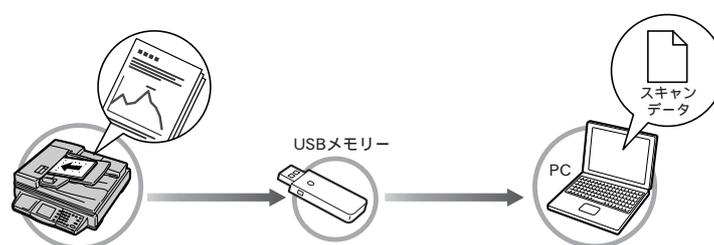
3.6 メディアに保存する

スキャンデータを PDF、DocuWorks 文書、TIFF、または JPEG ファイルに変換し、USB コネクタにセットした USB フラッシュメモリー（市販）に保存する場合の操作を説明します。

「3.1 スキャン操作の流れ」の「Step2 原稿やメディアをセットする」(P. 56)、「Step3 スキャンの種類を選択する」(P. 56) の操作です。



ネットワークに接続されていない環境の場合でも、メディア保存を利用すると、スキャンデータを持ち運び、自分のコンピューターに取り込めます。



注記

- ・セキュリティー機能や書き込み禁止機能付きの USB フラッシュメモリーの場合、セキュリティー機能や書き込み禁止機能を有効にしていると、メディア保存できません。

保存先の設定方法

スキャンデータは、パスを設定しない場合、USB フラッシュメモリーのルートディレクトリーの直下に保存されます。

ルートディレクトリーの下位にあるフォルダーに保存するときは、パスを設定します。

パスを設定する場合、設定方法は、次の 2 通りがあります。

- ・あらかじめ宛先（パス）をスキャナー内の宛先表に登録し、操作パネル上で選択する
- ・操作パネルの数字ボタンで、パスを入力する

補足

- ・仕様設定で、[保存先の直接入力] を [禁止する] に設定している場合は、操作パネル上での直接入力できません。
- ・宛先表に登録する宛先には、パスのほかに、ファイル名やスキャン条件など（スキャンの定型設定）を設定できます。

参照

- ・文字入力の方法：「2.2 文字の入力方法」(P. 40)
- ・各項目の入力制限などについての詳細：「宛先を登録するには」(P. 151)
- ・宛先表について：「5 宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 150)
- ・保存先の直接入力の設定：「保存先の直接入力」(P. 222)

宛先表で設定した内容は、操作パネルの数字ボタンを使って修正することもできます。

宛先表のデータは、DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で登録しておきます。

参照

- ・ DocuScan マネージャーのインストール方法：『ソフトウェアバック操作ガイド』
- ・ DocuScan マネージャーの基本的な操作方法：「8 DocuScan マネージャーを使用する」(P. 228)
- ・ DocuScan マネージャーの詳しい操作方法：DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・ CentreWare Internet Services の使用方法：「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)
- ・ CentreWare Internet Services での宛先 / 件名 / コメントの設定方法：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

メディア保存の設定をする

操作パネルまたは [メニュー] 画面で、[メディア保存] を選択すると、メディア保存画面の [保存先] 画面が表示されます。



補足

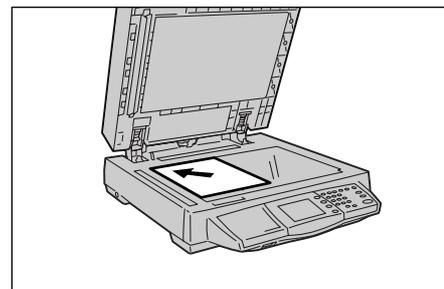
- ・ 暗証番号が設定されている場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、[確定] を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 186) を参照してください。
- ・ 機能が使用禁止の設定になっている場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。機能の使用許可 / 禁止の設定方法は、「機能の使用許可」(P. 185) を参照してください。
- ・ [保存先] 画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの <リセット> ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、[仕様設定] で変更できます。[仕様設定] については、「7 仕様設定」(P. 170) を参照してください。

原稿とメディアを設定する

1. スキャンする原稿をセットします。

参照

- ・ 原稿のセット方法：「2.5 原稿をセットする」(P. 48)



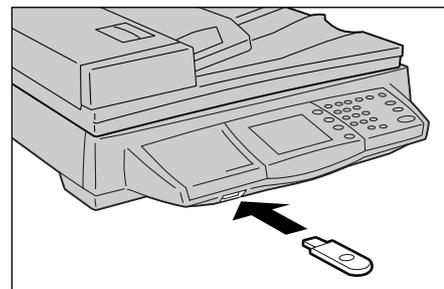
2. メディアをスキャナーの USB コネクターに挿入します。

補足

- ・ USB コネクターは 3 箇所あります。メディア挿入には、前面の USB コネクターが便利です。前面の USB コネクターが壊れた場合は、ほかの USB コネクターをご利用ください。

参照

- ・ USB コネクターの位置：「2.1 各部の名称と働き」(P. 35)

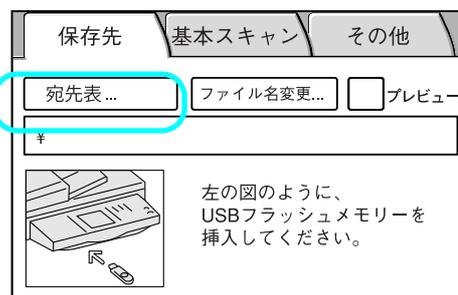


保存先のパスを宛先表を使って設定する

注記

- ・ USB フラッシュメモリ内に存在しない保存先を指定した場合、スキャン時にエラーになります。

1. 【保存先】画面で、【宛先表...】を押します。



2. 【宛先表フォルダー】画面で、指定したい宛先が登録されているフォルダーを選択します。

補足

- ・ 【仕様設定】の【宛先表初期画面】で【宛先表を表示する】を選択している場合は、この画面は表示されません。【宛先表...】を押すと、フォルダーを選択したあとの【宛先表】画面に進みます。
- ・ フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。
- ・ 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されます。



3. 【宛先表】画面で、保存先を選択します。

補足

- ・ 【検索...】を押すと宛先を検索できます。また、【詳細情報...】を押すと、選択されている宛先の詳細情報を表示できます。操作方法は、「5 宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 150)を参照してください。
- ・ 【フォルダーへ】を押すと、選択を取り消して【宛先表フォルダー】画面に戻ります。



4. 【保存先】画面に戻ります。

補足

- ・ 設定された宛先を修正することもできます。

保存先のパスを文字入力で設定する

USB フラッシュメモリ内の保存先のパスを、操作パネルから入力して設定できます。使用できる文字は、半角文字だけです。

注記

- ・ USB フラッシュメモリ内に存在しない保存先を指定した場合、スキャン時にエラーになります。

補足

- ・ DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で、パスを宛先に設定する場合は、全角文字および半角文字を使用できます。保存先フォルダー名に全角文字を使用している場合は、パスは操作パネルから入力するのではなく、宛先に登録してください。
- ・ 宛先表で設定した保存先を操作パネルで修正しても、宛先表の内容は修正されません。
- ・ 仕様設定で、【保存先の直接入力】が【禁止する】に設定されている場合は、パスの設定はできません。その場合、フォルダー内のルートの直下に保存されます。

参照

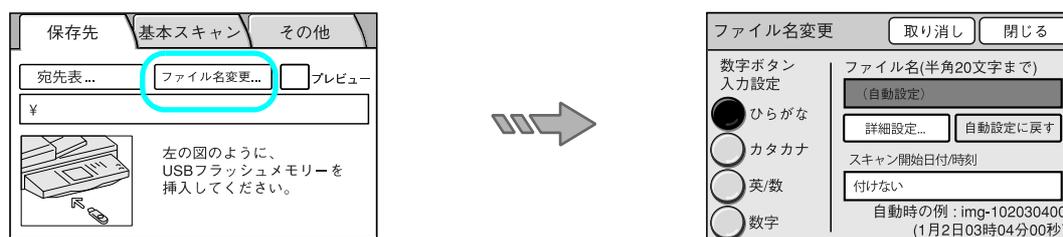
- ・ 保存先の直接入力の設定：「保存先の直接入力」(P. 222)

1. 【保存先】画面で、入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンで「¥」に続けてパスを入力します。



ファイル名を設定する

【保存先】画面で【ファイル名変更...】を押すと、【ファイル名変更】画面が表示されます。保存するスキャンデータのファイル名を設定できます。



■ ファイル名

スキャンデータのファイル名を設定します。

設定しないと、自動的に次の規則でファイル名が設定されます。

- ・ 先頭に「img-」が付き、保存時の日時を表す9桁の数字が続きます。ただし、10月は「X」、11月は「Y」、12月は「Z」になります。

例：img-102030400（1月02日03時04分00秒）
img-X11123045（10月11日12時30分45秒）

入力する場合は、以下の規則に従います。

- ・ 全角文字の場合は10文字以内、半角文字の場合は20文字以内で設定します。
- ・ 全角ひらがな / カタカナ、半角英数字、記号が使用できます。
- ・ 次の文字は、使用できません。
*"/ ¥ < > : | ? = , . ; [] +

補足

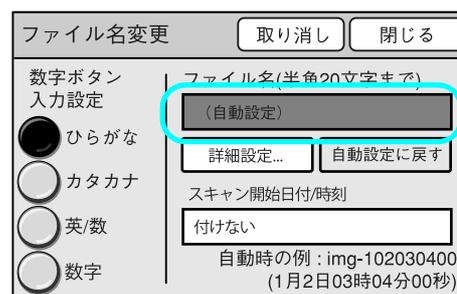
- ・ 【スキャン開始日付 / 時刻】が、【付けない】に設定されている場合でも、【ファイル名】が【(自動設定)】に設定されているときは、自動設定されたファイル名の末尾に上記の規則の日付時刻が続きます。

1. 【ファイル名変更】画面で、【ファイル名】の入力欄を押します。
2. 操作パネルの数字ボタンでファイル名を入力します。

補足

- ・ 【自動設定に戻す】を押すと、ファイル名は初期値に戻ります。

3. 【閉じる】を押します。



スキャン開始日付 / 時刻を設定する

ファイル名の末尾に付加するスキャンの開始日付 / 時刻を設定します。

[ファイル名] を指定しないで、[スキャン開始日付 / 時刻] だけを指定することもできます。その場合、[スキャン開始日付 / 時刻] で指定した数字だけのファイル名になります。

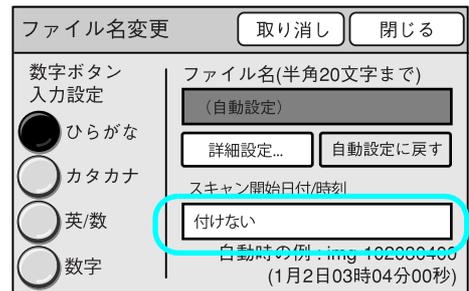
日付

日付の書式を [年月日]、[月日年]、[日月年] から選択します。日付を付けない場合は、[付けない] を選択します。

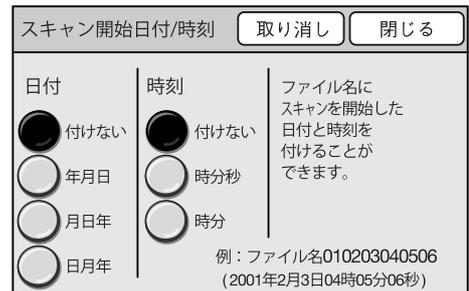
時刻

時刻の書式を [時分秒]、[時分] から選択します。日付を付けない場合は、[付けない] を選択します。

1. [ファイル名変更] 画面で、[スキャン開始日付 / 時刻] を押します。

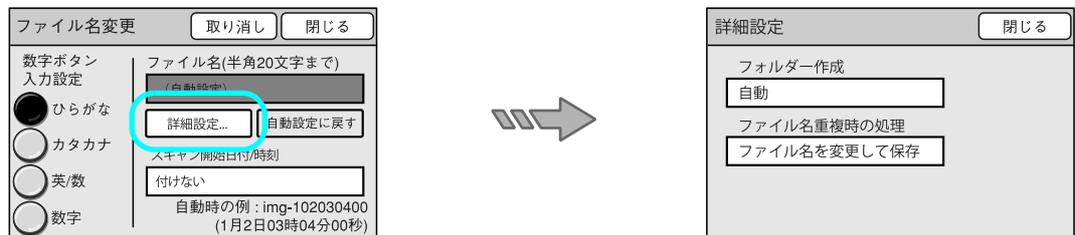


2. [スキャン開始日付 / 時刻] 画面で、[日付] の書式を押します。日付を付けない場合は、[付けない] を押します。
3. [時刻] の書式を押します。時刻を付けない場合は、[付けない] を押します。
4. [閉じる] を押します。



ファイル名の詳細設定をする

[ファイル名変更] 画面で [詳細設定...] を押すと、[詳細設定] 画面が表示されます。スキャンデータを保存するフォルダの作成、ファイル名重複時の処理の設定ができます。



■ フォルダ作成

設定された保存先 (パス) の直下に、スキャンデータの保存先フォルダを新規に作成します。スキャンデータは、作成したフォルダの直下に保存されます。

補足

- ・ 保存先 (パス) を設定しない場合は、USB フラッシュメモリのルートディレクトリーの直下に作成します。

フォルダー名は、ファイル名の設定と同じ規則で設定されます。

参照

・ファイル名の設定：「ファイル名を設定する」(P. 91)

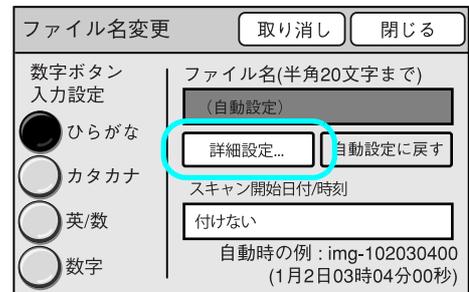
[自動] を選択すると、スキャンデータが次のファイル形式のときだけ、フォルダーを作成します。

- ・ TIFF
- ・ JPEG
- ・ PDF (1 ページ1 ファイル)
- ・ DocuWorks (1 ページ1 ファイル)

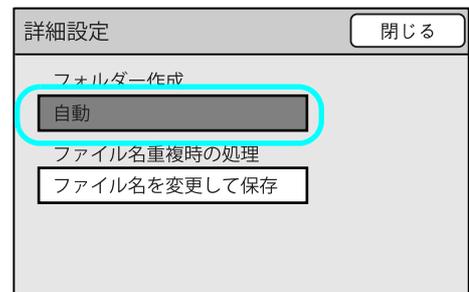
[しない] (作成しない) を選択すると、スキャンデータのファイル形式にかかわらず、フォルダーは作成しません。

[する] (作成する) を選択すると、スキャンデータのファイル形式にかかわらず、フォルダーを作成します。フォルダー名は、[自動] の場合と同じ規則で設定されます。

1. [ファイル名変更] 画面で、[詳細設定...] を押します。



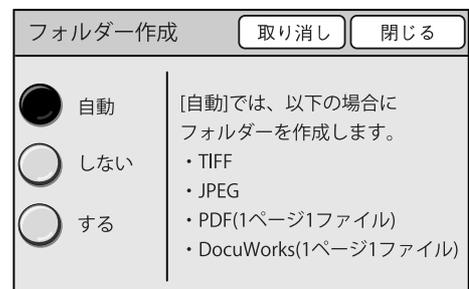
2. [詳細設定] 画面で、[フォルダー作成] を押します。



3. [フォルダー作成] 画面で、[自動]、[しない]、[する] のいずれかを押します。

4. [閉じる] を押します。

5. [閉じる] を押します。



■ ファイル名重複時の処理

同じファイル名のファイルが保存先に存在するときの処理方法を設定します。

1. 【ファイル名変更】画面で、【詳細設定...】を押します。

ファイル名変更

取り消し 閉じる

数字ボタン
入力設定

ひらがな
カタカナ
英/数
数字

ファイル名(半角20文字まで)
(自動設定)

詳細設定... 自動設定に戻す

スキャン開始日付/時刻
付けない

自動時の例: img-102030400
(1月2日03時04分00秒)

2. 【詳細設定】画面で、【ファイル名重複時の処理】を押します。

詳細設定

閉じる

フォルダー作成
自動

ファイル名重複時の処理
ファイル名を変更して保存

3. 【ファイル名重複時の処理】画面で、【ジョブを中止 (保存しない)】、【ファイル名を変更して保存】、【上書き保存】のいずれかを押します。
【ジョブを中止 (保存しない)】の場合は、保存先に同じ名前のファイルがあると、処理を中止して、保存しません。
【ファイル名を変更して保存】の場合は、保存先に同じ名前のファイルがあった場合に、自動的にファイル名の末尾に0001～9999の数字を追加して保存します。
【上書き保存】の場合は、保存先の同じ名前のファイルを上書きします。

ファイル名重複時の処理

取り消し 閉じる

ジョブを中止 (保存しない)
ファイル名を変更して保存
上書き保存

保存先に同じファイル名があった場合にはファイル名の末尾に4桁の数字(0001～9999)を追加して保存します。

4. 【閉じる】を押します。
5. 【閉じる】を押します。

3.7 基本スキャン項目を設定する

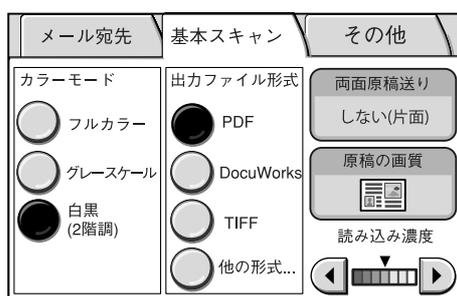
スキャン条件の基本的な項目を設定する操作を説明します。

「3.1 スキャン操作の流れ」の「Step4 スキャン条件を設定する」(P. 57)の操作です。



スキャン条件の基本的な項目は、[基本スキャン] 画面で設定します。

[基本スキャン] 画面

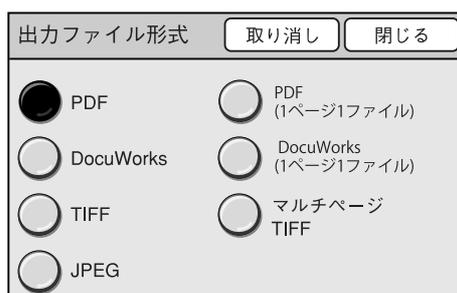


補足

- ・上記の画面は、メール送信の [基本スキャン] 画面を例にしていますが、PC 保存、メディア保存でも [基本スキャン] 画面内に表示される内容は同じです。
- ・前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、[仕様設定] で変更できます。[仕様設定] については、「7 仕様設定」(P. 170) を参照してください。

[基本スキャン] 画面からは、各種設定画面が表示されます。

【例】

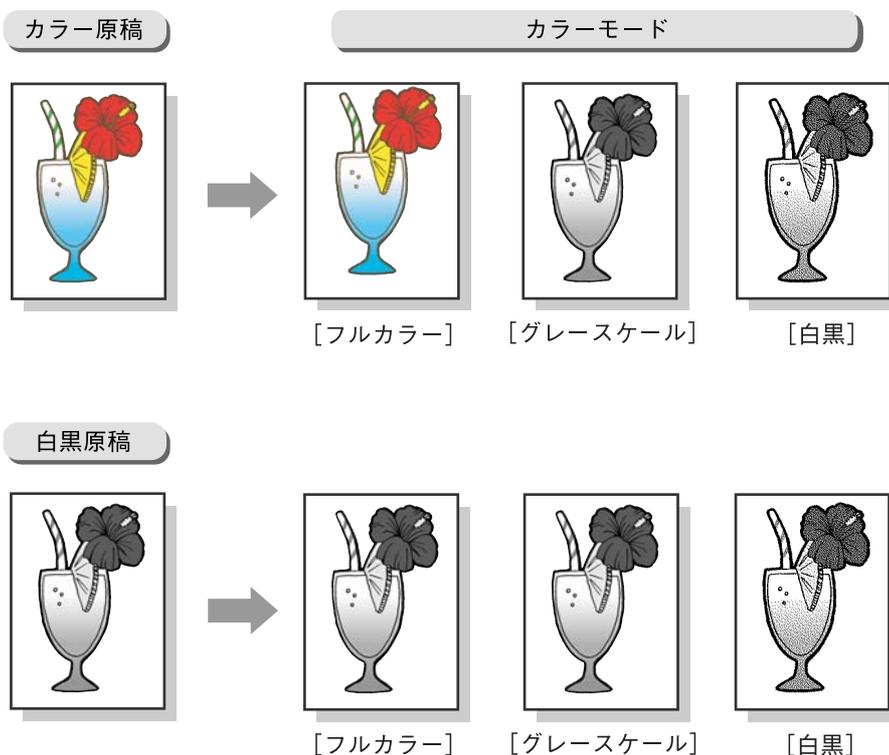


設定を行い [閉じる] を押して、設定を完了します。

設定内容を取り消したいときや、設定を中止したいときは、[取り消し] を押します。

カラーモード（スキャンする色を選択する）

原稿をスキャンするときの色を設定できます。



フルカラー

カラー原稿をスキャンするときを選択します。

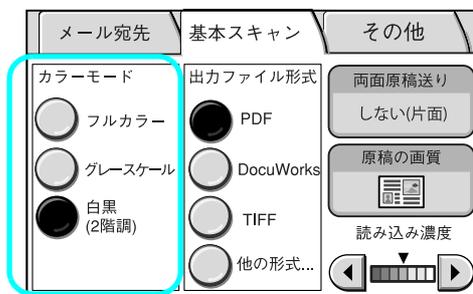
グレースケール

グレースケールで原稿をスキャンします。白黒に濃淡をつけて、段階的に変化する中間調も再現できます。白黒（2階調）だけでは表現できないグラデーションなどがある場合に適しています。

白黒

白黒 2 階調で原稿を読み取ります。

1. [基本スキャン] 画面で、カラーモードを選択します。



出力ファイル形式（スキャンデータのファイル形式を選択する）

スキャンしたデータの種類（ファイル形式）を設定します。

PDF

PDF ファイル形式で保存します。複数ページの場合、1 ファイルにして保存します。

補足

- 出力される PDF ファイルをコンピューター上で閲覧・印刷するには、Acrobat Reader 4.0 以降が必要です。本機に同梱されている「Software Pack」CD-ROM から、Adobe Reader をインストールできます。

DocuWorks

DocuWorks 文書で保存します。複数ページの場合、1 ファイルにして保存します。

補足

- 出力される DocuWorks 文書をコンピューター上で閲覧・印刷するには、次のいずれかのソフトウェアが必要です。
 - DocuWorks Ver. 4.0 ～ 6.2.1
 - DocuWorks Viewer Light Ver. 4.0 ～ 6.2.1
 - DocuWorks Viewer Light for Web Ver. 4.0 ～ 6.2.1DocuWorks Viewer Light for Web は、6.2.1 から DocuWorks Viewer Light に統合されました。DocuWorks Viewer Light は、本機に同梱されている「Software Pack」CD-ROM からインストールできます。DocuWorks の最新バージョンについては、当社ホームページをご覧ください。

TIFF

1 ページずつファイルにして、TIFF ファイル形式で保存します。

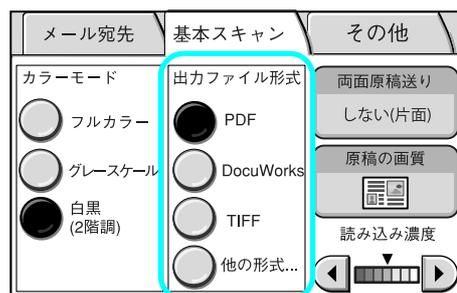
補足

- 仕様設定の [TIFF の形式] で、TIFF ファイルの形式を [TIFF V6] または [TTN2] から選択できます。詳しくは、「TIFF の形式」(P. 223) を参照してください。

他の形式 ...

[出力ファイル形式] 画面が表示され、ほかのファイル形式を選択できます。

1. [基本スキャン] 画面で、出力ファイル形式を選択します。
表示されていないファイル形式を選択する場合は、[他の形式...] を選択し、[出力ファイル形式] 画面で設定します。



[出力ファイル形式] 画面

[基本スキャン] 画面で [他の形式...] を選択すると、[出力ファイル形式] 画面が表示されます。

そのほかの出力ファイル形式を選択できます。

PDF (1 ページ 1 ファイル)

1 ページずつファイルにして、PDF ファイル形式で保存します。

DocuWorks (1 ページ 1 ファイル)

1 ページずつファイルにして、DocuWorks 文書で保存します。

マルチページ TIFF

複数ページを 1 ファイルにして、TIFF ファイル形式で保存します。

補足

・ DocuScan マネージャーで、マルチページ TIFF 形式ファイルを表示できます。

JPEG

JPEG ファイル形式で保存します。

補足

・ [カラーモード] に [白黒] を設定している場合は、[JPEG] は選択できません。

1. [他の形式...] を選択した場合は、[出力ファイル形式] 画面で、ファイル形式を選択します。
2. [閉じる] を押します。

出力ファイル形式		取り消し	閉じる
<input checked="" type="radio"/>	PDF	<input type="radio"/>	PDF (1ページ1ファイル)
<input type="radio"/>	DocuWorks	<input type="radio"/>	DocuWorks (1ページ1ファイル)
<input type="radio"/>	TIFF	<input type="radio"/>	マルチページ TIFF
<input type="radio"/>	JPEG		

両面原稿送り (原稿の両面をスキャンする)

原稿の両面をスキャンするのか、片面をスキャンするのかを設定します。

両面をスキャンする場合は、原稿の状態 (原稿の綴じ方) と原稿をセットした向きを設定すると、原稿のうらとおもての天地をそろえて読み取れます。

[両面原稿送り] を選択すると、[両面原稿送り] 画面が表示され、設定ができます。

注記

・ 大きなサイズの両面原稿を上下開きで拡大してスキャンしたとき、一部画像が欠ける場合があります。

【両面原稿送り】画面

しない (片面)

片面をスキャンします。

する (両面)

両面をスキャンします。

[する (両面)] を選択すると、右側に [原稿の状態] と [原稿セット向き指定] が表示されます。

【原稿の状態】

左右開き

両面原稿のおもてとうらで、イメージの上下が同じ場合に選択します。

上下開き

両面原稿のおもてとうらで、イメージの上下が逆転している場合に選択します。

[原稿セット向き指定]

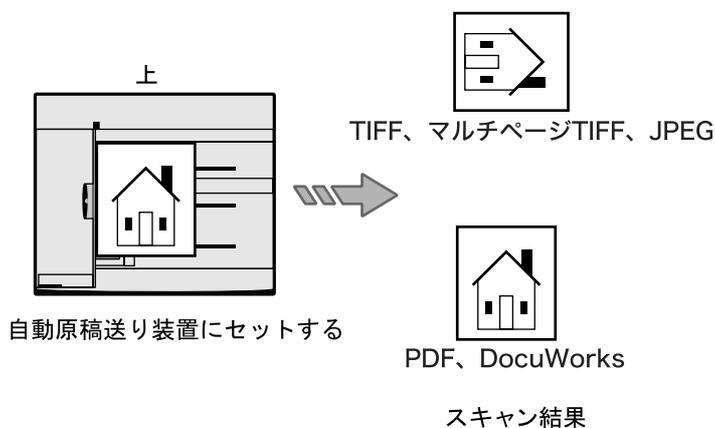
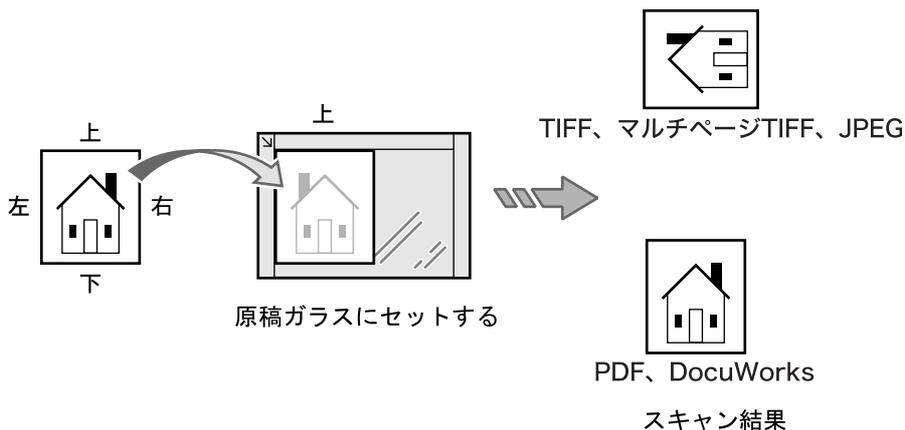
自動原稿送り装置を使用してスキャンするときは、原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

読める向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって奥側にセットする場合には選択します。

補足

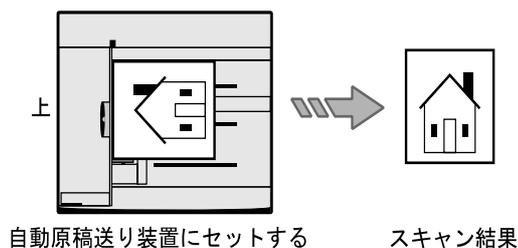
- 出力ファイル形式が、TIFF、マルチページ TIFF、JPEG の場合と、PDF、DocuWorks 文書の場合では、スキャン結果の向きが異なります。



左向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって左側にセットする場合には選択します。原稿を左向き（文字がよこ向き）にセットする場合は、必ず【左向き】を選択してください。

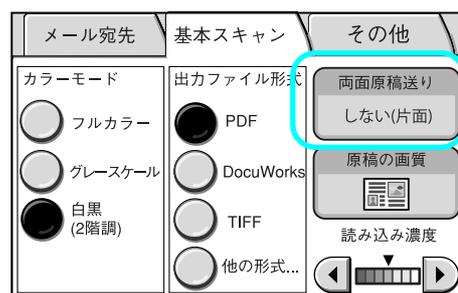




補足

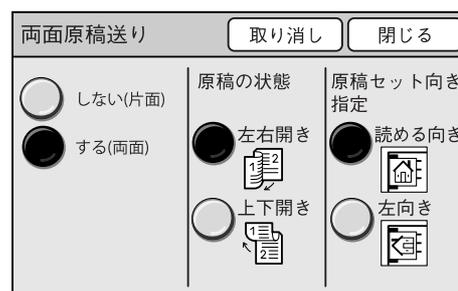
- ・ 実際の原稿のセット向きと【原稿セット向き指定】の設定が合っていないと、原稿の上部が誤って認識されます。

1. 【基本スキャン】画面で、【両面原稿送り】を押します。



2. 【両面原稿送り】画面で、【しない (片面)】 / 【する (両面)】、原稿の状態、原稿のセット向きを選択します。

3. 【閉じる】を押します。



原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)

原稿の画質を選択します。

【原稿の画質】を選択すると、【原稿の画質】画面が表示され、設定ができます。

【原稿の画質】画面

文字

文字をはっきりスキャンしたいときに選択します。

文字 / 写真

文字と写真が混在した原稿をスキャンするときに選択します。文字領域と写真領域を自動的に判断し、領域ごとに適した画質でスキャンします。

【文字 / 写真】を選択すると、右側に【写真の種類】が表示されます。

写真

写真をスキャンするときに選択します。

【写真】を選択すると、右側に【写真の種類】が表示されます。

[写真の種類]

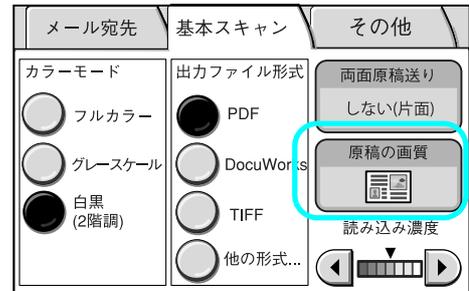
印刷写真

プリンターで印刷した写真や、書籍 / パンフレットの写真部分をスキャンする場合に選択します。

印画紙写真

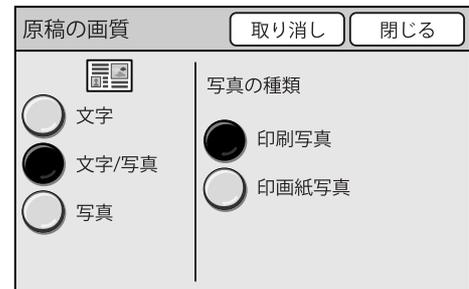
印画紙の写真のスキャンする場合に選択します。

1. [基本スキャン] 画面で、[原稿の画質] を押します。



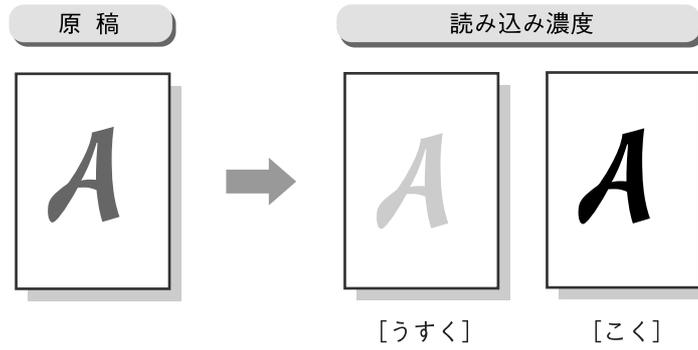
2. [原稿の画質] 画面で、原稿の画質を選択します。

3. [閉じる] を押します。

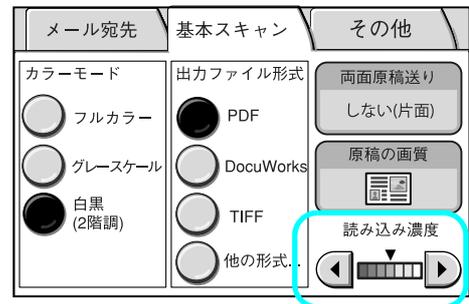


読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する）

原稿の読み込み濃度を 7 段階で調整できます。



1. [◀] または [▶] を押して、濃度を設定します。



3.8 その他のスキャン項目を設定する

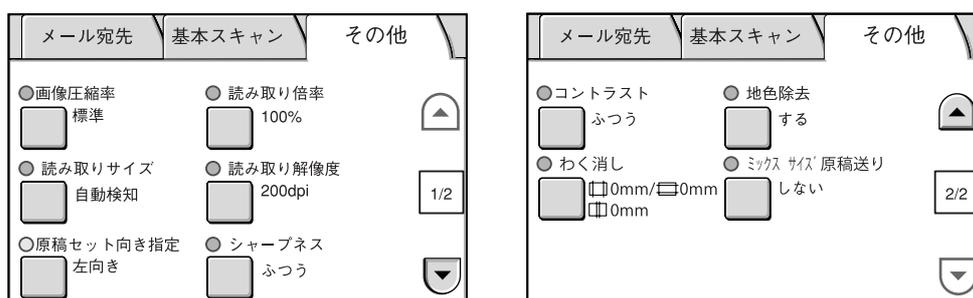
その他のスキャン条件を設定する操作を説明します。

「3.1 スキャン操作の流れ」の「Step4 スキャン条件を設定する」(P. 57)の操作です。



その他のスキャン条件は、[その他] 画面で設定します。

[その他] 画面

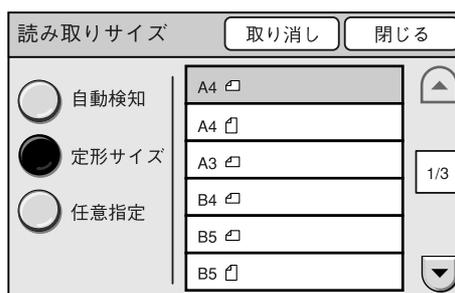


補足

- ・上記の画面は、DocuScan C4260 のメール送信の [その他] 画面を例にしていますが、PC 保存、メディア保存でも [その他] 画面内に表示される内容は同じです。DocuScan C3210 の場合は、[ミックスサイズ原稿送り] 機能はありません。
- ・前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、[仕様設定] で変更できます。[仕様設定] については、「7 仕様設定」(P. 170) を参照してください。

[その他] 画面からは、各種設定画面が表示されます。

【例】



設定を行い [閉じる] を押して、設定を完了します。

設定内容を取り消したいときや、設定を中止したいときは、[取り消し] を押します。

画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）

【基本スキャン】画面の【カラーモード】を、【フルカラー】または【グレースケール】でスキャンするときの画像の圧縮率を選択します。

【画像圧縮率】を選択すると、【画像圧縮率】画面が表示され、設定ができます。

【画像圧縮率】画面

高く

高い圧縮率で保存されます。画質は悪くなりますが、ファイルサイズは小さくなります。

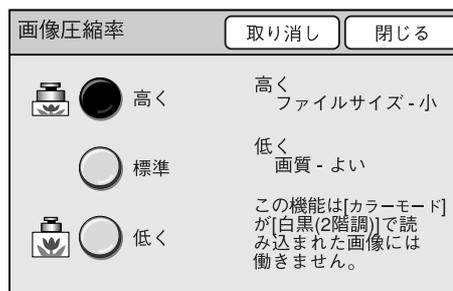
標準

標準的な圧縮率で保存されます。標準的な画質とファイルサイズになります。

低く

低い圧縮率で保存されます。画質は良くなりますが、ファイルサイズは大きくなります。

1. 【その他】画面で、【画像圧縮率】を押します。
2. 【画像圧縮率】画面で、画像圧縮率を選択します。
3. 【閉じる】を押します。

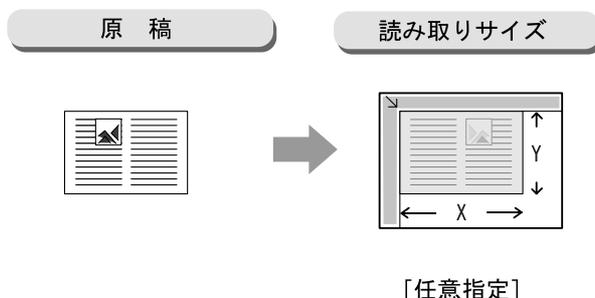


読み取りサイズ（原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする）

原稿の読み取りサイズを設定できます。

非定形サイズの原稿を読み取る場合や、セットしている原稿とは異なるサイズで読み取りたい場合は、読み取りサイズを指定します。

読み取りサイズを指定すると（【任意指定】）、実際にセットされている原稿のサイズに関係なく、設定したサイズで読み取ります。



補足

- ・ 読み取りサイズを任意指定する場合、X方向、Y方向でサイズを指定します。X方向は、読み取り方向と同じ向きです。Y方向は、読み取り方向と垂直の向きです。

【読み取りサイズ】を押すと、【読み取りサイズ】画面が表示され、設定ができます。

[読み取りサイズ] 画面

自動検知

原稿サイズを自動で認識します。自動で認識できる原稿サイズは以下のとおりです。

機種名	原稿ガラス	自動原稿送り装置
C4260	B5  , B5  , A5  , A5  , A4  , A4  , 8.5 × 11 インチ  , B4  , A3  , 11 × 17 インチ  , A6  , B6 	B5  , B5  , A5  , A5  , A4  , A4  , B4  , A3 
C3210	B5  , A5  , A5  , A4  , A6  , B6 	B5  , A5  , A5  , A4 

補足

- ・ 原稿サイズを自動検知できない場合は、原稿サイズを入力する画面が表示されます。
- ・ 表は、AB系の場合の定形原稿サイズです。AB系（八開/十六開）、インチ系の場合の原稿サイズ、およびサイズ検知の切り替えについては、「サイズ検知切り替え」(P. 190)を参照してください。

定形サイズ

あらかじめ設定されているサイズから選択します。

表示される原稿サイズは変更できます。

補足

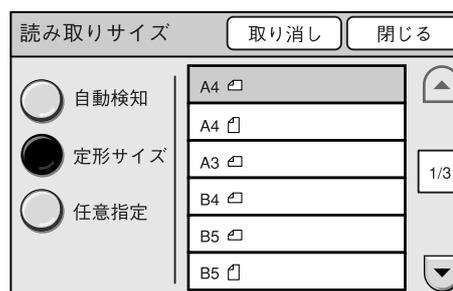
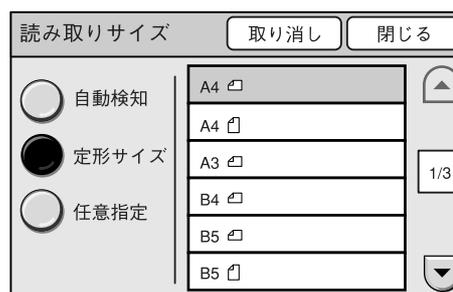
- ・ 表示される原稿サイズのボタンは、DocuScan C4260の場合は12個、DocuScan C3210の場合は、6個です。ここではDocuScan C4260の場合を例に説明しています。

参照

- ・ 表示される原稿サイズの変更方法：「原稿サイズボタン」(P. 184)

現在選択されている宛先に、スキヤンの定型設定が登録されている場合は、[定形サイズ]の最後の画面に、スキヤンの定型設定で設定されている原稿サイズのボタンが表示され、選択できます。

最後の画面を表示するには、画面右側にある[▲]/[▼]ボタンを押して画面を切り替えます。



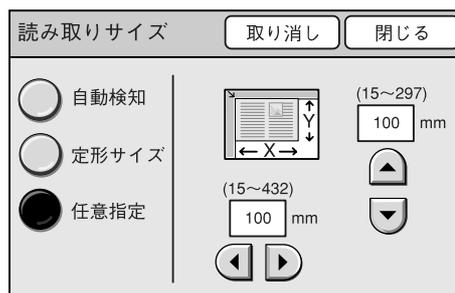
任意指定

非定形サイズ of 原稿を読み取る場合や、セットしている原稿とは異なるサイズでスキャンするときは、読み取りたいサイズを入力します。サイズは、[▲] / [▼] / [◀] / [▶] で、1 mm 刻みに設定します。原稿ガラスの周りにある目盛を参考にすると便利です。

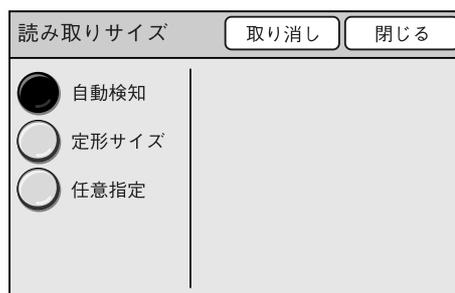
X 方向は、読み取り方向と同じ向きです。Y 方向は、読み取り方向と垂直の向きです。

参照

- 指定できる原稿のサイズ：「使用できる原稿」(P. 48) の「読み取り可能エリア」



1. [その他] 画面で、[読み取りサイズ] を押します。
2. [読み取りサイズ] 画面で、読み取りサイズを設定します。
3. [閉じる] を押します。



原稿セット向き指定 (セットした原稿の向きを指定する)

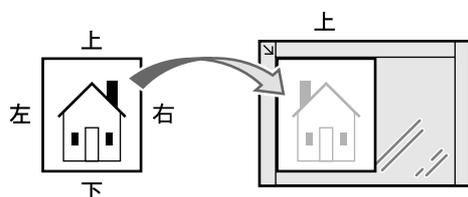
原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

[原稿セット向き指定] を選択すると、[原稿セット向き指定] 画面が表示され、設定ができます。

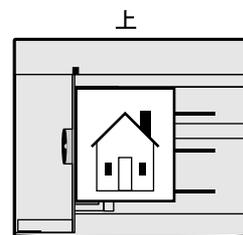
[原稿セット向き指定] 画面

読める向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって奥側にセットする場合に選択します。



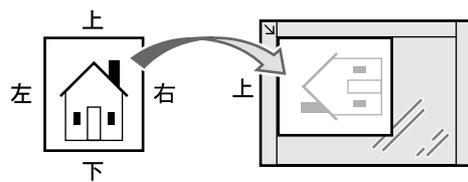
原稿ガラスにセットする



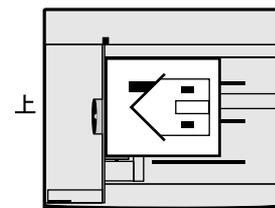
自動原稿送り装置にセットする

左向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって左側にセットする場合に選択します。原稿を左向き (文字がよこ向き) にセットする場合は、必ず [左向き] を選択してください。



原稿ガラスにセットする

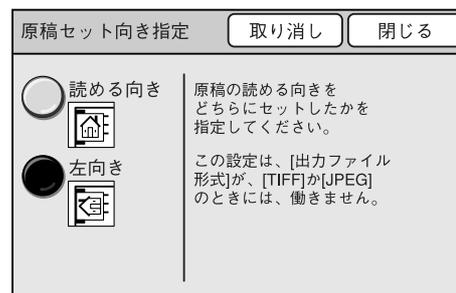


自動原稿送り装置にセットする

補足

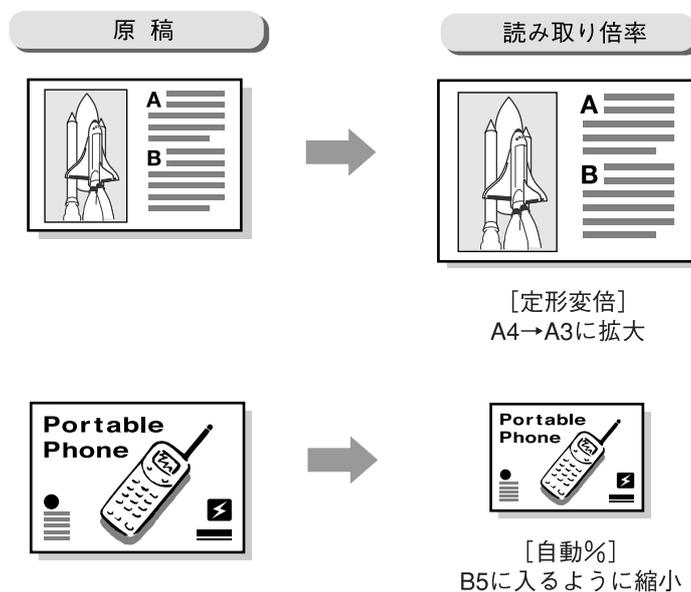
- 実際 of 原稿のセット向きと [原稿セット向き指定] の設定が合っていないと、原稿の上部を機械が間違っ て認識してしまいます。
- [出力ファイル形式] が [TIFF]、[JPEG] の場合は、この機能は動きません。

1. [その他] 画面で、[原稿セット向き指定] を押します。
2. [原稿セット向き指定] 画面で、原稿の向きを選択します。
3. [閉じる] を押します。



読み取り倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする）

原稿を読み取る倍率を設定できます。



[読み取り倍率] を押すと、[読み取り倍率] 画面が表示され、設定ができます。

【読み取り倍率】画面

定形変倍

あらかじめ設定されている倍率から選択します。

【定形変倍】を選択すると、右側に倍率が表示されます。

補足

- ・【定形変倍】で設定した場合、出力サイズが定形サイズと正確に一致しないことがあります。表示されている用紙サイズは、縮小 / 拡大の参考として利用してください。
- ・【定形変倍】の倍率の初期値は、【仕様設定】で変更できます。【定形変倍】の初期値の変更については、「読み取り倍率」(P. 216)を参照してください。

The dialog box titled '読み取り倍率' (Reading Magnification) has two buttons at the top: '取り消し' (Cancel) and '閉じる' (Close). On the left, there are two radio buttons: '定形変倍' (Fixed Magnification) which is selected, and '自動%' (Automatic %). To the right is a list of magnification options: 100%, 50% A3→A5, 70% A3→A4 / B4→B5, 81% B4→A4 / B5→A5, 86% A3→B4 / A4→B5, and 115% B4→A3 / B5→A4. A page indicator '1/2' is on the right, and up/down arrow buttons are at the bottom right.

自動%

原稿サイズと選択した出力サイズから、倍率を自動的に計算し、指定したサイズに原稿がおさまるようにスキャンします。

【自動%】を選択すると、右側に出力サイズが表示されます。

補足

- ・【自動%】でスキャンした結果、余白になる部分は、白データになります。

The dialog box titled '読み取り倍率' (Reading Magnification) has two buttons at the top: '取り消し' (Cancel) and '閉じる' (Close). On the left, there are two radio buttons: '定形変倍' (Fixed Magnification) and '自動%' (Automatic %) which is selected. To the right is a list of output sizes: A4, A3, B4, B5, A5, and B6. A page indicator '1/3' is on the right, and up/down arrow buttons are at the bottom right.

1. 【その他】画面で、【読み取り倍率】を押します。
2. 【読み取り倍率】画面で、読み取り倍率を設定します。
3. 【閉じる】を押します。

The dialog box titled '読み取り倍率' (Reading Magnification) has two buttons at the top: '取り消し' (Cancel) and '閉じる' (Close). On the left, there are two radio buttons: '定形変倍' (Fixed Magnification) which is selected, and '自動%' (Automatic %). To the right is a list of magnification options: 100%, 50% A3→A5, 70% A3→A4 / B4→B5, 81% B4→A4 / B5→A5, 86% A3→B4 / A4→B5, and 115% B4→A3 / B5→A4. A page indicator '1/2' is on the right, and up/down arrow buttons are at the bottom right.

読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）

原稿を読み取る際の解像度を設定できます。

数値が大きくなるほど、細かく読み取られますが、データ量は大きくなります。データ量が大きいと、読み込み、および転送に時間がかかります。

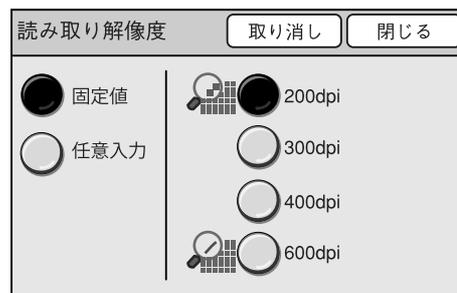
【読み取り解像度】を選択すると、【読み取り解像度】画面が表示され、設定ができます。

【読み取り解像度】画面

固定値

200dpi、300dpi、400dpi、600dpi のいずれかから選択します。

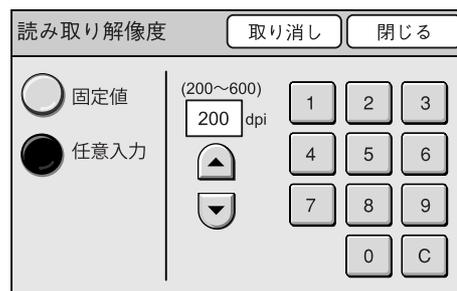
1. [その他] 画面で、[読み取り解像度] を押します。
2. [読み取り解像度] 画面で、[固定値] を押します。
3. 読み取り解像度を選択します。
4. [閉じる] を押します。



任意入力

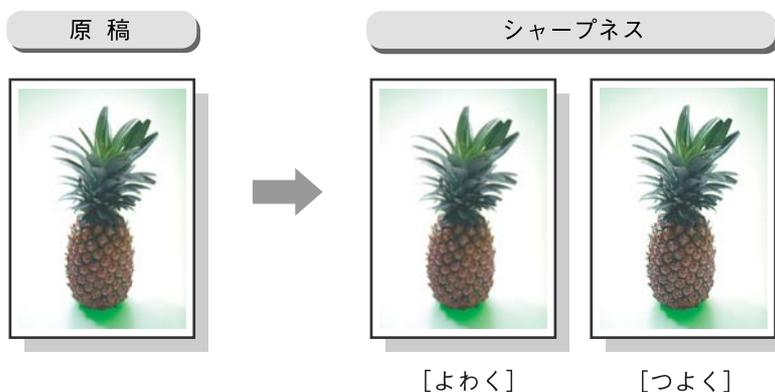
解像度を、200～600dpiの範囲で1dpi刻みに設定します。

1. [その他] 画面で、[読み取り解像度] を押します。
2. [読み取り解像度] 画面で、[任意入力] を押します。
3. [▲] / [▼] またはタッチパネルディスプレイの数字ボタンを押して、解像度を1dpi単位で設定します。
4. [閉じる] を押します。



シャープネス (画像のシャープさを調整する)

シャープネスを調整できます。



[シャープネス] を選択すると、[シャープネス] 画面が表示され、設定ができます。

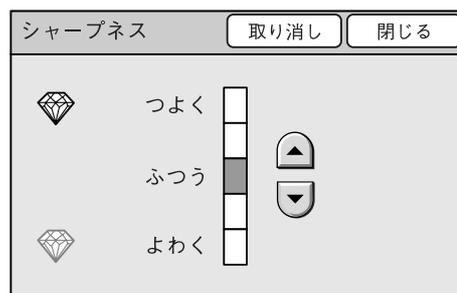
[シャープネス] 画面

つよく～よわく

[つよく] ～ [よわく] の間で、5段階のシャープネスを選択できます。

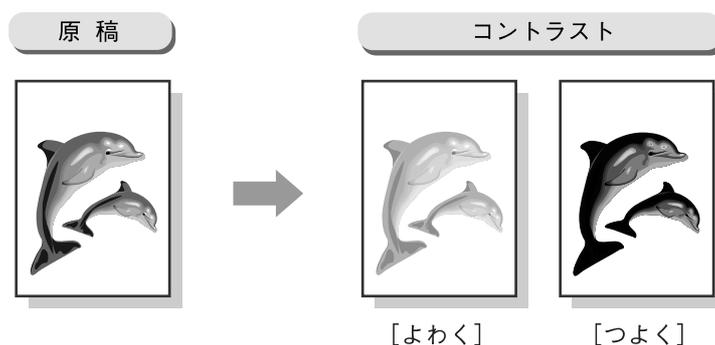
[つよく] に近づくほど画像の輪郭が強調されます。[よわく] に近づくほど画像の輪郭をぼかしたようになります。

1. [その他] 画面で、[シャープネス] を押します。
2. [シャープネス] 画面で、[▲] または [▼] を押してシャープネスを設定します。
3. [閉じる] を押します。



コントラスト (コントラストを調整する)

コントラストを調整できます。



[コントラスト] を選択すると、[コントラスト] 画面が表示され、設定ができます。

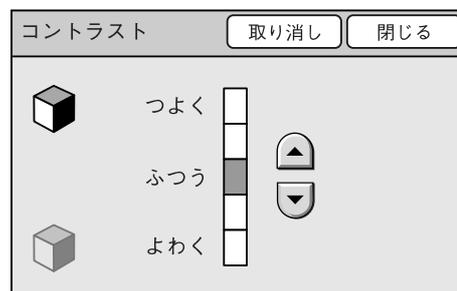
[コントラスト] 画面

つよく～よわく

[つよく] ～ [よわく] の間で、5 段階のコントラストを選択できます。

[つよく] に近づくほど明るい部分がより明るくなり、暗い部分がより暗くなり、明暗の差が広がります。[よわく] に近づくほど明るい部分と暗い部分の差がなくなります。

1. [その他] 画面で、[コントラスト] を押します。
2. [コントラスト] 画面で、[▲] または [▼] を押してコントラストを設定します。
3. [閉じる] を押します。



わく消し（原稿の枠やとじしろの影を消してスキャンする）

原稿カバーを開いたままスキャンしたり、冊子になっている原稿をスキャンするときに、用紙のまわりや中央のとじ部分に黒い影ができることがあります。このような場合に、影を消してスキャンできます。

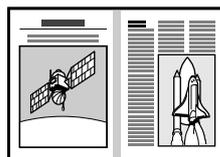
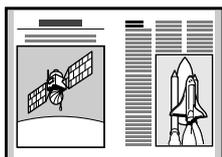
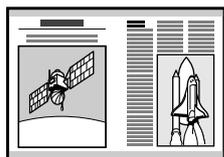
消し量を調整

- 原稿の上部を、スキャナーに向かって奥側にセットした場合（[読める向き]の場合）

[上下消し設定時]

[左右消し設定時]

[中消し設定時]

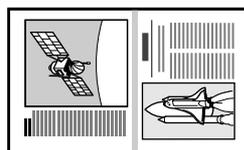
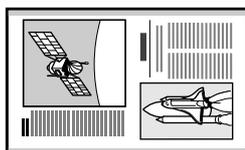
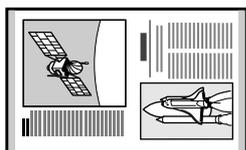


- 原稿の上部を、スキャナーに向かって左側にセットした場合（[左向き]の場合）

[上下消し設定時]

[左右消し設定時]

[中消し設定時]



— : 影が消える部分

注記

- ・ セットした原稿の向きと、[その他]画面の[原稿セット向き指定]の設定が同じになっているかを、確認してください。

補足

- ・ 両面スキャンの場合は、おもて面とうら面には同じわく消し量が設定されます。
- ・ 倍率選択を設定している場合は、倍率に比例して、わく消し量も拡大/縮小されます。

[わく消し]を選択すると、[わく消し]画面が表示され、設定ができます。

[わく消し] 画面

標準

わく消ししません。上下 / 左右 / 中央に 0mm が設定されます。

消し量調整

[消し量調整]を選択すると、右側が調整量を指定する画面に変わります。

原稿の上下、左右、中央の影に対して、必要な量だけ消し量を調整できます。

わく消しの幅は、[▲] / [▼]で、0～50mmの範囲で1mm刻みに設定します。

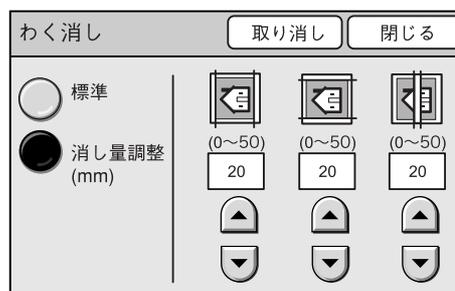
1. [その他] 画面で、[わく消し] を押します。
2. [わく消し] 画面で、[標準] または [消し量調整] を選択します。

補足

- ・ [わく消し] 画面の初期値は、[仕様設定] で変更できます。「わく消し」(P. 219) を参照してください。



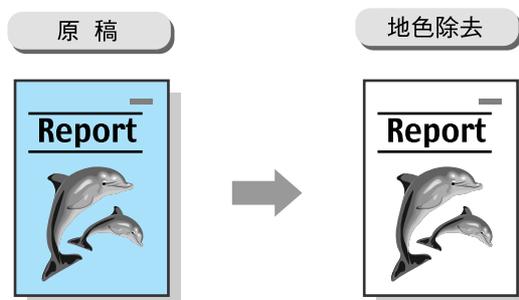
3. [消し量調整] を選択した場合は、[▲] / [▼] を押して調整量を設定します。
4. [閉じる] を押します。



地色除去 (原稿の下地を除去する)

カラーモードの [白黒] でスキャンした場合は、新聞や地色原稿などの原稿の下地 (背景) を除いてスキャンできます。

カラーモードの [フルカラー] でスキャンした場合、背景が白い原稿でも、原稿の古さや紙質などの状態によって、かすかに色が付くことがあります。その場合、[地色除去] で、背景を白くスキャンできます。



補足

- ・ [原稿の画質] の設定が [写真] の場合、[地色除去] の機能は無効になります。
- ・ カラーモードの設定が [フルカラー] の場合は、下地の除去量を抑えています。

[地色除去] を選択すると、[地色除去] 画面が表示され、設定ができます。

[地色除去] 画面

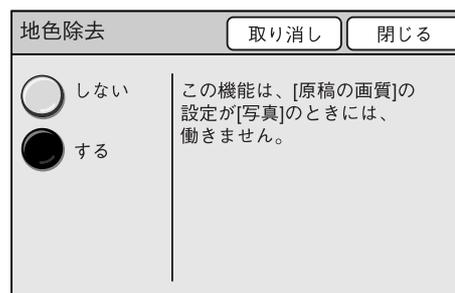
しない

原稿の下地をそのままスキャンします。

する

原稿の下地を除いてスキャンします。

1. [その他] 画面で、[地色除去] を押します。
2. [地色除去] 画面で、[しない] または [する] を選択します。
3. [閉じる] を押します。



ミックスサイズ原稿送り (サイズが異なる原稿を一度に読み取る) (DocuScan C4260 のみ)

自動原稿送り装置を使用すると、サイズの異なる原稿を一度に読み取り、それぞれの原稿サイズに合ったサイズの下紙にスキャンできます。

また、スキャンするサイズを指定して、サイズをそろえたスキャンもできます。

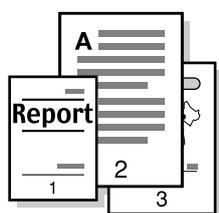
サイズをそろえてスキャンするには、[ミックスサイズ原稿送り] を [する] に設定するほか、次の設定が必要です。

- ・ [読み取り倍率] で [自動 %] を設定し、出力サイズを選択する。

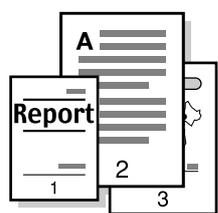
参照

- ・ [読み取り倍率] の設定：「読み取り倍率 (原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする)」(P. 107)

異なるサイズの原稿



原稿と同じサイズの下紙にスキャン



用紙サイズをそろえてスキャン



注記

- ・ A5 サイズの原稿は、必ずよこ置きにセットしてください。

補足

- ・ 原稿サイズを自動検知できない場合は、原稿サイズを入力する画面が表示されます。

[ミックスサイズ原稿送り] を選択すると、[ミックスサイズ原稿送り] 画面が表示され、設定ができます。

[ミックスサイズ原稿送り] 画面

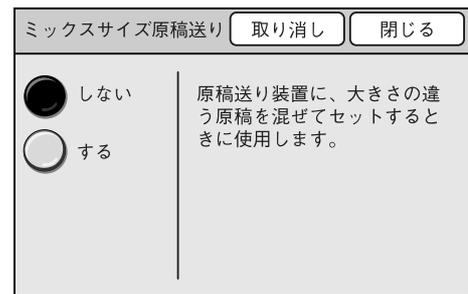
しない

原稿サイズがすべて同じ場合に選択します。

する

異なるサイズの原稿をスキャンする場合に、機械が自動的にそれぞれの原稿サイズを認識します。

1. [その他] 画面で、[ミックスサイズ原稿送り] を押します。
2. [ミックスサイズ原稿送り] 画面で、[しない] または [する] を選択します。
3. [閉じる] を押します。



4 コピーする

4.1 コピー操作の流れ

コピー機能を使うと、原稿を読み取り、USB 接続しているプリンターから印刷できます。ここでは、コピー操作の流れを説明します。詳細は、各操作の説明箇所を参照してください。

Step1 準備する



コピーするには、あらかじめ本機とプリンターを USB ケーブルで接続し、プリンターを印刷できる状態にしておく必要があります。

参照

- ・ 本機とプリンターの接続：『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「1 スキャナーの設置」
- ・ プリンターの準備：お使いのプリンターの取扱説明書

Step2 原稿をセットする

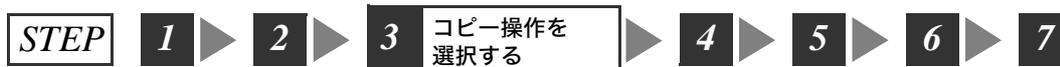


原稿ガラスまたは自動原稿送り装置に、原稿をセットします。

参照

- ・ 原稿のセット方法：「2.5 原稿をセットする」(P. 48)

Step3 コピー操作を選択する

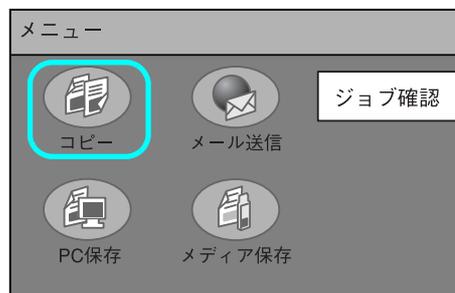


【メニュー】画面を表示し、コピー操作を開始します。

1. 操作パネルの〈コピー〉ボタンまたは【メニュー】画面の【コピー】を押します。

補足

- 操作パネルの機能ボタンの働きは、変更することができます。変更方法については、「登録ボタン 1 ~ 3」(P. 182)を参照してください。
- 機能認証の暗証番号が設定されている場合は、【基本】画面が表示される前に、暗証番号を入力する画面が表示されます。その場合は、数字ボタンを押して、暗証番号を入力し、【確定】を押します。暗証番号の設定方法は、「機能認証」(P. 186)を参照してください。



Step4 コピー条件を設定する



用紙、倍率などを、必要に応じて設定します。設定画面は、3種類あります。

注記

- 設定画面に表示される項目や、項目の初期値は、接続しているプリンターの機能によって異なります。本書では、本機のコピー機能をすべて使用できるプリンターに接続している場合の画面例を記載しています。

基本

用紙、倍率、色、コピー濃度などを設定します。

画質調整

シャープネス、原稿の画質などを設定します。

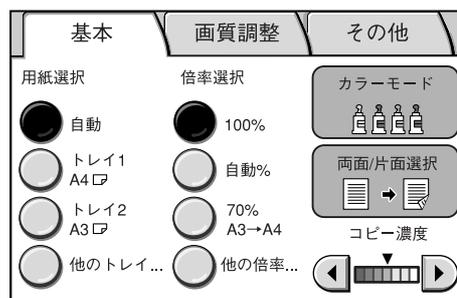
その他

原稿の読み取りサイズ、原稿の向きなどを設定します。

1. [基本] タブ、[画質調整] タブ、または [その他] タブを押して各画面を表示し、設定します。

補足

- ・ 前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと初期値に戻ります。

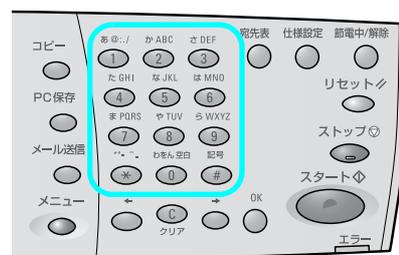


Step5 部数を入力する



コピー部数は、999 部まで入力できます。

1. 数字ボタンでコピー部数を入力します。入力した部数はタッチパネルディスプレイの右上に表示されます。



補足

- ・ 入力を間違えた場合は、〈C〉(クリア) ボタンを押して、正しい部数を入力します。

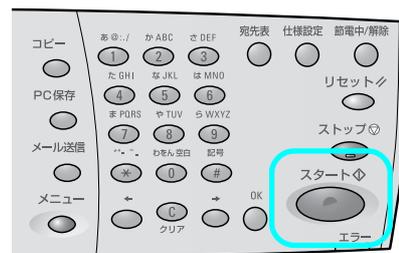
Step6 コピーを開始する



1. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。コピーが開始され、原稿を読み取り後、接続しているプリンターから印刷されます。

注記

- ・ 自動原稿送り装置にセットした場合は、原稿搬送中に原稿を押さえないでください。



補足

- 問題が発生すると、タッチパネルディスプレイにエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。エラーコードが表示された場合は、「9.6 エラーコード」(P. 285) を参照して対処してください。

次の原稿があるとき

次の原稿があるときは、原稿の読み込み中にタッチパネルディスプレイに表示される画面の [次原稿あり] を押して、本機に次の原稿があることを認識させます。複数枚の原稿をまとめてひとつのデータとしてコピーできます。

最大 500 ページまで読み込めます。

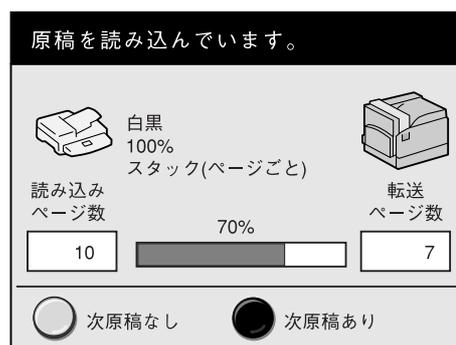
注記

- 原稿ガラスでスキャンしたあと、[次原稿あり] で (1 つのジョブとして) 自動原稿送り装置からスキャンすることはできません。また、自動原稿送り装置からスキャンしたあと、[次原稿あり] で (1 つのジョブとして) 原稿ガラスからスキャンすることはできません。

補足

- 自動原稿送り装置には、原稿を一度に 50 枚ずつ (50 枚単位+端数) セットできます。原稿枚数が、50 枚以上の場合、[次原稿あり] を使って、スキャンデータをまとめて 1 つにすることができます。
- 500 ページを超えた場合は、その旨を知らせるメッセージが表示され、それ以降の読み取りは、ジョブが終了するまで、できなくなります。500 ページを超えた残りの原稿は、500 ページまでのジョブの終了後、次のジョブとして、コピーし直してください。

1. 原稿を読み込み中に、[次原稿あり] を選択します。



最初にセットした原稿の読み込みが完了すると、メッセージが変わります。

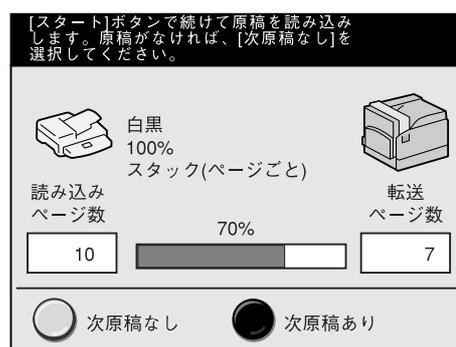
補足

- 一定時間何も操作しないと、自動的に次の原稿がないと判断され、[次原稿なし] を押したときと同様に、読み込んだデータが、コピーされます。

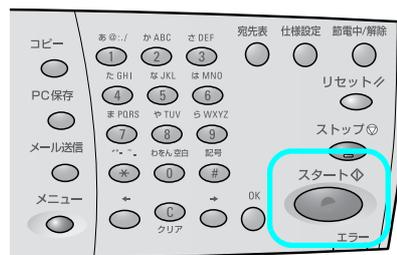
2. 次の原稿をセットします。

参照

- 原稿のセット方法：「2.5 原稿をセットする」(P. 48)



- 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。さらに次の原稿があるときは、原稿のセットと〈スタート〉ボタンを押す操作を繰り返します。



- すべての原稿を読み込んだら、[次原稿なし]を選択します。

Step7 ジョブの状態を確認する



必要に応じて、正常にコピーされたかどうかを確認します。

[メニュー] 画面で [ジョブ確認] を押すと、[ジョブ実行完了] 画面が表示されます。

参照

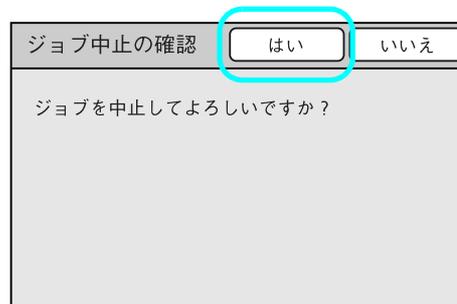
・「6 ジョブを確認する」(P. 168)

4.2 コピーを中止する

- 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。
中止確認のメッセージが表示されます。



- [はい] を押します。
中止操作完了のメッセージが表示されます。



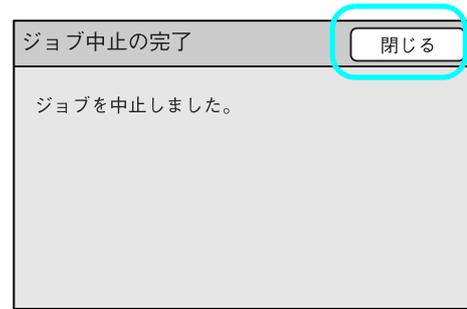
3. [閉じる] を押します。

補足

- ・ 中止できるのは、プリンターに転送される前のページです。

注記

- ・ プリンターによっては、プリンター側で印刷を中止する操作が必要なことがあります。その場合メッセージが表示されます。ネットワークでプリンターを使用している場合は、プリンター側で印刷を中止するときに、ほかのジョブを中止しないよう注意してください。
- ・ コピーを途中で中止した場合、プリンターが印刷可能な状態になっていることを確認してから、次のコピーを実行してください。



4.3 コピー設定項目一覧

コピー操作で設定できる項目は、以下のとおりです。

画面	項目	参照先
基本	用紙選択	「用紙選択 (コピーする用紙を選択する)」 (P. 123)
	倍率選択	「倍率選択 (拡大縮小してコピーする)」 (P. 125)
	カラーモード *1	「カラーモード (コピーする色を選択する)」 (P. 127)
	両面 / 片面選択	「両面 / 片面選択 (両面 / 片面にコピーする)」 (P. 129)
	コピー濃度	「コピー濃度 (コピー濃度を調整する)」 (P. 132)
画質調整	おまかせ画質調整 *1	「おまかせ画質調整 (画質イメージを選択する)」 (P. 133)
	原稿の画質 *2	「原稿の画質 (原稿の画質タイプを選択する)」 (P. 135)
	地色除去	「地色除去 (原稿の下地を除去する)」 (P. 136)
	カラーバランス *1	「カラーバランス (カラーバランスを調整する)」 (P. 137)
	シャープネス	「シャープネス (画像のシャープさを調整する)」 (P. 139)
	彩度 *1	「彩度 (画質の彩度を調整する)」 (P. 140)
その他	仕分け *3	「仕分け」 (P. 142)
	まとめて 1 枚 - 2 アップ	「まとめて 1 枚 - 2 アップ (2 ページの原稿を 1 枚にまとめてコピーする)」 (P. 143)
	原稿セット向き指定	「原稿セット向き指定 (セットした原稿の向きを指定する)」 (P. 144)
	ミックスサイズ原稿送り *4	「ミックスサイズ原稿送り (サイズが異なる原稿を一度に読み取る) (DocuScan C4260 のみ)」 (P. 145)
	わく消し	「わく消し (原稿の枠やとじしろの影を消してコピーする)」 (P. 146)
	原稿サイズ入力	「原稿サイズ入力 (原稿の読み取りサイズを指定してコピーする)」 (P. 148)

*1 接続しているプリンターが白黒機の場合は、表示されません。

*2 接続しているプリンターが白黒機の場合は、[基本] 画面に表示されます。

*3 接続しているプリンターに仕分け機能があり、増設ハードディスクが装着されている場合に表示されません。

*4 DocuScan C3210 の場合は、表示されません。

4.4 基本コピー項目を設定する

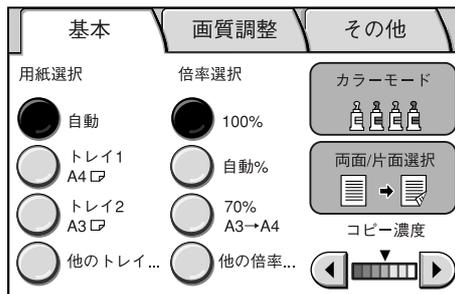
コピー条件の基本的な項目を設定する操作を説明します。

「4.1 コピー操作の流れ」の「Step4 コピー条件を設定する」(P.116)の操作です。



コピー条件の基本的な項目は、[基本]画面で設定します。

[基本]画面



補足

- [基本]画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、[仕様設定]で変更できます。[仕様設定]については、「7 仕様設定」(P.170)を参照してください。
- コピー画面に表示される項目や、項目の初期値は、接続しているプリンターの機能によって異なります。本書では、本機のコピー機能をすべて使用できるプリンターに接続している場合の画面例を記載しています。

用紙選択 (コピーする用紙を選択する)

コピーしたい用紙がセットされているトレイを選択して、コピーできます。

自動

原稿サイズと設定した倍率を基準に、適切な用紙サイズを自動的に選択してコピーします。

補足

- ・ [自動] を選択した場合は、[倍率選択] で [自動 %] 以外を指定してください。

トレイ 1、トレイ 2

接続されているプリンターのトレイが表示され、選択できます。

補足

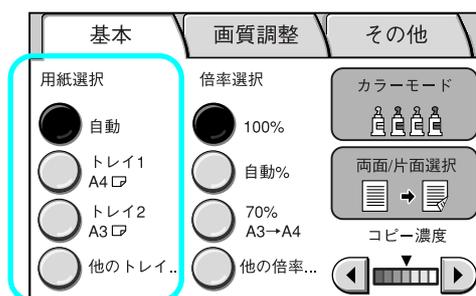
- ・ 仕様設定の [基本コピー画面] にある [用紙ボタン -2 段目]、[用紙ボタン -3 段目] で設定されているトレイが表示されます。ここでは、工場出荷時の初期値「トレイ 1」、「トレイ 2」が設定されている画面を例にしています。[基本コピー画面] の設定については、「基本コピー画面」(P. 201) を参照してください。

他のトレイ...

[用紙選択] 画面が表示され、ほかのトレイを選択できます。

[用紙選択] 画面で [手差し] を選択すると、[手差し] 画面が表示され、手差しトレイの用紙を選択できます。

1. [基本] 画面の [用紙選択] で、トレイを選択します。
表示されていないトレイを選択する場合は [他のトレイ...] を選択し、[用紙選択] 画面で設定します。



[用紙選択] 画面

[基本] 画面で [他のトレイ...] を選択すると、[用紙選択] 画面が表示されます。

そのほかの用紙 (トレイ) を選択できます。

一覧には、接続しているプリンターのトレイが表示されます。

手差しを選択した場合は、[手差し] 画面が表示されます。

注記

- ・ プリンター側で、トレイに非定形サイズを設定している場合、およびスキャナーがサポートしていない定形サイズがセットされている場合は、トレイを選択できません。
- ・ プリンター側で、スキャナーがサポートしていない紙質を設定している場合は、紙質は表示されません。

1. [他のトレイ...] を選択した場合は、[用紙選択] 画面で用紙を選択して、[閉じる] を押します。



[手差し] 画面

[用紙選択] 画面で [手差し] を選択すると、[手差し] 画面が表示されます。
手差しトレイの用紙を選択できます。

注記

- ・ [手差し] を選択して非定形サイズの用紙にコピーする場合、プリンターによっては設定が必要になることがあります。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

補足

- ・ この画面の用紙情報は、接続しているプリンターにセットされている用紙情報ではありません。

定形サイズ

[定形サイズ] 画面が表示され、用紙サイズを選択できます。

非定形サイズ

[非定形サイズ] 画面が表示されます。

サイズ (X (よこ) 方向、Y (たて) 方向) を 1 mm刻みで設定します。

補足

- ・ 指定できる範囲は、接続しているプリンターによって異なります。プリンターの取扱説明書を参照してください。

用紙種類

一覧から用紙の種類を選択します。

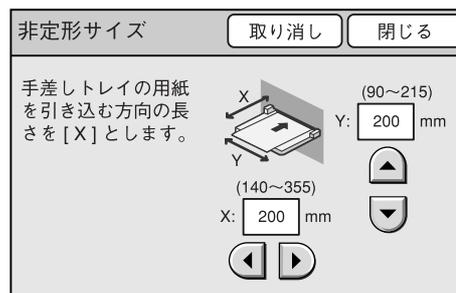
1. [用紙選択] 画面で、[手差し] を選択した場合は、[定形サイズ] または [非定形サイズ] を押します。



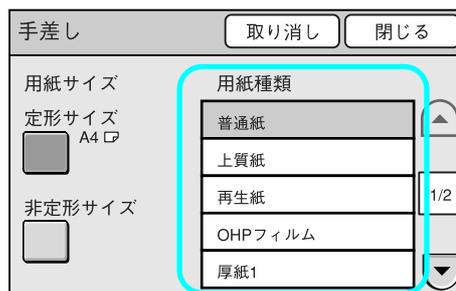
2. [定形サイズ] を押した場合は、[定形サイズ] 画面で、用紙サイズを選択します。



[非定形サイズ] を押した場合、[非定形サイズ] 画面で、[▲] / [▼] / [◀] / [▶] で、サイズを入力します。

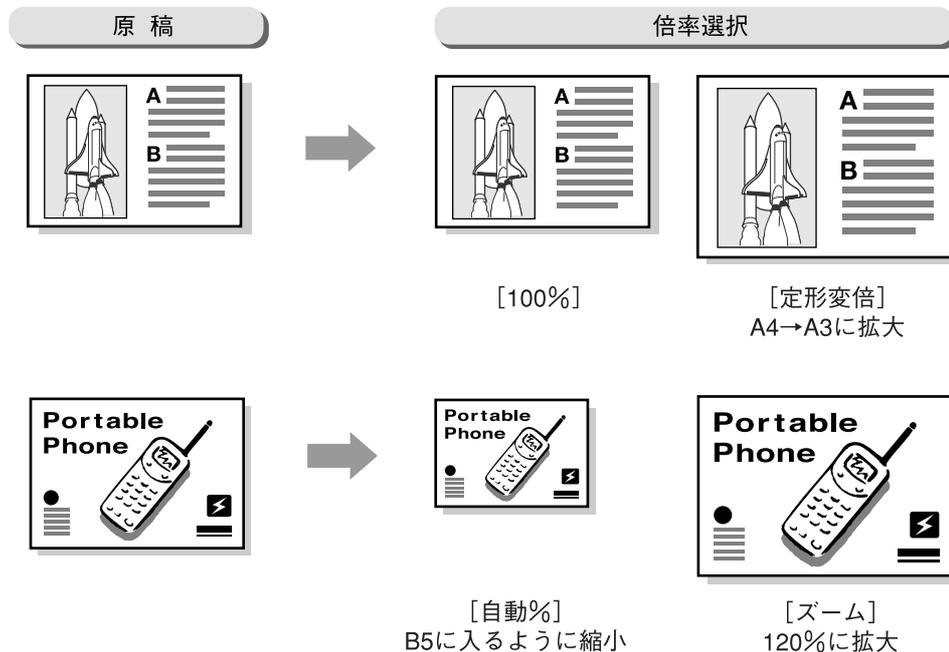


3. [閉じる] を押します。
4. [用紙種類] で、用紙の種類を選択します。
5. [基本] 画面に戻るまで、[閉じる] を押します。



倍率選択 (拡大縮小してコピーする)

倍率を選択して、拡大や縮小コピーができます。



100%

原稿と同じ大きさをコピーします（等倍コピー）。

自動%

原稿サイズと用紙サイズから倍率を自動的に計算し、選択した用紙に原稿がおさまるようにコピーします。たてよこの比率は、元の原稿の比率が維持されます。

補足

- ・ [自動%] を選択した場合は、[用紙選択] で [自動] 以外を指定してください。

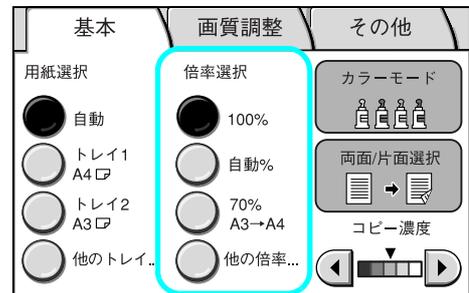
倍率

あらかじめ設定されている倍率から選択します。

他の倍率...

[倍率選択] 画面が表示され、ほかの倍率が選択できます。

1. [基本] 画面の [倍率選択] で、倍率を選択します。
表示されていない倍率を選択する場合は [他の倍率...] を選択し、[倍率選択] 画面で設定します。



【倍率選択】画面

[基本] 画面で [他の倍率...] を選択すると、[倍率選択] 画面が表示されます。

定形倍率

あらかじめ設定されている、定形の倍率から選択できます。

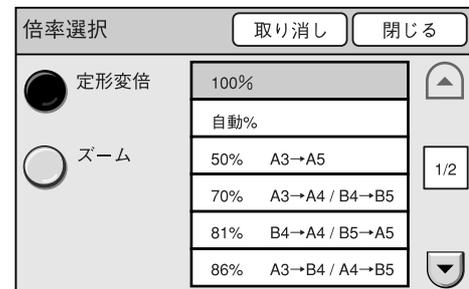
ズーム

任意の倍率を入力してコピーできます。倍率は、50 ~ 200% の範囲で 1% 単位で指定できます。たてよこの比率は、元の原稿の比率が維持されます。

1. [倍率選択] 画面で、[定形倍率] を選択すると、右側に一覧が表示されるので、倍率を選択して、[閉じる] を押します。

補足

- ・ [定形変倍] で設定した場合、出力サイズが定形サイズと正確に一致しないことがあります。表示されている用紙サイズは、縮小 / 拡大の参考として利用してください。

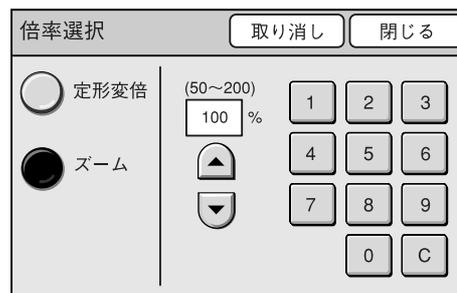


2. [倍率選択] 画面で、[ズーム] を選択し、[▲] / [▼] またはタッチパネルディスプレイの数字ボタンを押して、倍率を 1%単位で設定します。

補足

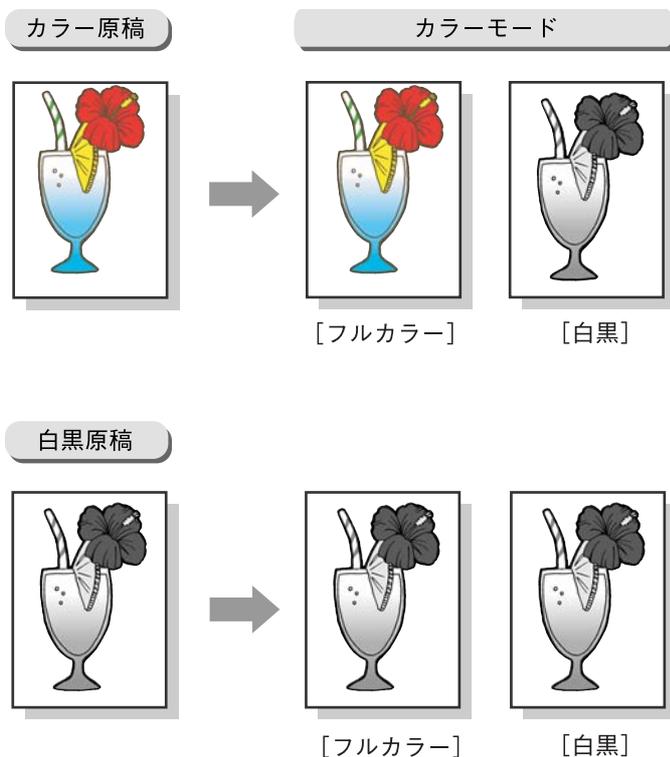
- ・ 入力を間違えた場合は、[C] を押します。

3. [閉じる] を押します。



カラーモード (コピーする色を選択する)

原稿をコピーするときの色を設定できます。



[カラーモード] を選択すると、[カラーモード] 画面が表示され、設定ができます。

注記

- ・ 接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は表示されません。

[カラーモード] 画面

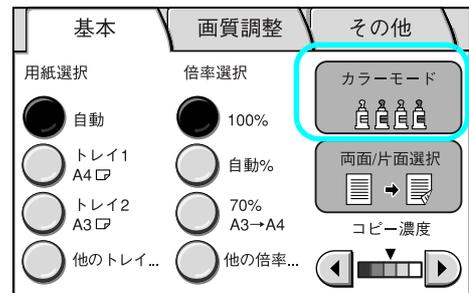
白黒

白黒でコピーします。

フルカラー

カラー原稿をコピーするときに選択します。

1. [基本]画面で、[カラーモード]を押します。



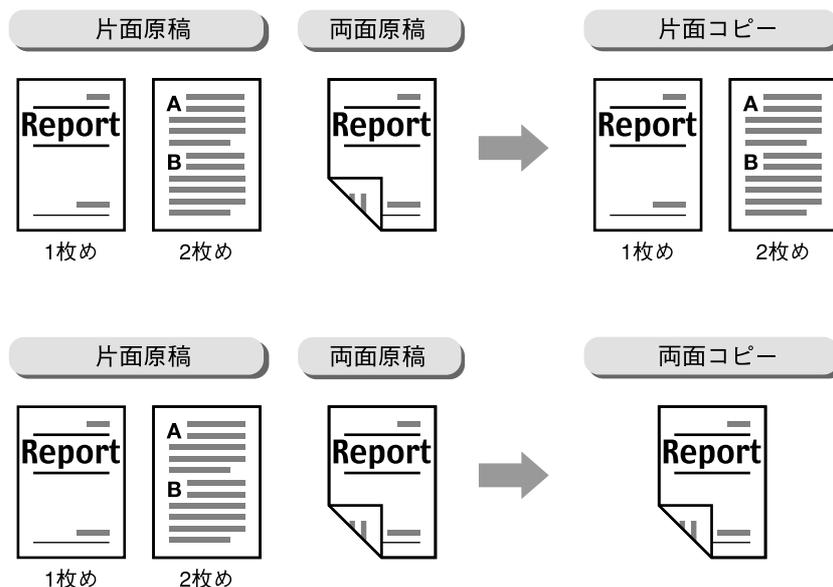
2. [カラーモード]画面で、色を選択します。

3. [閉じる]を押します。



両面 / 片面選択（両面 / 片面にコピーする）

片面 / 両面原稿を両面にコピーしたり、片面 / 両面原稿を片面にコピーできます。



【両面 / 片面選択】を選択すると、【両面 / 片面選択】画面が表示され、設定ができます。

注記

- ・ 接続しているプリンターに両面印刷機能がない場合は、両面にコピーすることはできません。
- ・ 大きなサイズの両面原稿を上下開きで拡大コピーしたとき、一部画像が欠ける場合があります。
- ・ A3 サイズの原稿を、両面にコピーする（【片面→両面】または【両面】→【両面】を設定する）場合、プリンターによってはメモリー増設が必要になる機種があります。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

【両面 / 片面選択】画面

片面→片面

片面原稿を用紙の片面にコピーします。

片面→両面

片面原稿を用紙の両面にコピーします。

注記

- ・ プリンターに両面印刷機能がない場合は、この機能は表示されません。

両面→両面

両面原稿を用紙の両面にコピーします。

注記

- ・ プリンターに両面印刷機能がない場合は、この機能は表示されません。

両面→片面

両面原稿を用紙の片面にコピーします。

■できあがり状態

補足

・【片面→両面】を選択した場合に表示されます。

・ 左右開き

コピー結果のおもてとうらで、イメージの上下を同じにしたいときに選択します。

・ 上下開き

コピー結果のおもてとうらで、イメージの上下を逆転させたいときに選択します。

■原稿の状態 / できあがり状態

補足

・【両面→両面】を選択した場合に表示されます。

・ 左右開き

原稿とコピー結果のおもてとうらで、イメージの上下が同じときに選択します。

・ 上下開き

原稿とコピー結果のおもてとうらで、イメージの上下が逆転しているときに選択します。

■原稿の状態

補足

・【両面→片面】を選択した場合に表示されます。

・ 左右開き

原稿のおもてとうらで、イメージの上下が同じときに選択します。

・ 上下開き

原稿のおもてとうらで、イメージの上下が逆転しているときに選択します。

■原稿セット向き指定

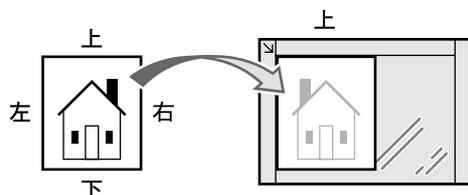
補足

・【片面→片面】を選択した場合は、この機能は表示されません。

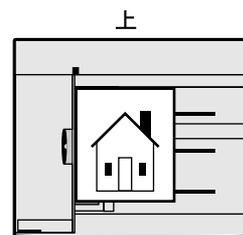
原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

・ 読める向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって奥側にセットする場合があります。



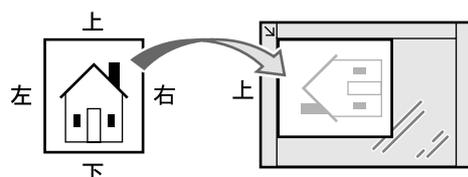
原稿ガラスにセットする



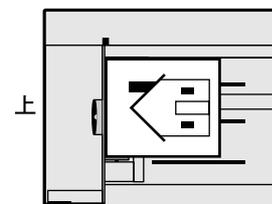
自動原稿送り装置にセットする

・ 左向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって左側にセットする場合があります。原稿を左向き（文字がよこ向き）にセットする場合は、必ず【左向き】を選択してください。



原稿ガラスにセットする

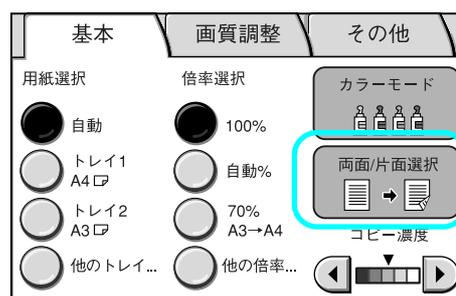


自動原稿送り装置にセットする

注記

・ 実際の原稿のセット向きと【原稿セット向き指定】の設定が合っていないと、原稿の上部を機械が間違えて認識してしまいます。

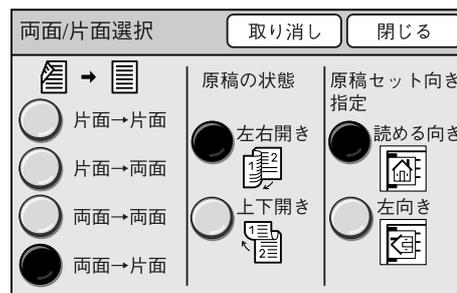
1. 【基本】画面で、【両面 / 片面選択】を押します。



2. 【両面 / 片面選択】画面で、両面 / 片面の設定を選択します。

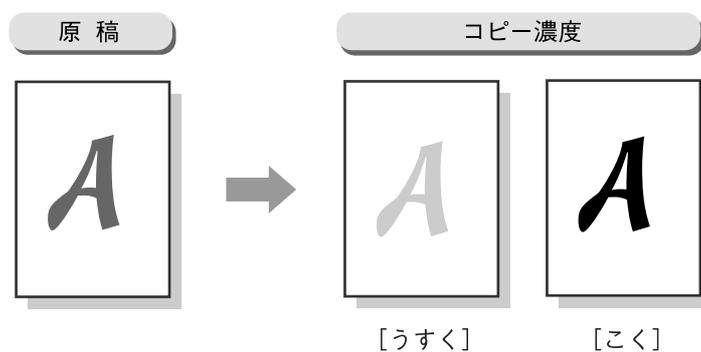


3. [片面→片面] 以外を選択した場合は、画面右側に表示された項目を設定します。
4. [閉じる] を押します。

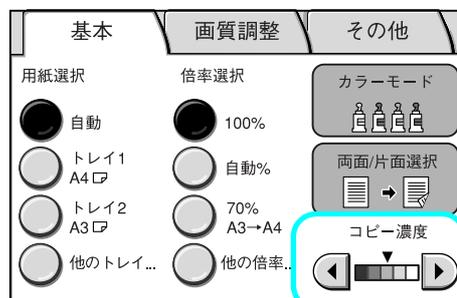


コピー濃度 (コピー濃度を調整する)

コピーの濃度を、7段階で調整できます。▼が、左方向へ近づくほど色を濃くコピーし、右方向へ近づくほど色を薄くコピーします。



1. [◀] または [▶] を押して、濃度を設定します。



4.5 画質調整のコピー項目を設定する

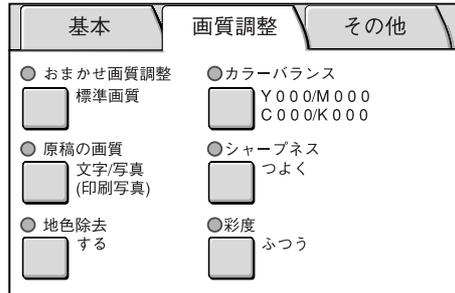
画質調整のコピー条件を設定する操作を説明します。

「4.1 コピー操作の流れ」の「Step4 コピー条件を設定する」(P. 116)の操作です。



画質調整のコピー条件は、[画質調整] 画面で設定します。

[画質調整] 画面



補足

- ・ [画質調整] 画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、[仕様設定] で変更できます。[仕様設定] については、「7 仕様設定」(P. 170)を参照してください。

おまかせ画質調整 (画質イメージを選択する)

おまかせ画質調整の画質イメージを選択すると、[カラーバランス] が自動的に調整され、イメージに合った画質でコピーできます。

注記

- ・ 接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は表示されません。
- ・ [カラーモード] で [フルカラー] が選択されていない場合は、この機能は使用できません。

補足

- ・ おまかせ画質調整の設定後に、[カラーバランス] 画面で設定を変更すると、おまかせ画質調整の設定は無効になります。

[おまかせ画質調整] を選択すると、[おまかせ画質調整] 画面が表示され、設定ができます。

[おまかせ画質調整] 画面

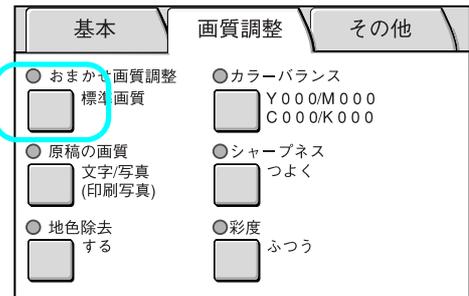
標準画質

「カラーバランス」の画質調整の設定を初期値の状態のコピーします。

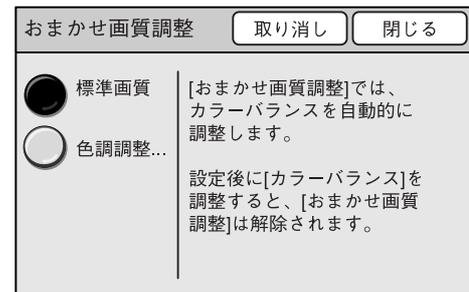
色調調整

[色調調整] 画面が表示され、赤 / 青 / 緑の色調の強調、低減を設定できます。

1. 【画質調整】画面で、【おまかせ画質調整】を押します。



2. 【おまかせ画質調整】画面で、【標準画質】または【色調調整...】を選択します。



【色調調整】画面

【おまかせ画質調整】画面で、【色調調整】を選択すると、【色調調整】画面が表示されます。色の強調、低減を設定できます。



赤み強調 / 赤み低減

赤みを強調または低減します。

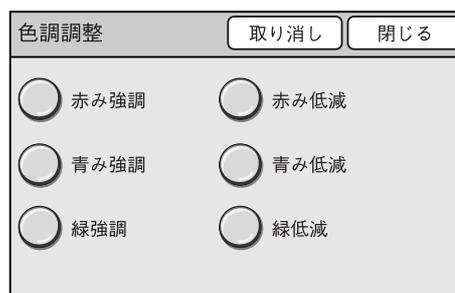
青み強調 / 青み低減

青みを強調または低減します。

緑強調 / 緑低減

緑を強調または低減します。

1. 【色調調整】画面で、色みの強調 / 低減を選択し、【閉じる】を押します。
2. 【おまかせ画質調整】画面で、【閉じる】を押します。



原稿の画質（原稿の画質タイプを選択する）

原稿の画質を選択します。

【原稿の画質】を選択すると、【原稿の画質】画面が表示され、設定ができます。

補足

- ・ 接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は【基本】画面に表示されます。

【原稿の画質】画面

文字

文字をはっきりコピーしたいときに選択します。

文字 / 写真

文字と写真が混在した原稿をコピーするときに選択します。文字領域と写真領域を自動的に判断し、領域ごとに適した画質でコピーします。

【文字 / 写真】を選択すると、右側に【写真の種類】が表示されます。

写真

写真をコピーするときに選択します。

【写真】を選択すると、右側に【写真の種類】が表示されます。

地図

地図をコピーするときに選択します。

【写真の種類】

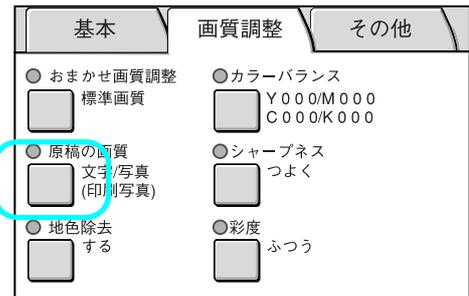
印刷写真

プリンターで印刷した写真や、書籍 / パンフレットの印刷部分をコピーする場合に選択します。

印画紙写真

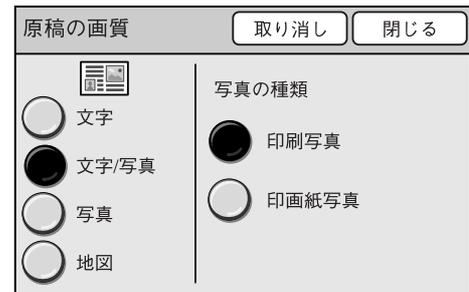
印画紙の写真をコピーする場合に選択します。

1. [画質調整] 画面で、[原稿の画質] を押し
ます。



2. [原稿の画質] 画面で、原稿の画質を選択し
ます。

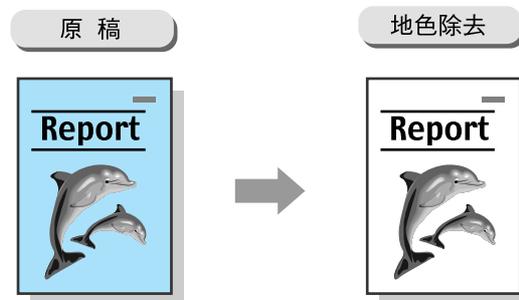
3. [閉じる] を押します。



地色除去（原稿の下地を除去する）

カラーモードの[白黒]でコピーした場合は、新聞や地色原稿などの原稿の下地（背景）を除いてコピーできます。

カラーモードの[フルカラー]でコピーした場合、背景が白い原稿でも、原稿の古さや紙質などの状態によって、かすかに色が付くことがあります。その場合、[地色除去]で、背景を白くコピーできます。



補足

- ・ [原稿の画質] の設定が [写真] の場合、[地色除去] 機能は働きません。
- ・ カラーモードの設定が [フルカラー] の場合は、下地の除去量を抑えています。

[地色除去] を選択すると、[地色除去] 画面が表示され、設定ができます。

[地色除去] 画面

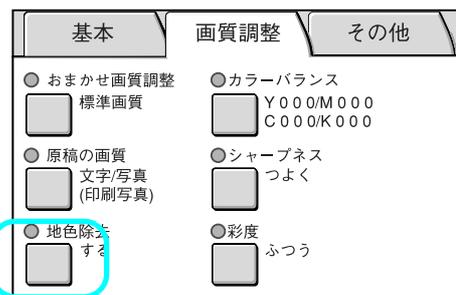
しない

原稿の下地をそのままコピーします。

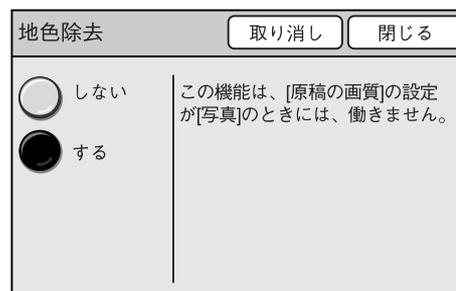
する

原稿の下地を除いてコピーします。

1. [画質調整]画面で、[地色除去]を押します。

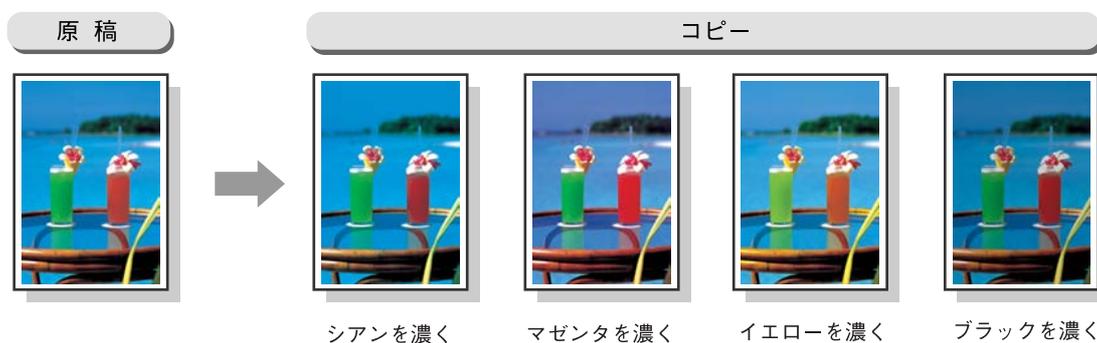


2. [地色除去]画面で、[しない]または[する]を選択します。
3. [閉じる]を押します。



カラーバランス (カラーバランスを調整する)

イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの4色を、低濃度 / 中濃度 / 高濃度ごとに7段階で強弱を調整できます。



注記

- ・ 接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は表示されません。
- ・ [カラーモード]が[白黒]の場合は、ブラックの変更のみが反映されます。

補足

- ・ おまかせ画質調整の設定後に、[カラーバランス]画面で設定を変更すると、おまかせ画質調整の設定は無効になります。

[カラーバランス]を選択すると、[カラーバランス]画面が表示されます。色を選択すると、各色の設定ができます。

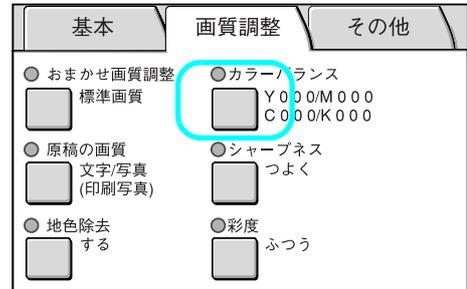
[カラーバランス] 画面

イエロー / マゼンタ / シアン / ブラック

調整したい色を選択します。

選択すると、その色の [カラーバランス] 画面が表示されます。

1. [画質調整] 画面で、[カラーバランス] を押します。



2. [カラーバランス] 画面で、調整する色のボタンを選択します。
3. [カラーバランス (Y/M/C/K)] 画面で設定を行い、[閉じる] を押します。



[カラーバランス (Y/M/C/K)] 画面

[カラーバランス] 画面で色のボタンを選択すると、その色の設定ができる [カラーバランス] 画面が表示されます。

低濃度 / 中濃度 / 高濃度ごとに 7 段階で強弱を設定できます。

低濃度

低濃度の強弱を 7 段階で調整します。

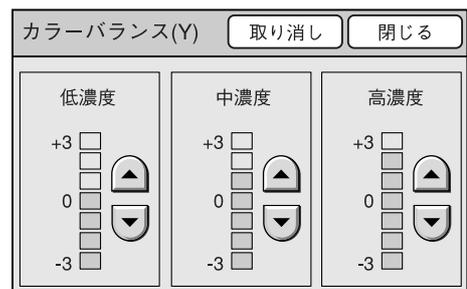
中濃度

中濃度の強弱を 7 段階で調整します。

高濃度

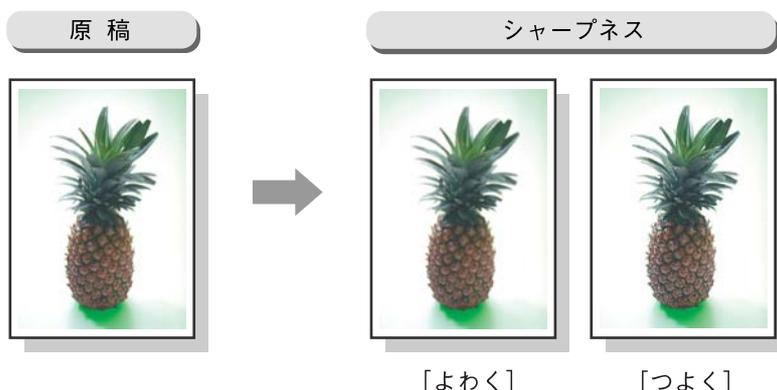
高濃度の強弱を 7 段階で調整します。

1. 選択した色の [カラーバランス] 画面で、色のバランスを、濃度ごとに [▲] または [▼] を押して調整します。
2. [閉じる] を押します。



シャープネス (画像のシャープさを調整する)

シャープネスを調整できます。



[シャープネス] を選択すると、[シャープネス] 画面が表示され、設定ができます。

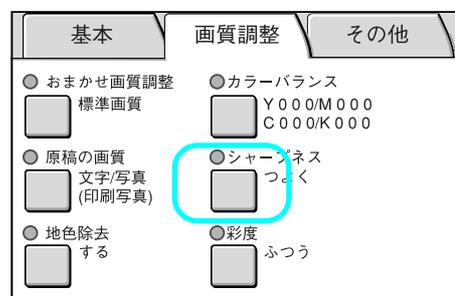
[シャープネス] 画面

つよく～よわく

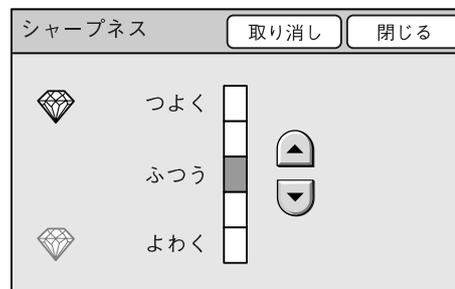
[つよく] ～ [よわく] の間で、5 段階のシャープネスを選択できます。

[つよく] に近づくほど画像の輪郭が強調されます。[よわく] に近づくほど画像の輪郭をぼかしたようになります。

1. [画質調整] 画面で、[シャープネス] を押します。



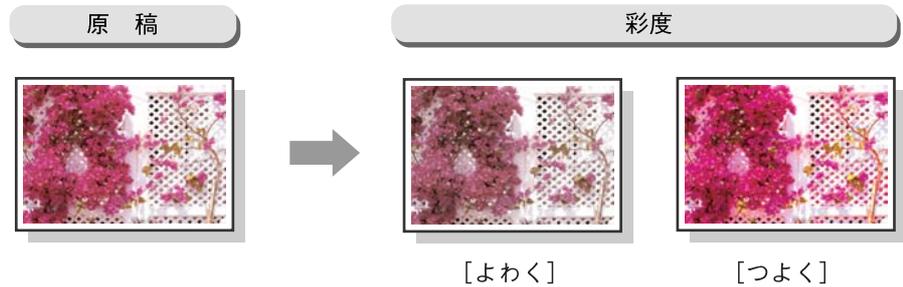
2. [シャープネス] 画面で、[▲] または [▼] を押してシャープネスを設定します。



3. [閉じる] を押します。

彩度（画質の彩度を調整する）

彩度を調整できます。



注記

- ・ 接続しているプリンターが白黒機の場合は、この機能は表示されません。
- ・ [カラーモード] で [白黒] が選択されている場合は、この機能は使用できません。

[彩度] を選択すると、[彩度] 画面が表示され、設定ができます。

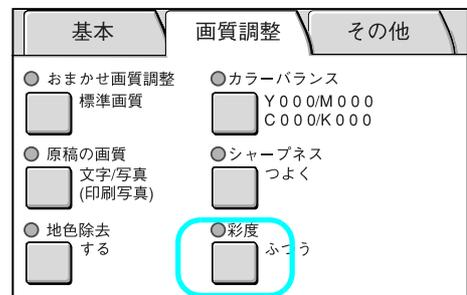
[彩度] 画面

つよく～よわく

[つよく] ～ [よわく] の間で、5 段階の彩度を選択できます。

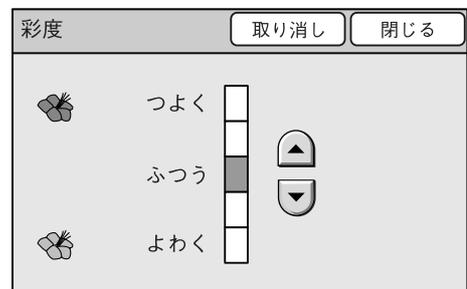
[つよく] に近づくほどカラー原稿の色の鮮やかさの度合いが強くなり、[よわく] に近づくほどカラー原稿の色の鮮やかさの度合いが弱くなります。

1. [画質調整] 画面で、[彩度] を押します。



2. [彩度] 画面で、[▲] または [▼] を押し、彩度を設定します。

3. [閉じる] を押します。



4.6 その他のコピー項目を設定する

その他のコピー条件を設定する操作を説明します。

「4.1 コピー操作の流れ」の「Step4 コピー条件を設定する」(P. 116)の操作です。



その他のコピー条件は、[その他] 画面で設定します。

[その他] 画面

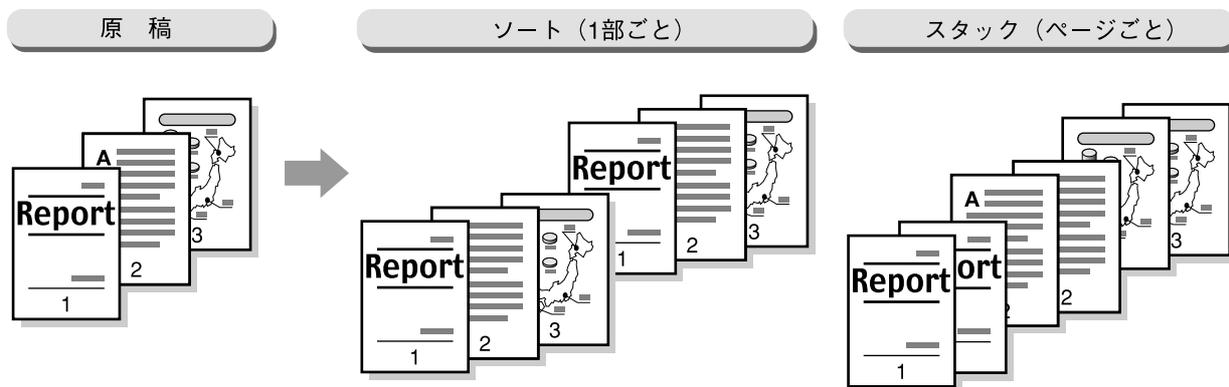
基本	画質調整	その他
<input type="checkbox"/> 仕分け ソート (1部ごと)	<input type="checkbox"/> ミックスサイズ原稿送り しない	
<input type="checkbox"/> まとめて1枚-2アップ しない	<input type="checkbox"/> わく消し 4mm / 4mm 0mm	
<input type="checkbox"/> 原稿セット向き指定 読める向き	<input type="checkbox"/> 原稿サイズ入力 自動検知	

補足

- ・上記の画面は、DocuScan C4260 のコピーの [その他] 画面を例にしています。DocuScan C3210 の場合は、[ミックスサイズ原稿送り] 機能はありません。
- ・[その他] 画面で前の設定が残っている場合は、操作パネルの〈リセット〉ボタンを押すと設定を初期値に戻すことができます。初期値は、[仕様設定] で変更できます。[仕様設定] については、「7 仕様設定」(P. 170) を参照してください。

仕分け

コピーの排出方法を設定できます。



注記

- ・ 接続しているプリンターが以下の場合、この機能は表示されません。
 - ・ 仕分け機能がない
 - ・ 増設ハードディスクが未装着
- ・ プリンターにフィニッシャーを取り付けている場合でも、コピー時にフィニッシャーの機能は使用できません。

[仕分け] を選択すると、[仕分け] 画面が表示され、設定ができます。

[仕分け] 画面

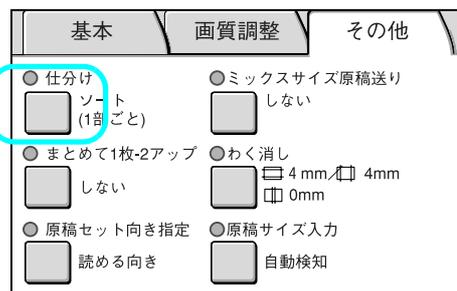
ソート (1部ごと)

コピーした用紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて排出できます。

スタック (ページごと)

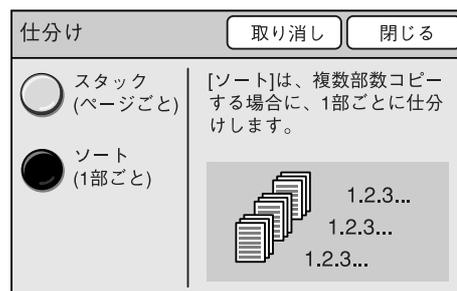
コピーした用紙をページごとにまとめて、指定した部数を排出できます。

1. [その他] 画面で、[仕分け] を押します。



2. [仕分け] 画面で、コピーの排出方法を選択します。

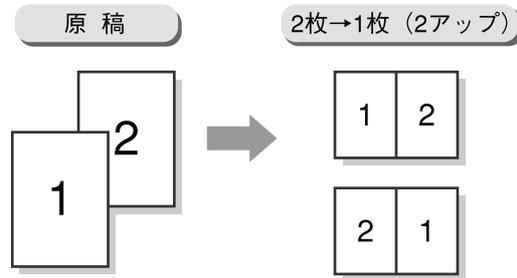
3. [閉じる] を押します。



まとめて1枚-2アップ (2ページの原稿を1枚にまとめてコピーする)

2枚の原稿を1枚にまとめてコピーできます。

[まとめて1枚-2アップ]を選択すると、自動的に[倍率選択]の[自動%]が選択されます。機械が自動的に倍率を設定して、画像を選択した用紙に収まるようにコピーします。



注記

・セットした原稿の向きと、[原稿セット向き指定]の設定が同じになっているかを、確認してください。

補足

- ・[倍率選択]で[自動%]を解除した場合(倍率を選択し直した場合)、原稿の画像サイズによっては、像欠けが発生することがあります。
- ・わく消しを設定した場合、まとめる原稿に対してそれぞれ、わく消しが実行されます。
- ・[基本]画面の[用紙選択]で設定する用紙トレイは、[自動]以外の設定にしてください。

[まとめて1枚-2アップ]を選択すると、[まとめて1枚-2アップ]画面が表示され、設定ができます。

[まとめて1枚-2アップ]画面

しない

まとめて1枚-2アップをしません。

2枚→1枚 (2アップ)

2枚の原稿を1枚にまとめてコピーします。

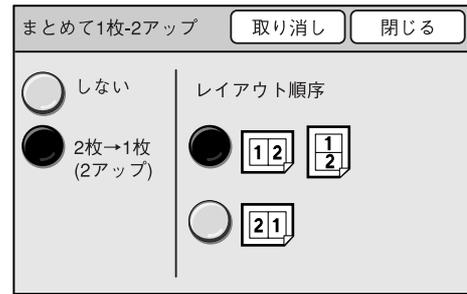
[レイアウト順序]

[2枚→1枚]を選択した場合に、ページのレイアウト順序を選択します。

1. [その他]画面で、[まとめて1枚-2アップ]を押します。

基本	画質調整	その他
<input type="radio"/> 仕分け <input type="checkbox"/> ソート (1部ごと)	<input type="radio"/> ミックスサイズ原稿送り <input type="checkbox"/> しない	
<input checked="" type="radio"/> まとめて1枚-2アップ <input type="checkbox"/> しない	<input type="radio"/> わく消し <input type="checkbox"/> 4mm <input type="checkbox"/> 0mm	
<input type="radio"/> 原稿セット向き指定 <input type="checkbox"/> 読める向き	<input type="radio"/> 原稿サイズ入力 <input type="checkbox"/> 自動検知	

2. [まとめて1枚-2アップ]画面で、[しない] または [2枚→1枚(2アップ)] を選択します。
3. [2枚→1枚(2アップ)] を選択した場合は、ページのレイアウト順序を選択します。
4. [閉じる] を押します。



原稿セット向き指定 (セットした原稿の向きを指定する)

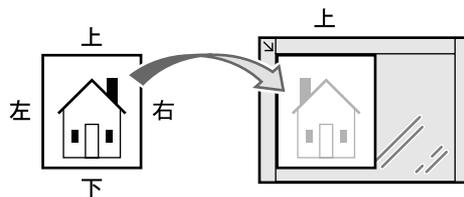
原稿の上部を指示するために、原稿のセット向きを設定する必要があります。

[原稿セット向き指定] を選択すると、[原稿セット向き指定] 画面が表示され、設定ができます。

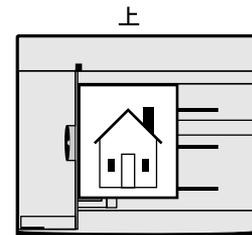
[原稿セット向き指定] 画面

読める向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって奥側にセットする場合に選択します。



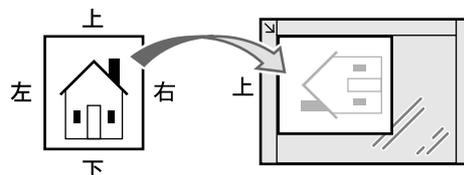
原稿ガラスにセットする



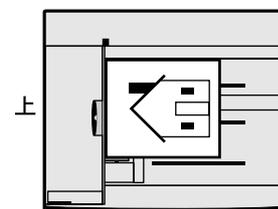
自動原稿送り装置にセットする

左向き

原稿の上部を、原稿ガラス、または自動原稿送り装置に向かって左側にセットする場合に選択します。原稿を左向き (文字がよこ向き) にセットする場合は、必ず [左向き] を選択してください。



原稿ガラスにセットする

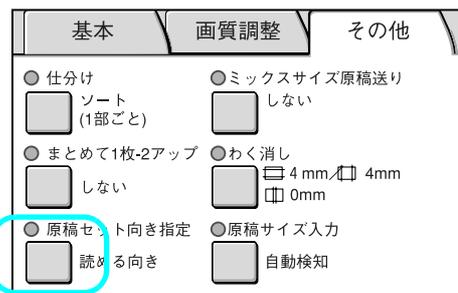


自動原稿送り装置にセットする

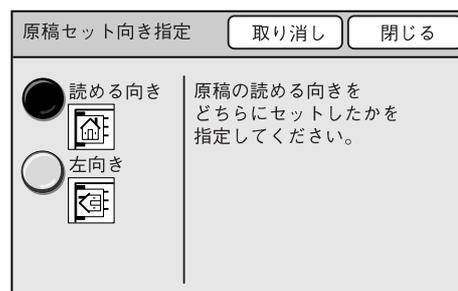
注記

- ・ 実際原稿のセット向きと [原稿セット向き指定] の設定が合っていないと、原稿の上部を機械が間違っ認識してしまいます。

1. [その他] 画面で、[原稿セット向き指定] を押します。



2. [原稿セット向き指定] 画面で、原稿のセット向きを選択します。
3. [閉じる] を押します。



ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る） (DocuScan C4260 のみ)

自動原稿送り装置を使用すると、サイズの異なる原稿を一度に読み取り、それぞれの原稿サイズに合ったサイズ用の紙にコピーできます。また、コピーするサイズを指定して、サイズをそろえたコピーもできます。



注記

- ・ A5 サイズの原稿は、必ずよこ置きにセットしてください。

補足

- ・ 原稿サイズを自動検知できない場合は、原稿サイズを入力する画面が表示されます。

[ミックスサイズ原稿送り] を選択すると、[ミックスサイズ原稿送り] 画面が表示され、設定ができます。

[ミックスサイズ原稿送り] 画面

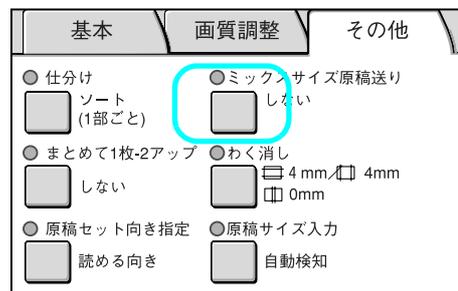
しない

原稿サイズがすべて同じ場合に選択します。

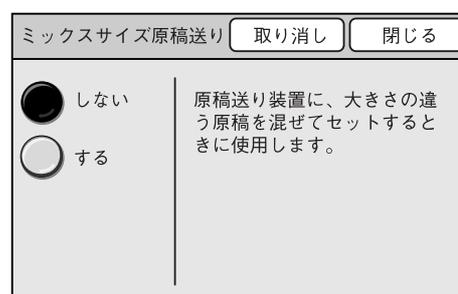
する

異なるサイズの原稿をコピーする場合に、機械が自動的にそれぞれの原稿サイズを認識します。

1. [その他] 画面で、[ミックスサイズ原稿送り] を押します。



2. [ミックスサイズ原稿送り] 画面で、[しない] または [する] を選択します。



3. [閉じる] を押します。

わく消し (原稿の枠やとじしろの影を消してコピーする)

原稿カバーを開いたままコピーしたり、冊子になっている原稿をコピーするときに、用紙のまわりや中央のとじ部分に黒い影ができることがあります。このような場合に、影を消してコピーできます。

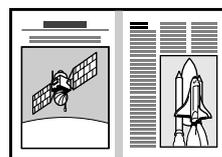
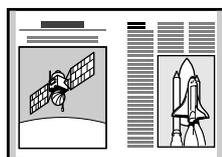
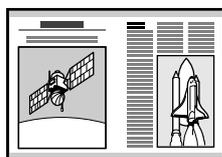
消し量を調整

- 原稿の上部を、スキャナーに向かって奥側にセットした場合 ([読める向き] の場合)

[上下消し設定時]

[左右消し設定時]

[中消し設定時]

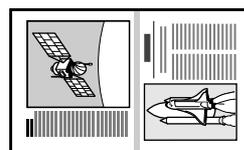
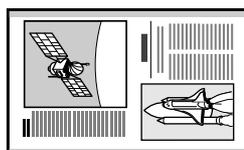
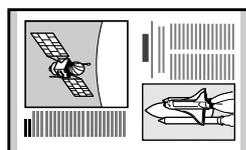


- 原稿の上部を、スキャナーに向かって左側にセットした場合 ([左向き] の場合)

[上下消し設定時]

[左右消し設定時]

[中消し設定時]



—: 影が消える部分

注記

- ・ セットした原稿の向きと、[その他] 画面の [原稿セット向き指定] の設定が同じになっているかを、確認してください。

補足

- ・ 両面コピーの場合は、おもて面とうら面には同じわく消し量が設定されます。
- ・ 倍率選択を設定している場合は、倍率に比例して、わく消し量も拡大 / 縮小されます。

参照

- ・ 実際に印刷できる領域：お使いのプリンターの取扱説明書

[わく消し] を選択すると、[わく消し] 画面が表示され、設定ができます。

[わく消し] 画面

標準

上下 / 左右に 4mm のわく消し量が設定されています。わく消しをしたくない場合は、[消し量調整] で [0mm] に設定します。

中央のわく消しは、0mm (わく消ししない) に設定されています。

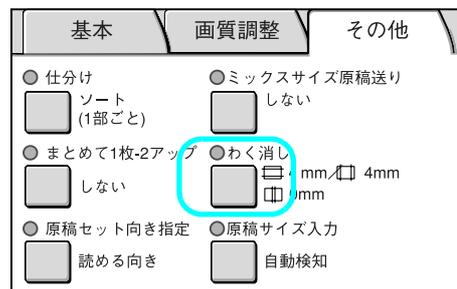
消し量調整

[消し量調整] を選択すると、右側が調整量を指定する画面に変わります。

原稿の上下、左右、中央の影に対して、必要な量だけ消し量を調整できます。

わく消しの幅は、[▲] / [▼] で、0 ~ 50mm の範囲で 1mm 刻みに設定します。

1. [その他] 画面で、[わく消し] を押します。



2. [わく消し] 画面で、[標準] または [消し量調整] を選択します。

補足

- ・ [わく消し] 画面の初期値は、[仕様設定] で変更できます。「わく消し」(P. 208) を参照してください。

3. [消し量調整] を選択した場合は、[▲] / [▼] を押して調整量を設定します。

4. [閉じる] を押します。

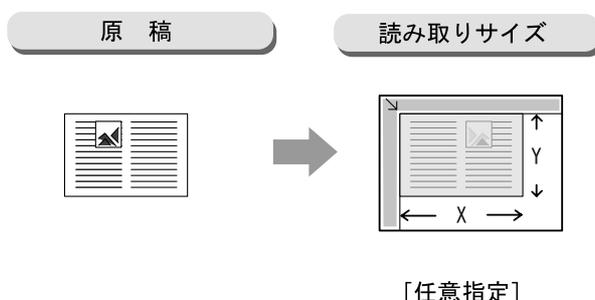


原稿サイズ入力（原稿の読み取りサイズを指定してコピーする）

原稿の読み取りサイズを設定できます。

非定形サイズの原稿を読み取る場合や、セットしている原稿とは異なるサイズでコピーしたい場合は、原稿サイズを指定します。

原稿サイズを指定すると、実際にセットされている原稿のサイズに関係なく、設定したサイズで読み取ります。余白を付けたり、余分な部分を削除したりしてコピーできます。



補足

- ・ 原稿サイズを任意指定する場合、X方向、Y方向でサイズを指定します。X方向は、読み取り方向と同じ向きです。Y方向は、読み取り方向と垂直の向きです。

[原稿サイズ入力] を選択すると、[原稿サイズ入力] 画面が表示され、設定ができます。

[原稿サイズ入力] 画面

自動検知

原稿サイズを自動で認識します。

補足

- ・ 原稿サイズを自動検知できない場合は、原稿サイズを入力する画面が表示されます。

定形サイズ

あらかじめ設定されているサイズから選択します。

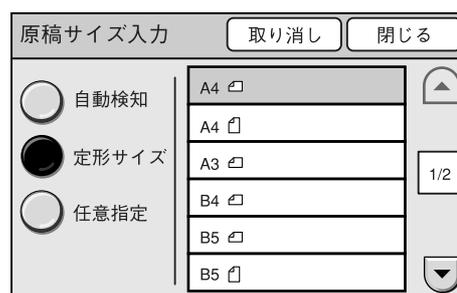
表示される原稿サイズは変更できます。

補足

- ・ 表示される原稿サイズのボタンは、DocuScan C4260 の場合は 12 個、DocuScan C3210 の場合は、6 個です。ここでは DocuScan C4260 の場合を例に説明しています。

参照

- ・ 表示される原稿サイズの変更方法：「原稿サイズボタン」(P. 184)



任意指定

非定形サイズ of 原稿を読み取る場合や、セットしている原稿とは異なるサイズでコピーするときは、読み取りたいサイズを入力します。

サイズは、[▲] / [▼] / [◀] / [▶] で、1 mm 刻みに設定します。

原稿ガラスのまわりにある目盛を参考にすると便利です。

参照

- 指定できる原稿のサイズ：「使用できる原稿」(P. 48) の「読み取り可能エリア」

1. 「その他」画面で、「原稿サイズ入力」を押します。

2. 「原稿サイズ入力」画面で、読み取りサイズを選択して、「閉じる」を押します。

5 宛先表 / 登録リストを使用する

5.1 宛先表の概要

ここでは、宛先表の概要について説明します。

宛先表とは

PC 保存の保存先、メール送信の送信先、メディア保存の保存場所などの「宛先」は、あらかじめ「宛先表」に登録しておく、スキャン時はタッチパネルディスプレイに表示された一覧から選択するだけで指定できます。

宛先の登録、変更、削除は、DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で行います。

頻繁に同じ宛先に PC 保存、メール送信、またはメディア保存する場合は、文字で入力するより、宛先表を使って指定するほうが便利です。

宛先表は、「宛先表フォルダー」を作成して宛先を分類できます。登録する宛先の数が多い場合は、複数の宛先表フォルダーを、ユーザー別や用途別など目的にあわせて作成して、宛先を分類できます。また、宛先の検索は、1つの宛先表フォルダー内が対象です。1つの宛先表フォルダーにすべての宛先を登録しておけば、すべての宛先を一度に検索できます。ご利用方法に応じて、宛先を登録してください。

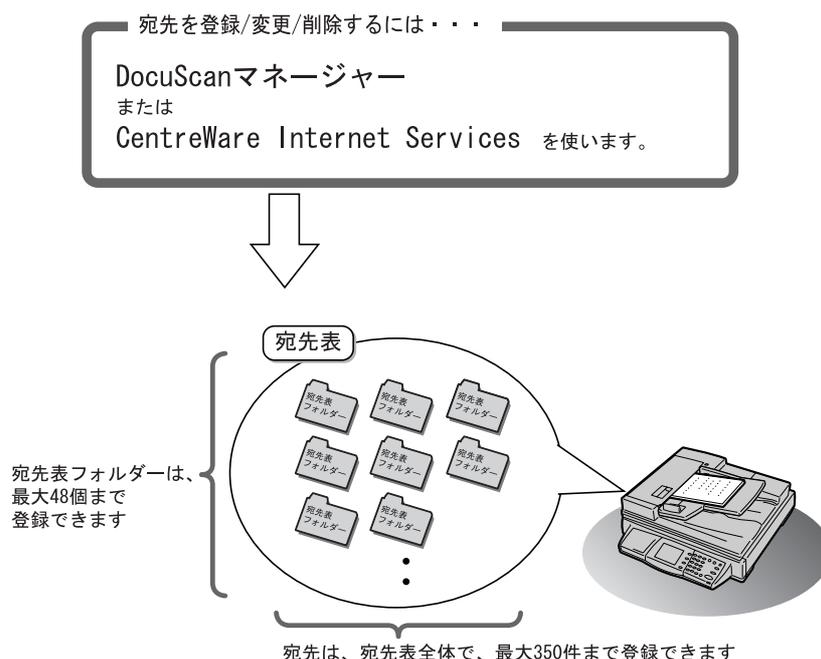
宛先表フォルダーには暗証番号を設定することもできます。

注記

- 宛先の新規登録、追加登録を行った場合は、宛先表のバックアップをとることをお勧めします。宛先表のバックアップは、[設定 / 登録データの保守]で行います。「設定 / 登録データの保守」(P. 192)を参照してください。また、[設定 / 登録データの保守]は、DocuScan マネージャーからも行えます。DocuScan マネージャーでの操作については、DocuScan マネージャーのヘルプを参照してください。

補足

- 宛先表には、宛先（メールアドレス） / 保存先（サーバー名 / IP アドレス） / 保存場所などの宛先を最大 350 件まで登録できます。
- 宛先表フォルダーは、最大 48 個まで登録できます。
- 宛先表フォルダーが 1 個の場合は、その中に宛先を 350 件まで登録できます。



宛先の種別

宛先表には、次の 4 つの種別の宛先を登録できます。

- ・ サーバー：
PC 保存の保存先です。コンピューターの名前や IP アドレス、保存場所のフォルダーなどを登録します。
- ・ メール（個人）：
メール送信の送り先メールアドレスなどを登録します。
- ・ メール（グループ）：
メール（個人）として登録されている宛先のメールアドレスを複数登録できます。スキャン時に、宛先としてメール（グループ）を指定すると、グループ内のメンバー全員に一度にスキャンデータをメール送信できます。
- ・ メディア：
メディア保存の保存先です。保存先のパスを登録します。

補足

- ・ メール（グループ）のグループメンバーには、メール（個人）として登録されている宛先を、最大 27 件まで登録できます。

宛先を登録するには

Windows から宛先を登録する場合：

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services を使います。

Mac OS X から宛先を登録する場合：

CentreWare Internet Services を使います。

補足

- ・ DocuScan マネージャーは、同梱されている「Software Pack」CD-ROM からコンピューターにインストールします。

参照

- ・ DocuScan マネージャーのインストール方法：『ソフトウェアバック操作ガイド』
- ・ DocuScan マネージャーの基本的な操作方法：「8 DocuScan マネージャーを使用する」(P. 228)
- ・ DocuScan マネージャーの詳しい操作方法：DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・ CentreWare Internet Services の使用方法：「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)
- ・ CentreWare Internet Services での宛先の登録方法：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

スキャンの定型設定

種別が「メール（グループ）」、「サーバー」、「メディア」である宛先には、スキャナーの操作パネルから行うスキャン条件の設定をあらかじめ登録しておくことができます。この設定を「スキャンの定型設定」といいます。

宛先にスキャンの定型設定を登録すると、宛先を選択するだけで、スキャン条件が設定できるので、操作パネルからスキャン条件を設定する操作が省けます。

定型業務など、同じ宛先には、いつも同じスキャン条件でスキャンを行うといった場合に便利です。

スキャンの定型設定の登録、変更、削除は、DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services から、宛先の登録、変更、削除時に行います。

補足

- ・ 宛先の「メール（個人）」にスキャンの定型設定を登録したい場合、メール（グループ）を作成し、スキャンの定型設定を登録したい人ひとりだけをメンバーとして登録します。

参照

- ・ DocuScan マネージャーでの宛先の登録方法：「8.2 宛先を登録する」(P. 231)
- ・ DocuScan マネージャーの詳しい操作方法：DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・ CentreWare Internet Services の使用方法：「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)
- ・ CentreWare Internet Services での宛先の登録方法：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

宛先表の登録内容

宛先表に登録する項目について説明します。

補足

- ・ 設定が省略できることを明記していない項目は、必ず設定します。
- ・ CentreWare Internet Services では、DocuScan マネージャーで設定できる項目のうち、次の項目は設定できません。

【メール送信】

- ・ 読み取り倍率
- ・ わく消し
- ・ シャープネス
- ・ ミックスサイズ原稿送り
- ・ コントラスト
- ・ プレビュー表示

【PC 保存】

- ・ 機器の識別子の指定
- ・ 読み取り倍率
- ・ コントラスト
- ・ わく消し
- ・ シャープネス
- ・ ミックスサイズ原稿送り
- ・ プレビュー表示

【メディア保存】

- ・ 読み取り倍率
- ・ わく消し
- ・ シャープネス
- ・ ミックスサイズ原稿送り
- ・ コントラスト
- ・ プレビュー表示

PC 保存 / メール送信 / メディア保存共通の項目

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
フォルダー	宛先に登録する入れ物です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宛先表を表示するとフォルダーが一覧表示されます。フォルダーを選択して、その中から宛先を選択します。 ・ [仕様設定] > [スキャナーの設定] > [スキャナー機能設定初期値] で、フォルダー一覧を表示しないように設定することもできます。 ・ 宛先の検索は、1つのフォルダー内が対象です。一度に複数のフォルダー内を検索できません。
フォルダー番号	フォルダーの登録番号です。フォルダー一覧から登録するフォルダーを選択することにより設定されます。	
フォルダー名 (省略可)	フォルダーの名前です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 8 文字以内、半角文字の場合は 16 文字以内です。 ・ この項目は省略できます。省略すると、「名称未設定」という名前になります。 	
暗証番号 (省略可)	フォルダーの暗証番号です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できる文字は、半角数字で、4 ～ 8 文字以内です。 ・ この項目は省略できます。 	
宛先番号	宛先の登録番号です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 ～ 350 の整数を、半角数字で設定します。 ・ 同じ宛先表フォルダー内で、同じ宛先番号は設定できません。フォルダーが異なれば、同じ宛先番号を設定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宛先を検索するときに、キーワードとして [表示番号] に設定します。 ・ 宛先表フォルダーを開くと、宛先番号と宛先名が一覧表示されます。

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
宛先種別	宛先の種別です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [PC 保存] で使用する宛先種別は [サーバー] です。 ・ [メール送信] で使用する宛先種別は [メール (個人)] または [メール (グループ)] です。 ・ [メディア保存] で使用する宛先種別は [メディア] です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [PC 保存] 選択時に宛先表を表示すると、種別が [サーバー] の宛先だけ表示されます。 ・ [メール送信] 選択時は、種別が [メール (個人)] / [メール (グループ)] の宛先だけ表示されます。 ・ [メディア保存] 選択時は、種別が [メディア] の宛先だけ表示されます。
宛先名 / グループ名 / 保存先名 (省略不可)	登録する宛先の名前です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内です。 ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [メール (個人)] または [サーバー] の場合は、[宛先名] です。 ・ [メール (グループ)] の場合は、[グループ名] です。 ・ [メディア] の場合は、[保存先名] です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宛先表フォルダーを開くと、宛先番号と宛先名が一覧表示されます。グループ名の場合、宛先番号のあとに、グループを示す  アイコンが表示されます。 ・ 宛先を宛先表から選択すると、[PC 保存] の場合は、サーバー欄に [宛先名] が表示されます。[メール送信] の場合は、メールアドレス欄に、[宛先名] が表示されます。選択した宛先がグループの場合は、登録されているメンバーのアドレスが表示されます。[メディア保存] の場合は、パスの入力欄に、[宛先名] に設定されているパスが表示されます。
検索文字列 (省略不可)	宛先を検索するときにキーワードとなる文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内です。ただし、スキャナーの操作パネルでは漢字と半角カタカナ、全角英数字を入力できないので、設定してもスキャナーで使用できません。 ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。 	宛先を検索するときに、キーワードとして [検索文字] に設定します。

メール送信の項目

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
宛先 (メールアドレス) (省略不可)	スキャンデータを送信する宛先のメールアドレスです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できる文字は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、64 文字以内です。 ・ スペース、制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。 () < > [] ; ¥ , " ' & # % ^ _ ` { } \ / \ : ; ・ @ が含まれない文字列も設定できます。 ・ @ が 2 つ以上含まれる文字列は設定できません。 ・ @ が含まれる場合は、@ の前後に 1 文字以上必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の項目に設定します。 <ul style="list-style-type: none"> - [メール宛先] 画面の、[宛先] / [CC] / [BCC] のメールアドレス - [メール宛先] 画面の [送信者] - [メール宛先] 画面 > [詳細設定] > [返信先アドレス] > [設定 / 変更] > [返信先アドレスの設定 / 変更] のメールアドレス ・ 宛先を検索するときに、キーワードとして [メールアドレス] に設定します。 ・ 宛先表から宛先を選択して、[詳細情報] を押すと確認できます。
備考 (省略可)	会社名や部署名など、メールアドレスの補足情報です。この項目の設定は省略できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内です。 ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。 	宛先表から宛先を選択して、[詳細情報] を押すと確認できます。

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
スキャンの 定型設定	<p>スキャン機能の設定です。メール（グループ）に対して登録します。次の項目が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 件名 ・ コメント ・ 送信者アドレス ・ ファイル名の指定 ・ カラーモード ・ 出力ファイル形式 ・ 読み取り解像度 ・ 両面原稿送り ・ 原稿の状態 ・ 原稿セット向き指定 ・ 原稿の画質 ・ 写真の種類 ・ 読み込み濃度 ・ 読み取りサイズ ・ 読み取り倍率 ・ 画像圧縮率 ・ シャープネス ・ コントラスト ・ 地色除去 ・ わく消し ・ ミックスサイズ原稿送り ・ プレビュー表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宛先表フォルダーの一覧表示では、スキャンの定型設定が登録されているグループには、とともに、スキャンの定型設定が登録されていることを示すがアイコン表示されます。 ・ 宛先表から宛先（グループ名）を選択して、[詳細情報]を押すと、スキャンの定型設定の内容を確認できます。

PC 保存の項目

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
転送プロト コル	<p>スキャナーからスキャンデータを転送するときの方法です。スキャンデータを、Windows の共有フォルダーに保存する場合は [SMB]、FTP サーバーに保存する場合は [FTP] です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [PC 保存先] 画面で、選択します。 ・ 宛先表フォルダーを開くと、宛先番号、保存先名、転送プロトコルが一覧表示されます。

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
保存先 (サーバー名 /IP アドレス) (省略不可)	<p>スキャンデータを保存するコンピューターのコンピューター名 (サーバー名)、または IP アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定できる文字は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、64 文字以内です。 制御文字 (改行など) は、使用できません。 次の形式で設定します。 <p>FQDN 形式 例: pcname.example.com コンピューター名 (NetBIOS 名) 例: pcname DNS ホスト名 例: pcname IP アドレス 例: 192.168.1.100</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> FTP の場合の設定値については、システム管理者にお問い合わせください。 お使いのコンピューター名は、Windows の [マイコンピュータ] の [プロパティ] で確認できます。Windows XP は [コンピュータ名] タブの [変更] の [コンピュータ名] です。Windows 2000 は [ネットワーク ID] タブの [プロパティ] の [コンピュータ名] です。その他の OS については、各 OS のオンラインヘルプを参照してください。 FQDN 形式で設定する場合、CentreWare Internet Services で、[プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DNS] の [DNS サーバーアドレス] が設定されている必要があります。 コンピューター名 (NetBIOS 名) が指定できるのは [転送プロトコル] が SMB の場合です。 SMB で、ほかのサブネット上のコンピューター名を設定する場合で、WINS サーバーを使用するときは、CentreWare Internet Services で、[プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [WINS] の [WINS サーバーアドレス] が設定されている必要があります。 DNS ホスト名で設定する場合、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DNS] の [DNS サーバーアドレス] / [DNS ドメイン名] で設定されているドメイン名が示すドメインに、保存先が属している必要があります。 SMB で、DNS ホスト名で設定する場合、スキャナーと同一サブネット上にこの DNS ホスト名と同じ名前のコンピューター名 (NetBIOS 名) を使用しているコンピューターが存在する場合、コンピューター名を使用するコンピューターに対してファイル送信します。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> お使いのコンピューターの IP アドレス : 「9.7 こんなときには Q & A」 (P. 300) 	<ul style="list-style-type: none"> [PC 保存先] 画面の [サーバー] に対応します。 保存先を検索するときに、キーワードとして [サーバー名 /IP アドレス] に設定します。 宛先表から保存先を選択して、[詳細情報] を押すと確認できます。

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
ポート番号 (省略不可)	保存先のサーバーが開けているポート番号を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [転送プロトコル] が [FTP] の場合は、21、または 5000 ~ 65535 の整数を、半角数字で入力します。 ・ [転送プロトコル] が [SMB] の場合は、139、または 5000 ~ 65535 の整数を、半角数字で入力します。 ・ 入力を省略すると、初期値が設定されます。初期値は、[FTP] の場合は 21、[SMB] の場合は 139 です。 	宛先表から保存先を選択して、[詳細情報] を押すと確認できます。
SMB 共有名 (省略不可)	スキャンデータを保存する共有フォルダーの、共有名です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 16 文字以内、半角文字の場合は 32 文字以内です。 ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。 ・ [転送プロトコル] が [SMB] の場合は、この項目を必ず設定します。 	[転送プロトコル] が [SMB] の場合に表示される、[PC 保存先] 画面の [共有名] に対応します。
保存場所 (省略可)	スキャンデータを保存するフォルダーの名前です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できる文字は、全角文字の場合は 48 文字以内、半角文字の場合は 96 文字以内です。 ・ 制御文字 (改行など) は、使用できません。 ・ FTP の場合は「パス 1/パス 2」、SMB の場合は「パス 1¥パス 2」のような形式で設定します。 ・ FTP の場合、FTP サーバーが Mac OS X のときは、全角文字は使用できません。 ・ この項目の設定は省略できます。[転送プロトコル] が [SMB] の場合、省略するとスキャンデータは、[共有名] で設定した共有フォルダーの直下に保存されます。[転送プロトコル] が [FTP] の場合、ログインしたフォルダーの直下に保存されます。 	[PC 保存先] 画面の [保存場所] に対応します。
ユーザー名 (省略可)	スキャンデータを保存するコンピューターおよびフォルダーに対して、アクセスできるユーザーを設定します。 次のいずれかの形式で設定します。 ■ローカルユーザー名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、97 文字以内で設定します。 ・ 制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。 : “ * + , / ; < = > ? [¥] ・ 先頭または末尾に、半角スペースは使用できません。 ・ 「.(ピリオド)」だけの文字列は、設定できません。 参照 <ul style="list-style-type: none"> ・ お使いのローカルユーザー名の確認方法は、Windows のオンラインヘルプ、または Mac ヘルプを参照してください。 	[PC 保存先] 画面の [ユーザー名] に対応します。

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
ユーザー名 (省略可) (続き)	<p>■ NetBIOS 形式ドメインユーザー Windows NT Server のドメインコントローラー環境下のネットワーク上にあるコンピューターの共有フォルダーに PC 保存 (SMB) する場合は、ユーザー名を「ドメイン名 ¥ ユーザー名」の形式で指定します。</p> <p>例 : domain¥user</p> <p>「ドメイン名」「ユーザー名」には次の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制御文字 (改行など)、および次の文字は使用できません。 ・ : “ * + , / ; < = > ? [¥] ・ 先頭または末尾に、半角スペースは使用できません。 ・ 「. (ピリオド)」だけの文字列は、設定できません。 ・ ユーザー名は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、32 文字以内で設定します。 ・ ドメイン名は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、64 文字以内で設定します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2003、Windows 2000 Server の Active Directory 環境下でも、この形式で指定できます。 <p>■ UPN 形式ドメインユーザー 本機は、Active Directory に対応しています。Windows Server 2003、Windows 2000 Server の Active Directory 環境下のネットワーク上にあるコンピューターの共有フォルダーに PC 保存 (SMB) する場合は、ユーザー名を「ユーザー名 @ ドメイン名」の形式で指定します。</p> <p>例 : user@domain1.domain2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドメイン名に、制御文字 (改行など)、スペース、および次の文字は使用できません。 ・ ! “ # \$ % & ‘ () * + , / ; < = > ? @ [¥] ^ ` { } ~ ・ ユーザー名は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、32 文字以内で設定します。 ・ ドメイン名は、半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、64 文字以内で設定します。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ UPN 形式のユーザー名は、お使いのネットワーク環境のシステム管理者に確認してください。 	
パスワード (省略可)	<p>[ユーザー名] に設定したユーザーのパスワードです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できる文字は、制御文字 (改行など) 以外の半角の英数字記号 (ASCII 文字) で、32 文字以内です。 	[PC 保存先] 画面の [パスワード] に対応します。

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
スキャンの 定型設定	<p>スキャン機能の設定です。保存先に対して登録します。</p> <p>次の項目が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイル名 ・ フォルダ作成 ・ ファイル名重複時の処理 ・ 機器の識別子の指定 ・ カラーモード ・ 出力ファイル形式 ・ 読み取り解像度 ・ 両面原稿送り ・ 原稿の状態 ・ 原稿セット向き指定 ・ 原稿の画質 ・ 写真の種類 ・ 読み込み濃度 ・ 読み取りサイズ ・ 読み取り倍率 ・ 画像圧縮率 ・ シャープネス ・ コントラスト ・ 地色除去 ・ わく消し ・ ミックスサイズ原稿送り ・ プレビュー表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宛先表フォルダの一覧表示では、スキャンの定型設定が登録されている保存先の先頭には、スキャンの定型設定が登録されていることを示す  アイコンが表示されます。 ・ 宛先表から保存先を選択して、[詳細情報] を押すと、スキャンの定型設定の内容を確認できます。

メディア保存の項目

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
保存場所 (省略可)	保存場所のパスです。この項目の設定は省略できます。	宛先表から保存先を選択して、[詳細情報] を押すと確認できます。
スキャンの 定型設定	<p>スキャン機能の設定です。保存先に対して登録します。</p> <p>次の項目が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイル名 ・ フォルダ作成 ・ ファイル名重複時の処理 ・ カラーモード ・ 出力ファイル形式 ・ 読み取り解像度 ・ 両面原稿送り ・ 原稿の状態 ・ 原稿セット向き指定 ・ 原稿の画質 ・ 写真の種類 ・ 読み込み濃度 ・ 読み取りサイズ ・ 読み取り倍率 ・ 画像圧縮率 ・ シャープネス ・ コントラスト ・ 地色除去 ・ わく消し ・ ミックスサイズ原稿送り ・ プレビュー表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宛先表フォルダの一覧表示では、スキャンの定型設定が登録されている保存先の先頭には、スキャンの定型設定が登録されていることを示す  アイコンが表示されます。 ・ 宛先表から保存先を選択して、[詳細情報] を押すと、スキャンの定型設定の内容を確認できます。

宛先表を使うには

宛先表は、次の 3 種類のツールで操作します。

- ・ 操作パネル
- ・ DocuScan マネージャーの宛先表ツール
- ・ CentreWare Internet Services

宛先表 / 登録リストに関して できること	操作パネル	DocuScan マネージャーの 宛先表ツール	CentreWare Internet Services
スキャン時に、宛先表から、宛先を選択する	○	—	—
宛先表に、宛先を登録・変更・削除する	×	○	○
宛先表に、宛先表フォルダーを登録・変更・削除する	×	○	○
設定 / 登録データ* ¹ を保存・復元する	○	○	×
スキャンの定型設定を、宛先に登録する	×	○	○
宛先表に、CSV 形式ファイルの宛先を読み込む	×	○	×

*1 宛先表は、登録データとして、保存・復元できます。

参照

- ・ 操作パネルでの宛先の指定方法：「3.4 PC に保存する」(P. 66)、「3.5 メールで送信する」(P. 79)、「3.6 メディアに保存する」(P. 88)
- ・ 操作パネルでの設定 / 登録データの保存 / 復元方法：「設定 / 登録データの保守」(P. 192)
- ・ DocuScan マネージャーの操作：「8 DocuScan マネージャーを使用する」(P. 228)、DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・ CentreWare Internet Services の操作方法：「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

5.2 登録リストの概要

ここでは、登録リストの概要について説明します。

登録リストとは

メール送信の件名とコメント（メールの本文）は、あらかじめ「登録リスト」に登録しておく、スキャン時はタッチパネルディスプレイに表示された一覧から選択するだけで指定できます。

登録してある件名やコメントを呼び出して、一部分だけ修正して利用するなど、入力作業の省力化に効果的です。

件名、コメントを登録するには

Windows から宛先を登録する場合：

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services を使います。

Mac OS X から宛先を登録する場合：

CentreWare Internet Services を使います。

注記

- ・登録データ（件名、コメント）を登録、変更、削除できる権限を【管理者のみ】に制限できます。登録データの編集制限は、操作パネルの【仕様設定】で設定します。
- ・登録データ（件名、コメント）の新規登録、追加登録を行った場合は、登録リストのバックアップをとることをお勧めします。登録リストのバックアップは、【設定 / 登録データの保守】で行います。「設定 / 登録データの保守」(P. 192)を参照してください。また、【設定 / 登録データの保守】は、DocuScan マネージャーからも行えます。DocuScan マネージャーでの操作については、DocuScan マネージャーのオンラインヘルプを参照してください。

補足

- ・DocuScan マネージャーは、同梱されている「Software Pack」CD-ROM からコンピューターにインストールします。

参照

- ・DocuScan マネージャーのインストール方法：『ソフトウェアパック操作ガイド』
- ・DocuScan マネージャーの基本的な操作方法：「8 DocuScan マネージャーを使用する」(P. 228)
- ・DocuScan マネージャーの詳しい操作方法：DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・CentreWare Internet Services の使用方法：「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)
- ・CentreWare Internet Services での件名、コメントの登録方法：CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
- ・登録データの編集制限：「登録データの編集」(P. 223)

登録リストの登録内容

登録リストには、次の内容を登録します。

DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services で設定する項目		スキャナーの操作パネルでの使用方法
項目	説明	
件名	スキャンデータを送信するときの、メールの件名です。 <ul style="list-style-type: none">・設定できる文字は、全角文字の場合は 32 文字以内、半角文字の場合は 64 文字以内です。・制御文字（改行など）は、使用できません。	【メール宛先】画面 > 【詳細設定】 > 【件名】 > 【設定 / 変更】 > 【件名の設定 / 変更】の【件名】 > 【登録リストから選択】で設定します。
コメント	スキャンデータを送信するときの、メールのコメントです。 <ul style="list-style-type: none">・設定できる文字は、全角文字の場合は 96 文字以内、半角文字の場合は 192 文字以内です。・改行以外の制御文字（タブなど）は、使用できません。	【メール宛先】画面 > 【詳細設定】 > 【コメント】 > 【設定 / 変更】 > 【コメントの設定 / 変更】の【コメント】 > 【登録リストから選択】で設定します。

登録リストを使うには

登録リストは、次の 3 種類のツールで操作します。

- ・操作パネル
- ・DocuScan マネージャーの宛先表ツール
- ・CentreWare Internet Services

宛先表 / 登録リストに関して できること	操作パネル	DocuScan マネージャーの 宛先表ツール	CentreWare Internet Services
スキャン時に、登録リストから、件名 / コメントを選択する	○	—	—
登録リストに、件名 / コメントを登録・変更・削除する	×	○	○
設定 / 登録データ*1 を保存・復元する	○	○	×

*1 登録リストは、登録データとして、保存・復元できます。

参照

- ・ 操作パネルでの件名 / コメントの指定方法：「3.4 PC に保存する」(P. 66)、「3.5 メールで送信する」(P. 79)、「3.6 メディアに保存する」(P. 88)
- ・ 操作パネルでの設定 / 登録データの保存 / 復元方法：「設定 / 登録データの保守」(P. 192)
- ・ DocuScan マネージャーの操作：「8 DocuScan マネージャーを使用する」(P. 228)、DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・ CentreWare Internet Services の操作方法：「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

5.3 スキャナーでの宛先表の使い方

スキャナーで宛先表を表示し、宛先を選択したり検索したりする方法を説明します。

宛先表を表示する

宛先表を表示するには、次のように操作します。

操作パネルの〈宛先表〉ボタンを使う場合

1. 操作パネルの〈宛先表〉ボタンを押します。
2. [宛先表サービス選択] 画面で、宛先表の種類を選択します。[メール送信]、[PC 保存]、[メディア保存] のいずれかを押します。

3. [宛先表フォルダー] 画面で、フォルダーを選択します。
フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、[暗証番号入力] 画面が表示されます。

補足

- ・ 画面右側にある [01-12] [13-24] [25-36] [37-48] を押すと、該当する番号のフォルダー一覧に切り替わります。
- ・ 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されます。
- ・ [仕様設定] で、[宛先表フォルダー] 画面の表示を省略して、特定のフォルダー内の宛先表画面を表示する設定ができます。詳しくは、「宛先表初期画面」(P. 226) を参照してください。
- ・ 暗証番号が設定されていない場合は、直接 [宛先表] 画面が表示されます。

4. [暗証番号入力] 画面で、暗証番号が設定されているフォルダーの場合は、操作パネルの数字ボタンで暗証番号を入力し、[確定] を押します。

【宛先表】画面が表示され、選択したフォルダーに登録されている宛先の一覧が表示されます。

補足

- ・【フォルダーへ】を押すと、選択を取り消して【宛先表フォルダー】画面に戻ります。
- ・【検索...】を押すと、宛先を検索できます。
- ・宛先を1つ選択して【詳細情報...】を押すと、詳細情報を確認できます。

参照

- ・宛先の検索方法：「宛先を検索する」(P. 165)
- ・宛先の詳細情報の表示方法：「宛先の詳細を表示する」(P. 166)

宛先表 [01]		フォルダーへ	閉じる
		検索...	詳細情報...
<input type="checkbox"/>	001 鈴木太郎		20
<input type="checkbox"/>	002 開発部員全員		
<input type="checkbox"/>	003 xxx.xxx...		
<input type="checkbox"/>	004 佐藤さん		
<input type="checkbox"/>	005 鈴木チーム		

メール送信の場合

宛先表 [01]		フォルダーへ	閉じる
		検索...	詳細情報...
	001 SMB デザイン依頼書		1
	002 FTP デザインコンセプト		
	003 SMB 企画書		
	004 FTP デザイン回答書		
	005 FTP ハードウェア仕様書		

PC 保存の場合

宛先表 [01]		フォルダーへ	閉じる
		検索...	詳細情報...
	001 デザイン仕様書		1
	002 デザインコンセプト		
	003 デザイン依頼書		
	004 デザイン回答書		
	005 仕様書		

メディア保存の場合

画面上の【宛先表...】ボタンを使う場合

1. 【メール宛先】画面、【PC 保存先】画面、または【メディア保存】画面で、【宛先表...】を押します。

補足

- ・ここでは、メール送信の画面を例に説明します。PC 保存、メディア保存の場合も操作は同じです。

メール宛先	基本スキャン	その他
宛先表...	詳細設定...	削除
プレビュー		
送信者		
▼宛先		
		1/9

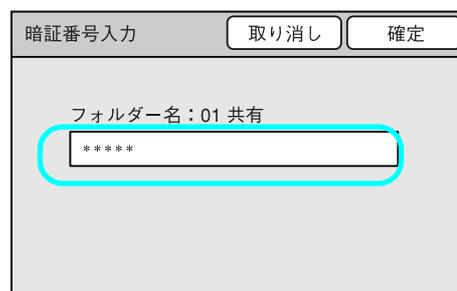
2. [宛先表フォルダー] 画面で、フォルダーを選択します。
 フォルダーに暗証番号が設定されている場合は、[暗証番号入力] 画面が表示されます。

補足

- 画面右側にある [01-12] [13-24] [25-36] [37-48] を押すと、該当する番号のフォルダー一覧に切り替わります。
- 暗証番号が設定されているフォルダーには、鍵のマークが表示されます。
- [仕様設定] で、[宛先表フォルダー] 画面の表示を省略して、特定のフォルダー内の宛先表画面を表示する設定ができます。詳しくは、「宛先表初期画面」(P. 226) を参照してください。
- 暗証番号が設定されていない場合は、直接 [宛先表] 画面が表示されます。



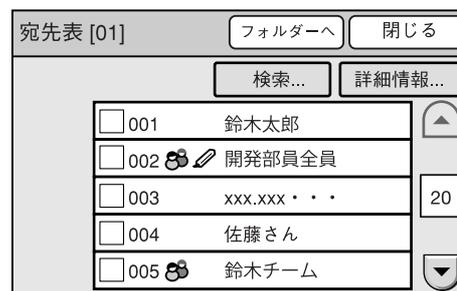
3. [暗証番号入力] 画面で、暗証番号が設定されているフォルダーの場合は、操作パネルの数字ボタンで暗証番号を入力し、[確定] を押します。



[宛先表] 画面が表示され、選択したフォルダーに登録されている宛先の一覧が表示されます。

補足

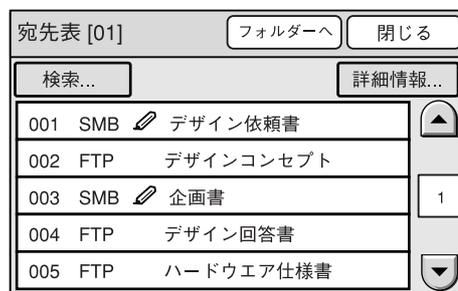
- [フォルダーへ] を押すと、選択を取り消して [宛先表フォルダー] 画面に戻ります。
- [検索...] を押すと、宛先を検索できます。
- 宛先を 1 つ選択して [詳細情報...] を押すと、詳細情報を確認できます。



メール送信の場合

参照

- 宛先の検索方法: 「宛先を検索する」(P. 165)
- 宛先の詳細情報の表示方法: 「宛先の詳細を表示する」(P. 166)



PC 保存の場合



メディア保存の場合

宛先を選択する

[宛先表] 画面には、フォルダーに登録されている宛先が一覧表示されます。
[宛先表] 画面で宛先を選択するには、次のように操作します。

メール送信の場合

1. 使用したい宛先のを押して、チェックを付けます。
チェックボックスを押すごとにチェックの有 / 無を切り替えられます。
チェックを付けると、左側に [宛先] が表示されます。

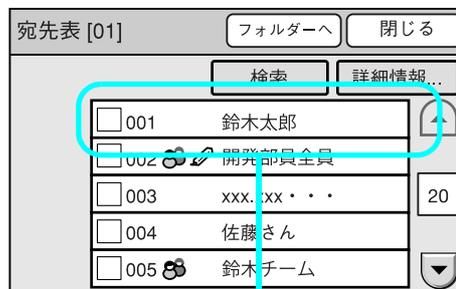
補足

- ・メール（グループ）の宛先には、アイコンが表示されます。
- ・スキャンの定型設定が登録されている宛先には、アイコンが表示されます。
- ・メール（グループ）とメール（個人）の宛先は、同時に選択できます。
- ・メール（グループ）は、同時に2つ以上は選択できません。
- ・宛先を1つ選択して [詳細情報...] 押すと、詳細情報が表示され、メール（グループ）のメンバーを確認できます。
- ・宛先にメール（グループ）を選択した場合、そのメール（グループ）に登録されていた [[宛先] / [CC] / [BCC] が、一度に設定されます。

参照

- ・メール（グループ）：「宛先の種別」(P. 151)
- ・スキャンの定型設定：「スキャンの定型設定」(P. 151)
- ・宛先の詳細情報の表示方法：「宛先の詳細を表示する」(P. 166)

2. 必要に応じて、宛先の左側にある [宛先] ボタンで、受取人の種類を設定します。1回押すごとに、[宛先] → [CC] → [BCC] → [宛先] → … の順に切り替わります。
3. 同じフォルダーで複数の宛先を設定する場合は、手順1、2を繰り返します。
4. [確定] を押します。



PC 保存の場合

1. 使用したい宛先を押します。

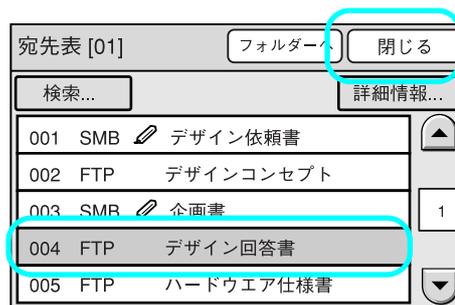
補足

- ・ スキャンの定型設定が登録されている宛先には、 アイコンが表示されます。

参照

- ・ スキャンの定型設定：「スキャンの定型設定」(P. 151)

2. 「閉じる」を押します。



メディア保存の場合

1. 使用したい宛先を押します。

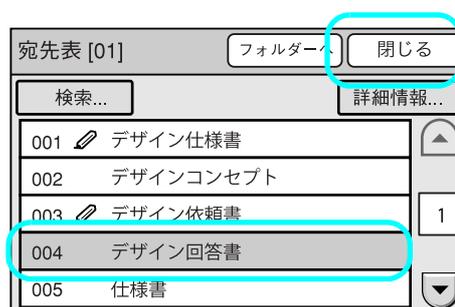
補足

- ・ スキャンの定型設定が登録されている宛先には、 アイコンが表示されます。

参照

- ・ スキャンの定型設定：「スキャンの定型設定」(P. 151)

2. 「閉じる」を押します。



宛先を検索する

1つのフォルダーの中から、キーワードを指定して宛先データを検索できます。
キーワードは、一部分だけ指定して検索できます。
キーワードには、次の種類があります。

表示番号

宛先表に登録した宛先番号を指定します。

検索文字

宛先表に登録した検索文字列を指定します。

メールアドレス（メール送信の場合）

宛先表に登録したメールアドレスを指定します。

サーバー名 / IP アドレス（PC 保存の場合）

宛先表に登録したサーバー名またはサーバーの IP アドレスを指定します。

保存場所（メディア保存の場合）

宛先表に登録した保存場所（パス）を指定します。

参照

- ・ 宛先表の内容：「宛先表の登録内容」(P. 152)

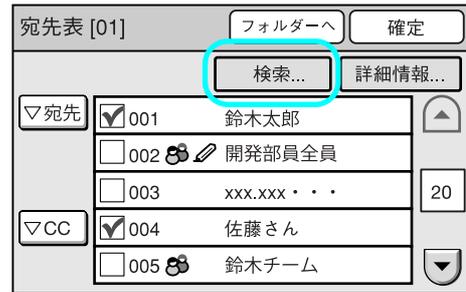
注記

- ・ 仕様設定で初期表示言語に英語 (English) が設定されている場合は、「検索文字列」にひらがなまたはカタカナの文字列が設定されている宛先を検索できません。仕様設定の初期表示言語の設定については、「初期表示言語」(P. 183) を参照してください。

1. [宛先表] 画面で、[検索...] を押します。

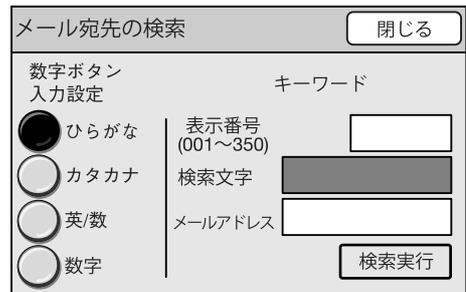
補足

- ・ここでは、メール送信の [宛先表] 画面を例に説明します。PC保存、メディア保存の場合も操作は同じです。

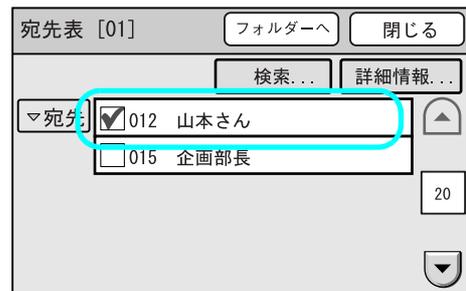


2. [メール宛先の検索] 画面で、キーワードを設定します。

3. [検索実行] を押します。



4. 検索結果から、宛先を選択します。
メール送信の場合は、宛先の を押すと選択され、チェックが付きます。
PC保存、メディア保存の場合は、宛先を押します。



5. メール送信の場合は、必要に応じて、宛先の左側にあるボタンで、受取人の種類を設定します。1回押すごとに、[宛先] → [CC] → [BCC] → [宛先] → ... の順に切り替わります。

6. [閉じる] を押します。

宛先の詳細を表示する

宛先情報の詳細を確認してから選択できます。

詳細情報には、メール送信の場合、宛先名、送信者名、件名などが表示されます。PC保存、メディア保存の場合は、宛先名、保存場所などが表示されます。

補足

- ・宛先がメール（グループ）の場合や、スキャンの定型設定が登録されている場合は、[詳細情報] 画面が複数画面になります。
- ・仕様設定で [個人情報の表示] を [しない] に設定している場合、メールアドレスなどの個人情報は表示されません。[個人情報の表示] については、「個人情報の表示」(P. 191) を参照してください。

宛先の詳細情報を表示するには、次のように操作します。

1. [宛先表] 画面で、宛先名の部分を押します。

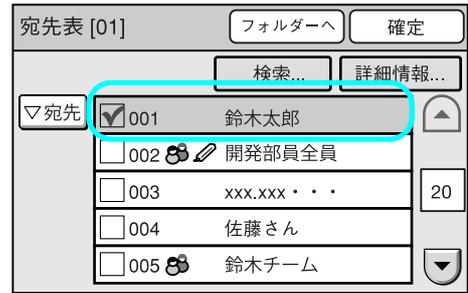
補足

・ここでは、メール送信の [宛先表] 画面を例に説明します。PC保存、メディア保存の場合も操作は同じです。

2. [詳細情報...] を押します。

3. [詳細情報] 画面で、宛先情報を確認します。

4. [閉じる] を押します。



メール（個人）の場合の画面例

6 ジョブを確認する

完了したジョブを確認できます。

ジョブを確認するには、次の2通りの方法があります。

- 操作パネルを使う
- CentreWare Internet Services を使う

6.1 操作パネルで確認する

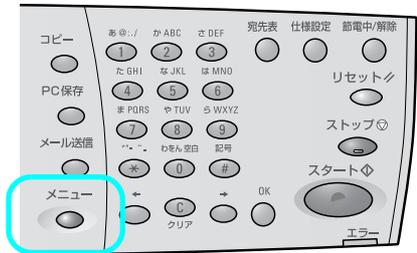
操作パネルを使ってジョブの状態を確認できます。

[メニュー] 画面の [ジョブ確認] を押すと、完了したジョブの一覧を確認できます。

ジョブ履歴情報は、最新のものから20件分が保持され、確認できます。

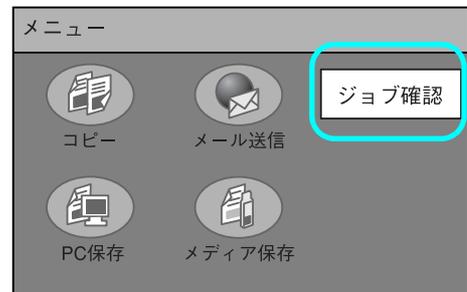
ジョブの一覧から、ジョブを選択して、ジョブの詳細情報も確認できます。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。



2. [メニュー] 画面で、[ジョブ確認] を押します。

[ジョブ実行完了] 画面が表示されます。



3. ジョブの状態を確認します。

補足

- [▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面を表示できます。
- [相手 / 内容] にアドレスを表示したくない場合は、仕様設定で [個人情報の表示] を [しない] に設定します。詳しくは、「個人情報の表示」(P. 191) を参照してください。

ジョブ実行完了		閉じる
ジョブ	状態	相手/内容
	正常終了	--
	正常終了	pc001
	正常終了	xxx.xxxxx@xxx.co.jp
	強制終了	--
	正常終了	192.168.1.100/temp

4. 一覧でジョブを選択すると、詳細を表示できます。
5. [メニュー] 画面に戻るまで、[閉じる] を押します。



6.2 CentreWare Internet Services を使う

CentreWare Internet Services を使って、完了したジョブの履歴を確認できます。CentreWare Internet Services でジョブを確認するには、[ジョブ] タブで [ジョブ履歴] を選択します。

[ジョブ履歴] では、次の情報を確認できます。

- ・ サービス名
- ・ ファイル名
- ・ 結果
- ・ ページ数
- ・ 完了時刻
- ・ 出力先 (宛先件数)
- ・ カラーモード
- ・ 解像度
- ・ ファイル形式
- ・ 原稿サイズ
- ・ 倍率

ジョブ履歴情報は、最新のものから 20 件分が保持され、確認できます。

補足

- ・ 表示されるのは、完了したジョブだけです。処理中のジョブは表示されません。
- ・ 操作パネルの [仕様設定] で [個人情報の表示] を [しない] に設定している場合、宛先のメールアドレスなどの個人情報は表示されません。

参照

- ・ CentreWare Internet Services の操作方法: 「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」 (P. 15)
- ・ 個人情報の表示設定: 「個人情報の表示」 (P. 191)

7 仕様設定

仕様設定では、タッチパネルディスプレイ画面のコントラストや、本機の各機能の工場出荷時の値（初期値）が変更できます。

7.1 仕様設定の流れ

仕様設定の操作の流れを説明します。

参照

- ・ 設定できる項目：「7.2 仕様設定項目一覧」(P. 172)

Step1 【仕様設定】 画面を表示する

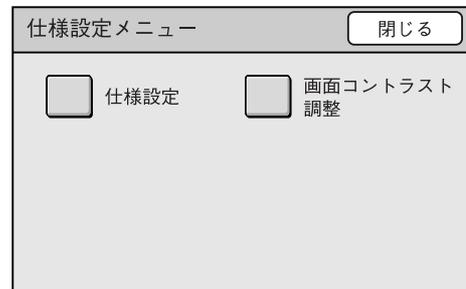
1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。



2. 【仕様設定メニュー】画面で、【仕様設定】または【画面コントラスト調整】を押します。

補足

- ・ 【画面コントラスト調整】を選択した場合は、「Step3 項目を選択して設定する」(P. 171)に進みます。



Step2 機械管理者暗証番号を入力する

仕様設定を変更するには、機械管理者暗証番号の認証が必要です。

【仕様設定メニュー】画面で【仕様設定】を選択すると、【認証】画面が表示され、【機械管理者暗証番号】の入力を求められます。

機械管理者暗証番号は、変更することができます。本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。

参照

- ・ 機械管理者暗証番号の変更方法：「暗証番号の設定」(P. 227)

1. 操作パネルの数字ボタンで、暗証番号を入力し、[確定] を押します。

認証

取り消し 確定

機械管理者暗証番号

Step3 項目を選択して設定する

1. Step1 で [仕様設定] を選択した場合は、[仕様設定] 画面で項目を選択します。

補足

- ・ [画面コントラスト調整] を選択した場合は、[画面コントラスト調整] 画面で、画面コントラストを調整し、[決定] を押します。詳しくは、「7.3 画面コントラスト調整」(P. 174) を参照してください。

2. 各画面で設定を変更します。

参照

- ・ 各画面での設定変更方法：「7.4 共通設定」(P. 174) 以降

仕様設定

閉じる

共通設定 ネットワーク設定

コピー設定 スキャナー設定

機械管理者情報の設定

Step4 仕様設定を終了する

1. 設定がすべて終了したら、[仕様設定] 画面に戻るまで [閉じる] を押します。
2. [仕様設定] 画面で [閉じる] を押します。
3. 設定内容によっては、[電源の切り / 入り] 画面が表示されます。メッセージに従い、電源をいったん切り、画面の表示が消えるのを確認してから、電源を入れてください。

電源の切り/入り

設定したデータを有効にするためには、電源の再投入が必要です。

電源を切り、画面の表示が消えるのを確認してから電源を入れてください。

7.2 仕様設定項目一覧

仕様設定で設定できる項目は、以下のとおりです。

■ 画面コントラスト調整

タッチパネルディスプレイの画面のコントラストを調整できます。

参照

・「7.3 画面コントラスト調整」(P. 174)

■ 仕様設定

本機の各機能には、工場出荷時の値（初期値）が設定されています。使用環境に合わせて、設定値を変更できます。

共通設定

「システム時計 / タイマー設定」(P. 175)	「日付形式」(P. 175) 「日付入力」(P. 175) 「時刻形式」(P. 176) 「時刻入力」(P. 176) 「タイムゾーン」(P. 177) 「自動リセット」(P. 177) 「ジョブ自動解除」(P. 177) 「節電モード設定」(P. 178)
「音の設定」(P. 178)	「正常入力音」(P. 178) 「異常入力音」(P. 179) 「準備完了音」(P. 179) 「正常終了音」(P. 179) 「異常終了音」(P. 180) 「異常警告音」(P. 180) 「自動リセット事前通知」(P. 180) 「基点音」(P. 181)
「初期画面の設定」(P. 181)	「機能初期画面」(P. 181) 「登録ボタン 1～3」(P. 182) 「初期表示言語」(P. 183)
「原稿サイズボタン」(P. 183)	「原稿サイズボタン」(P. 184)
「機能の使用許可」(P. 185)	「メール送信」(P. 185) 「PC 保存」(P. 186) 「メディア保存」(P. 186)
「機能認証」(P. 186)	「コピー」(P. 187) 「メール送信」(P. 187) 「PC 保存」(P. 188) 「メディア保存」(P. 188) 「暗証番号の設定」(P. 188)
「その他の設定」(P. 189)	「ミリ / インチ切り替え」(P. 189) 「サイズ検知切り替え」(P. 190) 「個人情報の表示」(P. 191)
「保守 / 診断」(P. 191)	「ソフトウェアバージョン」(P. 192) 「エラー履歴」(P. 192) 「設定 / 登録データの保守」(P. 192) 「プリンター情報」(P. 194) 「キャリッジの移動」(P. 195) 「NVM 初期化」(P. 195)

ネットワーク設定

「ポート設定」(P. 196)	「SNMP」(P. 196) 「CW インターネットサービス」(P. 197)
「プロトコル設定」(P. 197)	「Ethernet 設定」(P. 197) 「IP アドレスの取得方法」(P. 198) 「IP アドレス」(P. 198) 「サブネットマスク」(P. 199) 「ゲートウェイ」(P. 199)
「PKI (公開鍵基盤) 設定」 (P. 199)	「SSL/TLS 設定」(P. 200)

コピー設定

「基本コピー画面」(P. 201)	「用紙ボタン -2 段目」(P. 202) 「用紙ボタン -3 段目」(P. 202) 「倍率ボタン -3 段目」(P. 203)
「コピー機能設定初期値」 (P. 203)	「用紙選択」(P. 204) 「手差し用紙種類」(P. 204) 「手差し用紙サイズ」(P. 204) 「倍率選択」(P. 205) 「カラーモード」(P. 205) 「両面 / 片面選択」(P. 205) 「原稿の画質」(P. 206) 「コピー濃度」(P. 206) 「シャープネス」(P. 206) 「彩度」(P. 207) 「地色除去」(P. 207) 「カラーバランス (Y/M/C/K)」(P. 207) 「原稿セット向き指定」(P. 208) 「仕分け」(P. 208) 「わく消し」(P. 208) 「ミックスサイズ原稿送り」(P. 209)
「地色除去レベル」(P. 209)	「白黒 (文字)」(P. 210) 「白黒 (文字 / 写真)」(P. 210) 「白黒 (地図)」(P. 210) 「カラー (文字)」(P. 211) 「カラー (文字 / 写真)」(P. 211) 「カラー (地図)」(P. 211)
「プリンター認証の設定」(P. 212)	

スキャナー設定

「スキャナー機能設定初期値」 (P. 213)	「カラーモード」(P. 213) 「出力ファイル形式」(P. 214) 「両面原稿送り」(P. 214) 「原稿の画質」(P. 215) 「読み込み濃度」(P. 215) 「画像圧縮率」(P. 216) 「読み取り倍率」(P. 216) 「読み取り解像度」(P. 217) 「原稿セット向き指定」(P. 217) 「シャープネス」(P. 218) 「コントラスト」(P. 218) 「地色除去」(P. 218) 「わく消し」(P. 219) 「プレビュー表示」(P. 219) 「ミックスサイズ原稿送り」(P. 220)
「ファイル名の詳細設定」 (P. 220)	「フォルダー作成」(P. 220) 「ファイル名重複時」(P. 221) 「機器の識別情報」(P. 221)

「機能の制限」(P. 222)	「スタート可能画面」(P. 222) 「保存先の直接入力」(P. 222) 「登録データの編集」(P. 223)
「TIFF の形式 / 色空間」 (P. 223)	「TIFF の形式」(P. 223) 「色空間」(P. 224)
「PC 保存プロトコル」(P. 224)	
「宛先表初期画面」(P. 226)	

機械管理者情報の設定

「暗証番号の設定」(P. 227)

7.3 画面コントラスト調整

タッチパネルディスプレイの画面のコントラストを調整できます。
[つよく] ~ [よわく] まで、7 段階で設定できます。
工場出荷時の初期値は、「4」です。

1. [仕様設定メニュー] 画面で、[画面コントラスト調整] を押します。
2. [画面コントラスト調整] 画面で、[▲] / [▼] を押して設定し、[決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

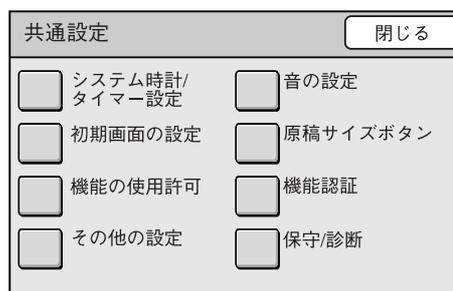


7.4 共通設定

機械本体の仕様にかかわる設定ができます。

[仕様設定] 画面で [共通設定] を選択して [共通設定] 画面を表示し、設定します。

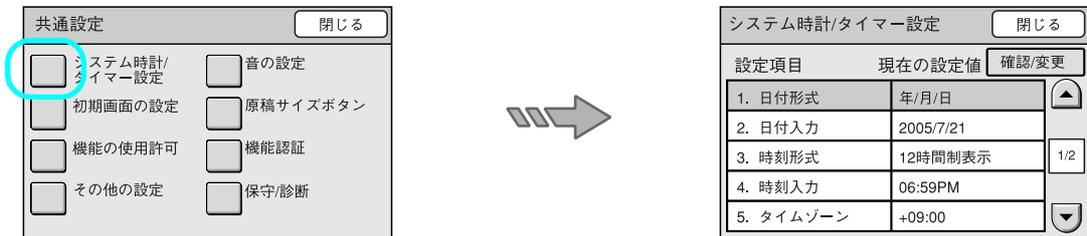
次に [共通設定] で設定できる各項目について説明します。



システム時計 / タイマー設定

[共通設定] 画面で、[システム時計 / タイマー設定] を選択すると、[システム時計 / タイマー設定] 画面が表示されます。

時刻をセットしたり、節電やリセットなどの機能が働くまでの時間（タイマー）を設定したりします。



日付形式

本機のシステム時計の、日付の表示形式を設定します。

日付の形式は、[年 / 月 / 日]、[月 / 日 / 年] [日 / 月 / 年] から選択できます。

工場出荷時の初期値は、[年 / 月 / 日] です。

1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[1. 日付形式] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [1. 日付形式] 画面で、日付の形式を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



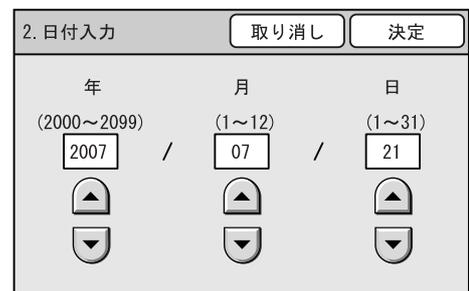
日付入力

本機のシステム時計の日付を設定します。

1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[2. 日付入力] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. 日付入力] 画面で、[▲] / [▼] を押して日付を入力します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



時刻形式

本機のシステム時計の、時刻の表示形式を設定します。

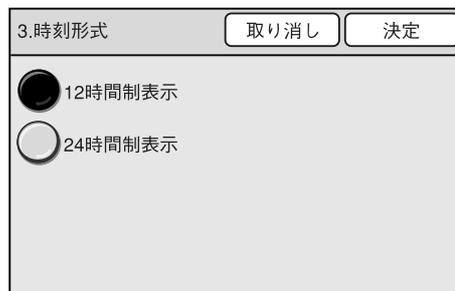
時刻の形式は、[12 時間制表示]、[24 時間制表示] から選択できます。

工場出荷時の初期値は、[12 時間制表示] です。

1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[3. 時刻形式] を選択し、[確認 / 変更] を押し
ます。
2. [3. 時刻形式] 画面で、時刻の形式を選択し
ます。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押し
ます。



時刻入力

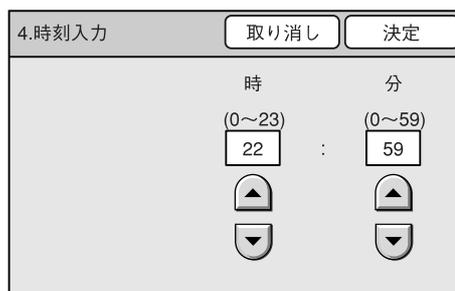
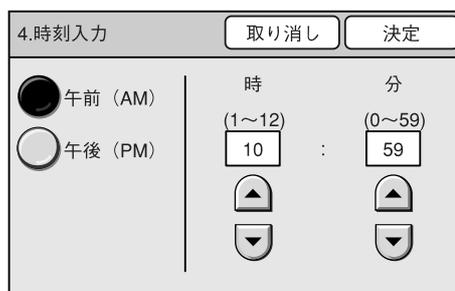
本機のシステム時計の時刻を設定します。

1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[4. 時刻入力] を選択し、[確認 / 変更] を押し
ます。
2. [4. 時刻形式] 画面で [12 時間制表示] を
選択した場合は、[4. 時刻入力] 画面で、[午
前 (AM)] または [午後 (PM)] を選択し
ます。

3. [▲] / [▼] を押して時刻を入力します。
4. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押し
ます。



タイムゾーン

本機のタイムゾーンを設定します。タイムゾーンは、グリニッジ標準時（GMT）からの時差で指定します。

1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[5. タイムゾーン] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [5. タイムゾーン] 画面で、[▲] / [▼] を押して時差を入力します。
3. [決定] を押します。



補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

自動リセット

本機では、何も操作をしない状態で一定の時間が経過したとき、自動的に機能初期画面に戻り、別の操作ができるようになります。また、次の原稿待ちやプレビュー画面で一定の時間が経過したとき、自動的にスキャン / コピーの処理を再開します。

自動リセットでは、この時間を設定します。

1 ~ 4 分の範囲で 1 分刻みに設定します。

工場出荷時の初期値は、「1」です。

1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[6. 自動リセット] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [6. 自動リセット] 画面で、[▲] / [▼] を押して時間（分）を入力します。
3. [決定] を押します。



補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

参照

- ・ 機能初期画面：「機能初期画面」(P. 181)

ジョブ自動解除

スキャン / コピー中に、エラー（原稿づまりなど）が発生したとき、現在のスキャン / コピーを中止して、次のスキャン / コピーを実行できるまでの時間を設定します。このとき、実行できる機能は機械のエラーが発生している部分を使用しないものに限りです。

4 ~ 20 分の範囲で 1 分刻みに設定します。

工場出荷時の初期値は、「4」です。

1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[7. ジョブ自動解除] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [7. ジョブ自動解除] 画面で、[▲] / [▼] を押して時間（分）を入力します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



節電モード設定

設定時間が経過すると節電モードに移行し、消費電力を下げます。

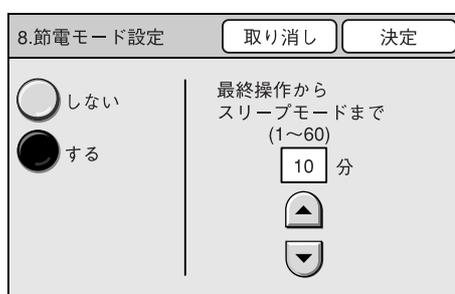
1 ～ 60 分の範囲で 1 分刻みに設定します。設定しない場合は、[しない] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[する]、「10」です。

1. [システム時計 / タイマー設定] 画面で、[8. 節電モード設定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [8. 節電モード設定] 画面で、節電モードを使用するかどうかを選択します。
3. 手順 2 で [する] を選択した場合は、[▲] / [▼] を押して時間（分）を入力します。
4. [決定] を押します。

補足

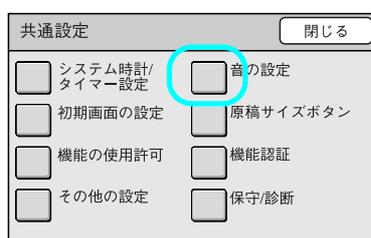
・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



音の設定

[共通設定] 画面で、[音の設定] を選択すると、[音の設定] 画面が表示されます。

ジョブの終了や機械の異常などを知らせる音を、鳴らすかどうかを設定します。



正常入力音

タッチパネルディスプレイに表示されるボタンを正しく選択したときに鳴る音を設定します。

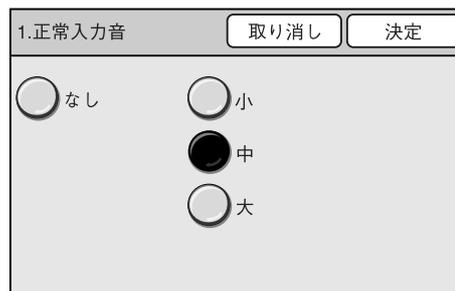
音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[中] です。

1. [音の設定] 画面で、[1. 正常入力音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [1. 正常入力音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



異常入力音

選択できないボタンを選択したときや、エラー発生時に操作をしたときに鳴る音を設定します。

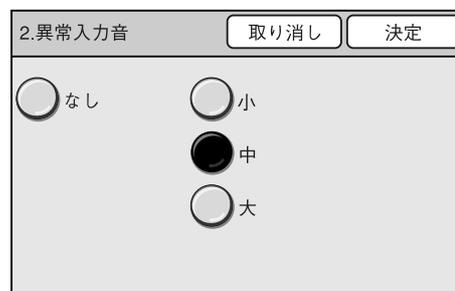
音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[中] です。

1. [音の設定] 画面で、[2. 異常入力音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. 異常入力音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



準備完了音

電源を入れたときなど、機械がスキャンやコピーできる状態になったときに鳴る音を設定します。

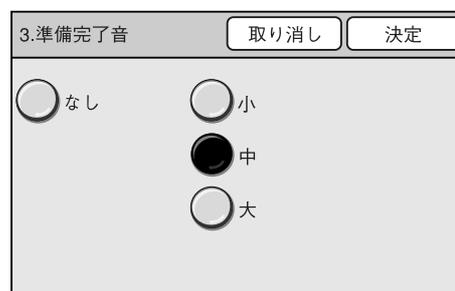
音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[中] です。

1. [音の設定] 画面で、[3. 準備完了音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [3. 準備完了音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



正常終了音

ジョブが正常に終了したときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[中] です。

1. [音の設定] 画面で、[4. 正常終了音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [4. 正常終了音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

異常終了音

ジョブが異常終了したときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[中] です。

1. [音の設定] 画面で、[5. 異常終了音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [5. 異常終了音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

異常警告音

原稿が詰まるなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[中] です。

1. [音の設定] 画面で、[6. 異常警告音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [6. 異常警告音]画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

自動リセット事前通知

自動的に初期画面に戻る 5 秒前に鳴る音を設定します。

音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[なし] です。

1. [音の設定] 画面で、[7. 自動リセット事前通知] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [7. 自動リセット事前通知] 画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



基点音

繰り返し押すことで設定を切り替えることができるボタンの、基準となる音を設定します。本機では、〈節電中 / 解除〉ボタンを押したときに鳴ります。

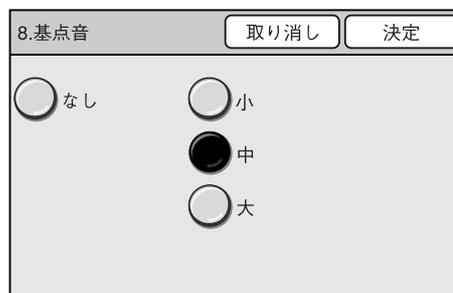
音量は、[大]、[中]、[小] から選択できます。音を鳴らさない場合は、[なし] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[中] です。

1. [音の設定] 画面で、[8. 基点音] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [8. 基点音] 画面で、音量を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



初期画面の設定

[共通設定] 画面で、[初期画面の設定] を選択すると、[初期画面の設定] 画面が表示されます。

電源を入れたときの初期画面表示や操作パネルのボタンに割り当てる機能などを設定します。



機能初期画面

電源を入れたとき、自動リセットが働いたときの初期画面表示を設定します。

画面は、[メニュー]、[コピー]、[メール送信]、[PC 保存]、[メディア保存]、[宛先表...] から選択できます。

[宛先表...] を選択した場合は、[メール送信]、[PC 保存]、[メディア保存] から、機能を選択します。選択した機能の [宛先表] 画面が、初期画面として設定されます。

工場出荷時の初期値は、[メニュー] です。

1. 【初期画面の設定】画面で、【1. 機能初期画面】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【1. 機能初期画面】画面で、画面を選択します。

3. 手順 2 で【宛先表...】を選択した場合は、【宛先表】画面が表示されるので、【メール送信】、【PC 保存】、【メディア保存】から機能を選択し、【決定】を押します。

4. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

登録ボタン 1 ~ 3

操作パネルの機能ボタンのうちの 3 つのボタン (〈コピー〉、〈PC 保存〉、〈メール送信〉) に割り当てる機能を設定します。

機能は、【コピー】、【メール送信】、【PC 保存】、【メディア保存】から選択できます。

設定しない場合は、【設定しない】を選択してください。

工場出荷時の初期値は、次のとおりです。

登録ボタン 1 : 【コピー】

登録ボタン 2 : 【PC 保存】

登録ボタン 3 : 【メール送信】

補足

- ・ 複数の登録ボタンに同じ機能を割り当てることができます。

1. 【初期画面の設定】画面で、【2. 登録ボタン 1】 ~ 【4. 登録ボタン 3】のいずれかを選択し、【確認 / 変更】を押します。

2. 【2. 登録ボタン 1】 ~ 【4. 登録ボタン 3】画面で、機能を選択します。

3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

初期表示言語

本機で表示する言語を切り替えることができます。[日本語] または [English] (英語) から選択できます。

工場出荷時の初期値は、[日本語] です。

注記

- 初期表示言語を [English] に設定した場合、次の制限があります。
 - 設定値に日本語文字列が設定されている項目は、設定値が正しく表示されません。
 - 宛先を検索するとき、「検索文字列」にひらがなまたはカタカナの文字列が設定されている宛先を検索できません。

- 【初期画面の設定】画面で、【5. 初期表示言語】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
- 【5. 初期表示言語】画面で、言語を選択します。
- 【決定】を押します。

補足

- 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。



原稿サイズボタン

【共通設定】画面で、【原稿サイズボタン】を選択すると、【原稿サイズボタン】画面が表示されます。

スキャンの【読み取りサイズ】や、コピーの【原稿サイズ入力】で表示されるボタンの原稿サイズを設定します。各原稿サイズボタンに、原稿サイズを割り当てられます。



定形外サイズの原稿を頻繁にコピーするときなど、あらかじめ定形外サイズを設定しておく、コピーのたびに原稿サイズを入力する操作が省けます。

設定できる原稿サイズの種類には、次のものがあります。

- ・ A系 B系表示
- ・ インチサイズ表示
- ・ その他
- ・ サイズ入力

サイズ入力では、任意のサイズを 1 mm刻みに設定できます。

参照

- ・ スキャンの【読み取りサイズ】の設定：「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)
- ・ コピーの【原稿サイズ入力】の設定：「4.6 その他のコピー項目を設定する」(P. 141)

原稿サイズボタン

原稿サイズボタンにサイズを設定します。

補足

- ・ DocuScan C4260 は原稿サイズボタンが 1 ～ 12 まで、DocuScan C3210 は原稿サイズボタンが 1 ～ 6 まであります。ここでは DocuScan C4260 の場合を例に説明しています。

1. [原稿サイズボタン] 画面で、[1. 原稿サイズボタン 1] ～ [12. 原稿サイズボタン 12] のいずれかを選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [1. 原稿サイズボタン 1] ～ [12. 原稿サイズボタン 12] 画面で、原稿サイズの種類を選択します。
3. [A 系 B 系表示]、[インチサイズ表示]、[その他] を選択した場合は、右側の一覧でサイズを選択します。



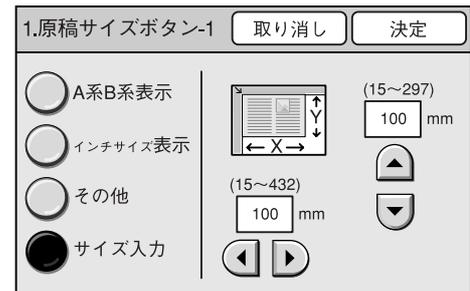
補足

- ・ [▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面を表示できます。

4. [サイズ入力] を選択した場合は、[▲] / [▼] / [◀] / [▶] で、サイズを入力します。
5. [決定] を押します。

補足

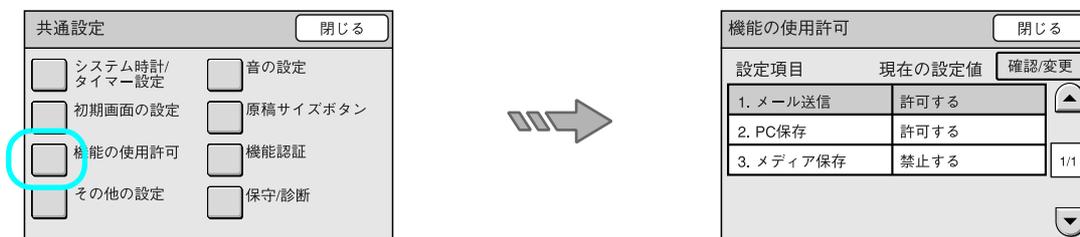
- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



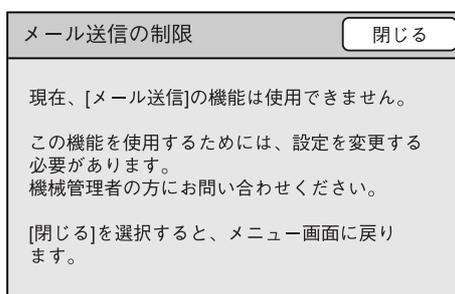
機能の使用許可

【共通設定】画面で、【機能の使用許可】を選択すると、【機能の使用許可】画面が表示されます。

機能の使用を許可 / 禁止する設定をします。禁止に設定すると、機能は使用できなくなります。



使用禁止に設定されている機能を使用しようとすると、次のような画面が表示されます。



メール送信の場合

補足

- ・ 暗証番号を設定して認証を行い、機能の使用を制限することもできます。詳しくは、「機能認証」(P. 186)を参照してください。

メール送信

メール送信の使用を許可 / 禁止する設定をします。

工場出荷時の初期値は、【許可する】です。

1. 【機能の使用許可】画面で、【1. メール送信】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【1. メール送信】画面で、【許可する】または【禁止する】を選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。



PC 保存

PC 保存の使用を許可 / 禁止する設定をします。
工場出荷時の初期値は、[許可する] です。

1. [機能の使用許可] 画面で、[2. PC 保存] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. PC 保存] 画面で、[許可する] または [禁止する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

メディア保存

メディア保存の使用を許可 / 禁止する設定をします。
工場出荷時の初期値は、[許可する] です。

1. [機能の使用許可] 画面で、[3. メディア保存] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [3. メディア保存] 画面で、[許可する] または [禁止する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

機能認証

[共通設定] 画面で、[機能認証] を選択すると、[機能認証] 画面が表示されます。
暗証番号を使って認証を行うかどうかを、機能ごとに設定します。

また、暗証番号入力を行う場合は、その暗証番号を設定します。暗証番号は、[認証する] 設定になっているすべての機能に対して1つ設定します。



設定項目	現在の設定値	確認/変更
1. コピー	認証しない	1/1
2. メール送信	認証しない	
3. PC保存	認証しない	
4. メディア保存	認証しない	
5. 暗証番号の設定	(未設定)	

[認証する] に設定すると、機能のボタンを押したときに、次のような暗証番号入力を求める画面が表示されます。暗証番号を入力すると、機能の画面が表示されます。

補足

- ・ 次の画面例は、コピー機能を認証する設定にした場合に、操作パネルの〈コピー〉ボタンで表示される画面です。



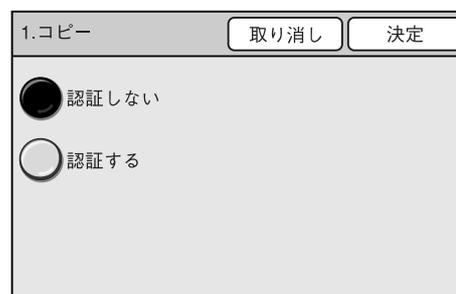
コピー

コピーを使用するために暗証番号入力を行うかどうかを設定します。
工場出荷時の初期値は、[認証しない] です。

1. [機能認証] 画面で、[1. コピー] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [1. コピー] 画面で、[認証しない] または [認証する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



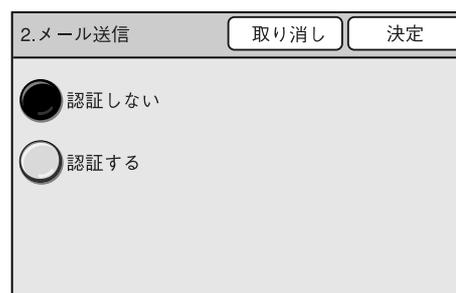
メール送信

メール送信を使用するために暗証番号入力を行うかどうかを設定します。
工場出荷時の初期値は、[認証しない] です。

1. [機能認証] 画面で、[2. メール送信] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. メール送信] 画面で、[認証しない] または [認証する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



PC 保存

PC 保存を使用するために暗証番号入力を行うかどうかを設定します。
工場出荷時の初期値は、[認証しない] です。

1. [機能認証] 画面で、[3. PC 保存] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [3. PC 保存] 画面で、[認証しない] または [認証する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

メディア保存

メディア保存を使用するために暗証番号入力を行うかどうかを設定します。
工場出荷時の初期値は、[認証しない] です。

1. [機能認証] 画面で、[4. メディア保存] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [4. メディア保存] 画面で、[認証しない] または [認証する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

暗証番号の設定

暗証番号を 4 ～ 8 文字までの数字で入力します。

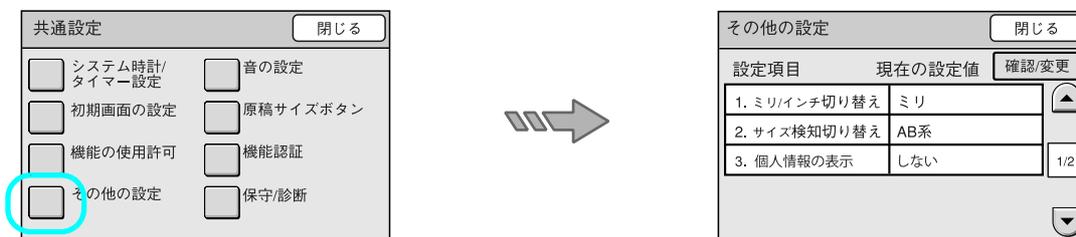
1. [機能認証] 画面で、[5. 暗証番号の設定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [5. 暗証番号の設定] 画面で、操作パネルの数字ボタンで、暗証番号を入力します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

その他の設定

[共通設定] 画面で、[その他の設定] を選択すると、[その他の設定] 画面が表示されます。操作パネルの画面に表示される単位、サイズの種類や、スキャン / コピー中の画面、ジョブの確認画面、CentreWare Internet Services のジョブ履歴への個人情報の表示の有無を設定します。



ミリ / インチ切り替え

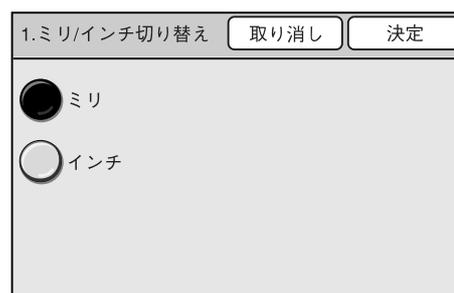
画面に表示される単位などの、本機のシステムの動作単位を、ミリまたはインチに切り替えます。

工場出荷時の初期値は、[ミリ] です。

1. [その他の設定] 画面で、[1. ミリ / インチ切り替え] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [1. ミリ / インチ切り替え] 画面で、[ミリ] または [インチ] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



サイズ検知切り替え

定形サイズの前稿を自動的に検知するときの、前稿サイズを設定します。

AB系、AB系（八開 / 十六開）、インチ系から選択できます。

工場出荷時の初期値は、[AB系]です。

自動検知できるサイズの組み合わせについては、次の表を参考にしてください。

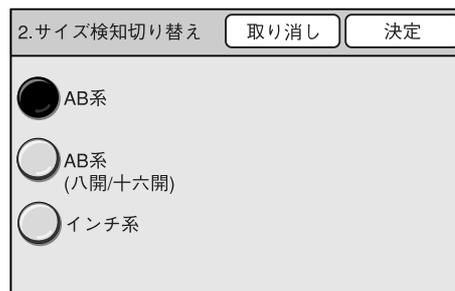
原稿サイズグループ	DocuScan C4260						DocuScan C3210					
	AB系		AB系 (八開 / 十六開)		インチ系		AB系		AB系 (八開 / 十六開)		インチ系	
セットする場所	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置	原稿ガラス	自動原稿送り装置
サイズ / 向き												
A6 □		×		×	×	×		×		×	×	×
A6 □	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
A5 □					×	×					×	×
A5 □					×	×					×	×
A4 □					×	×					×	×
A4 □						×	-	-	-	-	-	-
A3 □						×	-	-	-	-	-	-
B6 □		×		×	×	×		×		×	×	×
B6 □	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
B5 □					×	×					×	×
B5 □					×	×	×	×	×	×	×	×
B4 □							-	-	-	-	-	-
5.5 × 8.5" □	×	×	×	×			×	×	×	×		
5.5 × 8.5" □	×	×	×	×	×		×	×	×	×		×
7.25 × 10.5" □	×	×	×	×		×	-	-	-	-	-	-
8 × 10" □	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8 × 10" □	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
8.5 × 11" □	×	×	×	×			×	×		×		
8.5 × 11" □		×		×			-	-	-	-	-	-
8.5 × 13" □	×	×	×	×	×	×	-	×	-	×	-	×
8.5 × 14" □	×	×	×	×		×	-	×	-	×	-	
11 × 15" □	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11 × 17" □		×		×			×	×	×	×	×	×
十六開 □	×	×		×	×	×	×	×		×	×	×
十六開 □	×	×		×	×	×	-	-	-	-	-	-
八開 □	×	×		×	×	×	-	-	-	-	-	-
郵便はがき □	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
郵便往復はがき □	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
定形長3号封筒 □	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4 × 6" □	×	×	×	×		×	×	×	×	×		×

○：使用できる ×：使用できない -：サポートしていない

1. [その他の設定] 画面で、[2. サイズ検知切り替え]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. [2. サイズ検知切り替え] 画面で、[AB系]、[AB系 (八開 / 十六開)]、[インチ系]のいずれかを選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



個人情報の表示

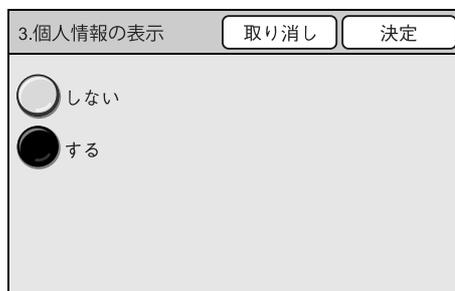
操作パネルのスキャン / コピー中の画面や、ジョブの確認画面、CentreWare Internet Services のジョブ履歴に、宛先のメールアドレスなどの個人情報を表示するかどうかを設定します。

工場出荷時の初期値は、[する] です。

1. [その他の設定] 画面で、[3. 個人情報の表示]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. [3. 個人情報の表示] 画面で、[しない] または [する] を選択します。
3. [決定] を押します。

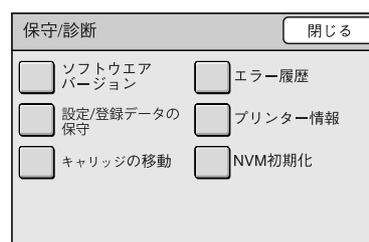
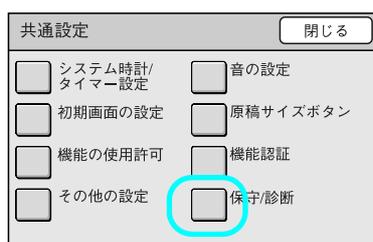
補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



保守 / 診断

[共通設定] 画面で、[保守 / 診断] を選択すると、[保守 / 診断] 画面が表示されます。ソフトウェアバージョン、エラー履歴、プリンター情報の確認や、宛先表などの登録データやシステムデータの保守、NV メモリー (システムデータ) の初期化などを行います。



ソフトウェアバージョン

ソフトウェアバージョンや MAC アドレスなどの情報を表示します。

補足

・ DocuScan C3210 の場合は、[DADF] の情報は表示されません。

1. [保守 / 診断] 画面で、[ソフトウェアバージョン] を押します。
2. [ソフトウェアバージョン] 画面で、内容を確認します。
3. [閉じる] を押します。

ソフトウェアバージョン		閉じる
Serial No.	000000000	
MAC Address	XX.XX.XX.XX.XX	
Panel	Ver.000.000.000	
ICM	Ver.000.000.000	
IIT	Ver.000.000.000	
DADF	Ver.000.000.000	

エラー履歴

エラー履歴を表示します。

1. [保守 / 診断] 画面で、[エラー履歴] を押します。
2. [エラー履歴] 画面で、履歴の種類 ([Error Log History]) を押します。
3. 履歴画面が表示されるので、内容を確認します。
4. [閉じる] を押します。

エラー履歴		閉じる
<input type="checkbox"/>	Error Log History	

設定 / 登録データの保守

本機内の設定 / 登録データを、本機に接続した USB フラッシュメモリーに保存します。また、USB フラッシュメモリーから本機に設定 / 登録データを復元します (読み込みます)。

設定/登録データの保守		閉じる	
<input type="checkbox"/>	保存	<input type="checkbox"/>	復元

設定 / 登録データには、次の 2 種類のデータがあります。

- ・ 登録データ：
本機内の宛先表、登録リスト (件名、コメント) に登録されているデータです。
- ・ システムデータ：
仕様設定で設定されている設定値です。CentreWare Internet Services で設定した情報などの各種パラメーターは、対象外です。

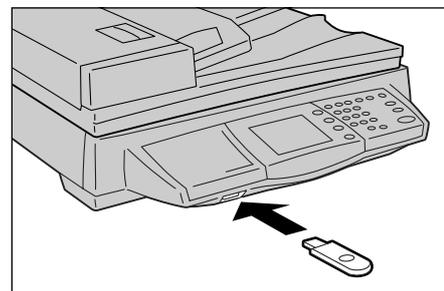
宛先の新規登録、追加登録を行った場合は、[設定 / 登録データの保守] を使って、宛先表のバックアップをとることをお勧めします。

注記

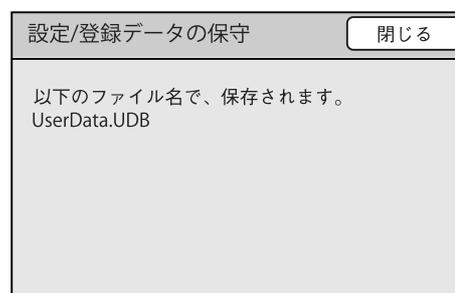
- ・セキュリティ機能や書き込み禁止機能付きの USB フラッシュメモリーの場合、セキュリティ機能や書き込み禁止機能を有効にしていると、保存できません。

■ 設定 / 登録データを保存する

1. USB フラッシュメモリーを本機の USB コネクタに接続します。
2. [保守 / 診断] 画面で、[設定 / 登録データの保守] を押します。
3. [設定 / 登録データの保守] 画面で、[保存] を選択します。



4. 保存確認のメッセージが表示されるので、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
5. 保存が完了するとメッセージが表示されます。



補足

- ・保存に失敗した場合は、保存できなかったことを知らせるメッセージが表示されますので、保存し直してください。

6. [閉じる] を押します。

■ 設定 / 登録データを復元する

設定 / 登録データを復元するときは、復元するデータの種類（登録データ、システムデータ）を指定できます。

登録データを復元する場合は、次の 2 種類の復元方法があります。

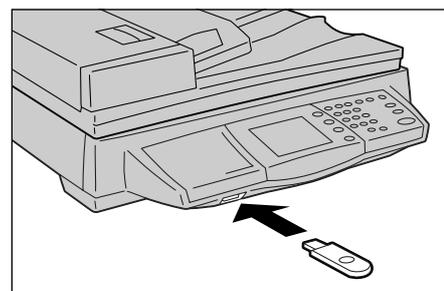
- ・ [置き換えモード] :

本機内の登録データはすべて削除され、USB フラッシュメモリー内の登録データが読み込まれます。

- ・ [上書きモード] :

同じ登録番号の登録データがあった場合、その登録データを上書きします。USB フラッシュメモリー内にある登録番号の登録データが本機内になかった場合、その登録データを追加します。本機内にあって、USB フラッシュメモリー内にはない登録番号の登録データは、そのまま残ります。

1. 設定 / 登録データが保存されている USB フラッシュメモリーを、本機の USB コネクタに挿入します。
2. [保守 / 診断] 画面で、[設定 / 登録データの保守] を押します。
3. [設定 / 登録データの保守] 画面で、[復元] を選択します。

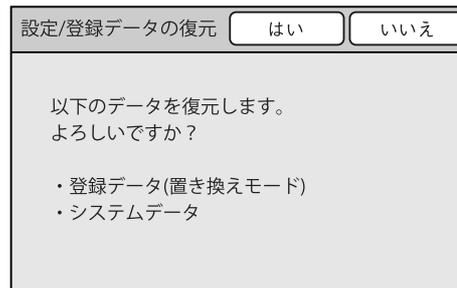
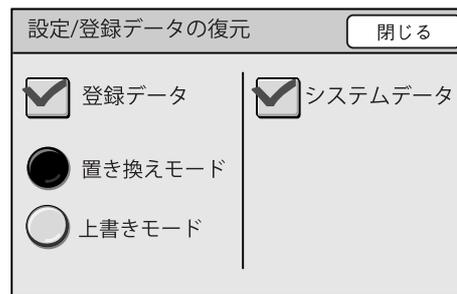


4. [設定 / 登録データの復元] 画面で、復元するデータにチェックを付けます。[登録データ] と [システムデータ] の両方を選択することもできます。
5. [登録データ] を選択した場合は、復元方法 ([置き換えモード] または [上書きモード]) を選択します。
6. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
7. 復元確認のメッセージが表示されるので、[はい] を押します。
8. 復元が完了するとメッセージが表示されます。

補足

- ・ 復元に失敗した場合は、復元できなかったことを知らせるメッセージが表示されますので、復元し直してください。

9. [閉じる] を押します。



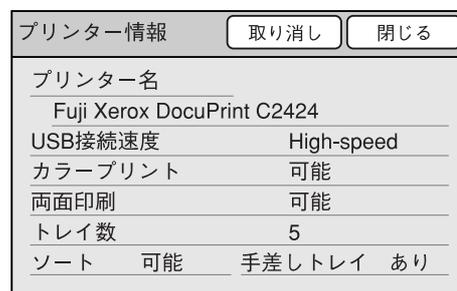
プリンター情報

プリンター情報を表示します。

プリンター情報には、次の項目があります。

- ・ プリンター名
- ・ USB 接続速度
- ・ カラープリントの可 / 不可
- ・ 両面印刷の可 / 不可
- ・ トレイ数
- ・ ソートの可 / 不可
- ・ 手差しトレイの有無

1. [保守 / 診断] 画面で、[プリンター情報] を押します。
2. [プリンター情報] 画面で、内容を確認します。
3. [閉じる] を押します。



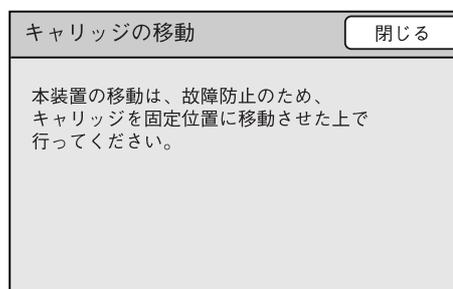
キャリッジの移動

キャリッジを移動します。本機を移動する場合は、故障防止のため、事前に【キャリッジの移動】でキャリッジを固定位置に移動してください。

参照

・ 本機の移動方法：「10.3 スキャナーを移動するときは」(P. 312)

1. 【保守 / 診断】画面で、【キャリッジの移動】を押します。
2. 【キャリッジの移動】画面で、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
3. キャリッジが移動します。
4. 【閉じる】を押します。



NVM 初期化

NV メモリー（システムデータ・登録データ）を初期化します。

NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリーのことです。

NV メモリーを初期化すると、各種設定項目は初期値に戻ります。

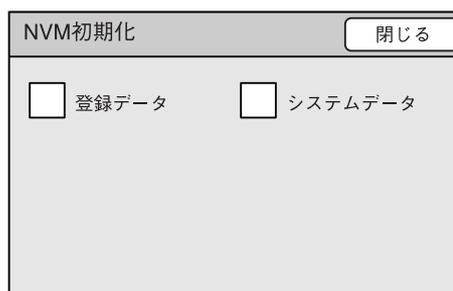
システムデータとは、仕様設定で設定されている設定値です。CentreWare Internet Services で設定した情報などの各種パラメーターは、対象外です。

登録データとは、本機内の宛先表、登録リスト（件名、コメント）に登録されているデータです。

参照

- ・ 仕様設定項目の一覧：「7.2 仕様設定項目一覧」(P. 172)
- ・ 宛先表の項目の一覧：「5.1 宛先表の概要」(P. 150)
- ・ 登録リストの項目の一覧：「5.2 登録リストの概要」(P. 159)

1. 【保守 / 診断】画面で、【NVM 初期化】を押します。
2. 【NVM 初期化】画面で、初期化したいデータの□を押し、チェックを付けます。【登録データ】と【システムデータ】の両方を選択することもできます。
3. 【閉じる】を押します。
4. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
5. 初期化確認のメッセージが表示されるので、内容を確認し、【はい】を押します。
6. 初期化が完了すると【電源の切り / 入り】画面が表示されるので、電源を切ります。
7. 画面の表示が消えるのを確認して、電源を入れます。



7.5 ネットワーク設定

【ネットワーク設定】には、ポートの起動 / 停止を設定する【ポート設定】、その通信に必要な条件を設定する【プロトコル設定】、SSL を使って情報を保護する設定をする【PKI (公開鍵基盤) 設定】があります。

補足

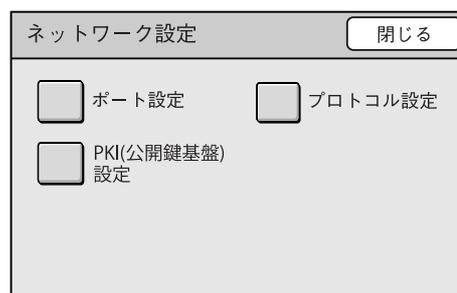
- ・ CentreWare Internet Services を使うと、さらに詳細なネットワーク設定ができます。
- ・ SSL とは、通信情報を暗号化することにより、情報が漏洩するリスクを軽減するための技術です。

参照

- ・ CentreWare Internet Services の使用方法:「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)

【仕様設定】画面で【ネットワーク設定】を選択して【ネットワーク設定】画面を表示し、設定します。

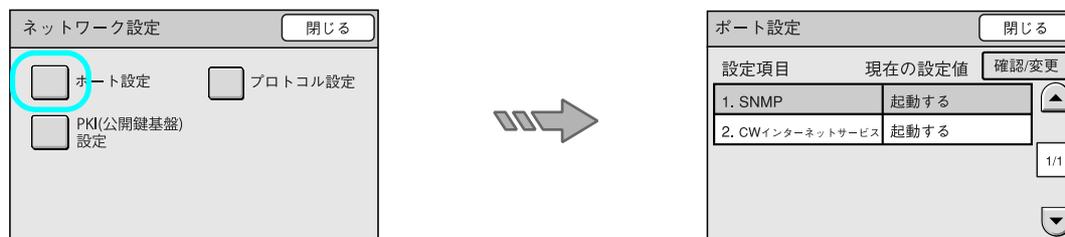
次に【ネットワーク設定】で設定できる各項目について説明します。



ポート設定

【ネットワーク設定】画面で、【ポート設定】を選択すると、【ポート設定】画面が表示されます。

ポートの起動または停止を設定します。



SNMP

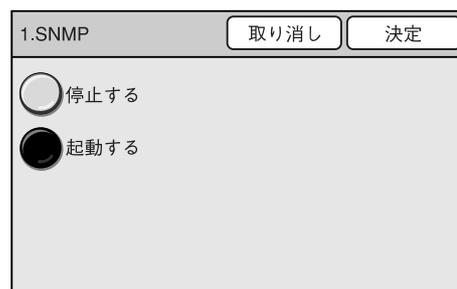
SNMP エージェント (SNMP ポート) の起動または停止を設定します。

工場出荷時の初期値は、【起動する】です。

1. 【ポート設定】画面で、【1. SNMP】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【1. SNMP】画面で、【停止する】または【起動する】を選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。



CW インターネットサービス

CentreWare Internet Services (HTTP ポート) の起動または停止を設定します。
工場出荷時の初期値は、[起動する] です。

1. [ポート設定] 画面で、[2. CW インターネットサービス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. CW インターネットサービス] 画面で、[停止する] または [起動する] を選択します。
3. [決定] を押します。

2. CWインターネットサービス

停止する

起動する

取り消し 決定

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

プロトコル設定

[ネットワーク設定] 画面で、[プロトコル設定] を選択すると、[プロトコル設定] 画面が表示されます。

通信に必要な Ethernet (イーサネット) ポートの設定や TCP/IP の設定 (IP アドレス、IP アドレス取得方法、サブネットマスク、ゲートウェイ) を行います。

ネットワーク設定

ポート設定

プロトコル設定

PKI(公開鍵基盤)設定

閉じる



プロトコル設定

設定項目	現在の設定値	確認/変更
1. Ethernet設定	自動	▲
2. IPアドレスの取得方法	DHCP/Autonetから取得	
3. IPアドレス	0.0.0.0	1/1
4. サブネットマスク	0.0.0.0	
5. ゲートウェイ	0.0.0.0	▼

閉じる

Ethernet 設定

Ethernet (イーサネット) インターフェイスの通信速度の種類を設定します。

通信速度の種類は、[自動]、[100BASE-TX (全二重)]、[100BASE-TX (半二重)]、[10BASE-T (全二重)]、[10BASE-T (半二重)] から選択できます。

[自動] を選択すると、100BASE-TX (全二重)、100BASE-TX (半二重)、10BASE-T (全二重)、10BASE-T (半二重) を自動的に切り替えます。

工場出荷時の初期値は、[自動] です。

1. [プロトコル設定] 画面で、[1. Ethernet 設定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [1. Ethernet 設定] 画面で、通信速度の種類を選択します。
3. [決定] を押します。

1. Ethernet設定

自動

100 BASE-TX (全二重)

100 BASE-TX (半二重)

10 BASE-T (全二重)

10 BASE-T (半二重)

取り消し 決定

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

IP アドレスの取得方法

TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の取得方法を次の中から選択し、設定します。

- DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）から取得
- DHCP/Autonet から取得
- BOOTP から取得
- RARP から取得
- 手動で設定

工場出荷時の初期値は、[DHCP/Autonet から取得] です。

補足

- 手動で設定するアドレスについては、システム管理者に確認してください。
- [DHCP/Autonet から取得] を選択した場合、接続できる DHCP サーバーを検索し、DHCP サーバーが存在しないときは、本機自身で IP アドレスを割り振ります。
- [DHCP から取得] を選択した場合、接続できる DHCP サーバーを検索し、DHCP サーバーが存在しないときは、TCP/IP での通信はできません。
- [BOOTP から取得] を選択した場合、接続できる BOOTP サーバーを検索し、BOOTP サーバーが存在しないときは、TCP/IP での通信はできません。
- [RARP から取得] を選択した場合、接続できる RARP サーバーを検索し、RARP サーバーが存在しないときは、TCP/IP での通信はできません。

1. [プロトコル設定] 画面で、[2. IP アドレスの取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. IP アドレスの取得方法] 画面で、取得方法を選択します。
3. [決定] を押します。

2.IPアドレスの取得方法 取り消し 決定

DHCP から取得 DHCP/Autonet から取得

BOOTP から取得 手動で設定

RARP から取得

補足

- 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

IP アドレス

[IP アドレスの取得方法] が [手動で設定] の場合の、IP アドレスを設定します。
xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ~ 255 までの数値です。

1. [プロトコル設定] 画面で、[3. IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [3. IP アドレス] 画面で、アドレスを、操作パネルの数字ボタンで入力します。
3. [決定] を押します。

3.IPアドレス 取り消し 決定

192.168.1.100

補足

- 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

サブネットマスク

【IPアドレスの取得方法】が【手動で設定】の場合の、サブネットマスクを設定します。
xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255までの数値です。

1. 【プロトコル設定】画面で、【4. サブネットマスク】を選択し、【確認/変更】を押します。
2. 【4. サブネットマスク】画面で、アドレスを、操作パネルの数字ボタンで入力します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。



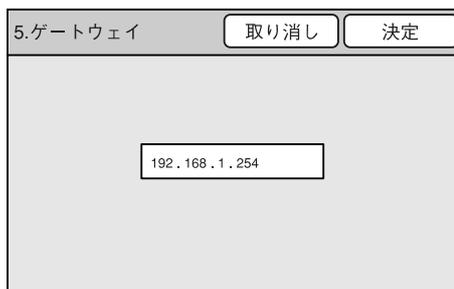
ゲートウェイ

【IPアドレスの取得方法】が【手動で設定】の場合の、ゲートウェイを設定します。
xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxは0～255までの数値です。

1. 【プロトコル設定】画面で、【5. ゲートウェイ】を選択し、【確認/変更】を押します。
2. 【5. ゲートウェイ】画面で、アドレスを、操作パネルの数字ボタンで入力します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

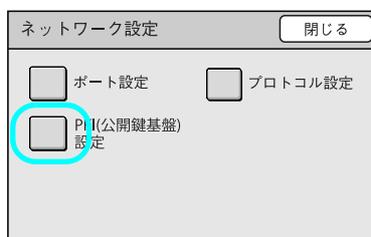


PKI (公開鍵基盤) 設定

【ネットワーク設定】画面で【PKI (公開鍵基盤) 設定】を選択すると、【PKI (公開鍵基盤) 設定】画面が表示されます。

SSL/TLS 通信の有効または無効を設定します。

SSL/TLS 通信を有効にすると、DocuScan マネージャーや CentreWare Internet Services と、本機との間の通信時に、情報を暗号化して、より安全な通信が行えます。



SSL/TLS 設定

SSL/TLS 通信の有効または無効を設定します。
工場出荷時の初期値は、[無効] です。

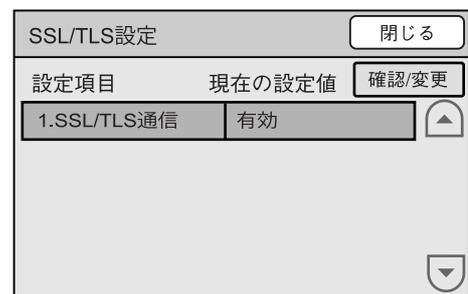
1. [PKI (公開鍵基盤) 設定] 画面で、[SSL/TLS 設定] を押します。



2. [SSL/TLS 設定] 画面で、[1. SSL/TLS 通信] を押します。

補足

- ・ 本機に証明書が生成されていない場合は、[1. SSL/TLS 通信] を押すとエラーになります。証明書は、CentreWare Internet Services を使って生成します。詳しくは、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。



3. [1. SSL/TLS 通信] 画面で、[有効] または [無効] を選択します。

4. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



7.6 コピー設定

コピー機能の仕様にかかわる設定ができます。

表示される設定項目は、接続しているプリンターによって異なります。設定の前に接続しているプリンターの電源を入れてください。

注記

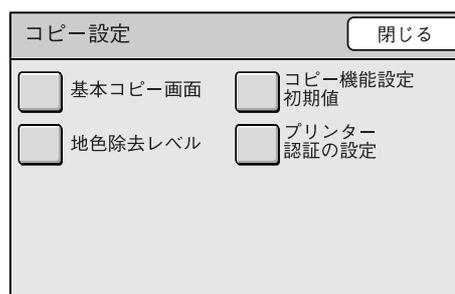
- ・プリンターを接続していない場合、またはプリンターの電源を入れていない場合でもコピー設定はできますが、実際にコピー機能を使うときに、正しい値が表示されないことがあります。

補足

- ・接続しているプリンターの機種名を明記していない場合は、本機のコピー機能をすべて使用できるプリンターに接続している場合の画面例を記載しています。

[仕様設定] 画面で [コピー設定] を選択して [コピー設定] 画面を表示し、設定します。

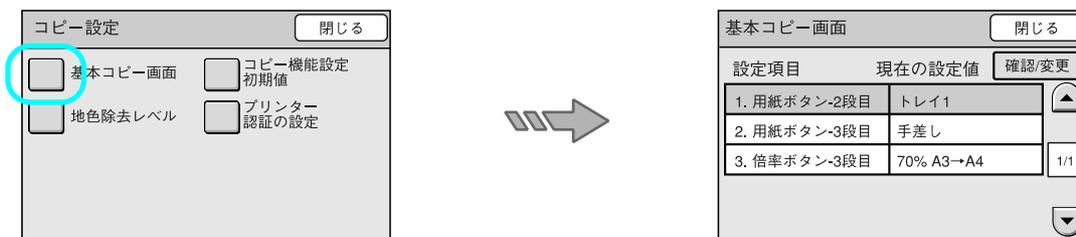
次に [コピー設定] で設定できる各項目について説明します。



基本コピー画面

[コピー設定] 画面で、[基本コピー画面] を選択すると、[基本コピー画面] 画面が表示されます。

コピー機能の [基本] 画面に表示されるトレイや倍率を変更できます。よく使うトレイや倍率を設定しておくと、コピーのたびに選択する操作が省けます。



用紙ボタン -2 段目

[基本] 画面の [用紙選択] に表示される 4 つの機能ボタンの、上から 2 段目の用紙トレイを設定できます。

トレイ 1 ～ 8 から設定できます。

工場出荷時の初期値は、[トレイ 1] です。

補足

- ・ [用紙ボタン -3 段目] と同じ用紙トレイは設定できません。
- ・ 接続しているプリンターのトレイの数だけ、ボタンが表示されます。

1. [基本コピー画面] 画面で、[1. 用紙ボタン -2 段目] を選択し、[確認/変更] を押します。
2. [1. 用紙ボタン -2 段目] 画面で、トレイを選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



用紙ボタン -3 段目

[基本] 画面の [用紙選択] に表示される 4 つの機能ボタンの、上から 3 段目の用紙トレイを設定できます。

トレイ 1 ～ 8 から設定できます。設定しない場合は、[なし] を選択してください。

工場出荷時の初期値は、[トレイ 2] です。

補足

- ・ [用紙ボタン -2 段目] と同じ用紙トレイは設定できません。
- ・ 接続しているプリンターのトレイの数だけ、ボタンが表示されます。

1. [基本コピー画面] 画面で、[2. 用紙ボタン -3 段目] を選択し、[確認/変更] を押します。
2. [2. 用紙ボタン -3 段目] 画面で、トレイを選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



倍率ボタン -3 段目

[基本] 画面の [倍率選択] に表示される 4 つの機能ボタンの、上から 3 段目の倍率を設定できます。

工場出荷時の初期値は、[70% A3 → A4/B4 → B5] です。

1. [基本コピー画面] 画面で、[3. 倍率ボタン -3 段目] を選択し、[確認/変更] を押します。
2. [3. 倍率ボタン -3 段目] 画面で、倍率を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

3.倍率ボタン-3段目		取り消し	決定
50%	A3→A5		
70%	A3→A4 / B4→B5		
81%	B4→A4 / B5→A5		
86%	A3→B4 / A4→B5		
115%	B4→A3 / B5→A4		
122%	A4→B4 / A5→B5		

コピー機能設定初期値

[コピー設定] 画面で、[コピー機能設定初期値] を選択すると、[コピー機能設定初期値] 画面が表示されます。

コピー機能の初期値を設定します。

電源を入れたときや節電モード状態から復帰したとき、また〈リセット〉ボタンを押したときに、ここで設定されている初期値の状態に戻ります。

よく使う機能や値を初期値に設定しておくことで、操作のたびに設定する操作が省けます。

補足

- ・ 設定項目や設定値は、接続しているプリンターの機能によって制限されます。本書では、本機のコピー機能をすべて使用できるプリンターに接続している場合の画面例を記載しています。

参照

- ・ コピー機能についての詳細：「4 コピーする」(P. 115)

コピー設定		閉じる
<input type="checkbox"/> 基本コピー画面	<input checked="" type="checkbox"/> コピー機能設定初期値	
<input type="checkbox"/> 地色除去レベル	<input type="checkbox"/> プリンター認証の設定	



コピー機能設定初期値		閉じる
設定項目	現在の設定値	確認/変更
1. 用紙設定	自動	
2. 手差し用紙種類	普通紙	
3. 手差し用紙サイズ	A3□	1/4
4. 倍率選択	100%	
5. カラーモード	白黒	

用紙選択

【基本】画面にある、【用紙選択】の初期値を設定します。

【自動】、【用紙選択ボタン-2 段目】、【用紙選択ボタン-3 段目】から選択できます。
工場出荷時の初期値は、【自動】です。

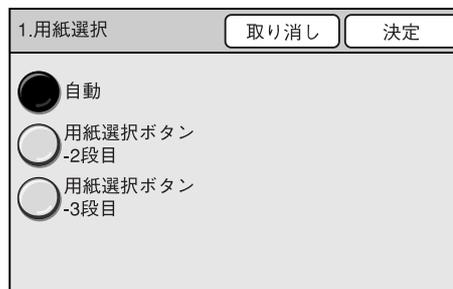
補足

・【倍率選択】の初期値を【自動%】に設定している場合、【用紙選択】では【自動】を設定できません。

1. 【コピー機能設定初期値】画面で、【1. 用紙選択】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【1. 用紙選択】画面で、【自動】、【用紙選択ボタン-2 段目】、【用紙選択ボタン-3 段目】のいずれかを選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

・設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。



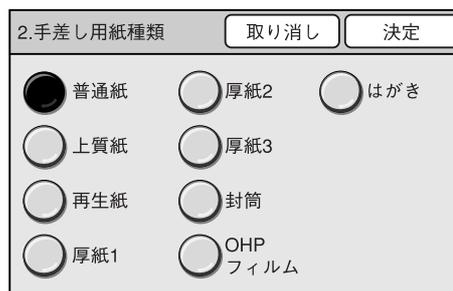
手差し用紙種類

【手差し】画面の用紙種類の初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、【普通紙】です。

1. 【コピー機能設定初期値】画面で、【2. 手差し用紙種類】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【2. 手差し用紙種類】画面で、用紙種類を選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

・設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。



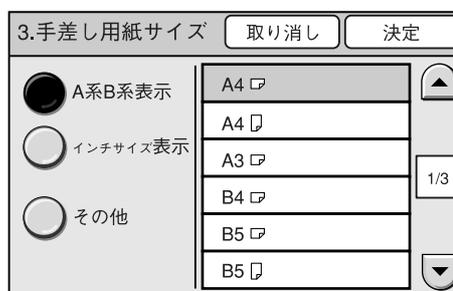
手差し用紙サイズ

【手差し】画面の用紙サイズの初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、【A系B系表示】、【A4☑】です。

1. 【コピー機能設定初期値】画面で、【3. 手差し用紙サイズ】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【3. 手差し用紙サイズ】画面で、【A系B系表示】、【インチサイズ表示】、【その他】からサイズの種類を選択します。
3. 用紙サイズを選択します。
4. 【決定】を押します。

補足

・設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。



倍率選択

[基本] 画面にある、[倍率選択] の初期値を設定します。
[100%]、[自動]、[倍率ボタン -3 段目] から選択できます。
工場出荷時の初期値は、[自動] です。

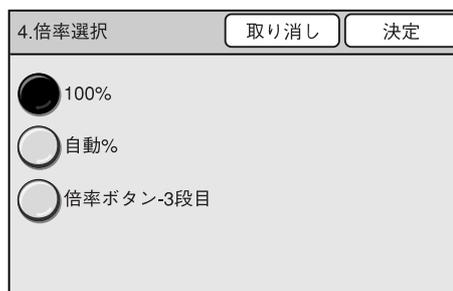
補足

・ [用紙選択] の初期値を [自動] に設定している場合、[倍率選択] では [自動%] を設定できません。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[4. 倍率選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [4. 倍率選択] 画面で、倍率を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



カラーモード

[基本] 画面にある、[カラーモード] の初期値を設定します。
[白黒]、[フルカラー] から選択できます。
工場出荷時の初期値は、[白黒] です。

1. [コピー機能設定初期値]画面で、[5. カラーモード]を選択し、[確認 / 変更]を押します。
2. [5. カラーモード] 画面で、カラーモードを選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



両面 / 片面選択

[基本] 画面にある、[両面 / 片面選択] の初期値を設定します。
[片面→片面]、[片面→両面]、[両面→両面]、[両面→片面] から選択できます。
工場出荷時の初期値は、[片面→片面] です。

補足

・ [両面→両面]、[片面→両面] は、接続しているプリンターに両面印刷機能がある場合にだけ有効です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[6. 両面 / 片面選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [6. 両面 / 片面選択] 画面で、両面 / 片面の設定を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



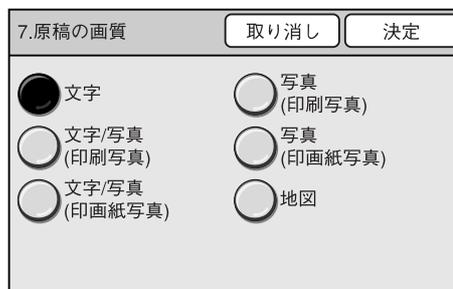
原稿の画質

[基本] 画面または [画質調整] 画面にある、[原稿の画質] の初期値を設定します。
[文字]、[文字 / 写真 (印刷写真)]、[文字 / 写真 (印画紙写真)]、[写真 (印刷写真)]、
[写真 (印画紙写真)]、[地図] から選択できます。
工場出荷時の初期値は、[文字 / 写真 (印刷写真)] です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[7. 原稿の画質] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [7. 原稿の画質] 画面で、画質を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



コピー濃度

[基本] 画面にある、[コピー濃度] の初期値を設定します。
[こく] ~ [うすく] まで 7 段階で設定できます。
工場出荷時の初期値は、4 番めです。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[8. コピー濃度] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [8. コピー濃度] 画面で、[◀] / [▶] を押して濃度を設定します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



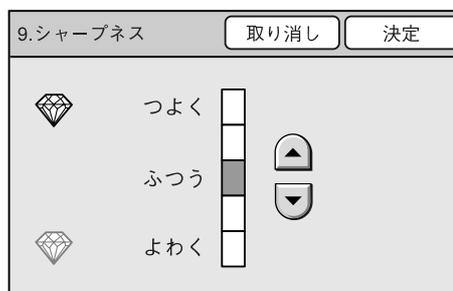
シャープネス

[画質調整] 画面にある、[シャープネス] の初期値を設定します。
[つよく] ~ [よわく] まで 5 段階で設定できます。
工場出荷時の初期値は、[ふつう] です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[9. シャープネス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [9. シャープネス] 画面で、[▲] / [▼] を押してシャープネスを設定します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



彩度

[画質調整] 画面にある、[彩度] の初期値を設定します。
[つよく] ～ [よわく] まで5段階で設定できます。
工場出荷時の初期値は、[ふつう] です。

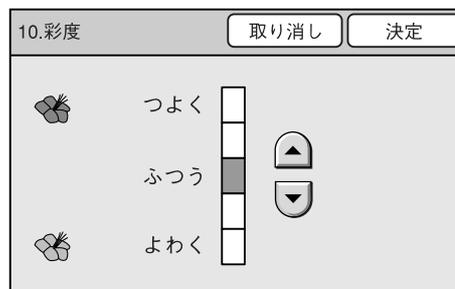
補足

・ この設定は、接続しているプリンターがカラープリンターの場合にだけ有効です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[10. 彩度] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [10. 彩度] 画面で、[▲] / [▼] を押して彩度を設定します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



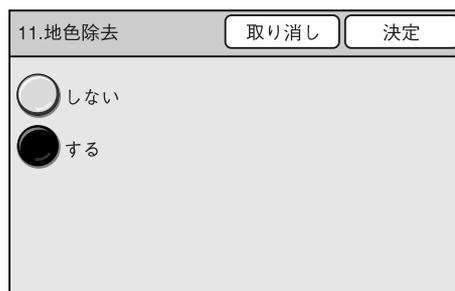
地色除去

[画質調整] 画面にある、[地色除去] の初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、[する] です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[11. 地色除去] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [11. 地色除去] 画面で、[しない] または [する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



カラーバランス (Y/M/C/K)

[画質調整] 画面にある、[カラーバランス (Y)] ～ [カラーバランス (K)] の初期値を設定します。

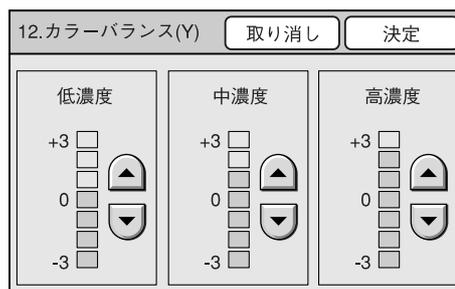
低濃度、中濃度、高濃度ごとに、7段階で設定できます。

工場出荷時の初期値は、低濃度、中濃度、高濃度ともに [0] です。

補足

・ この設定は、接続しているプリンターがカラープリンターの場合にだけ有効です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[12. カラーバランス (Y)] ～ [15. カラーバランス (K)] のいずれかを選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [12. カラーバランス (Y)] ～ [15. カラーバランス (K)] 画面で、[低濃度]、[中濃度]、[高濃度] に、[▲] / [▼] を押して濃度を設定します。
3. [決定] を押します。



補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

原稿セット向き指定

[その他] 画面にある、[原稿セット向き] の初期値を設定します。

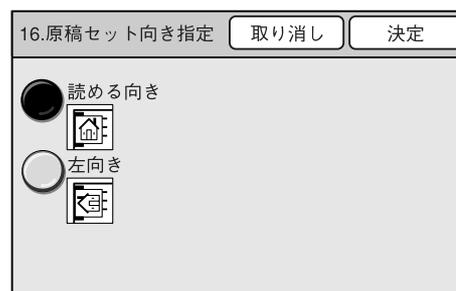
[読める向き] または [左向き] を選択できます。

工場出荷時の初期値は、[読める向き] です。

参照

- ・ [読める向き]、[左向き]：「原稿セット向き指定（セットした原稿の向きを指定する）」(P. 144)

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[16. 原稿セット向き指定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [16. 原稿セット向き指定] 画面で、[読める向き] または [左向き] を選択します。
3. [決定] を押します。



補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

仕分け

[その他] 画面にある、[仕分け] の初期値を設定します。

[スタック (ページごと)] または [ソート (1部ごと)] から選択できます。

工場出荷時の初期値は、[スタック (ページごと)] です。

補足

- ・ この設定は、接続しているプリンターに仕分け機能があり、増設ハードディスクを装着しているプリンターの場合にだけ表示されます。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[17. 仕分け] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [17. 仕分け] 画面で、[スタック (ページごと)] または [ソート (1部ごと)] を選択します。
3. [決定] を押します。



補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

わく消し

[その他] 画面にある、[わく消し] の初期値を設定します。

次の2種類の設定ができます。

- ・ 標準

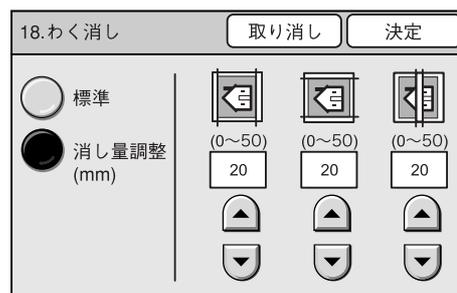
上下、左右に 4mm、中央に 0mm の消し量が設定されます。

- ・ 消し量調整

原稿の上下、左右、中央ごとに、0～50mm の範囲で 1mm 刻みのわく消し量を設定できます。

工場出荷時の初期値は、[標準] です。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[18. わく消し]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. [18. わく消し] 画面で、[標準] または [消し量調整] を選択します。
3. [消し量調整] を選択した場合は、[▲] / [▼] を押して調整量を設定します。
4. [決定] を押します。



補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

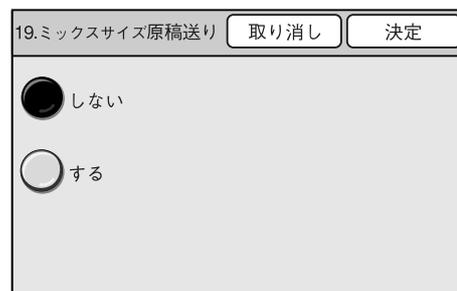
ミックスサイズ原稿送り

[その他] 画面にある、[ミックスサイズ原稿送り] の初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、[しない] です。

補足

- ・ この設定は、DocuScan C4260 の場合にだけ表示されます。

1. [コピー機能設定初期値] 画面で、[19. ミックスサイズ原稿送り] を選択し、[確認/変更] を押します。
2. [19. ミックスサイズ原稿送り] 画面で、[しない] または [する] を選択します。
3. [決定] を押します。



補足

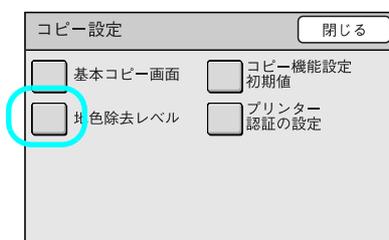
- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

地色除去レベル

[コピー設定] 画面で、[地色除去レベル] を選択すると、[地色除去レベル] 画面が表示されます。

[画質調整] 画面にある、[地色除去] の初期値を、原稿の種類ごとに設定します。

地色除去レベルは、ふつう、つよく (+1)、つよく (+2)、つよく (+3)、つよく (+4) の5段階で設定できます。



白黒（文字）

原稿が白黒の【文字】の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、【つよく (+1)】です。

1. 【地色除去レベル】画面で、【1. 白黒（文字）】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【1. 白黒（文字）】画面で、地色除去レベルを選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

1.白黒(文字)		取り消し	決定
<input checked="" type="radio"/>	ふつう	<input type="radio"/>	つよく(+3)
<input type="radio"/>	つよく(+1)	<input type="radio"/>	つよく(+4)
<input type="radio"/>	つよく(+2)		

白黒（文字 / 写真）

原稿が白黒の【文字 / 写真】の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、【つよく (+1)】です。

1. 【地色除去レベル】画面で、【2. 白黒（文字 / 写真）】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【2. 白黒（文字 / 写真）】画面で、地色除去レベルを選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

2.白黒(文字/写真)		取り消し	決定
<input checked="" type="radio"/>	ふつう	<input type="radio"/>	つよく(+3)
<input type="radio"/>	つよく(+1)	<input type="radio"/>	つよく(+4)
<input type="radio"/>	つよく(+2)		

白黒（地図）

原稿が白黒の【地図】の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、【つよく (+1)】です。

1. 【地色除去レベル】画面で、【3. 白黒（地図）】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【3. 白黒（地図）】画面で、地色除去レベルを選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

3.白黒(地図)		取り消し	決定
<input checked="" type="radio"/>	ふつう	<input type="radio"/>	つよく(+3)
<input type="radio"/>	つよく(+1)	<input type="radio"/>	つよく(+4)
<input type="radio"/>	つよく(+2)		

カラー（文字）

原稿がカラーの【文字】の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、【つよく（+1）】です。

1. 【地色除去レベル】画面で、【4. カラー（文字）】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【4. カラー（文字）】画面で、地色除去レベルを選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

4. カラー(文字) 取り消し 決定

ふつう つよく(+3)

つよく(+1) つよく(+4)

つよく(+2)

カラー（文字 / 写真）

原稿がカラーの【文字 / 写真】の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、【つよく（+1）】です。

1. 【地色除去レベル】画面で、【5. カラー（文字 / 写真）】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【5. カラー（文字 / 写真）】画面で、地色除去レベルを選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

5. カラー(文字/写真) 取り消し 決定

ふつう つよく(+3)

つよく(+1) つよく(+4)

つよく(+2)

カラー（地図）

原稿がカラーの【地図】の場合の地色除去レベルの初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、【つよく（+1）】です。

1. 【地色除去レベル】画面で、【6. カラー（地図）】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【6. カラー（地図）】画面で、地色除去レベルを選択します。
3. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

6. カラー(地図) 取り消し 決定

ふつう つよく(+3)

つよく(+1) つよく(+4)

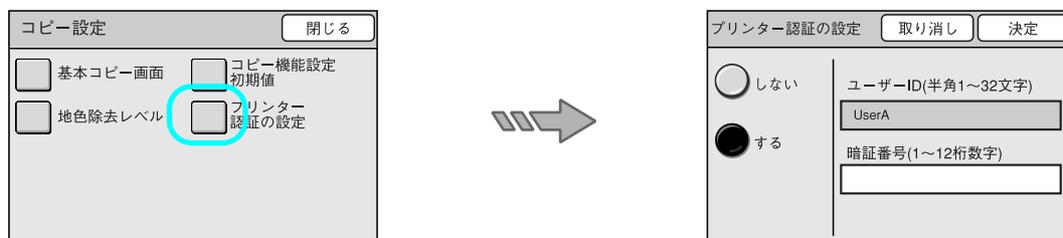
つよく(+2)

プリンター認証の設定

【コピー設定】画面で、【プリンター認証の設定】を選択すると、【プリンター認証の設定】画面が表示されます。

接続しているプリンターがユーザー認証機能を利用している場合に、そのユーザー ID と暗証番号を設定します。

工場出荷時の初期値は、【しない】です。



注記

- ・ 次の場合、コピー機能を使用すると、エラーになります。
 - プリンターに設定されている内容と異なるユーザー ID や暗証番号を設定している。
 - ユーザー ID や暗証番号が設定されているプリンターを接続しているのに、【プリンター認証の設定】で【しない】を設定している。

1. 【コピー設定】画面で、【プリンター認証の設定】を選択します。

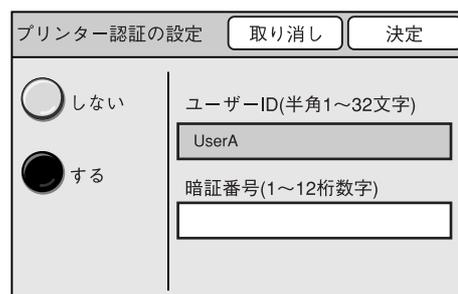
2. 【プリンター認証の設定】画面で、【しない】または【する】を選択します。

3. 【する】を選択した場合は、【ユーザー ID】に、操作パネルの数字ボタンを使って、半角 1 ～ 32 文字以内でユーザー ID を入力します。
次に、【暗証番号】に、操作パネルの数字ボタンを使って、1 ～ 12 文字以内の数字で暗証番号を入力します。

4. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。



7.7 スキャナー設定

スキャナー機能の仕様にかかわる設定ができます。

[仕様設定] 画面で [スキャナー設定] を選択して [スキャナー設定] 画面を表示し、設定します。次に [スキャナー設定] で設定できる各項目について説明します。

スキャナー設定		閉じる
<input type="checkbox"/> スキャナー機能設定初期値	<input type="checkbox"/> ファイル名の詳細設定	
<input type="checkbox"/> 機能の制限	<input type="checkbox"/> TIFFの形式/色空間	
<input type="checkbox"/> PC保存プロトコル	<input type="checkbox"/> 宛先表初期画面	

スキャナー機能設定初期値

[スキャナー設定] 画面で、[スキャナー機能設定初期値] を選択すると、[スキャナー機能設定初期値] 画面が表示されます。

スキャナー機能の初期値を設定します。

電源を入れたときや節電モード状態から復帰したとき、また〈リセット〉ボタンを押したときに、ここで設定されている初期値の状態に戻ります。

よく使う機能や値を初期値に設定しておく、と、スキャンのたびに設定する操作が省けます。

参照

- ・スキャナー機能についての詳細：「3 スキャンする」(P. 55)

スキャナー機能設定初期値		閉じる
設定項目	現在の設定値	確認/変更
1. カラーモード	白黒(2階調)	
2. 出力ファイル形式	PDF	
3. 両面原稿送り	両面(左右開き)	1/3
4. 原稿の画質	文字/写真(印刷写真)	
5. 読み込み濃度	ふつう	

カラーモード

[基本スキャン] 画面にある、[カラーモード] の初期値を設定します。

[フルカラー]、[グレースケール]、[白黒 (2 階調)] から選択できます。

工場出荷時の初期値は、[白黒 (2 階調)] です。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[1. カラーモード] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [1. カラーモード] 画面で、カラーモードを選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

1. カラーモード		取り消し	決定
<input type="radio"/> フルカラー			
<input type="radio"/> グレースケール			
<input checked="" type="radio"/> 白黒(2階調)			

出力ファイル形式

[基本スキャン] 画面にある、[出力ファイル形式] の初期値を設定します。
次の 7 種類のファイル形式から選択できます。

- PDF
- PDF (1 ページ 1 ファイル)
- DocuWorks
- DocuWorks (1 ページ 1 ファイル)
- TIFF
- マルチページ TIFF
- JPEG

工場出荷時の初期値は、[PDF)] です。

補足

- [カラーモード] に [白黒 (2 階調)] を設定している場合は、[JPEG] は選択できません。
- [PDF (1 ページ 1 ファイル)]、[DocuWorks (1 ページ 1 ファイル)] を設定すると、原稿 1 ページごとに 1 ファイルが保存されます。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[2. 出力ファイル形式] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. 出力ファイル形式] 画面で、ファイル形式を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

2. 出力ファイル形式 取り消し 決定

PDF PDF (1ページ1ファイル)

DocuWorks DocuWorks (1ページ1ファイル)

TIFF マルチページ TIFF

JPEG

両面原稿送り

[基本スキャン] 画面にある、[両面原稿送り] の初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、[しない (片面)] です。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[3. 両面原稿送り] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [3. 両面原稿送り] 画面で、[しない (片面)] または [する (両面)] を選択します。

3. 両面原稿送り 取り消し 決定

しない (片面)

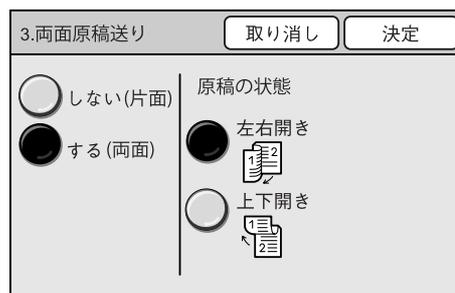
する (両面)

3. [する (両面)] を選択した場合は、[原稿の状態] で [左右開き] または [上下開き] を押します。

4. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



原稿の画質

[基本スキャン] 画面にある、[原稿の画質] の初期値を設定します。

[文字]、[文字 / 写真 (印刷写真)]、[文字 / 写真 (印画紙写真)]、[写真 (印刷写真)]、[写真 (印画紙写真)] から選択できます。

工場出荷時の初期値は、[文字 / 写真 (印刷写真)] です。

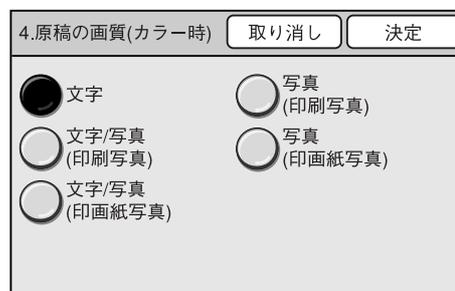
1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[4. 原稿の画質] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

2. [4. 原稿の画質] 画面で、画質を選択します。

3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



読み込み濃度

[基本スキャン] 画面にある、[読み込み濃度] の初期値を設定します。

[こく] ~ [うすく] まで7段階で設定できます。

工場出荷時の初期値は、4 番めです。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[5. 読み込み濃度] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

2. [5. 読み込み濃度] 画面で、[◀] / [▶] を押して濃度を設定します。

3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



画像圧縮率

[その他] 画面にある、[画像圧縮率] の初期値を設定します。
圧縮率は、[高く]、[標準]、[低く] から選択できます。
工場出荷時の初期値は、[標準] です。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[6. 画像圧縮率] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [6. 画像圧縮率] 画面で、圧縮率を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

6. 画像圧縮率		取り消し	決定
<input type="radio"/>	高く		
<input checked="" type="radio"/>	標準		
<input type="radio"/>	低く		

読み取り倍率

[その他] 画面にある、[読み取り倍率] の初期値を設定します。
[定形変倍] または [自動 %] が選択できます。[定形変倍] の場合は、出力したい倍率を設定します。[自動 %] の場合は、出力したいサイズを設定します。
工場出荷時の初期値は、100% です。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[7. 読み取り倍率] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [7. 読み取り倍率] 画面で、[定形変倍] または [自動 %] を選択します。

7. 読み取り倍率		取り消し	決定
<input checked="" type="radio"/>	定形変倍	100%	
		50% A3→A5	
		70% A3→A4	
		81% B4→A4	
		86% A3→B4	
		115% B4→A3	
			1/2

3. 右側に表示される一覧から、[定形変倍] の場合は倍率を、[自動 %] の場合はサイズを選択します。
4. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

7. 読み取り倍率		取り消し	決定
<input type="radio"/>	定形変倍	A4	
		A3	
<input checked="" type="radio"/>	自動%	B4	
		B5	
		A5	
		B6	
			1/3

出力したいサイズを右から選択してください。

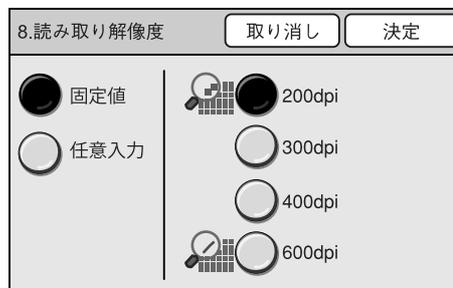
読み取り解像度

[その他] 画面にある、[読み取り解像度] の初期値を設定します。

[固定値] または [任意入力] が選択できます。[固定値] の場合は、解像度を [200dpi]、[300dpi]、[400dpi]、[600dpi] から選択します。[任意入力] の場合は、解像度を 200 ～ 600dpi の範囲で 1dpi 刻みに設定します。

工場出荷時の初期値は、[固定値]、[200dpi] です。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[8. 読み取り解像度] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [8. 読み取り解像度] 画面で、[固定値] または [任意入力] を押します。

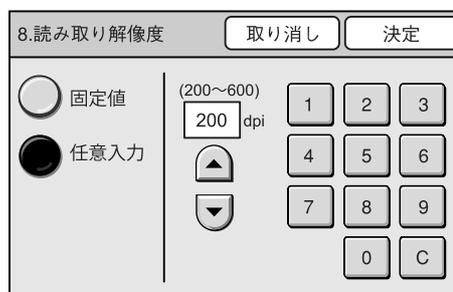


3. [固定値] の場合は、解像度を選択します。[任意入力] の場合は、[▲] / [▼] またはタッチパネルディスプレイの数字ボタンを押して、解像度を 1dpi 単位で設定します。

4. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



原稿セット向き指定

[その他] 画面にある、[原稿セット向き指定] の初期値を設定します。

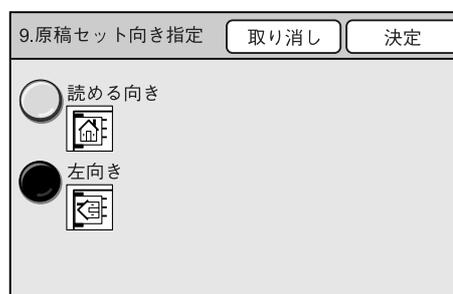
[読める向き] または [左向き] を選択できます。

工場出荷時の初期値は、[左向き] です。

参照

・ [読める向き]、[左向き]：「原稿セット向き指定 (セットした原稿の向きを指定する)」(P. 144)

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[9. 原稿セット向き指定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [9. 原稿セット向き指定] 画面で、[読める向き] または [左向き] を選択します。
3. [決定] を押します。



補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

シャープネス

[その他] 画面にある、[シャープネス] の初期値を設定します。

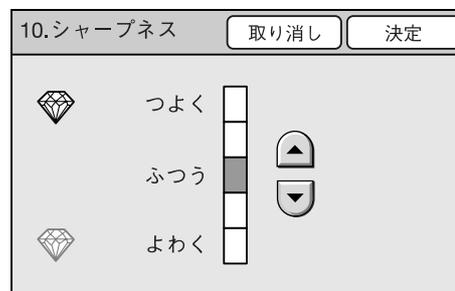
[つよく] ~ [よわく] まで5段階で設定できます。

工場出荷時の初期値は、[ふつう] です。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[10. シャープネス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [10. シャープネス] 画面で、[▲] / [▼] を押してシャープネスを設定します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



コントラスト

[その他] 画面にある、[コントラスト] の初期値を設定します。

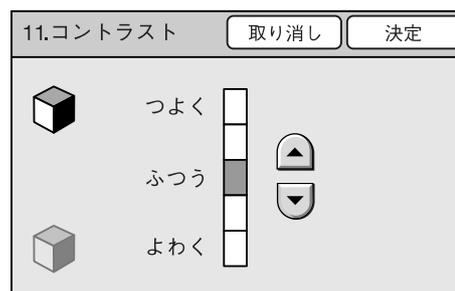
[つよく] ~ [よわく] まで5段階で設定できます。

工場出荷時の初期値は、[ふつう] です。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[11. コントラスト] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [11. コントラスト] 画面で、[▲] / [▼] を押してコントラストを設定します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



地色除去

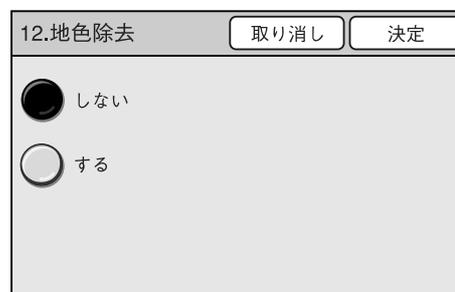
[その他] 画面にある、[地色除去] の初期値を設定します。

工場出荷時の初期値は、[する] です。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[12. 地色除去] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [12. 地色除去] 画面で、[しない] または [する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



わく消し

[その他] 画面にある、[わく消し] の初期値を設定します。

次の2種類の設定ができます。

- 標準

上下、左右、中央に0mmの消し量が設定されます。

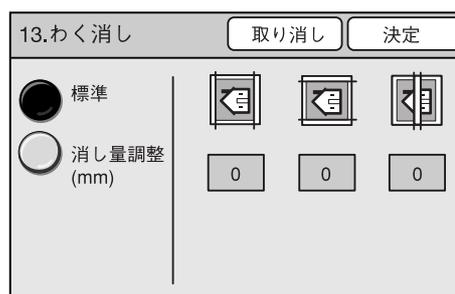
- 消し量調整

原稿の上下、左右、中央ごとに、0～50mmの範囲で1mm刻みのわく消し量を設定できます。

工場出荷時の初期値は、[標準] です。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[13. わく消し] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

2. [13. わく消し] 画面で、[標準] または [消し量調整] を選択します。

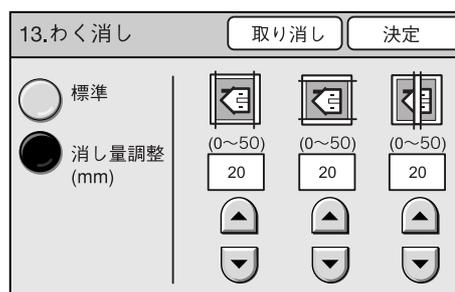


3. [消し量調整] を選択した場合は、[▲] / [▼] を押して調整量を設定します。

4. [決定] を押します。

補足

- 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



プレビュー表示

[メール宛先] 画面、[PC 保存先] 画面、[保存先] 画面にある [プレビュー] の初期値を設定します。

工場出荷時の初期値は、[しない] です。

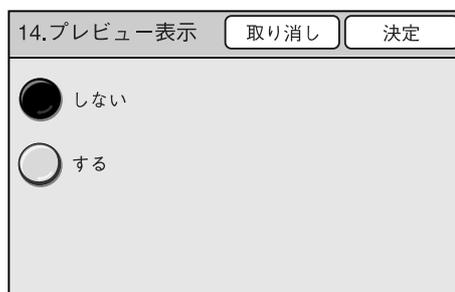
1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[14. プレビュー表示] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

2. [14. プレビュー表示] 画面で、[しない] または [する] を選択します。

3. [決定] を押します。

補足

- 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



ミックスサイズ原稿送り

[その他] 画面にある、[ミックスサイズ原稿送り] の初期値を設定します。
工場出荷時の初期値は、[しない] です。

補足

・ この設定は、DocuScan C4260 の場合にだけ表示されます。

1. [スキャナー機能設定初期値] 画面で、[15. ミックスサイズ原稿送り] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [15. ミックスサイズ原稿送り] 画面で、[しない] または [する] を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

15. ミックスサイズ原稿送り	取り消し	決定
<input checked="" type="radio"/> しない		
<input type="radio"/> する		

ファイル名の詳細設定

[スキャナー設定] 画面で、[ファイル名の詳細設定] を選択すると、[ファイル名の詳細設定] 画面が表示されます。

ファイル名の詳細設定の初期値を設定します。

スキャナー設定	閉じる
<input type="checkbox"/> スキャナー機能設定初期値	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル名の詳細設定
<input type="checkbox"/> 機能の制限	<input type="checkbox"/> TIFFの形式/色空間
<input type="checkbox"/> PC保存プロトコル	<input type="checkbox"/> 宛先表初期画面



ファイル名の詳細設定	閉じる	
設定項目	現在の設定値	確認/変更
1. フォルダ作成	自動	▲
2. ファイル名重複時	上書き保存	
3. 機器の識別情報	IPアドレス	

フォルダー作成

PC 保存、メディア保存の [フォルダー作成] の初期値を設定します。

[自動]、[しない]、[する] から処理を選択できます。

工場出荷時の初期値は、[自動] です。

1. [ファイル名の詳細設定] 画面で、[1. フォルダ作成] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [1. フォルダ作成] 画面で、処理を選択し、[決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

1. フォルダ作成	取り消し	決定
<input checked="" type="radio"/> 自動	[自動]では、以下の場合にフォルダを作成します。 ・ TIFF ・ JPEG ・ PDF(1ページ1ファイル) ・ DocuWorks(1ページ1ファイル)	
<input type="radio"/> しない		
<input type="radio"/> する		

ファイル名重複時

PC 保存の [ファイル名重複時の処理] の初期値を設定します。

[ジョブを中止 (保存しない)]、[ファイル名を変更して保存]、[上書き保存] から処理を選択できます。

工場出荷時の初期値は、[ファイル名を変更して保存] です。

1. [ファイル名の詳細設定] 画面で、[2. ファイル名重複時] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. ファイル名重複時] 画面で、処理を選択し、[決定] を押します。

補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

2.ファイル名重複時		取り消し	決定
<input type="radio"/>	ジョブを中止 (保存しない)	保存先に同じファイル名があった場合にはファイル名の末尾に4桁の数字(0001~9999)を追加して保存します。	
<input checked="" type="radio"/>	ファイル名を変更して保存		
<input type="radio"/>	上書き保存		

機器の識別情報

PC 保存の [機器の識別情報] の初期値を設定します。

識別情報を付けない場合は、[付けない] を選択します。識別情報を付ける場合は、ファイル名の末尾に付ける情報を、[IP アドレス]、[MAC アドレス]、[シリアル番号] から選択できます。

工場出荷時の初期値は、[付けない] です。

1. [ファイル名の詳細設定] 画面で、[3. 機器の識別情報] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [3. 機器の識別情報] 画面で、識別情報を選択し、[決定] を押します。

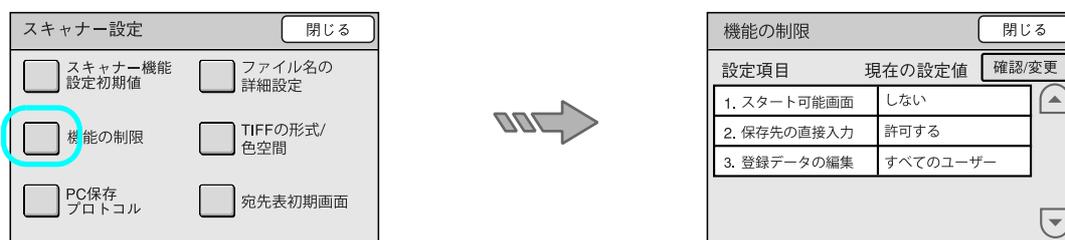
補足

・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

3.機器の識別情報		取り消し	決定
<input checked="" type="radio"/>	付けない	同じネットワークに複数の機器が接続されている場合にファイル名の末尾にIPアドレスやシリアル番号などを追加して保存します。	
<input type="radio"/>	IPアドレス		
<input type="radio"/>	MACアドレス		
<input type="radio"/>	シリアル番号		

機能の制限

[スキャナー設定]画面で、[機能の制限]を選択すると、[機能の制限]画面が表示されます。機能の制限の初期値を設定します。



スタート可能画面

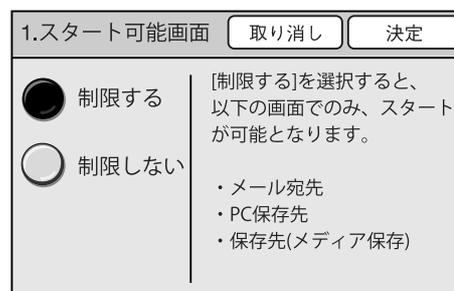
メール送信の宛先や、PC 保存またはメディア保存の保存先を選択する画面でだけ、操作パネルの〈スタート〉ボタンが押せるように制限します。

工場出荷時の初期値は、[制限する]です。

1. [機能の制限]画面で、[1. スタート可能画面]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. [1. スタート可能画面]画面で、[制限する]または[制限しない]を選択し、[決定]を押します。

補足

- ・設定内容を取り消す場合は、[取り消し]を押します。
- ・[制限しない]を設定した場合でも、宛先表の検索画面だけは、〈スタート〉ボタンを押せません。



保存先の直接入力

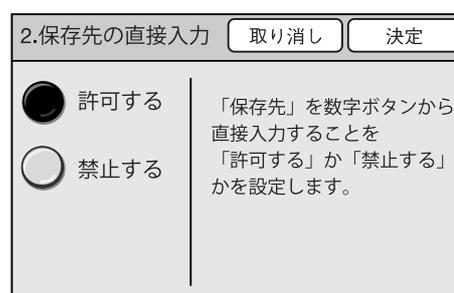
メール送信の宛先や、PC 保存またはメディア保存の保存先の設定で、数字ボタンからの入力できないように制限します。

工場出荷時の初期値は、[許可する]です。

1. [機能の制限]画面で、[2. 保存先の直接入力]を選択し、[確認/変更]を押します。
2. [2. 保存先の直接入力]画面で、[許可する]または[禁止する]を選択し、[決定]を押します。

補足

- ・設定内容を取り消す場合は、[取り消し]を押します。



登録データの編集

DocuScan マネージャーや CentreWare Internet Services から、登録データ（宛先表、件名、コメント）を編集するときの権限を制限します。

【管理者のみ】に設定した場合、登録データを編集するとき、CentreWare Internet Services で設定されている機械管理者 ID、機械管理者パスワードの入力が必要になります。

工場出荷時の初期値は、【すべてのユーザー】です。

1. 【機能の制限】画面で、【3. 登録データの編集】を選択し、【確認 / 変更】を押します。
2. 【3. 登録データの編集】画面で、【管理者のみ】または【すべてのユーザー】を選択し、【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

3.登録データの編集		取り消し	決定
<input type="radio"/> 管理者のみ	ネットワーク側から登録データを編集する場合の権限を設定します。		
<input checked="" type="radio"/> すべてのユーザー			

TIFF の形式 / 色空間

【スキャナー設定】画面で、【TIFF の形式 / 色空間】を選択すると、【TIFF の形式 / 色空間】画面が表示されます。

TIFF のファイル形式やカラーモードが【フルカラー】の場合の色空間の初期値を設定します。

スキャナー設定		閉じる
<input type="checkbox"/> スキャナー機能設定初期値	<input type="checkbox"/> ファイル名の詳細設定	
<input type="checkbox"/> 機能の制限	<input checked="" type="checkbox"/> TIFFの形式 / 色空間	
<input type="checkbox"/> PC保存プロトコル	<input type="checkbox"/> 宛先表初期画面	

TIFFの形式 / 色空間		閉じる
設定項目	現在の設定値	確認/変更
1.TIFFの形式	TIFF V6	▲
2.色空間	標準色空間	▼

TIFF の形式

【基本スキャン】画面にある、【出力ファイル形式】の TIFF のファイル形式の初期値を設定します。

お使いになるアプリケーションソフトウェアによって、スキャンデータを読み込むときの、TIFF の形式を設定します。【TIFF V6】または【TTN2】から選択できます。

工場出荷時の初期値は、【TIFF V6】です。

1. [TIFF の形式 / 色空間] 画面で、[1. TIFF の形式]を選択し、[確認 / 変更]を押します。
2. [1. TIFF の形式] 画面で、ファイル形式を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。



色空間

カラーモードが [フルカラー] の場合の色空間を設定します。

[標準色空間] または [デバイス色空間] から選択できます。

[標準色空間] の場合、スキャンしたデータの色空間は、sRGB に準拠します。

[デバイス色空間] で出力を行う場合、プロファイルデータを使って、画像の補正を行うことができます。高度な色処理をする場合にご利用ください。

工場出荷時の初期値は、[標準色空間] です。

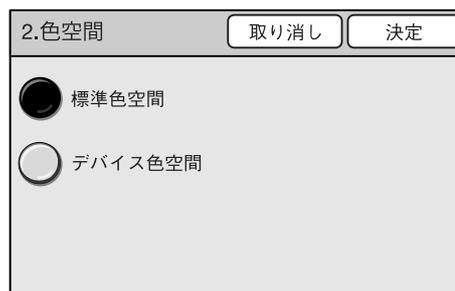
補足

- ・ カラーマネージメント用のプロファイルデータは、「Software Pack」CD-ROM に格納されています。

1. [TIFF の形式 / 色空間] 画面で、[2. 色空間] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
2. [2. 色空間] 画面で、色空間を選択します。
3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

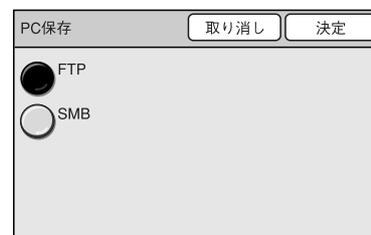
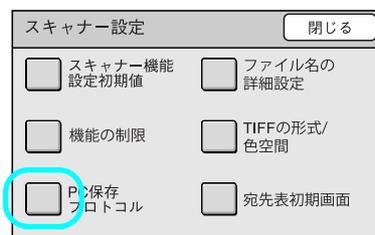


PC 保存プロトコル

[スキャナー設定] 画面で、[PC 保存プロトコル] を選択すると、[PC 保存] 画面が表示されます。

PC 保存のプロトコルの初期値を設定します。

[FTP] または [SMB] から選択できます。



工場出荷時の初期値は、[FTP] です。

1. 【PC 保存】画面で、プロトコルを選択し、【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。

PC保存

取り消し 決定

FTP

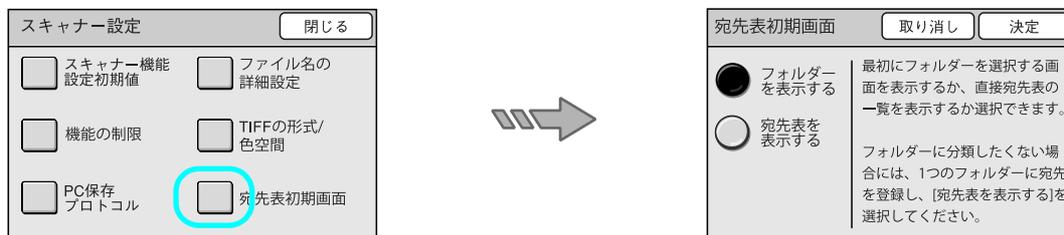
SMB

宛先表初期画面

[スキャナー設定] 画面で、[宛先表初期画面] を選択すると、[宛先表初期画面] 画面が表示されます。

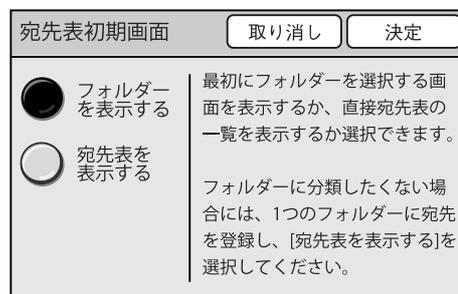
[宛先表...] ボタンや〈宛先表〉ボタンが押されたときに表示される、宛先表の画面の初期値を設定します。

[宛先表フォルダー] 画面または指定したフォルダー内の [宛先表] 画面を設定できます。



工場出荷時の初期値は、[フォルダーを表示する] です。

1. [宛先表初期画面] 画面で、[フォルダーを表示する] または [宛先表を表示する] を選択します。

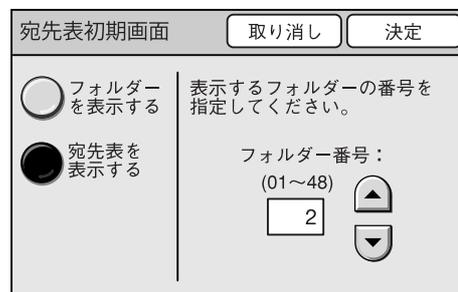


2. [宛先表を表示する] を選択した場合は、[フォルダー番号] に、[▲] / [▼] を押し て番号を指定します。

3. [決定] を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、[取り消し] を押します。

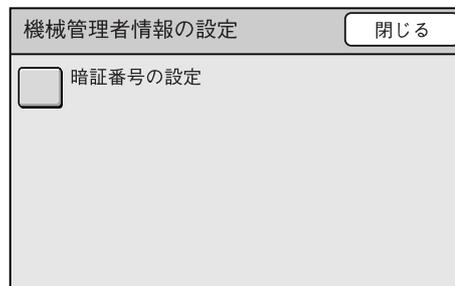


7.8 機械管理者情報の設定

【仕様設定】画面での設定変更を認証するための機械管理者暗証番号を設定できます。設定変更の抑止やセキュリティ確保のために、機械管理者暗証番号の設定をお勧めします。

【仕様設定】画面で【機械管理者情報の設定】を選択して【機械管理者情報の設定】画面を表示し、設定します。

次に【機械管理者情報の設定】で設定できる項目について説明します。



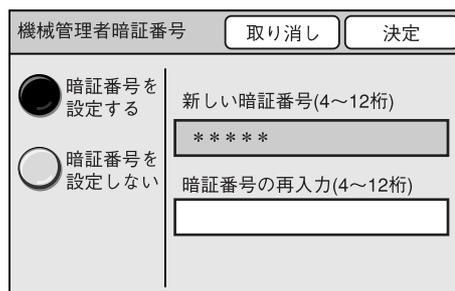
暗証番号の設定

機械管理者暗証番号を設定します。4～12文字までの数字で入力できます。

1. 【機械管理者情報の設定】画面で、【暗証番号の設定】を選択します。
2. 【機械管理者暗証番号】画面で、【暗証番号を設定する】または【暗証番号を設定しない】を選択します。
3. 【暗証番号を設定する】を選択した場合は、【新しい暗証番号】に、操作パネルの数字ボタンを使って、暗証番号を入力します。次に、【暗証番号の再入力】に、もう一度暗証番号を入力します。
4. 【決定】を押します。

補足

- ・ 設定内容を取り消す場合は、【取り消し】を押します。



8 DocuScan マネージャーを使用する

本書では、DocuScan マネージャーの、一部の機能と操作について説明します。

参照

- ・ DocuScan マネージャーのインストール: 『ソフトウェアバック操作ガイド』
- ・ DocuScan マネージャーの詳細: DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ

8.1 DocuScan マネージャーとは

DocuScan マネージャーは、PC 保存、メール送信、メディア保存で使用する宛先を、スキャナーの宛先表に登録するソフトウェアです。また、コンピューターに取り込んだスキャンデータに対して、傾き補正やノイズ除去など、画像を編集できます。

DocuScan マネージャーでできること

DocuScan マネージャーには、3つのツールがあり、目的に応じて使い分けます。

■ DocuScan マネージャー

複数の画像ファイルをまとめて編集したいときは、[DocuScan マネージャー] ウィンドウで編集します。また、エクスプローラーのような使い勝手に、ファイルやフォルダーを操作できます。

- ・ 画像ファイルの傾き補正、ノイズ除去、回転ができます。
- ・ 編集できるファイルは、DocuScan C4260/C3210 でスキャンした、次の形式のファイルです。ノイズ除去できるのは、白黒画像だけです。
 - JPEG (JFIF) 形式: 拡張子「.jpg」「.jpeg」「.jpe」「.jfif」
 - TIFF 形式: 拡張子「.tif」「.tiff」
- ・ フォルダー内のファイルを一覧表示できます。また、次の形式のファイルは、1 ページめをサムネイル表示 (縮小画像) できます。
 - JPEG (JFIF) 形式: 拡張子「.jpg」「.jpeg」「.jpe」「.jfif」
 - TIFF 形式: 拡張子「.tif」「.tiff」
 - PDF 形式: 拡張子「.pdf」
 - DocuWorks 文書形式: 拡張子「.xdw」

補足

- ・ DocuWorks 文書をサムネイル表示する場合は、DocuWorks Viewer Light for Web 6.0.2 ~ 6.2.1 が必要です。DocuWorks Viewer Light for Web は、6.2.1 から DocuWorks Viewer Light に統合されました。DocuWorks Viewer Light は、本機に同梱されている「Software Pack」CD-ROM からインストールできます。
- ・ DocuWorks は Windows NT に対応していないため、Windows NT では、DocuWorks 文書をサムネイル表示できません。

■ DocuScan ビューワー

画像を1つずつ表示して、確認しながらの編集、部分的な削除、印刷は [DocuScan ビューワー] ウィンドウで行います。

画像ファイルの傾き補正、ノイズ除去、回転、縮小 / 拡大、範囲指定削除 / 保存ができます。編集できるファイルは、DocuScan C4260/C3210 でスキャンした、次の形式のファイルです。ノイズ除去できるのは、白黒画像だけです。

- ・ JPEG (JFIF) 形式: 拡張子「.jpg」「.jpeg」「.jpe」「.jfif」
- ・ TIFF 形式: 拡張子「.tif」「.tiff」

■ DocuScan 宛先表ツール

スキャナー内の宛先表や設定 / 登録データに関して、次のことができます。

- スキャナーで PC 保存、メール送信、メディア保存をするときに使用する宛先表に、宛先を登録、変更、削除できます。
スキャナーの操作パネルで宛先を入力することもできますが、その都度入力するより、宛先表を利用すると短時間で設定できます。宛先には、スキャン条件（スキャンの定型設定）も登録できます。
- スキャナーでメール送信するときの、メールの件名とコメント（本文）を登録できます。スキャナーの操作パネルでは漢字を入力できません。メールの件名やコメントに漢字を使用したい場合は、宛先表ツールで登録し、スキャナーで選択します。
- 設定 / 登録データの保存 / 復元ができます。
設定 / 登録データは、スキャナー内に保存されている登録データとシステムデータの 2 種類のデータです。
宛先の新規登録、追加登録を行った場合は、設定 / 登録データの保存を使って、宛先表のバックアップをとることをお勧めします。宛先表のバックアップは、操作パネルまたは DocuScan マネージャーで行えます。

補足

- 登録データとは、本機内の宛先表（宛先）、登録リスト（件名、コメント）に登録されているデータです。
- システムデータとは、仕様設定で設定されている設定値です。CentreWare Internet Services で設定した情報などの各種パラメーターは、対象外です。
- 登録データを登録、変更、削除できる権限を【管理者のみ】に制限できます。登録データの編集制限は、操作パネルの【仕様設定】で設定します。

参照

- スキャン条件：「3.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 95) または 「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)
- スキャンの定型設定：「スキャンの定型設定」(P. 151)
- 操作パネルを使った設定 / 登録データの保存と復元方法：「設定 / 登録データの保守」(P. 192)
- DocuScan マネージャーを使った設定 / 登録データの保存と復元方法：DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- 登録データの編集制限：「登録データの編集」(P. 223)

DocuScan マネージャーとスキャン操作の流れ

「8.2 宛先を登録する」以降では、次の流れにそって DocuScan マネージャーの操作を説明します。

Step1 宛先を登録する



DocuScan 宛先表ツールを使用して、次の操作をします。

- ・ スキャナーを選択する
- ・ 宛先表フォルダーを登録する
- ・ 宛先を登録する

参照

- ・ 「8.2 宛先を登録する」(P. 231)、 「8.3 宛先の登録内容を変更する」(P. 255)

Step2 スキャンデータを取り込む

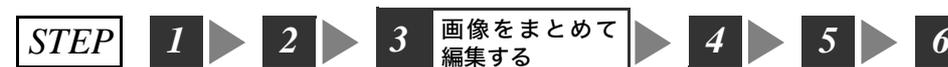


スキャナーで原稿をスキャンし、DocuScan マネージャーでスキャンデータを取り込みます。

参照

- ・ 「8.4 スキャンデータを取り込む」(P. 257)

Step3 画像をまとめて編集する



DocuScan マネージャーを使用して、次の操作をします。

- ・ 画像編集アイコンを準備する
- ・ 画像編集を実行する

参照

- ・ 「8.5 画像をまとめて編集する」(P. 259)

Step4 画像を1つずつ編集する



DocuScan ビューワーを使用して、次の操作をします。

- ・ 画像を表示する
- ・ 画像を編集する

参照

- ・ 「8.6 画像を1つずつ編集する」(P. 262)

Step5 画像を印刷する



DocuScan ビューワーを使用して、編集した画像を印刷します。

参照

- ・「8.7 画像を印刷する」(P. 265)

Step6 画像を保存する



DocuScan ビューワーを使用して、編集した画像を保存します。

参照

- ・「8.8 画像を保存する」(P. 265)

8.2 宛先を登録する

スキャナーの宛先表に、宛先を登録する手順を説明します。

宛先表には、次の4つの種別の宛先を登録できます。

- ・ サーバー：
PC 保存の保存先です。サーバー名や保存場所のフォルダーなどを登録します。
- ・ メール（個人）：
メール送信の送り先メールアドレスなどを登録します。
- ・ メール（グループ）：
メール（個人）として登録されている宛先のメールアドレスを複数登録できます。
- ・ メディア：
メディア保存の保存先です。保存先のパスなどを登録します。

「DocuScan マネージャーとスキャン操作の流れ」の「Step1 宛先を登録する」の操作です。



スキャナーを選択する

最初に、宛先表ツールで宛先を登録するスキャナーを選択します。初めて宛先表ツールを起動する場合を例に説明します。2回以降は、この操作は不要です。

補足

- 宛先表ツールの起動が2回以降でも、宛先表を設定するスキャナーを変更する場合、または前回使用したスキャナーと接続できない場合は、スキャナーを選択する操作が必要です。

- [スタート]メニューから、[すべてのプログラム] > [Fuji Xerox] > [DocuScan マネージャー] > [DocuScan 宛先表ツール] を選択します。

初めて宛先表ツールを起動したときは、[スキャナを選択] ダイアログボックスが表示されます。

補足

- [DocuScan マネージャー] ウィンドウで、[ツール]メニューから [DocuScan 宛先表ツールの起動] を選択するか、ツールバーの [ (DocuScan 宛先表ツールの起動)] をクリックしても、宛先表ツールを起動できます。

- 使用するスキャナーを、[検索されたスキャナ] から選択します。
[検索されたスキャナ] にスキャナーが表示されない場合は、[検索条件の設定] をクリックして、検索するサブネットやタイムアウト時間などを変更します。または、スキャナーの IP アドレスを [IP アドレスの指定] に入力します。



- [OK] をクリックします。

スキャナーに接続し、[DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウが表示されます。

注記

- Windows Vista をお使いの場合、サブネットが異なると、スキャナーの選択ができません。その場合は、[スキャナを選択] ダイアログボックスの [IP アドレスの指定] に、スキャナーの IP アドレスを入力すると、スキャナーに接続でき、選択できます。
- スキャナーに接続できないときは、次のことを確認または設定してから、[スキャナを選択] ダイアログボックスの [再検索] をクリックしてください。
 - スキャナーの電源が入っているか。
 - ネットワークケーブルが接続されているか。
 - [SNMP] が [起動する] になっているか。
スキャナーの [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で確認、または CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [SNMP] で確認。
 - TCP/IP の設定が正しいか。
スキャナーの操作パネルの [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で確認、または CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で確認。
- [検索条件の設定] ダイアログボックスの [コミュニティ名の設定] の [読み取り専用] の指定があるか。
初期値は「public」。
CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [SNMP] の [コミュニティ名登録 (取得専用)] で変更。
- [検索条件の設定] ダイアログボックスで、タイムアウト時間をより長く設定する。
- [検索条件の設定] ダイアログボックスで、サブネットを変更する。

宛先表フォルダーを登録する

宛先は宛先表フォルダーの中に登録するので、まず宛先表フォルダーを準備します。

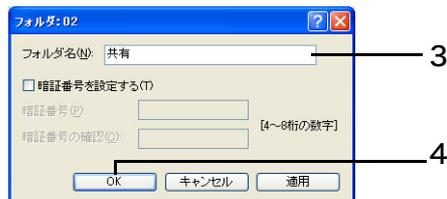
1. [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、[宛先表] の中の未登録フォルダーを選択します。



2. [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択するか、またはツールバーの [プロパティ] をクリックします。
フォルダーのプロパティダイアログボックスが表示されます。
3. フォルダの名前を、[フォルダ名] に、8 文字以内の全角文字、または 16 文字以内の半角文字で入力します。この例では、「共有」と入力します。
この項目は省略できます。省略すると、「名称未設定」という名前になります。

補足

- ・ 暗証番号を設定する場合は、[暗証番号を設定する] にチェックを付けて、暗証番号を入力します。設定できる文字は、半角数字で 4 ~ 8 文字です。設定すると、宛先表フォルダーを開くときに、暗証番号の入力が必要になります。



4. [OK] をクリックします。
ツリービューのフォルダーアイコンの色が変わり、フォルダ名が表示されます。



PC 保存で使用する宛先「サーバー」を登録する

PC 保存で使用する宛先を登録する手順を次の順に説明します。

- ・ 転送プロトコルが SMB の場合（かんたん設定モードを使用する）
- ・ 転送プロトコルが SMB の場合（かんたん設定モードを使用しない）
- ・ 転送プロトコルが FTP の場合

注記

- ・ パーソナルファイアウォール系ソフトウェア、ウイルス対策ソフトウェアなどをお使いの場合、設定によっては、スキャナーに接続できないことがあります。スキャナーが使用するポートをブロックしないように設定してください。使用するポートについては、システム管理者に確認してください。

転送プロトコルが SMB の場合（かんたん設定モードを使用する）

転送プロトコルに SMB を使用する場合で、かんたん設定モードを使用して、宛先を登録するときの手順を説明します。

かんたん設定モードを使うと、宛先に指定したローカルコンピューター上のフォルダーが、自動的に共有フォルダーに設定されます。

注記

- ・ かんたん設定モードを使用する場合は、次のことに注意してください。
 - Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Vista の場合、Administrators または Power Users グループのユーザーでログオンして作業してください。
 - Windows XP Home Edition の場合、かんたん設定モードは使用できません。
 - Windows XP Professional をワークグループに接続されたネットワーク環境でお使いの場合、以下の設定が必要です。
 1. エクスプローラーの [ツール] メニューから [フォルダオプション] を選択。
 2. [表示] タブで、[詳細設定] の [簡易ファイルの共有を使用する] のチェックを外し、[OK] をクリック。

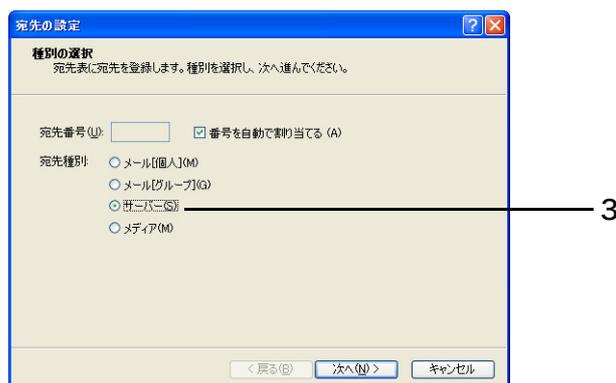
1. [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録するフォルダーを選択します。



2. [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの [宛先の新規作成] をクリックします。
宛先の設定ウィザードが開始します。
3. [宛先種別] の [サーバー] を選択し、[次へ] をクリックします。

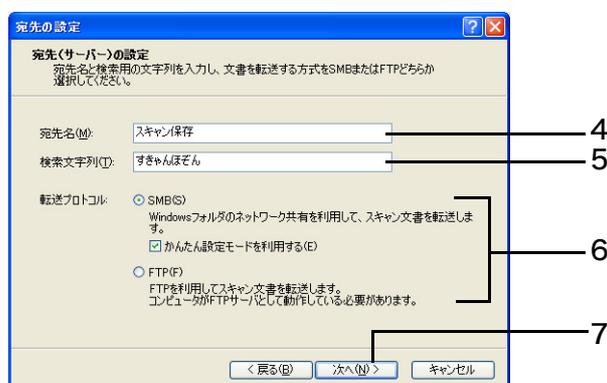
補足

- ・ [宛先番号] を指定する場合は、[番号を自動で割り当てる] のチェックを外して入力します。1 ～ 350 の整数を、半角数字で入力します。「001」のように「0」を付けることもできます。



[宛先 (サーバー) の設定] ダイアログボックスが表示されます。

4. 登録する宛先の名前を、[宛先名] に、16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では「スキャン保存」と入力します。この項目は、必ず設定します。



5. [宛先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では、自動的に「すぎゃんほぞん」と入力されます。この項目は、必ず設定します。

6. 次の項目は、この例では初期値のまま設定します。

- ・ [転送プロトコル]
[SMB] が選択されていることを確認します。
- ・ [かんたん設定モードを利用する]
チェックが付いていることを確認します。

7. [次へ] をクリックします。

補足

- ・ Windows Vista の場合、[次へ] をクリックしたときに、[ユーザーアクセス制御] ダイアログボックスが表示されます。[続行] をクリックして、操作を続行してください。

[SMB フォルダの設定] ダイアログボックスが表示されます。

8. [保存先フォルダ] の [参照] をクリックして、スキャンデータを保存するフォルダを選択します。この項目は、必ず設定します。



9. 次の項目は、この例では初期値のまま設定します。

- ・ [ネットワークで共有するフォルダを保存先フォルダと同じにする]
チェックが付いていることを確認します。[保存先フォルダ] で設定したフォルダーが、共有フォルダーになります。
- ・ [共有フォルダ]
[保存先フォルダ] で設定したパスが、自動的に入力されていることを確認します。
- ・ [自動でフォルダをネットワーク共有する]
チェックが付いていることを確認します。共有化の設定が自動的に行われます。
- ・ [共有名]
自動的に入力されていることを確認します。

10. [次へ] をクリックします。

[SMB フォルダのユーザーの設定] ダイアログボックスが表示されます。

11. [ユーザー名] が自動的に入力されていることを確認します。この例では、そのまま設定します。自動的にユーザーが登録されます。

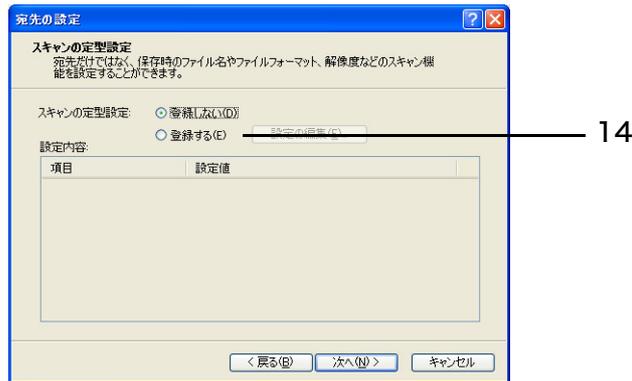


12. [パスワード]、[パスワードの確認] に、ランダムに生成されたパスワードが自動的に入力されます。変更する場合は、32 文字以内の半角の英数字記号 (ASCII 文字) で入力します。

13. [スキナ専用のユーザーを使用する] にチェックが付いていることを確認し、[次へ] をクリックします。

[スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

14. スキャンの定型設定を行うときは、[スキャンの定型設定] で [登録する] を選択します。



設定しない場合は、[登録しない] を選択して [次へ] をクリックします。手順 17 に進みます。

[登録する] を選択すると、[スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

15. 必要に応じて、[スキャンの定型設定] ダイアログボックスの [ファイル名] タブ、[基本] タブ、[その他] タブの各項目を設定し、[OK] をクリックします。

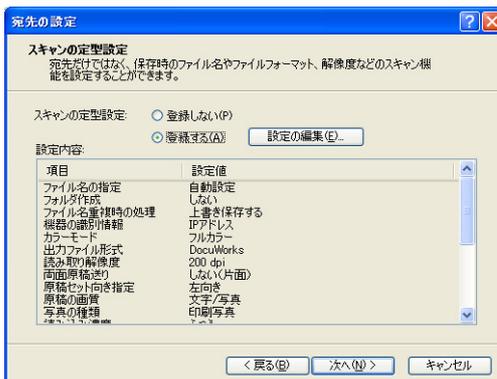


参照

- 各項目の設定 :DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- 各項目の機能 :「3.4 PC に保存する」(P. 66)、「3.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 95)、「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)

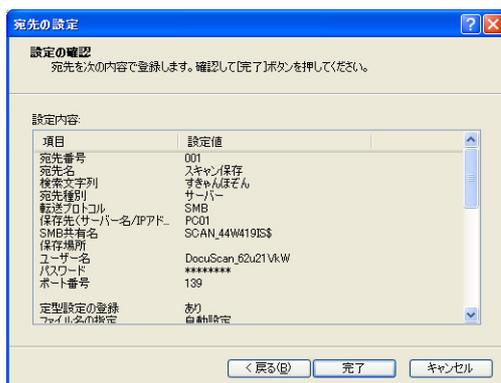
宛先の設定ウィザードの [スキャンの定型設定] ダイアログボックスに戻ります。

16. スキャンの定型設定の内容を確認して、[次へ] をクリックします。

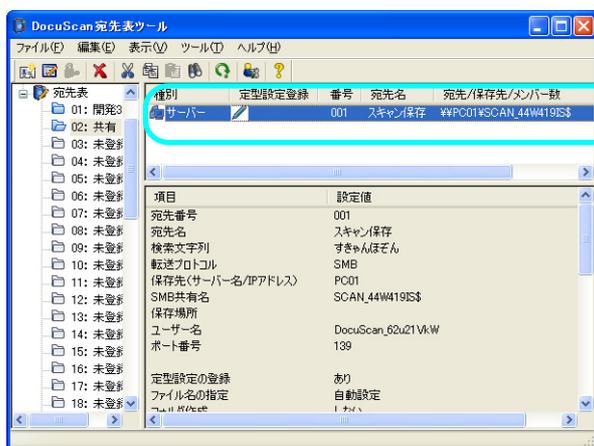


[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。

17. 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



[DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



また、手順 8 で設定した保存先フォルダーが、[DocuScan マネージャー] ウィンドウに追加されます。スキャナーで PC 保存するとき、登録した宛先「スキャン保存」を選択すると、このフォルダー内にスキャンデータが保存されます。



補足

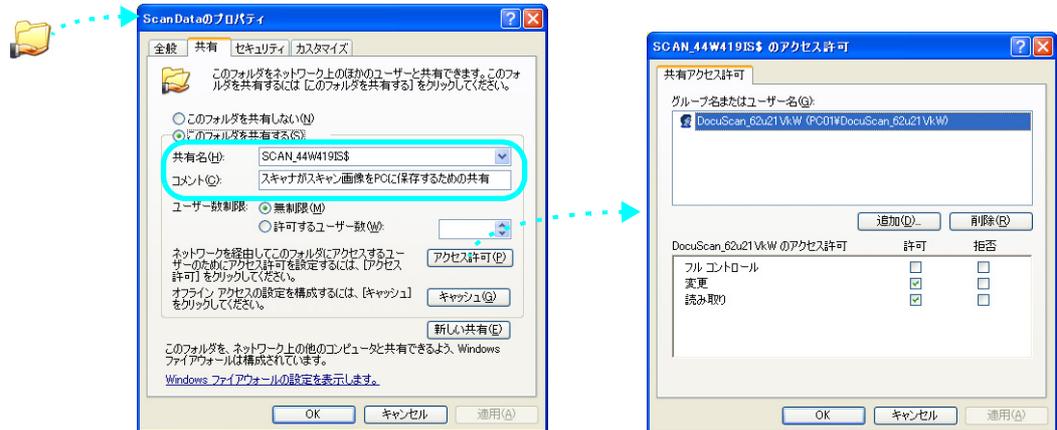
- ほかの宛先表フォルダーから、宛先をコピー / 移動して登録することもできます。
- 次の場合は、宛先を登録できません。
 - 未登録フォルダー
 - 暗証番号でロックされている宛先表フォルダー
 - 宛先が最大登録件数の 350 件まで登録されている場合

■ 宛先の登録内容と Windows の設定について

前項「転送プロトコルが SMB の場合（かんたん設定モードを使用する）」の手順 6 で、[かんたん設定モードを利用する] にチェックを付けて宛先を登録すると、自動的に共有フォルダーが作成されます。また、手順 11 で設定したユーザーが自動的に作成されます。以下の例は、自動的に設定された共有フォルダーとユーザーを、Windows XP で確認する方法です。

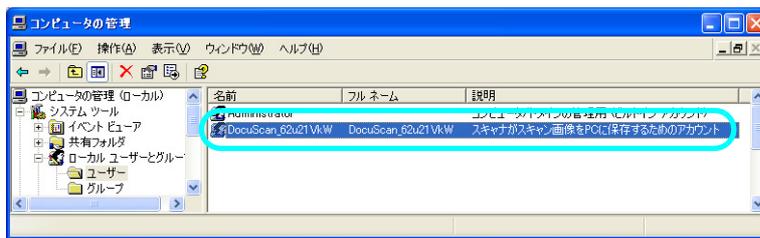
■ 共有フォルダー

エクスプローラーなどでフォルダーのプロパティを表示すると、設定内容を確認できます。



■ ユーザー

[コントロールパネル] > [管理ツール] > [コンピュータの管理] を表示すると、作成されたユーザーを確認できます。



転送プロトコルが SMB の場合（かんたん設定モードを使用しない）

転送プロトコルに SMB を使用する場合で、かんたん設定モードを使わないで、宛先を登録する方法を説明します。

DocuScan マネージャーを使っているコンピューターとは異なるコンピューターに保存したいときや、Windows Home Edition を使っているときの登録方法です。

1. 保存先にしたいフォルダーを作成し、共有フォルダーに設定します。

参照

・ 保存先フォルダーの作成と共有設定：「1.6 PC 保存の環境を設定する」(P. 20)

2. [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録するフォルダーを選択します。



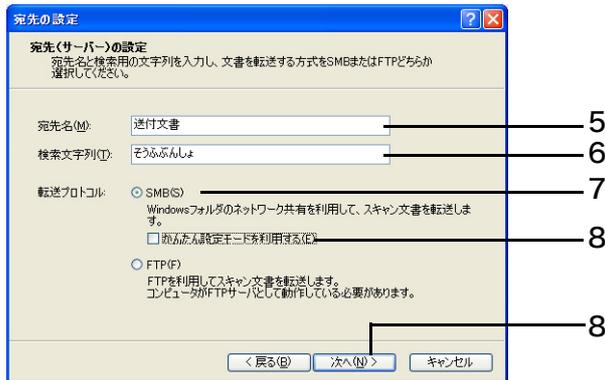
- [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの [宛先の新規作成] をクリックします。
宛先の設定ウィザードが開始します。
- [宛先種別] の [サーバー] を選択し、[次へ] をクリックします。

補足

- [宛先番号] を指定する場合は、[番号を自動で割り当てる] のチェックを外して入力します。1 ~ 350 の整数を、半角数字で入力します。「001」のように「0」を付けることもできます。

[宛先 (サーバー) の設定] ダイアログボックスが表示されます。

- 登録する宛先の名前を、[宛先名] に、16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では「送付文書」と入力します。
この項目は、必ず設定します。

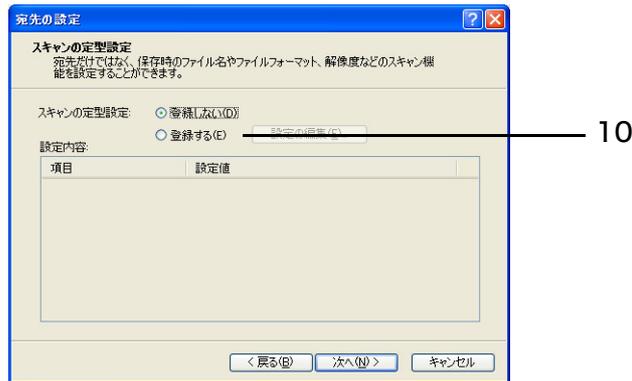


- [宛先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では、自動的に「そうふぶんしょ」と入力されます。
この項目は、必ず設定します。
- [転送プロトコル] の [SMB] を選択します。
- [かんたん設定モードを利用する] のチェックを外して、[次へ] をクリックします。
[保存先情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 保存先のサーバー情報を設定して、[次へ] をクリックします。
各設定項目の詳細は、「5.1 宛先表の概要」の「宛先表の登録内容」(P. 152) を参照してください。



[スキヤンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます

10. スキャンの定型設定を行うときは、[スキャンの定型設定] で [登録する] を選択します。



設定しない場合は、[登録しない] を選択して [次へ] をクリックします。手順 17 に進みます。

[登録する] を選択すると、[スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

11. 必要に応じて、[スキャンの定型設定] ダイアログボックスの [ファイル名] タブ、[基本] タブ、[その他] タブの各項目を設定し、[OK] をクリックします。

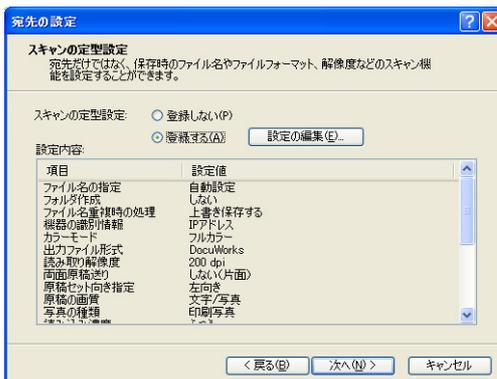


参照

- ・ 各項目の設定 :DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・ 各項目の機能 :「3.4 PC に保存する」(P. 66)、「3.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 95)、「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)

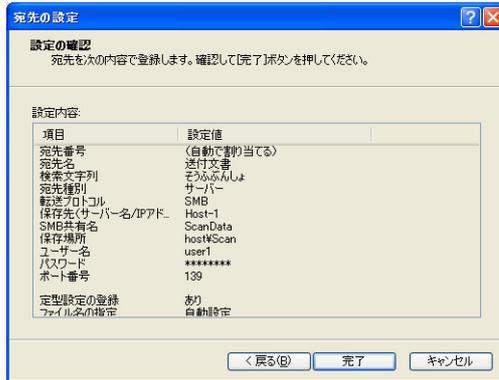
宛先の設定ウィザードの [スキャンの定型設定] ダイアログボックスに戻ります。

12. スキャンの定型設定の内容を確認して、[次へ] をクリックします。

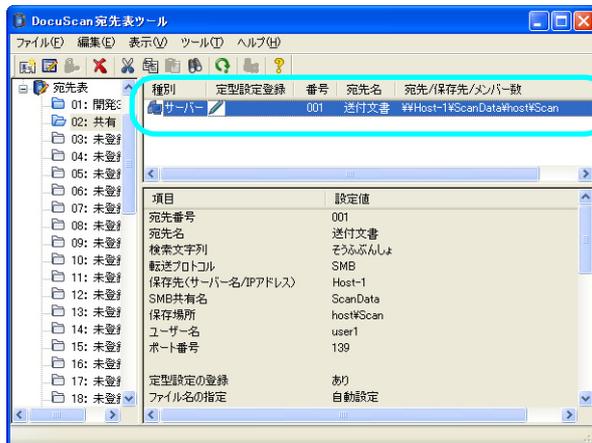


[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。

13. 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



[DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



補足

- ほかの宛先表フォルダーから、宛先をコピー / 移動して登録することもできます。
- 次の場合は、宛先を登録できません。
 - 未登録フォルダー
 - 暗証番号でロックされている宛先表フォルダー
 - 宛先が最大登録件数の 350 件まで登録されている場合

転送プロトコルが FTP の場合

転送プロトコルに FTP を使い、FTP サーバーに PC 保存するときの、宛先を登録する手順を説明します。

1. FTP サーバーに、保存先にしたいフォルダーを作成します。
2. [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録するフォルダーを選択します。



3. [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの [宛先の新規作成] をクリックします。
宛先の設定ウィザードが開始します。

4. [宛先種別] の [サーバー] を選択し、[次へ] をクリックします。

補足

- ・ [宛先番号] を指定する場合は、[番号を自動で割り当てる] のチェックを外して入力します。1 ~ 350 の整数を、半角数字で入力します。「001」のように「0」を付けることもできます。

宛先の設定

種別の選択
宛先表に宛先を登録します。種別を選択し、次へ進んでください。

宛先番号 (N): 番号を自動で割り当てる (A)

宛先種別

- メール (個人) (M)
- メール (グループ) (G)
- サーバ (S) — 4
- メディア (M)

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

[宛先 (サーバー) の設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. 登録する宛先の名前を、[宛先名] に、16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では「送付文書」と入力します。この項目は、必ず設定します。

宛先の設定

宛先 (サーバー) の設定
宛先名と検索用の文字列を入力し、文書を転送する方式をSMBまたはFTPどちらか選択してください。

宛先名 (M): — 5

検索文字列 (C): — 6

転送プロトコル

- SMB (S)
Windowsフォルダのネットワーク共有を利用して、スキャン文書を転送します。
 かんたん設定モードを利用する (E)
- FTP (F) — 7
FTPを利用してスキャン文書を転送します。
コンピュータがFTPサーバとして動作している必要があります。

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

6. [宛先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では、自動的に「そうふぶんしょ」と入力されます。この項目は、必ず設定します。

7. [転送プロトコル] の [FTP] を選択して、[次へ] をクリックします。
[保存先情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

8. 保存先のサーバー情報を設定して、[次へ] をクリックします。
各設定項目の詳細は、「5.1 宛先表の概要」の「宛先表の登録内容」(P. 152) を参照してください。

宛先の設定

保存先情報の設定
スキャン文書を保存する宛先 (サーバー) の情報を設定してください。

サーバー名/IPアドレス (S):

SMB共有名 (A):

保存場所 (F):

ユーザー名 (M):

パスワード (P):

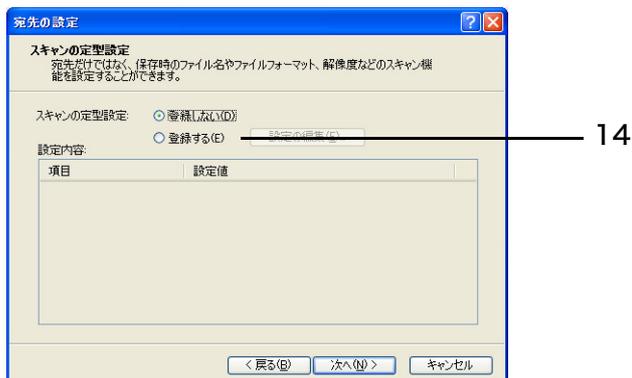
パスワードの確認 (C):

ポート番号 (P):

< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

[スキヤンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

9. スキヤンの定型設定を行うときは、[スキヤンの定型設定] で [登録する] を選択します。



設定しない場合は、[登録しない] を選択して [次へ] をクリックします。手順 17 に進みます。

[登録する] を選択すると、[スキヤンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

10. 必要に応じて、[スキヤンの定型設定] ダイアログボックスの [ファイル名] タブ、[基本] タブ、[その他] タブの各項目を設定し、[OK] をクリックします。

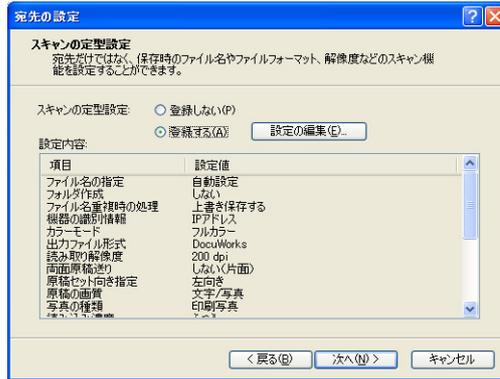


参照

- ・ 各項目の設定 :DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・ 各項目の機能 :「3.4 PC に保存する」(P. 66)、「3.7 基本スキヤン項目を設定する」(P. 95)、「3.8 その他のスキヤン項目を設定する」(P. 103)

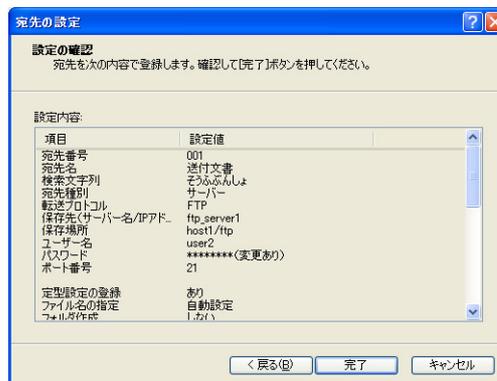
宛先の設定ウィザードの [スキヤンの定型設定] ダイアログボックスに戻ります。

11. スキャンの定型設定の内容を確認して、[次へ] をクリックします。

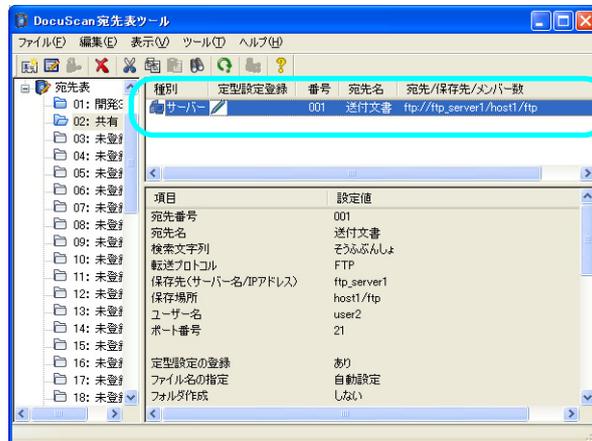


[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。

12. 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



[DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



補足

- ほかの宛先表フォルダーから、宛先をコピー / 移動して登録することもできます。
- 次の場合は、宛先を登録できません。
 - 未登録フォルダー
 - 暗証番号でロックされている宛先表フォルダー
 - 宛先が最大登録件数の 350 件まで登録されている場合

メール送信で使用する宛先「メール（個人）」を登録する

メール送信で使用するメール（個人）を登録する手順を説明します。

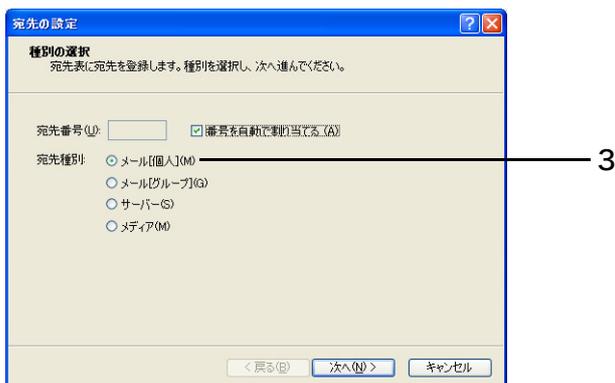
1. [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録するフォルダーを選択します。



2. [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの [宛先の新規作成] をクリックします。
宛先の設定ウィザードが開始します。
3. [宛先種別] の [メール [個人]] を選択し、[次へ] をクリックします。

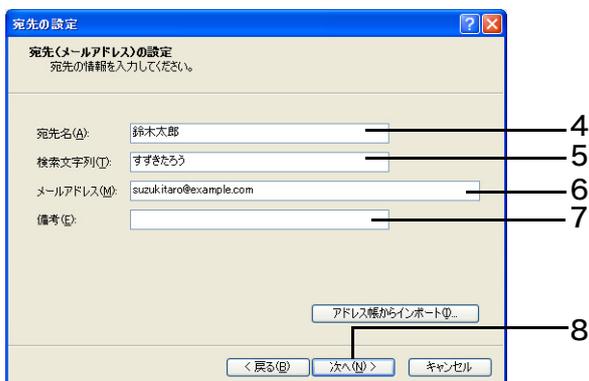
補足

- [宛先番号] を指定する場合は、[番号を自動で割り当てる] のチェックを外して入力します。1 ~ 350 の整数を、半角数字で入力します。「001」のように「0」を付けることもできます。



[宛先（メールアドレス）の設定] ダイアログボックスが表示されます。

4. 登録する宛先の名前を、[宛先名] に、16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では「鈴木太郎」と入力します。
この項目は、必ず設定します。

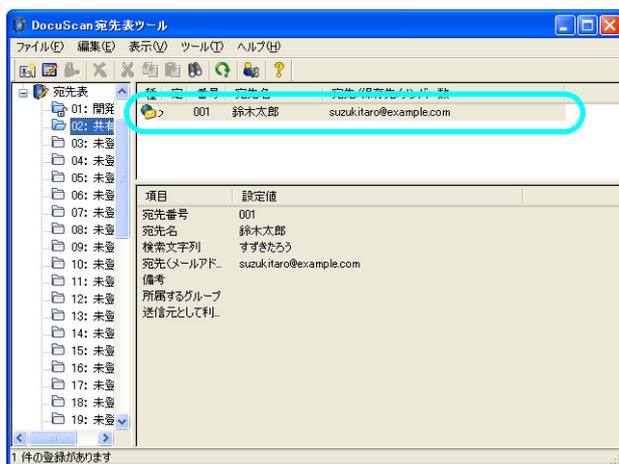


5. [宛先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では、自動的に「すずきたろう」と入力されます。
この項目は、必ず設定します。

6. 送信先にするメールアドレスを、[メールアドレス] に、64 文字以内の半角文字で入力します。
この項目は、必ず設定します。
7. [備考] には、会社名や部署名など、登録する宛先の補足情報を入力します。16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。
この項目の設定は、省略できます。ここでは、省略して入力していません。
8. [次へ] をクリックします。
[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。
9. 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



[DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



メール送信で使用する宛先「メール（グループ）」を登録する

メール送信で使用するメール（グループ）を登録する手順を説明します。

メール（グループ）には、メール（個人）として登録されている宛先を登録します。メール（グループ）を登録する前に、あらかじめメール（個人）を登録しておきます。

参照

- ・メール（個人）の登録：「メール送信で使用する宛先「メール（個人）」を登録する」(P. 246)

1. [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録するフォルダーを選択します。

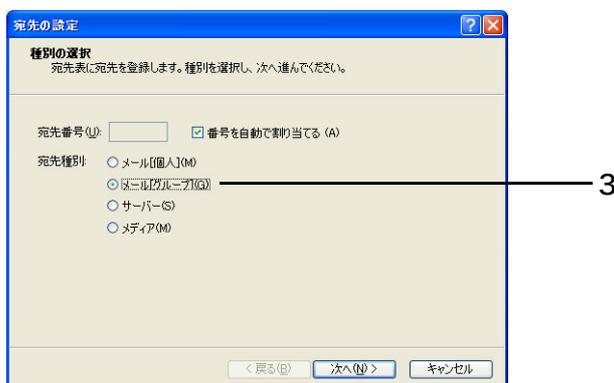


2. [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの [宛先の新規作成] をクリックします。
宛先の設定ウィザードが開始します。

3. [宛先種別] の [メール [グループ]] を選択し、[次へ] をクリックします。

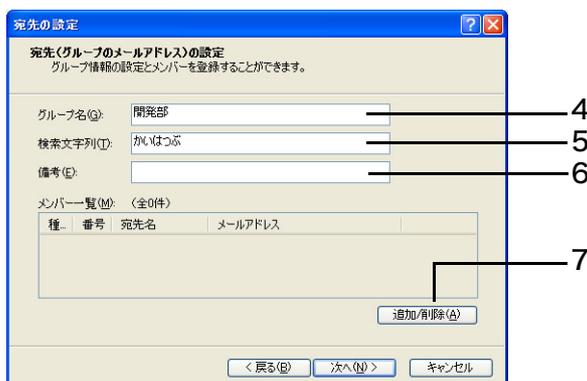
補足

- ・ [宛先番号] を指定する場合は、[番号を自動で割り当てる] のチェックを外して入力します。1 ~ 350 の整数を、半角数字で入力します。「001」のように「0」を付けることもできます。

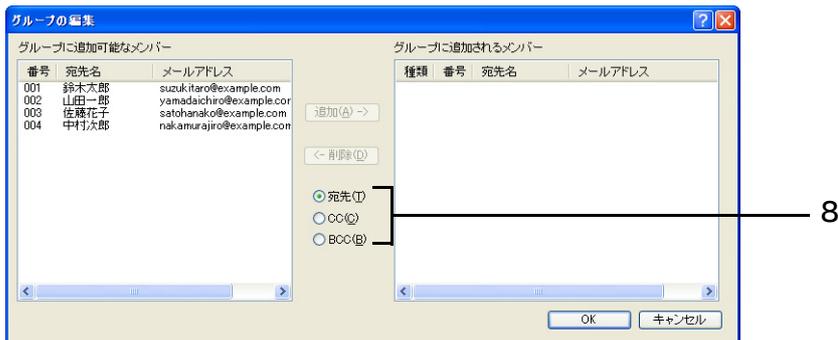


[宛先（グループのメールアドレス）の設定] ダイアログボックスが表示されます。

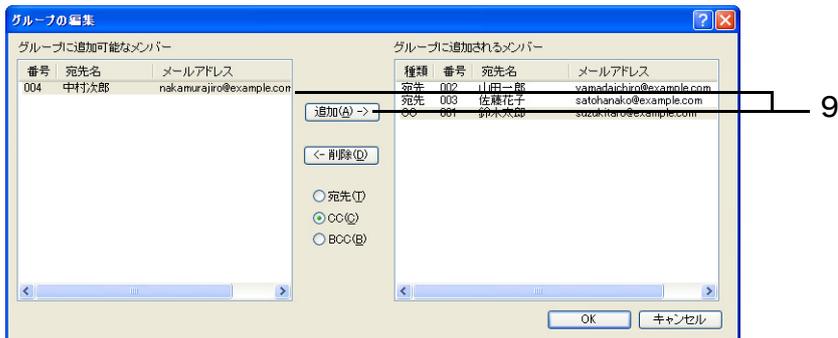
4. 登録するグループの名前を、[グループ名] に、16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では「開発部」と入力します。
この項目は、必ず設定します。



5. [グループ名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この例では、自動的に「かいほつぶ」と入力されます。この項目は、必ず設定します。
6. [備考] には、会社名や部署名など、登録するグループの補足情報を入力します。16 文字以内の全角文字、または 32 文字以内の半角文字で入力します。この項目の設定は、省略できます。ここでは、省略して入力していません。
7. [追加 / 削除] をクリックします。
[グループの編集] ダイアログボックスが表示されます。
8. 必要に応じて、[宛先] / [CC] / [BCC] のいずれかを選択します。



9. [グループに追加可能なメンバー] からメンバーを選択し、[追加] をクリックします。選択したメンバーが [グループに追加されるメンバー] に表示されます。

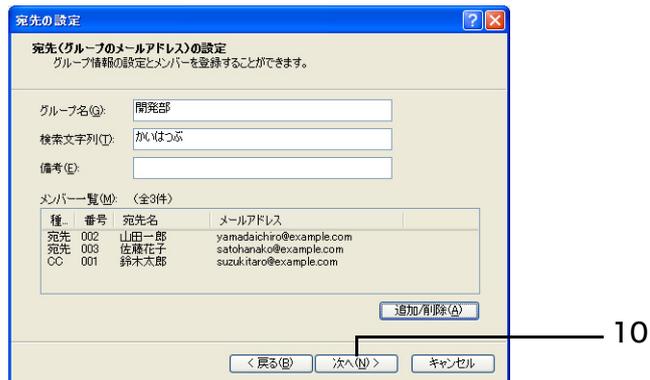


補足

- ・一度に複数のメンバーを選択することもできます。
- ・宛先表の編集が機械管理者のみに制限されている場合、[グループに追加可能なメンバー] には、登録されているすべての宛先（メールアドレス）が表示されます。
- ・宛先表の編集が一般ユーザーにも許可されている場合、[グループに追加可能なメンバー] には、選択した宛先フォルダーに登録されているすべての宛先（メールアドレス）が表示されます。

10. 手順 8 ~ 9 を繰り返して、グループにメンバーを追加し、[OK] をクリックします。

[グループの編集] ダイアログボックスが閉じ、[宛先（グループのメールアドレス）の設定] ダイアログボックスに戻ります。



11. [次へ] をクリックします。

[スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

12. スキャンの定型設定を行うときは、[スキャンの定型設定] で [登録する] を選択します。



設定しない場合は、[登録しない] を選択して [次へ] をクリックします。手順 15 に進みます。

[登録する] を選択すると、[スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

13. 必要に応じて、[スキャンの定型設定] ダイアログボックスの [メール] タブ、[基本] タブ、[その他] タブの各項目を設定し、[OK] をクリックします。

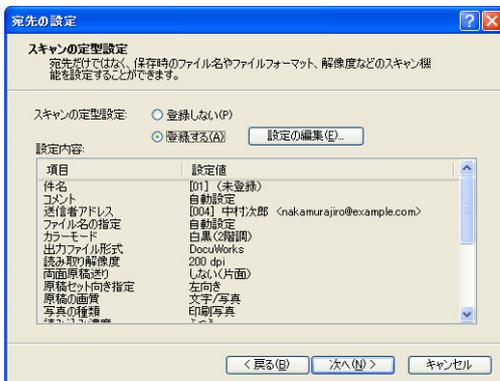


参照

- ・ 各項目の設定 :DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・ 各項目の機能 :「3.5 メールで送信する」(P. 79)、 「3.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 95)、 「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)

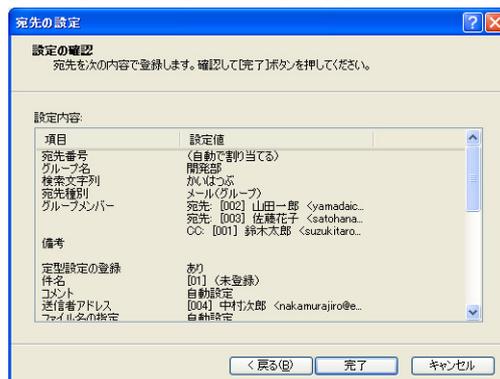
宛先の設定ウィザードの [スキャンの定型設定] ダイアログボックスに戻ります。

14. スキャンの定型設定の内容を確認して、[次へ] をクリックします。

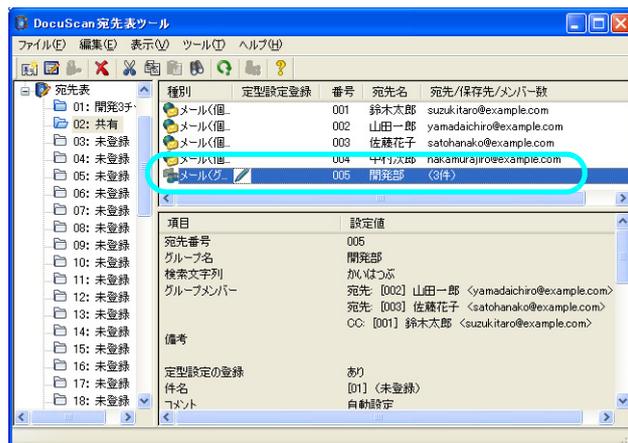


[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。

15. 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



[DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



メディア保存で使用する宛先「メディア」を登録する

メディア保存で使用する宛先を登録する手順を説明します。

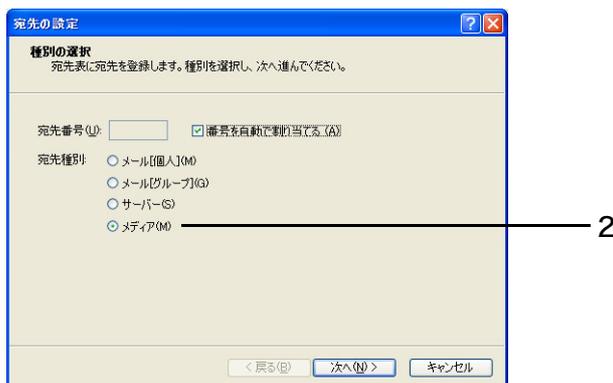
1. [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、宛先を登録するフォルダーを選択します。



2. [ファイル] メニューから [宛先の新規作成] を選択するか、またはツールバーの [] (宛先の新規作成) をクリックします。
宛先の設定ウィザードが開始します。
3. [宛先種別] の [メディア] を選択し、[次へ] をクリックします。

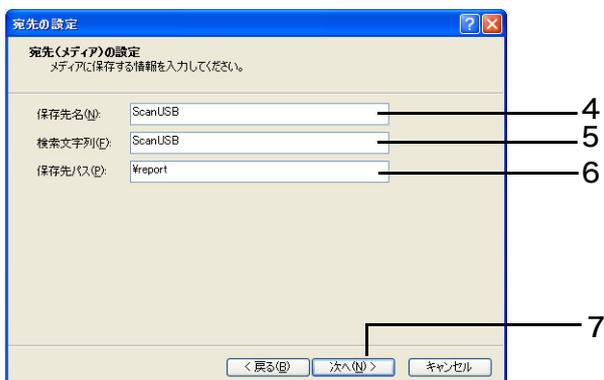
補足

- [宛先番号] を指定する場合は、[番号を自動で割り当てる] のチェックを外して入力します。1～350の整数を、半角数字で入力します。「001」のように「0」を付けることもできます。



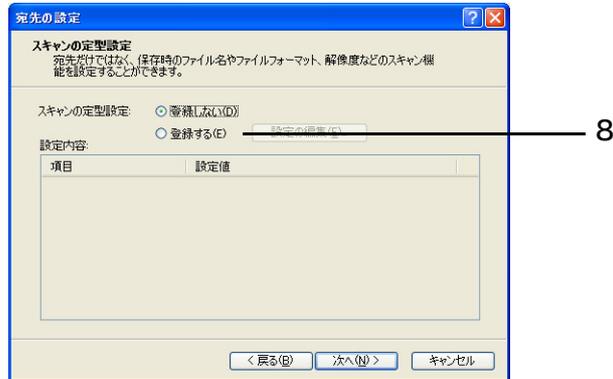
[宛先（メディア）の設定] ダイアログボックスが表示されます。

4. 登録する保存先の名前を、[保存先名] に、16文字以内の全角文字、または32文字以内の半角文字で入力します。この例では「ScanUSB」と入力します。
この項目は、必ず設定します。



5. [保存先名] のふりがなが、自動的に [検索文字列] に入力されるので、必要に応じて変更します。16文字以内の全角文字、または32文字以内の半角文字で入力します。この例では、自動的に「ScanUSB」と入力されます。
この項目は、必ず設定します。

6. 保存先メディアのパスを、[保存先パス] に、48 文字以内の全角文字、または 96 文字以内の半角文字で入力します。この例では「¥report」と入力します。この項目は、必ず設定します。
7. [次へ] をクリックします。
[スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。
8. スキャンの定型設定を行うときは、[スキャンの定型設定] で [登録する] を選択します。



設定しない場合は、[登録しない] を選択して [次へ] をクリックします。手順 11 に進みます。

[登録する] を選択すると、[スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

9. 必要に応じて、[スキャンの定型設定] ダイアログボックスの [ファイル名] タブ、[基本] タブ、[その他] タブの各項目を設定し、[OK] をクリックします。

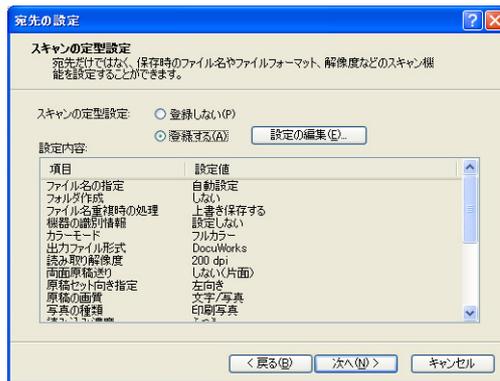


参照

- ・ 各項目の設定 :DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ
- ・ 各項目の機能 :「3.6 メディアに保存する」(P. 88)、「3.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 95)、「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)

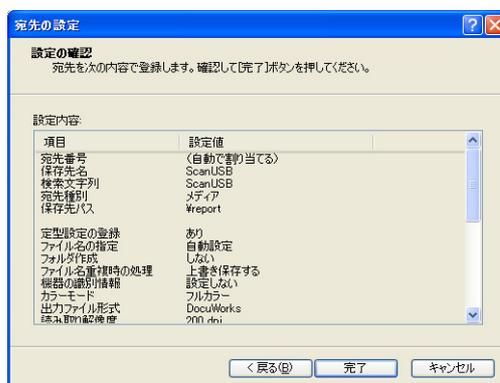
宛先の設定ウィザードの [スキャンの定型設定] ダイアログボックスに戻ります。

10. スキャンの定型設定の内容を確認して、[次へ] をクリックします。

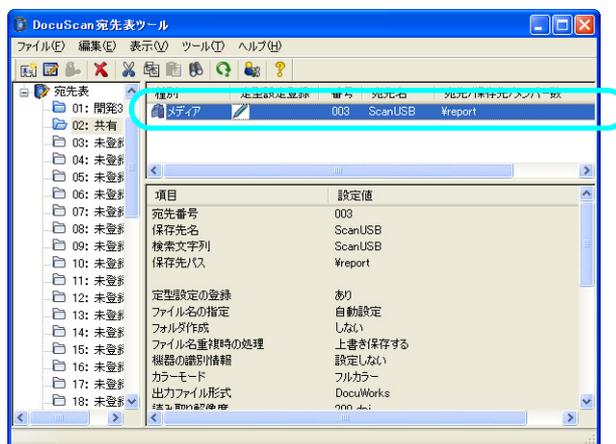


[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。

11. 設定内容を確認して、[完了] をクリックします。



[DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウに、登録した宛先が表示されます。



8.3 宛先の登録内容を変更する

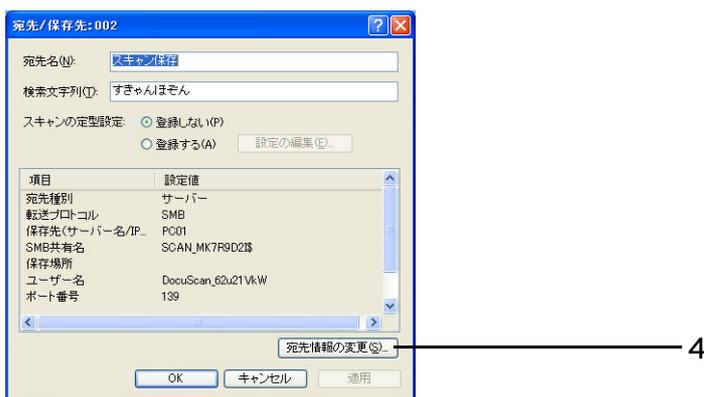
宛先の登録内容を変更する手順を説明します。

ここでは、かんたん設定モードで登録した宛先（サーバー）の登録内容を変更する場合を例に説明します。

1. [DocuScan 宛先表ツール] ウィンドウのツリービューで、内容を変更する宛先が登録された宛先表フォルダーを選択します。



2. 登録内容を変更する宛先を選択します。
3. [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択するか、またはツールバーの [プロパティ] をクリックします。
4. 表示された [宛先 / 保存先] ダイアログボックスで、[宛先情報の変更] をクリックします。



[種別の選択] ダイアログボックスが表示されます。

5. [次へ] をクリックします。

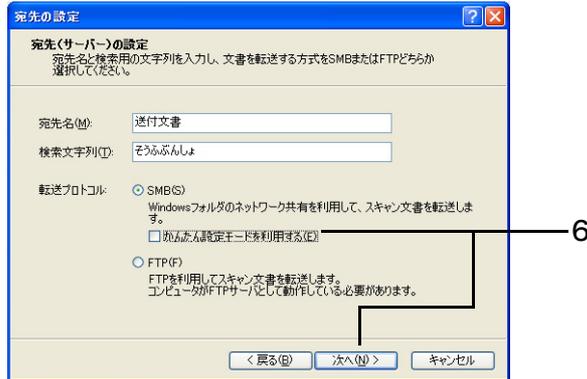


補足

- ・ [宛先番号] を変更できます。

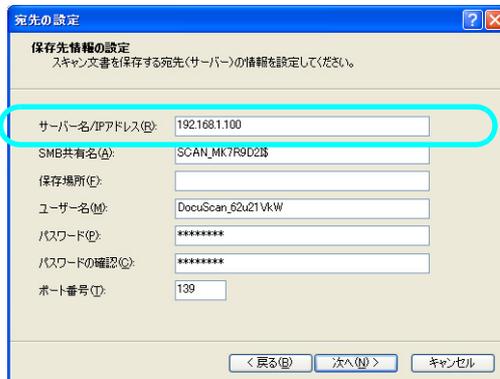
[宛先（サーバー）の設定] ダイアログボックスが表示されます。

6. [かんたん設定モードを利用する] のチェックを外し、[次へ] をクリックします。



[保存先情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

7. 登録内容を変更し、[次へ] をクリックします。
この例では、自動的に設定された [サーバー名 /IP アドレス] を、保存先コンピューターの固定 IP アドレスに変更しています。

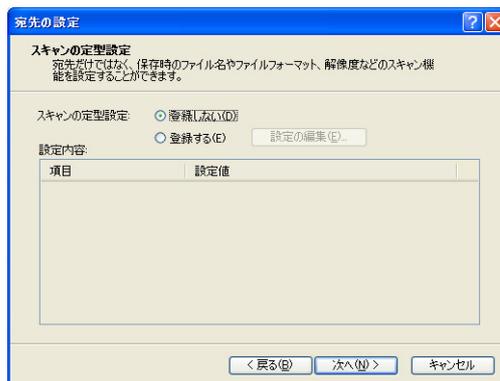


参照

- 各設定項目について：「転送プロトコルが SMB の場合（かんたん設定モードを使用しない）」(P. 239)

宛先の設定ウィザードの [スキャンの定型設定] ダイアログボックスが表示されます。

8. [次へ] をクリックします。



補足

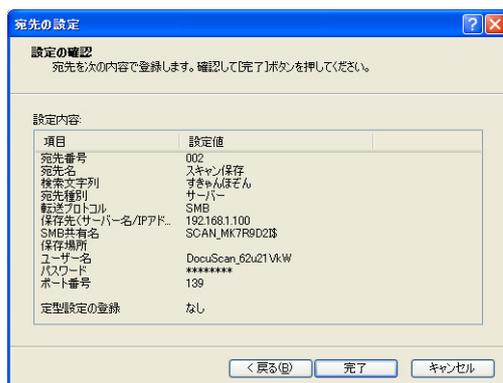
- ここでは [登録しない] を選択した場合の操作手順を説明しています。[登録する] を選択した場合は、このあと、[スキャンの定型設定] ダイアログボックスで設定を行う手順があります。

参照

- [スキャンの定型設定] ダイアログボックス：「PC 保存で使用する宛先「サーバー」を登録する」(P. 234)
- [スキャンの定型設定] ダイアログボックスの設定項目：DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ

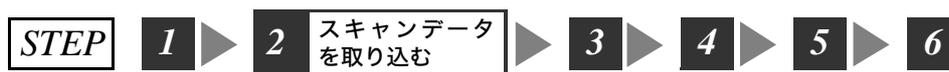
[設定の確認] ダイアログボックスが表示されます。

9. [完了] をクリックします。



8.4 スキャンデータを取り込む

原稿をスキャンし、DocuScan マネージャーにスキャンデータを取り込む手順を説明します。「DocuScan マネージャーとスキャン操作の流れ」の「Step2 スキャンデータを取り込む」の操作です。



スキャナーで原稿をスキャンする

スキャナーに原稿をセットし、PC 保存でスキャンします。

参照

- ・ 原稿のセット: 「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
- ・ PC 保存: 「3.4 PC に保存する」(P. 66)

PC 保存を使用するとき、宛先表を表示すると、「8.2 宛先を登録する」で登録したフォルダが表示されます。フォルダを選択すると、登録した宛先が表示されます。



宛先表から宛先を選択して [閉じる] を押すと、[PC 保存] 画面の設定項目が自動的に入力されます。操作パネルで宛先を入力する必要はありません。

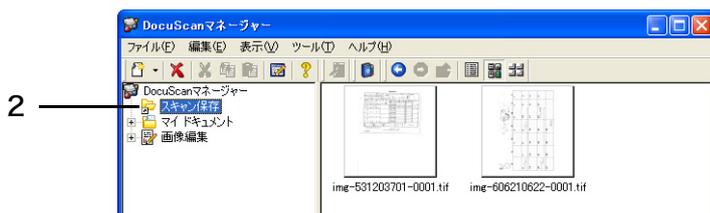
宛先表...	ファイル名変更...	プレビュー
<input checked="" type="radio"/> SMB	<input type="radio"/> FTP	
サーバー	スキャン保存	▲
共有名	SCAN_S869CG63\$	1/2
保存場所		▼

宛先表...	ファイル名変更...	プレビュー
<input checked="" type="radio"/> SMB	<input type="radio"/> FTP	
ユーザー名	DocuScan_182jzN4K	▲
パスワード	*****	2/2
保存場所		▼

スキャンデータを取り込む

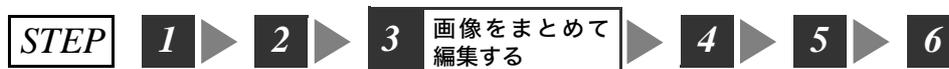
原稿をスキャンしたら、DocuScan マネージャーに取り込みます。

1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Fuji Xerox] > [DocuScan マネージャー] を選択します。
[DocuScan マネージャー] ウィンドウが表示されます。
2. ツリービューエリアで、スキャンデータを保存したフォルダーを選択します。この例では、「スキャン保存」フォルダーを選択します。
スキャンデータが、ドキュメントエリアに表示されます。



8.5 画像をまとめて編集する

DocuScan マネージャーで、スキャンデータの画像を編集する手順を説明します。「DocuScan マネージャーとスキャン操作の流れ」の「Step3 画像をまとめて編集する」の操作です。



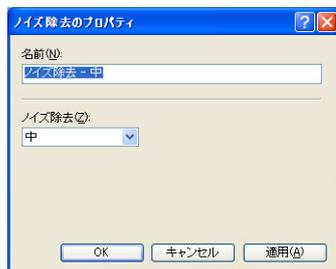
画像編集アイコンを用意する

DocuScan マネージャーで画像を編集するには、編集内容に応じた画像編集アイコンを用意します。

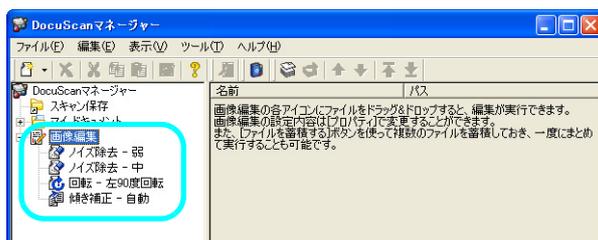
補足

・ 初期設定では、ノイズ除去(弱)、左 90 度回転、傾き補正(自動)の画像編集アイコンが設定されています。

1. [DocuScan マネージャー] ウィンドウで、[ファイル] メニューの [新規作成] > [画像編集] から、編集項目を選択します。またはツールバーの [🔧 (新規作成)] をクリックして、編集項目を選択します。この例では、[ノイズ除去] を選択します。プロパティダイアログボックスが表示されます。
2. [名前] に、ツリービューエリアに表示する名前を入力し、編集内容を設定して [OK] をクリックします。この例では、[中] を設定します。



ツリービューエリアの画像編集ツールボックスの下に、画像編集アイコンが追加されます。



画像編集を実行する

[DocuScan マネージャー] ウィンドウでは、2 種類の方法で画像編集を実行できます。

■ その都度実行する方法

ドキュメントエリアに表示された画像ファイルを選択して、画像編集を実行します。

■ ファイルを蓄積して実行する方法

ファイルを選択して、その都度画像編集を実行するのではなく、同じ画像編集を実行したいファイルをすべて選択し蓄積しておきます。蓄積したファイルを、まとめて画像編集します。

同じ画像編集を実行したいファイルが複数のフォルダーにある場合、その都度実行するよりも、効率よく作業できます。また、蓄積したファイルは、実行順を指定できます。

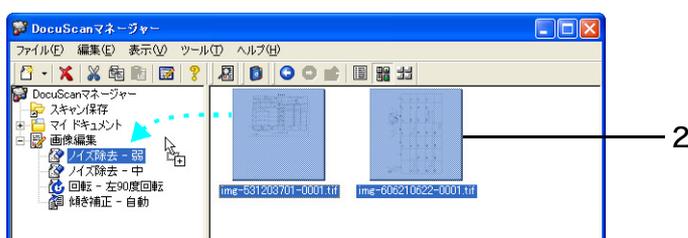
その都度画像編集を実行する

1. [DocuScan マネージャー] ウィンドウのツリービューエリアで、編集するファイルが保存されているフォルダーを選択します。

ドキュメントエリアに、フォルダー内のファイルが表示されます。



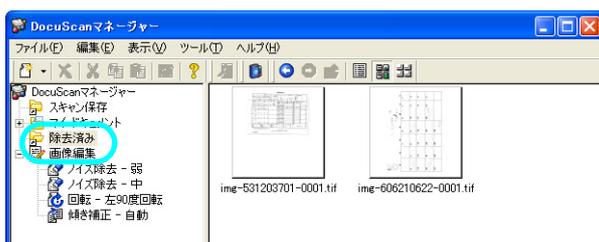
2. ドキュメントエリアのファイルを、ツリービューエリアの画像編集アイコンにドラッグ & ドロップします。複数のファイルを選択できます。



[フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されます。

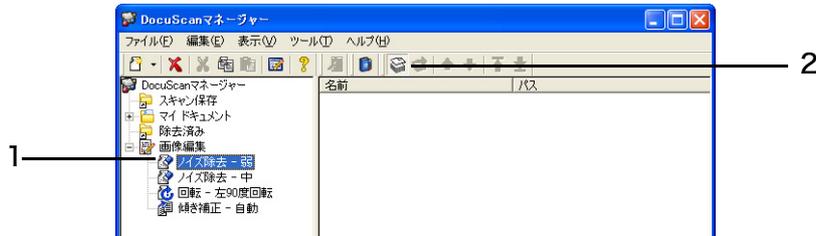
3. 編集後のファイルを保存する場所を選択して、[OK] をクリックします。編集が実行され、編集後のファイルが保存されます。ファイルは、編集前と同じ名前で作成されます。

ファイルを保存したフォルダーがツリービューに追加され、選択された状態になります。ドキュメントエリアに、編集後のファイルが表示されます。

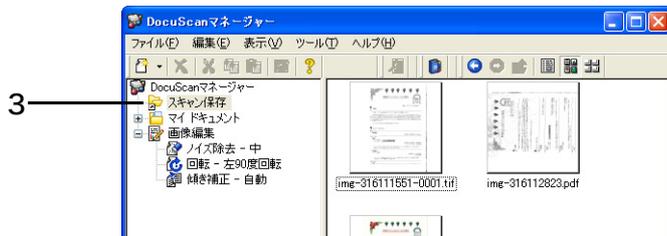


ファイルを蓄積して画像編集を実行する

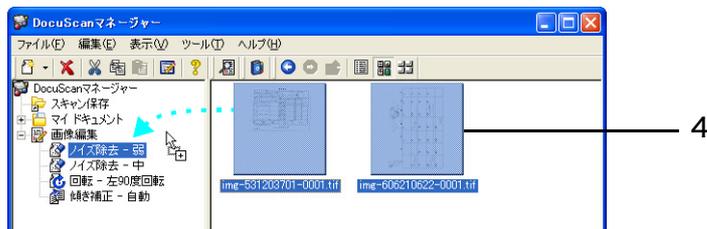
1. [DocuScan マネージャー] ウィンドウのツリービューエリアで、実行する画像編集アイコンを選択します。
2. [ツール] メニューから [ファイルを蓄積する] を選択するか、またはツールバーの [ (ファイルを蓄積する)] をクリックします。
蓄積モードになります。ツールボタンは選択状態になり、メニュー項目にチェックマークが付きます。



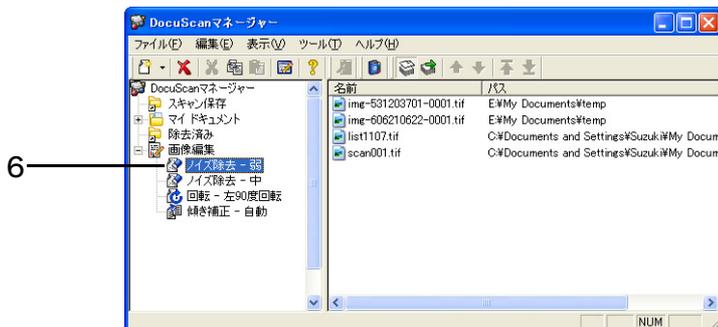
3. ツリービューエリアで、編集するファイルが保存されているフォルダーを選択します。
ドキュメントエリアに、フォルダー内のファイルが表示されます。



4. ドキュメントエリアの編集するファイルを、手順 2 で蓄積モードにした画像編集アイコンにドラッグ & ドロップします。



5. 編集するファイルの数だけ、手順 3 ~ 4 を繰り返します。
6. ツリービューエリアで、蓄積モードにした画像編集アイコンを選択します。
蓄積されたファイルがドキュメントエリアに表示されます。

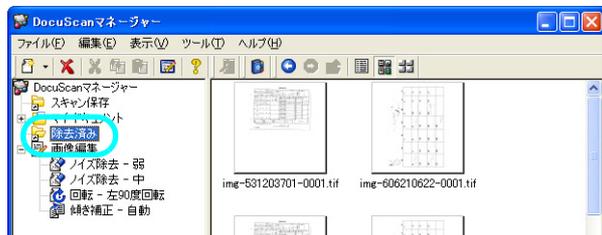


7. [ツール] メニューから [蓄積したファイルを実行する] を選択するか、またはツールバーの [ (蓄積したファイルを実行する)] をクリックします。

[フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されます。

8. 編集後のファイルを保存する場所を選択して、[OK] をクリックします。
編集が実行され、編集後のファイルが保存されます。ファイルは、編集前と同じ名前で作成されます。

ファイルを保存したフォルダがツリービューに追加され、選択された状態になります。ドキュメントエリアに、編集後のファイルが表示されます。



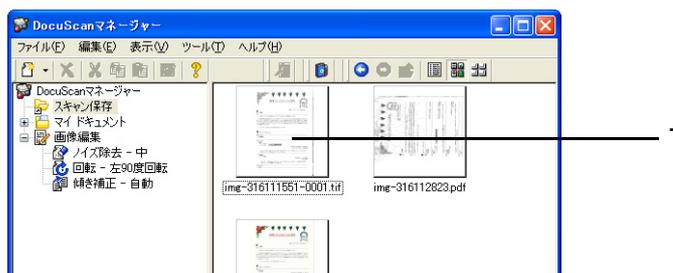
8.6 画像を1つずつ編集する

DocuScan ビューワーで、スキャンデータの画像を編集する手順を説明します。「DocuScan マネージャーとスキャン操作の流れ」の「Step4 画像を1つずつ編集する」の操作です。

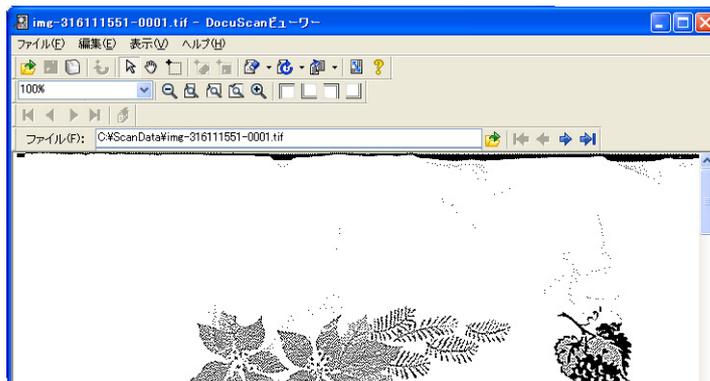


画像を表示する

1. [DocuScan マネージャー] ウィンドウのドキュメントエリアで、TIFF または JPEG 形式で読み込んだスキャンデータをダブルクリックします。



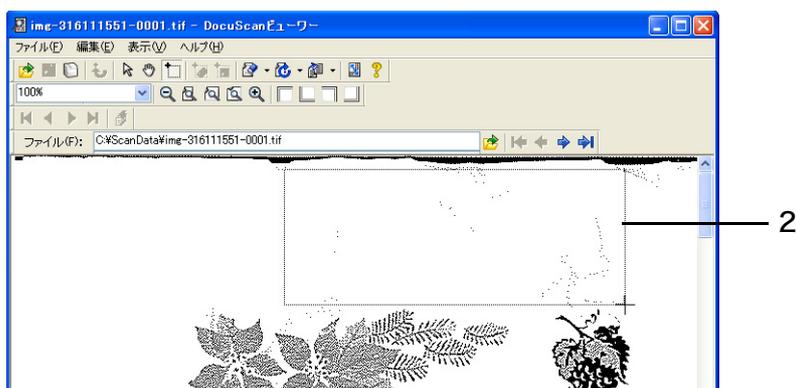
DocuScan ビューワーが起動し、ウィンドウに画像が表示されます。



画像を編集する

指定した範囲だけを保存する / 削除する

1. [表示] メニューから [モード切り替え] > [範囲指定モード] を選択するか、またはツールバーの [] (範囲指定モード) をクリックします。
マウスポインターの形が「+」になります。
2. マウスをドラッグして、保存または削除する部分を囲みます。



指定した領域に枠が表示されます。

3. ■保存する場合

- ① [編集] メニューから [指定した範囲を保存] を選択するか、またはツールバーの [] (指定した範囲を保存) をクリックします。
- ② ファイル名、保存する場所を設定して、[保存] をクリックします。
指定した範囲の画像がファイルに保存されます。

■削除する場合

[] (編集) メニューから [指定した範囲を削除] を選択するか、またはツールバーの [] (指定した範囲を削除) をクリックします。
指定した範囲の画像が削除されます。

傾きを補正する

■自動的に補正する

1. [編集] メニューから [傾き補正] > [自動] を選択するか、またはツールバーの [] (傾き補正) をクリックして選択します。
自動的に画像の傾きが補正されます。

■角度を指定して補正する

1. [編集] メニューから [傾き補正] > [角度指定] を選択するか、またはツールバーの [] (傾き補正) をクリックして選択します。
[傾き補正] ダイアログボックスが表示されます。

- 傾ける角度と方向を指定して、[OK] をクリックします。

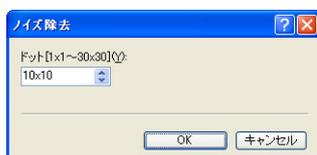


指定した方向と角度で、画像の傾きが補正されます。

ノイズを除去する

■ ページ全体のノイズを除去する

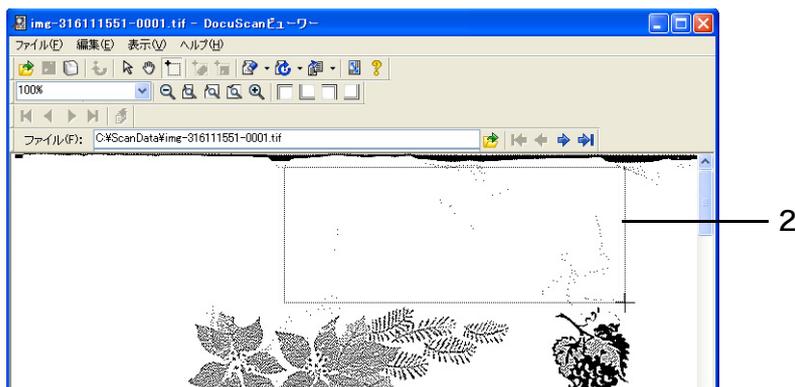
- [編集] メニューの [ノイズ除去] から除去方法を選択するか、またはツールバーの [ノイズ除去] をクリックして選択します。
[弱] / [中] / [強] を選択した場合は、指定した強さで、画像のノイズが除去されます。
[ドット指定] を選択した場合は、[ノイズ除去] ダイアログボックスが表示されます。
- ノイズを除去する大きさを指定して、[OK] をクリックします。



ページ全体のノイズが、指定した方法で除去されます。

■ 指定した範囲のノイズを除去する

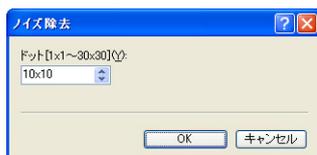
- [表示] メニューから [モード切替] > [範囲指定モード] を選択するか、またはツールバーの [範囲指定モード] をクリックします。
マウスポインターの形が「+」になります。
- マウスをドラッグして、ノイズを除去する部分を囲みます。



指定した領域に枠が表示されます。

- [編集] メニューの [ノイズ除去] から除去方法を選択するか、またはツールバーの [ノイズ除去] をクリックして選択します。
[弱] / [中] / [強] を選択した場合は、指定した強さで、画像のノイズが除去されます。
[ドット指定] を選択した場合は、[ノイズ除去] ダイアログボックスが表示されます。

4. ノイズを除去する大きさを指定して、[OK] をクリックします。



指定した範囲のノイズが、指定した方法で除去されます。

8.7 画像を印刷する

DocuScan ビューワーで、スキャンデータの画像を印刷する手順を説明します。
「DocuScan マネージャーとスキャン操作の流れ」の「Step5 画像を印刷する」の操作です。



1. [ファイル] メニューから [印刷] を選択するか、またはツールバーの [印刷] をクリックします。
[印刷] ダイアログボックスが表示されます。
2. 印刷の設定をして、[OK] をクリックします。
画像が印刷されます。

8.8 画像を保存する

DocuScan ビューワーで、スキャンデータの画像を保存する手順を説明します。
「DocuScan マネージャーとスキャン操作の流れ」の「Step6 画像を保存する」の操作です。



■ 同じファイルに上書きする

1. [ファイル] メニューから [上書き保存] を選択するか、またはツールバーの [上書き保存] をクリックします。
表示されている画像が、同じファイルに保存されます。

■ 指定したファイルに保存する

1. [ファイル] メニューから [名前を付けて保存] を選択します。
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。
2. ファイル名、保存する場所を設定して、[保存] をクリックします。
表示されている画像が、指定したファイルに保存されます。

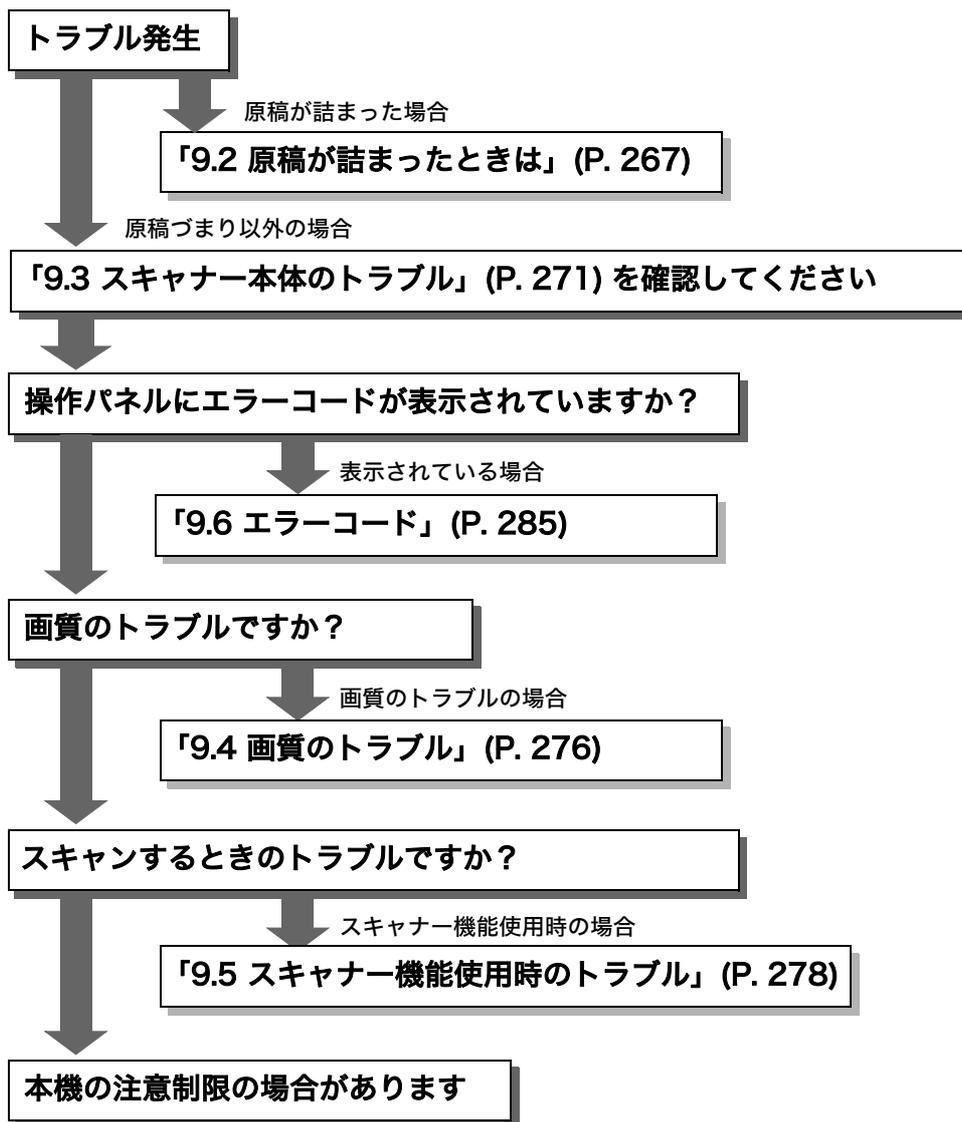
9 困ったときには

トラブルの対処方法、エラーコード、スキャナーの使い方に関する Q&A などについて説明しています。

9.1 どのような症状で困っていますか

トラブル対処の流れ

トラブルが発生した場合の対処方法の流れは、次のとおりです。以下の流れに従って、対処してください。



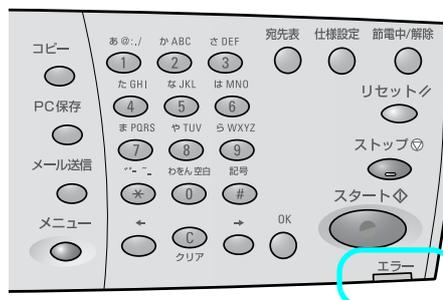
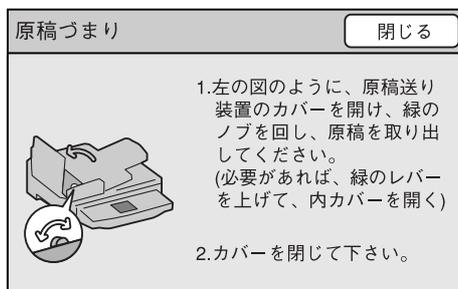
付録の「A.5 注意 / 制限事項」 (P. 322) を参照し、確認してください。

上記の流れに従って対処をしてもトラブルが処置できなかった場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

9.2 原稿が詰まったときは

自動原稿送り装置に原稿が詰まると、機械が停止します。

タッチパネルディスプレイに次のようなエラーメッセージが表示され、操作パネルの〈エラー〉ランプが点灯します。メッセージに従って、原稿づまりの処置をしたあと、自動原稿送り装置に原稿をセットし直します。



DocuScan C4260 の場合

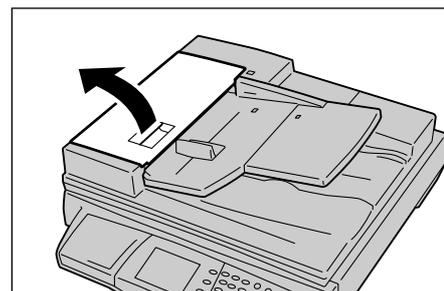
以下の手順で、詰まっている原稿を取り除いてください。

左側カバーを開ける

1. 自動原稿送り装置の左側カバーのレバーを引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。

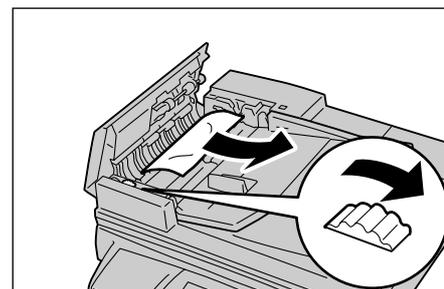
補足

- ・カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。



原稿の片側がスキャナーから出ている場合

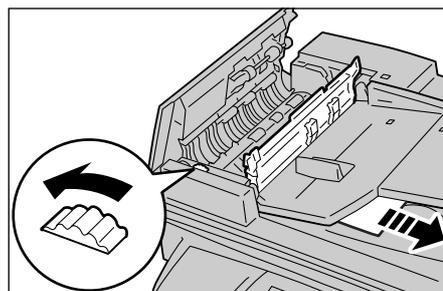
2. 緑色のノブを図のように回し、矢印方向へ、原稿をゆっくり引き抜きます。



原稿の両側がはさまっている場合

3. 緑色のレバーを持ち上げて内カバーを開けます。
4. 次のどちらかの方法で、原稿を取り除きます。

- ・ 緑色のノブを図のように回して、原稿を排紙方向へ送り出し、そのまま原稿をゆっくり引き抜きます。

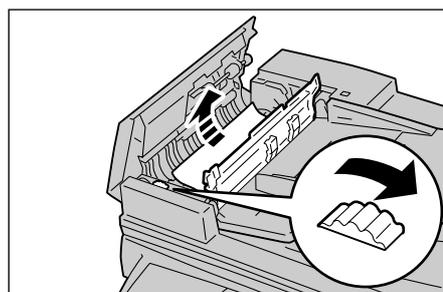


- ・ 緑色のノブを図のように回して、排紙ローラーから原稿を抜き出し、そのまま原稿を上方向へゆっくり引き抜きます。

注記

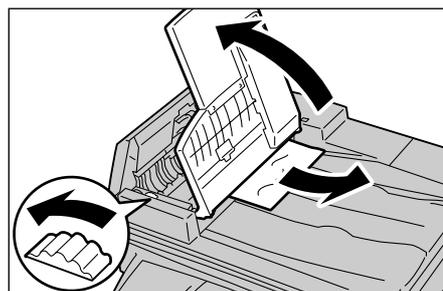
- ・ ノブを回さずに引き抜かないでください。原稿が破損するおそれがあります。

5. 手順 3 で開けた内カバーを閉じます。



原稿排出部にはさまっている場合

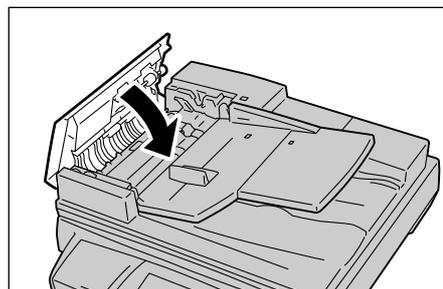
6. 原稿送りトレイを上げて、緑色のノブを図のように回し、ゆっくり原稿を引き抜きます。



7. 原稿送りトレイを静かに戻します。

左側カバーを閉じる

8. 左側カバーを、カチッと音がしてはまるまで、閉じます。
9. 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。



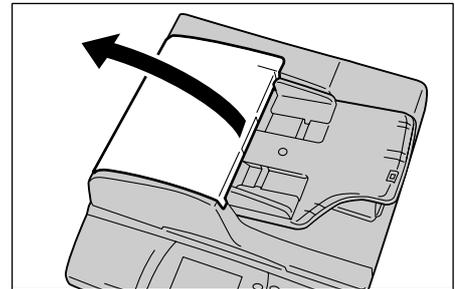
DocuScan C3210 の場合

左側カバーを開ける

1. 自動原稿送り装置の左側カバー中央の取っ手を引き上げて、左側カバーを止まるまで開けます。

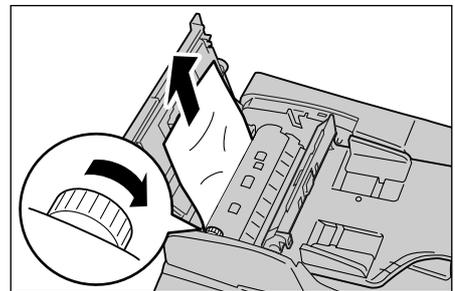
補足

- ・カバーを十分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。



原稿の片側がスキャナーから出ている場合

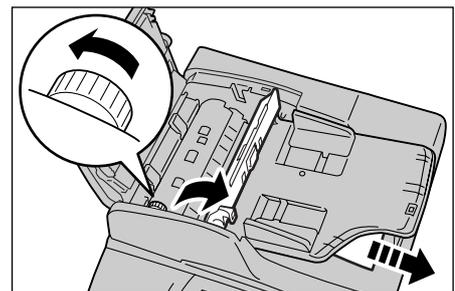
2. 緑色のノブを図のように回し、原稿を上方向へゆっくり引き抜きます。



原稿の両側がはさまっている場合

3. 緑色のレバーを持ち上げて内カバーを開けたままにします。
4. 次のどちらかの方法で、原稿を取り除きます。

- ・緑色のノブを図のように回して、原稿を排紙方向へ送り出し、そのまま原稿をゆっくり引き抜きます。

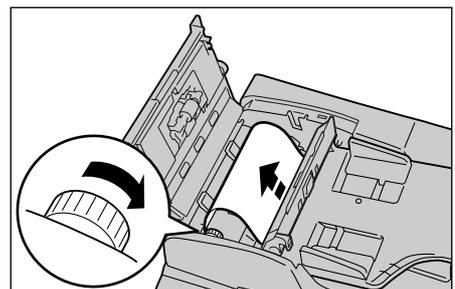


- ・緑色のノブを図のように回して、排紙ローラーから原稿を抜き出し、そのまま原稿を上方向へゆっくり引き抜きます。

注記

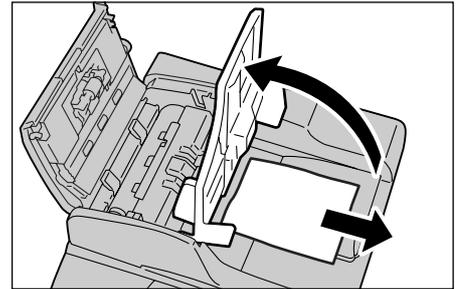
- ・ノブを回さずに引き抜かないでください。原稿が破損するおそれがあります。

5. 手順 3 で開けた内カバーを閉じます。



原稿排出部にはさまっている場合

6. 原稿送りトレイを上げたままにし、ゆっくり原稿を引き抜きます。
7. 原稿送りトレイを静かに戻します。



左側カバーを閉じる

8. 左側カバーを、カチッと音がしてはまるまで、閉じます。
9. 原稿に、破れ、しわ、折れがないことを確認し、原稿をもう一度セットします。

9.3 スキャナー本体のトラブル

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	電源スイッチが切れていませんか？	電源スイッチを入れてください。 参照 ・「2.3 電源を入れる / 切る」(P. 46)
	電源プラグがコンセントに入っていますか？	電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。 参照 ・『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「1 スキャナーの設置」
	本機背面から出ている電源コードがコネクタから抜けていませんか？	
	電源の電圧が適切ですか？	電源が 100V (ボルト)、15A (アンペア) であることを確認してください。 本機の最大消費電力 (DocuScan C4260 : 120W、DocuScan C3210 : 100W) に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。 参照 ・『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「安全にご利用いただくために」
タッチパネルディスプレイが暗い	〈節電中 / 解除〉ボタンが点灯していませんか？	節電状態に入っています。操作パネルの〈節電中 / 解除〉ボタンを押して、節電状態を解除してください。 参照 ・「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 47)
スキャンやコピーができない	操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。
	電源コードのコネクタが抜けていませんか？	電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。 参照 ・『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「1 スキャナーの設置」
	メール送信、PC 保存でスキャンできない場合、ネットワークケーブルが抜けていませんか？	ネットワークケーブルを確実に差し込んでください。 参照 ・『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「1 スキャナーの設置」

症 状	原 因	処 置
スキャンやコピーができない (続き)	コピーできない場合、プリンターと本機を接続している USB ケーブルが抜けていませんか？	USB ケーブルを確実に差し込んでください。 参照 ・『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「1 スキャナーの設置」
	コピーできない場合、USB ケーブルを差し込んでいる USB コネクタが故障していませんか？	本機のほかの USB コネクタに USB ケーブルを差し込んで確認してください。 コピーできた場合、最初に接続していた USB コネクタの故障が考えられます。当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	コピーできない場合、本機がプリンターを認識していない可能性があります。プリンターが印刷可能状態でないときに本機の電源を入れませんでしたか？	本機の電源スイッチをいったん切り、プリンターが印刷可能状態になってから、本機の電源を入れてください。
	コピーできない場合、プリンターは、本機対応プリンターですか？	以下の当社ホームページで、プリンターが本機と接続して使用できる機種かどうかを確認してください。 URL： http://www.fujixerox.co.jp/
	コピーできない場合、プリンターのファームウェアが、本機に対応していないバージョンの可能性があります。ファームウェアは最新版ですか？	以下の当社ホームページで、プリンターのファームウェアのバージョンが本機に対応しているかどうかを確認してください。 URL： http://www.fujixerox.co.jp/ 対応していないときは、対応しているバージョンのファームウェアを、以下のホームページからダウンロードし、バージョンアップしてください。 URL： http://download.fujixerox.co.jp/
部分的にスキャンやコピーができない	スキャナー内部に水滴が付着（結露）していませんか？	電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間で水滴がなくなり、正常に使用できます。
機械管理者暗証番号を忘れて、[仕様設定]画面を表示できない	機械管理者暗証番号を設定している場合、暗証番号を入力しないで [仕様設定] 画面を表示することはできません。	どうしても思い出せない場合は、当社プリンターサポートデスクにお問い合わせください。 機械管理者暗証番号を忘れないように管理してください。
画質がよくない	画像トラブルが発生しているおそれがあります。	後述の「9.4 画質のトラブル」(P. 276) を参照して処置してください。

症 状	原 因	処 置
希望のサイズにスキャン/コピーされない	OHP フィルムなどの透過度が高い原稿ですか？	原稿ガラスに原稿をセットし、その上に白紙を載せてスキャン/コピーしてください。
	原稿がずれていませんか？	原稿を正しくセットしてください。
	原稿が正しくセットされていますか？	参照 ・「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
	自動原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？	原稿ガイドを正しくセットしてください。 参照 ・「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
	原稿が折れ曲がっていませんか？	原稿をのばして正しくセットし直してください。 参照 ・「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
	定形外サイズの原稿をセットしていませんか？	原稿のサイズを入力してください。 参照 ・「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103) ・「4.6 その他のコピー項目を設定する」(P. 141)
	原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？	原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。 参照 ・「10.2 スキャナーの清掃」(P. 306)
原稿が送り込まれない	原稿が小さくありませんか？ 自動原稿送り装置にセットできる原稿のサイズかどうかを確認してください。 参照 ・「2.5 原稿をセットする」(P. 48)	

症 状	原 因	処 置
原稿がたびたび詰まる	適切な原稿を使用していますか	自動原稿送り装置に適した原稿を正しくセットしてください。
	変形原稿や名刺、OHP フィルム、薄い原稿を使用していないか？	参照 ・「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
	付せんやクリップ、セロハンテープなどをつけたまま使用していませんか？	付せんやクリップ、セロハンテープなどを取ってからスキャン/コピーしてください。
	原稿ガイドの位置がずれていませんか？	原稿ガイドを正しくセットしてください。 参照 ・「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
	原稿の一部が破れて、自動原稿送り装置に紙片が残っていませんか？	自動原稿送り装置のカバーを開けて確認してください。 参照 ・「9.2 原稿が詰まったときは」(P. 267)
	サイズの異なる原稿を読み込むときに、[ミックスサイズ原稿送り]の設定が[する]になっていますか？	[ミックスサイズ原稿送り]の設定を[する]にしてください。 参照 ・「ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）(DocuScan C4260のみ)」(P. 113) ・「ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）(DocuScan C4260のみ)」(P. 145)
	ミックスサイズ原稿送り機能を使用しているときに、A5 サイズの原稿をたて置きにして自動原稿送り装置にセットしていませんか？	A5 サイズの原稿は、よこ置きにセットしてください。 参照 ・「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
原稿の端が折れる	原稿がカールしていませんか？	原稿のカールを直してから、セットしてください。
カラーコピーがとれない / カラーのスキャンができない	[カラーモード] が [白黒] になっていませんか？	[カラーモード] の [フルカラー] を選択してください。 参照 ・「カラーモード（スキャンする色を選択する）」(P. 96) ・「カラーモード（コピーする色を選択する）」(P. 127)
	コピーの場合、接続しているプリンターは、カラープリンターですか？	白黒プリンターの場合、カラーコピーはとれません。カラープリンターに接続してください。

症 状	原 因	処 置
原稿サイズが自動検知できない	原稿が自動検知できないサイズです。	<p>【読み取りサイズ】画面または【原稿サイズ入力】画面が表示されるので、原稿のサイズを設定して〈スタート〉ボタンを押してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読み取りサイズ（原稿の読み取りサイズを指定してスキャンする）」（P. 104） ・「原稿サイズ入力（原稿の読み取りサイズを指定してコピーする）」（P. 148）
	スキャナーが節電中または節電解除中です。	<p>節電中、または節電解除中（タッチパネルディスプレイに「お待ちください。」と表示されている状態）は、原稿ガラスにセットした原稿のサイズを検知することができません。</p> <p>節電中、または節電解除中は、〈節電中 / 解除〉ボタンを押して「お待ちください。」という表示が消えてから原稿をセットしてください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2.4 節電モードを設定 / 解除する」（P. 47）

9.4 画質のトラブル

スキャン結果またはコピー結果の画質が悪い場合は、以下の表から最も近いと思われる症状を選択し、処置してください。

該当する処置をしても画質が改善されない場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
スキャン画像またはコピーが汚れている	OHP フィルムなどの透過度が高い原稿ではありませんか？	透過度が高い原稿では、原稿カバーの汚れがスキャン画像やコピーに写ります。原稿の上に白紙を載せてスキャン/コピーしてください。
	原稿がカラーペーパー、ザラ紙、青焼きなどではありませんか？	読み取り濃度またはコピー濃度を調整するか、画質を調整してスキャン/コピーしてください。 参照 ・「読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する）」(P. 102) ・「コピー濃度（コピー濃度を調整する）」(P. 132) ・「4.5 画質調整のコピー項目を設定する」(P. 133)
	光沢のある印画紙をスキャン/コピーしていませんか？	原稿が光沢のある印画紙の場合は、原稿ガラスに張りつきやすく、影が汚れるようになることがあります。OHP フィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてスキャン/コピーしてください。
	原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？	原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。 参照 ・「10.2 スキャナーの清掃」(P. 306)
スキャン画像またはコピーに黒ずじが入る	自動原稿送り装置の読み取りガラスが汚れていませんか？	原稿読み取りガラスを清掃してください。 参照 「10.2 スキャナーの清掃」(P. 306)
	原稿カバーを開いたままスキャンまたはコピーしませんでしたか？ 冊子の原稿をスキャンまたはコピーしませんでしたか？	「わく消し」機能を使うと、原稿の枠やとじしろの黒い影を消すことができます。 参照 「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103)
スキャン画像またはコピーが濃すぎる	読み取り濃度またはコピー濃度が【こく】に設定されていませんか？	読み取り濃度またはコピー濃度を調整してください。 参照 ・「読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する）」(P. 102) ・「コピー濃度（コピー濃度を調整する）」(P. 132)

症 状	原 因	処 置
スキャン画像またはコピーが薄すぎる	読み取り濃度またはコピー濃度が[うすく]に設定されていませんか？	読み取り濃度またはコピー濃度を調整してください。 参照 ・「読み込み濃度（原稿の読み込み濃度を調整する）」(P. 102) ・「コピー濃度（コピー濃度を調整する）」(P. 132)
スキャン画像またはコピーがずれたり、曲がっている	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。 参照 ・「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
	自動原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？	原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端にあててください。 参照 ・「2.5 原稿をセットする」(P. 48)
	原稿が貼り合わせ原稿や折り込みの原稿ではありませんか？	貼り合わせたのりの部分や折りの部分が反り返って、原稿ガラスに密着せず、原稿が浮いていることが考えられます。原稿の上に白紙の束を載せて、原稿ガラスに密着するようにセットしてください。
縞模様が発生する	スキャン/コピーの倍率、またはスキャンの解像度によって、縞模様が発生することがあります。	スキャン/コピーの倍率、またはスキャンの解像度を調整してください。 参照 ・「倍率選択（拡大縮小してコピーする）」(P. 125) ・「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」(P. 108)

9.5 スキャナー機能使用時のトラブル

スキャナー機能使用時にトラブルが発生した場合は、以下の表を参照して処置してください。

スキャン機能全般に関するトラブル

症 状	原 因	処 置
スキャナーに接続できない	お使いのソフトウェアでスキャナーが使用するポートをブロックしていませんか？	パーソナルファイアウォール系ソフトウェア、ウイルス対策ソフトウェアなどをお使いの場合、設定によっては、スキャナーに接続できないことがあります。スキャナーが使用するポートをブロックしないように設定してください。使用するポートについては、システム管理者に確認してください。
両面原稿をスキャンしました。コンピューターで開いたら、向きがおかしい	JPEG または TIFF の場合は、両面のセット向きを指定しても無効になります。	原稿送り装置を使って両面の原稿をスキャンする場合、[原稿セット向き指定] を [読める向き] にすると、コンピューターで開いたときに正しい向きで取り込めます。ただし、この機能は、出力ファイル形式を PDF または DocuWorks にした場合にだけ働きます。コンピューターに取り込んでからソフトウェアで開いて修正してください。 参照 <ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿セット向き指定：「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103) ・ 出力ファイル形式：「3.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 95) ・ 修正のしかた：「8.6 画像を 1 つずつ編集する」(P. 262)
フルカラーまたはグレースケールでスキャンした TIFF が開かない	フルカラーまたはグレースケールでスキャンした TIFF は、表示ソフトウェアによっては開けなかったり、1 ページめしか表示されなかったりすることがあります。	Windows の場合、DocuScan マネージャーの DocuScan ビューワーは、カラーの TIFF に対応していません。DocuScan マネージャーは、同梱の「Software Pack」CD-ROM からインストールできます。 参照 インストール方法：『ソフトウェアバック操作ガイド』
宛先表フォルダーに設定した暗証番号を忘れてしまい、開けない	DocuScan マネージャーまたは CentreWare Internet Services から、「機械管理者 ID」または「機械管理者パスワード」を使って、宛先表フォルダーの暗証番号の設定を解除するか、変更します。「機械管理者 ID」、「機械管理者パスワード」を使用できるシステム管理者に依頼してください。	

PC 保存に関するトラブル

症 状	原 因	処 置
PC 保存で、ネットワーク転送ができない	転送プロトコルは正しく設定されていますか？	転送プロトコルの設定を確認してください。 参照 ・「PC 保存の設定をする」(P. 68)
	サーバー名 /IP アドレスは正しく入力されていますか？	サーバー名 /IP アドレスの入力を確認してください。 参照 ・「PC 保存の設定をする」(P. 68)
	保存場所は正しく入力されていますか？	保存場所の入力を確認してください。 参照 ・「PC 保存の設定をする」(P. 68)
	SMB を選択した場合、共有名は正しく入力されていますか？	共有名の入力を確認してください。 参照 ・「PC 保存の設定をする」(P. 68)
	ユーザー名は正しく入力されていますか？	ユーザー名の入力を確認してください。 参照 ・「PC 保存の設定をする」(P. 68)
	パスワードは正しく入力されていますか？	パスワードの入力を確認してください。 参照 ・「PC 保存の設定をする」(P. 68)
	FQDN または DNS ホスト名の形式でサーバー名を設定した場合、DNS サーバーの設定は正しいですか？	CentreWare Internet Services の以下の項目が正しく設定されているかを、システム管理者に確認してください。 [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DNS]
	SMB で、スキャナーとは異なるサブネット上のコンピューター名を NetBIOS 名で指定した場合、WINS サーバーの設定は正しいですか？	CentreWare Internet Services の以下の項目が正しく設定されているかを、システム管理者に確認してください。 [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [WINS]
SMB で、スキャナーとは異なるサブネット上のコンピューターを保存先とし、かつ WINS サーバーが設置されていない場合、コンピューターの固定 IP アドレスを宛先に設定していますか？	保存先コンピューターに固定 IP アドレスを設定したら、宛先の設定項目 [サーバー名 /IP アドレス] を、保存先コンピューターの固定 IP アドレスに変更してください。 参照 ・「8.3 宛先の登録内容を変更する」(P. 255)	

症 状	原 因	処 置
PC 保存で、ネットワーク転送ができない (続き)	Windows XP (ServicePack2)、または Windows Vista の場合、ファイアウォールで、ファイル共有ができない設定になっていませんか？	Windows ファイアウォールの設定を、以下のように設定してください。 1 コントロールパネル > [セキュリティセンター] > [Windows ファイアウォール] を選択する。 2 [例外を許可しない] のチェックを外す。 3 [例外] タブで [ファイルとプリンタの共有] にチェックを付ける。 4 [OK] をクリックする。 5 コントロールパネルを閉じる。 ただし、[ファイルとプリンタの共有] のスコープの設定が Windows XP SP2 の場合、[ユーザーのネットワーク (サブネットのみ)]、Windows Vista の場合、[ローカルサブネット] に設定されていると、異なるサブネットのコンピューターへの転送はできません (スキャナーと同一サブネット上のコンピューターに対しては転送できます)。 異なるサブネット上のコンピューターに対して転送する場合には、スコープの設定を任意、カスタムなどへ変更してご利用ください。 スコープの設定についての詳細は、Windows のオンラインヘルプを参照してください。
スキャンしたとき、コンピューターへの接続やスキャン開始に時間がかかる	Active Directory 環境下のコンピューターに保存しようとしていますか？	DNS サーバーアドレスと、WINS サーバーアドレスが正しいかどうかを確認してください。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で、[DNS] と [WINS] を確認できます。

メール送信に関するトラブル

症 状	原 因	処 置
メール送信で、メールが送信できない	入力したメールアドレスは正しいですか？	メールアドレスの入力を確認してください。
	メールまたは TCP/IP の設定は正しいですか？	CentreWare Internet Services の以下の項目が正しく設定されているかを、システム管理者に確認してください。 [プロパティ] > [プロトコル設定] > [メール] [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] 参照 ・ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
	メール送信の上限データサイズを超えていませんか？	CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [メール] で、[分割送信のページ単位] のページ数を減らしてください。または、[メール送信の上限データサイズ] を大きくしてください。 参照 ・ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
	読み取り解像度、または画像圧縮率の設定は適切ですか？	・ 読み取り解像度を下げてください。 ・ 画像圧縮率を高くしてください。 参照 ・ 「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」 (P. 108) ・ 「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」 (P. 104)

DocuScan マネージャー使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
<p>スキャナーに接続できない</p>	<p>次のことを確認または設定してから、[スキャナの選択] ダイアログボックスの [再検索] をクリックしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スキャナーの電源が入っているか。 <p>参照 ・「2.3 電源を入れる / 切る」(P. 46)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークケーブルが接続されているか。 <p>参照 ・『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「1 スキャナーの設置」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [SNMP] が [起動する] になっているか。 スキャナーの [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で確認、または CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [SNMP] で確認。 <p>参照 ・「7.5 ネットワーク設定」(P. 196) または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● TCP/IP の設定が正しいか。 スキャナーの操作パネルの [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で確認、または CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で確認。 <p>参照 ・「7.5 ネットワーク設定」(P. 196) または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [検索条件の設定] ダイアログボックスの [コミュニティ名の設定] の [読み取り専用] があるか。 初期値は「public」。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [プロトコル設定] > [SNMP] の [コミュニティ名登録 (取得専用)] で変更。 <p>参照 ・ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [検索条件の設定] ダイアログボックスで、タイムアウト時間をより長く設定する。 <p>参照 ・「8.2 宛先を登録する」(P. 231) または DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [検索条件の設定] ダイアログボックスで、サブネットを変更する。 <p>参照 ・「8.2 宛先を登録する」(P. 231) または DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ</p>

CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services に接続できない	<p>本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているかを確認してください。</p> <p>CentreWare Internet Services が起動されていますか？ スキャナーの操作パネルで、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [2. CW インターネットサービス] を確認します。 [停止する] の場合、[確認 / 変更] > [起動する] > [決定] を押し、[電源の切り / 入り] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押し、スキャナーの電源を切り、入れ直します。 なお、電源を再投入するときは、電源を切ってタッチパネルディスプレイの表示が消えるのを確認してから、電源を入れてください。</p> <p>URL は正しく入力されていますか？ URL をもう一度確認してください。接続できない場合、FQDN 形式で入力しているときは、IP アドレス形式で入力して接続してください。</p> <p>プロキシサーバーを使用していますか？ CentreWare Internet Services を使用するとき、プロキシサーバーを経由した場合の動作については保証していません。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。</p> <p>参照 ・『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「2 スキャンの準備」</p> <p>通信を暗号化するために、SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合、CentreWare Internet Services に接続するには、ブラウザのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。</p>
Web ブラウザーで「しばらくお待ちください」などのメッセージが表示されたままになる	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
[更新] が機能しない	指定されている Web ブラウザーを使用していますか？ 「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) を参照して、使用している Web ブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
左側のメニューを選択しても、画面が切り替わらない	
画面の表示が崩れる	Web ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない	[更新]、[表示更新]、または [最新の情報に更新] をクリックしてください。
日本語が正しく設定できない	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できない場合があります。
[新しい設定を適用する] をクリックしても反映されない	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更される場合があります。

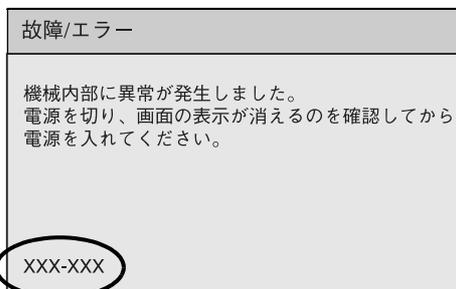
症状	原因 / 処置
<p>機械管理者 ID や機械管理者パスワードを忘れて、設定を変更できない</p>	<p>どうしても CentreWare Internet Services の「機械管理者 ID」または「機械管理者パスワード」を思い出せない場合は、操作パネルの [仕様設定] から NV メモリーのうち「システムデータ」を初期化してください。ただし、この場合は、システムデータがすべて工場出荷時の値に初期化されます。操作パネルの「機械管理者暗証番号」も忘れた場合は、[仕様設定] 画面を表示できません。操作パネルの「機械管理者暗証番号」をどうしても思い出せない場合は、当社プリンターサポートデスクにお問い合わせください。CentreWare Internet Services の「機械管理者 ID」、「機械管理者パスワード」、および操作パネルの「機械管理者暗証番号」を忘れないように管理してください。</p> <p>参照 ・「NVM 初期化」(P. 195)</p>
<p>機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力する画面で、機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力したが、認証されない</p>	<p>IME2000 と Internet Explorer 5.5/6.0 の組み合わせで使用していて、IME が KANA 入力モードになっていませんか。IME を半角英数モードに切り替えて、入力し直してください。</p> <p>電源を入れたあと、または最後に機械管理者認証に成功後、5 回連続で機械管理者認証に失敗すると、正しい機械管理者 ID や機械管理者パスワードを入力しても認証されません。その場合は、スキャナーの電源を切 / 入してから、再度認証の操作をしてください。</p>
<p>表示言語が異なる</p>	<p>Web ブラウザーで表示言語の設定を変更してください。</p> <p>参照 ・ Web ブラウザーのオンラインヘルプ</p>
<p>表示言語が日本語になったり英語になったり、すぐに変わってしまう</p>	<p>プロキシサーバーを使用していますか？プロキシサーバーを使用しないで、スキャナーと接続してください。プロキシサーバーを使用しない設定にしないと、表示言語が切り替わったり、入力した内容が反映されなかったりします。</p> <p>参照 ・「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15)</p>
<p>CentreWare Internet Services への接続を拒否される、または「ページにデータが含まれていません」といったメッセージが表示される</p>	<p>頻繁に Web ブラウザーの表示を更新すると、このような症状が発生する場合があります。頻繁に Web ブラウザーの表示を更新しないでください。また、多数の Web ブラウザーで、常時、[状態] 画面や [ジョブ] 画面、[メンテナンス] 画面を表示し続けなくてください。</p>
<p>ページ中のボタンをクリックする代わりに、キーボードの〈Enter〉キーを押したとき、ページが戻るなどの現象が起きる</p>	<p>キーボードの〈Enter〉キーを押すのではなく、ページ中のボタンをクリックしてください。</p>

9.6 エラーコード

エラーコードについて説明します。

エラーが発生してスキャンが正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、メッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。

【エラーメッセージ画面例】



以下の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても正常に戻らないときは、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

注記

- ・ エラーコードが表示されたときは、本機内に残っているスキャンデータや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。
- ・ 本機の電源を切ると、本機内に残っているスキャンデータや本機のメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

表の「分類」は、以下の機能を表します。

C : コピー

P : PC 保存

M : メール送信

U : メディア保存

O : その他

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
003-711		○	○	○		<p>【原因】 読み込んだ原稿の圧縮処理に失敗しました。</p> <p>【処置】 画像圧縮率を高く、または解像度を低くして、スキャンし直してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ミックスサイズ原稿送り（サイズが異なる原稿を一度に読み取る）（DocuScan C4260 のみ）」（P. 113） ・ 「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」（P. 108）
003-770	○	○	○	○		<p>【原因】 両面原稿の読み取り時に、拡大の倍率値が、設定可能な範囲を超えました。</p> <p>【処置】 倍率を下げて、スキャン / コピーし直してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読み取り倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする）」（P. 107） ・ 「倍率選択（拡大縮小してコピーする）」（P. 125）

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
003-795	○	○	○	○		<p>【原因】 読み込んだ原稿を、指定された用紙サイズに拡大 / 縮小したときに、拡大 / 縮小の倍率が、設定可能な範囲を超えてしまいました。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。 ・倍率を直接入力する ・用紙サイズを変更する</p> <p>参照 ・「読み取り倍率（原稿を読み取る倍率を指定してスキャンする）」(P. 107) ・「倍率選択（拡大縮小してコピーする）」(P. 125) ・「用紙選択（コピーする用紙を選択する）」(P. 123)</p>
031-503			○			<p>【原因】 メール送信時に指定した SMTP サーバーが、ネットワーク上で見つかりませんでした。</p> <p>【処置】 SMTP サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、SMTP サーバーを FQDN で指定している場合、DNS サーバーの設定が正しいかを確認してください。 SMTP サーバー、DNS サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。</p> <p>参照 ・「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) ・CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ</p>
031-504			○			<p>【原因】 メール送信時に指定した POP3 サーバーが、ネットワーク上で見つかりませんでした。</p> <p>【処置】 POP3 サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、POP3 サーバーを FQDN で指定している場合、DNS サーバーの設定が正しいかを確認してください。 POP3 サーバー、DNS サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。</p> <p>参照 ・「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) ・CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ</p>
031-505			○			<p>【原因】 メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。</p> <p>【処置】 POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。 POP3 サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。</p> <p>参照 ・「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) ・CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ</p>
031-506			○			<p>【原因】 SMTP サーバー / POP3 サーバーが設定されていません。</p> <p>【処置】 SMTP サーバー、POP3 サーバーが設定されているかを確認してください。 SMTP サーバー、POP3 サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。</p> <p>参照 ・「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) ・CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ</p>

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-507			○			<p>【原因】 メール送信時にSMTPサーバーへのログインに失敗しました。</p> <p>【処置】 SMTP サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。 SMTPサーバーの設定は、CentreWare Internet Servicesで確認、および変更できます。</p> <p>参照 ・「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) ・CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ</p>
031-511				○		<p>【原因】 USBフラッシュメモリーが認識できません。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。 ・USBフラッシュメモリーのフォーマット形式を確認してください。対応している形式は、2GB以下のFAT形式またはFAT32形式です。 ・USBフラッシュメモリーにフォーマット異常がないかを確認してください。 ・USBフラッシュメモリーの接続を確認してください。 ・USBフラッシュメモリーが故障していないかどうかを確認してください。</p> <p>参照 ・USBフラッシュメモリーのフォーマット形式について： 「スキャン機能の主な仕様」(P. 319)</p>
031-512				○		<p>【原因】 メディア保存で書き込みエラーが発生しました。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。 ・USBフラッシュメモリーにライトプロテクト機能がある場合は解除してください。 ・USBフラッシュメモリーが故障していないかどうかを確認してください。 ・保存先パスが存在しているかどうかを確認してください。 ・保存先に指定したUSBフラッシュメモリーのフォルダーにあるファイルを削除して、スキャンし直してください。</p>
031-515				○		<p>【原因】 USBフラッシュメモリー内のファイル数が上限に達しました。</p> <p>【処置】 保存先に指定したUSBフラッシュメモリーのフォルダーにあるファイルを削除して、スキャンし直してください。</p>
031-521		○				<p>【原因】 SMBでPC保存しようとしたが、ログイン可能なコンピューターが制限されていました。</p> <p>【処置】 指定したユーザーのプロパティ情報を確認し、ログイン可能なコンピューターが制限されていないかを確認してください。</p>
031-522		○				<p>【原因】 ユーザー名またはパスワードが間違っているため、スキャンデータの転送時に、SMBサーバー（保存先のコンピューター）にログインできませんでした。</p> <p>【処置】 システム管理者にユーザー名またはパスワードを確認してください。</p>
		○				<p>【原因】 SMBサーバー（保存先のコンピューター）とスキャナーの時刻が一致していません。(Windows Server 2003の場合に発生)</p> <p>【処置】 Windows Server 2003の場合、SMBサーバー（保存先のコンピューター）とスキャナーの時刻を一致させてください。</p>

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-523		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）にログインしたときに、SMB サーバーの共有名に、次のような問題がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定された共有名がサーバー上に存在しません。 ・ 指定された共有名に禁則文字が使用されていました。 <p>【処置】 指定した共有名を確認して、正しく設定してください。</p>
031-524		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）にログインしたときに、ユーザー数が制限を超えました。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共有フォルダーの接続ユーザー数の制限を確認してください。 ・ サーバーの同時使用ユーザー数が最大数を超えていないかを確認してください。
031-525		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）へのアクセス権がありません。</p> <p>【処置】 指定した保存場所で、ファイルやフォルダーの読み取り、および書き込みができるように設定してください。</p>
031-526		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、DNS アクセス時に、保存先に指定したコンピューターが、ネットワーク上に見つかりませんでした。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DNS サーバーとの接続を確認してください。 ・ 保存先のコンピューター名が DNS サーバーに登録されているかを確認してください。 ・ 保存先の指定が正しいかを確認してください。
031-527		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、DNS アクセス時に、DNS サーバーが設定されていませんでした。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DNS サーバーアドレスを設定してください。 ・ 保存先コンピューターのアドレスを IP アドレスで設定してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-528		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、コンピューターとの接続に問題がありました。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存先の SMB サーバー（コンピューター）とスキャナーがネットワーク通信できる状態にあるかを確認してください。たとえば、次の内容を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - ネットワークケーブルの接続確認 - TCP/IP 設定確認 - 137 番ポート（UDP）、139 番ポート（TCP）による通信の確認 ・ 保存先のコンピューターが SMB サーバーとして動作しているか、次のネットワーク設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft ネットワーク用のファイル共有サービスが有効になっていること - TCP/IP 設定において NetBIOS over TCP/IP が有効になっていること - ファイアウォール設定において、ファイル共有サービス（137 番ポート（UDP）、139 番ポート（TCP）による通信）が許可されていること ・ サブネットを越える通信の場合、CentreWare Internet Services で WINS サーバーの設定を確認してください。WINS サーバーを使用しない場合、保存先は IP アドレスで指定してください。 ・ 保存先の SMB サーバー（コンピューター）で NetBIOS インターフェイスデバイスが、開始されているかを確認してください。（Windows NT4.0 Server/Workstation の場合）確認方法は次のとおりです。 <ol style="list-style-type: none"> 1 [スタート] メニュー > [設定] を選択し、[コントロールパネル] を開く。 2 [サービス] を開き、[Messenger] サービスを選択する。 3 [スタートアップ] > [自動] > [OK] の順に選択し、[閉じる] を選択する。 4 [コントロールパネル] の [デバイス] を開き、[NetBIOS インターフェイス] デバイスを選択する。 5 [スタートアップ] > [自動] または [手動] > [OK] の順に選択し、[閉じる] を選択する。 6 コンピューターを再起動する。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) ・ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-529		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、指定したパスワードが間違っています。</p> <p>【処置】 共有フォルダーに設定したパスワードを確認してください。</p>

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-530		○				<p>【原因】 SMBでPC保存しようとしたのですが、指定されたスキャンデータの保存場所かファイル名に、次のいずれかの問題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された保存場所がSMBサーバー（保存先のコンピューター）上に存在しません。 指定された保存場所かファイル名に、禁則文字が使用されていました。 指定された保存場所は、分散ファイルシステム（DFS）設定のため、別の共有フォルダーにリンクされています。 <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存場所が正しいかを確認します。 指定したファイル名がSMBサーバー（保存先のコンピューター）上に作成可能なファイル名かを確認します。 システム管理者に分散ファイルシステム（DFS）の設定を確認します。 <p>確認方法は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> SMBサーバー（保存先のコンピューター）上で、[スタート]メニュー> [すべてのプログラム] > [管理ツール] > [分散ファイルシステム] を選択する。 [分散ファイルシステム]ウインドウの左枠から指定した保存場所を選択し、ウインドウの右枠に表示される[ターゲット] 情報を確認する。 確認した情報に基づいて、SMBサーバー（保存先のコンピューター）、共有名、および保存場所を直接指定する。
031-531		○				<p>【原因】 SMBでPC保存しようとしたのですが、SMBサーバー（保存先のコンピューター）上でのファイル名またはフォルダー名の取得に失敗しました。</p> <p>【処置】 SMBサーバー（保存先のコンピューター）の保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。</p>
031-532		○				<p>【原因】 SMBでPC保存しようとしたのですが、SMBサーバー（保存先のコンピューター）上でのファイル名またはフォルダー名のサフィックスが制限値を超えました。</p> <p>【処置】 SMBサーバー（保存先のコンピューター）のファイル名または保存先フォルダーを変更してください。または、保存先フォルダー内のファイルを移動するか、削除してください。</p>
031-533		○				<p>【原因】 SMBでPC保存しようとしたのですが、次の理由により、SMBサーバー（保存先のコンピューター）上でのスキャンデータのファイル作成に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定されたファイル名は、サーバー上にすでに存在しています。 指定されたファイルは、使用されています。 指定されたファイル名は、フォルダーとしてすでに存在しています。 指定されたファイル名に、禁則文字が使用されていました。 <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定したファイル名が、保存場所に作成可能なファイル名かを確認してください。 指定したファイルが、別のユーザーによって使用されていないかを確認してください。 指定したファイル名と同じ名前のファイル、またはフォルダーが存在するかを確認してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-534		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのフォルダー作成に失敗しました。指定したフォルダーは、すでに存在します。</p> <p>【処置】 指定した名前と同じ名前のファイルまたはフォルダーが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上にあるかを確認してください。</p>
031-535		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、次の理由により、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのファイルの削除に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルが存在しません。 ・すでにファイルがオープンされています。 ・指定したファイル名はフォルダーとして、すでに存在しています。 <p>【処置】 指定した保存場所で、ほかのユーザーがファイル操作を行っていないかを確認してください。</p>
031-536		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、次の理由により、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上でのフォルダーの削除に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルが存在しません。 ・フォルダーが空ではありません。 <p>【処置】 指定した保存場所で、ほかのユーザーがファイル操作を行っていないかを確認してください。</p>
031-537		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）上の保存先に空き領域がありませんでした。</p> <p>【処置】 保存場所に空き領域があるかを確認してください。</p>
031-539		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、SMB サーバー（保存先のコンピューター）名の、NetBIOS 名の指定が正しくありませんでした。</p> <p>【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）のサーバー名が正しいかを確認してください。</p>
031-542		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、内部エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
031-543		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、ログインできない時間帯でした。</p> <p>【処置】 システム管理者にログインが許可されている時間帯を確認してください。</p>
031-544		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、パスワードの有効期間が過ぎていました。</p> <p>【処置】 システム管理者から有効なパスワードを取得してください。</p>
031-545		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、パスワードの変更が必要でした。</p> <p>【処置】 ユーザーアカウントのパスワードを変更してください。システム管理者に、次回ログイン時のパスワード変更をしなくてよいように、設定を変更してもらってください。</p>

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-546		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、ユーザーが無効になっていました。</p> <p>【処置】 システム管理者に、ユーザーの有効化を依頼してください。</p>
031-547		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、ユーザーがロックアウトされていました。</p> <p>【処置】 システム管理者に、ロックアウトの解除を依頼してください。</p>
031-548		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、ユーザーの有効期間が過ぎていました。</p> <p>【処置】 システム管理者から有効なユーザーを取得してください。または、システム管理者にアカウントの期限の延長を依頼してください。</p>
031-549		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、ユーザーが制限されていました。空パスワードは許可されていません。</p> <p>【処置】 ユーザーのパスワードを設定してください。</p>
031-550		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、ファイルに対する書き込み処理に失敗しました。</p> <p>【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）の保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。</p>
031-551		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、ファイルに対するファイル生成処理に失敗しました。</p> <p>【処置】 SMB サーバー（保存先のコンピューター）の保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。</p>
031-552		○				<p>【原因】 SMB で PC 保存しようとしたのですが、[ファイル名重複時の処理] が [ジョブを中止（保存しない）] に設定されているため、ファイルを保存できませんでした。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存先にある同名のファイルを削除、または名前を変更して、もう一度スキャンしてください。 ・ [ファイル名重複時の処理] を [ジョブを中止（保存しない）] 以外に設定して、もう一度スキャンしてください。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「3.4 PC に保存する」 (P. 66)
031-574		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、保存先に指定したサーバー名のコンピューターが、ネットワーク上に見つかりませんでした。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DNS サーバーとの接続を確認してください。 ・ 保存先の FTP サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
031-575		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、DNS サーバーが設定されていませんでした。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DNS サーバーアドレスを設定してください。 ・ 保存先の FTP サーバーのアドレスを IP アドレスで設定してください。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-576		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、サーバーに接続できませんでした。</p> <p>【処置】 保存先の FTP サーバーとスキャナーがネットワーク通信できる状態にあるかを確認してください。たとえば、次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FTP サーバーの IP アドレスが正しいかどうかを確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続を確認してください。 ・ 保存先のコンピューターの、FTP サーバーが起動しているかを確認してください。
031-578		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、ログインできませんでした。</p> <p>【処置】 ログイン名（ユーザー名）およびパスワードが正しいかを確認してください。</p>
031-579		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、FTP サーバーへの接続後、スキャンデータを保存場所に保存できませんでした。</p> <p>【処置】 保存場所の指定が正しいかを確認してください。</p>
031-580		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバーのファイル名 / フォルダー名の取得に失敗しました。</p> <p>【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。</p>
031-581		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、FTP サーバーへの接続後、ファイル名 / フォルダー名のサフィックスが制限値を超えました。</p> <p>【処置】 ファイル名または保存先フォルダーを変更してください。または、保存先フォルダー内のファイルを移動するか、削除してください。</p>
031-582		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、FTP サーバーへの接続後、ファイルの作成に失敗しました。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定した名前が、保存場所に作成可能なファイル名かを確認してください。 ・ 保存場所に、空き領域があるかを確認してください。
031-584		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、FTP サーバーへの接続後、フォルダーの作成に失敗しました。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定した名前が、保存場所に作成可能なフォルダー名かを確認してください。 ・ 指定した名前と同じ名前のフォルダーが、すでに存在していないかを確認してください。 ・ 保存場所に、空き領域があるかを確認してください。
031-585		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバー内でのファイルの削除に失敗しました。</p> <p>【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。</p>
031-587		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたのですが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバー内でのフォルダーの削除に失敗しました。</p> <p>【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。</p>

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-588		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、FTP サーバーへのデータ書き込みに失敗しました。</p> <p>【処置】 保存場所に、空き領域があるかを確認してください。</p>
031-590		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、[ファイル名重複時の処理] が [ジョブを中止 (保存しない)] に設定されているため、ファイルを保存できませんでした。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存先にある同名のファイルを削除、または名前を変更して、もう一度スキャンしてください。 ・[ファイル名重複時の処理] を [ジョブを中止 (保存しない)] 以外に設定して、もう一度スキャンしてください。 <p>参照 ・「3.4 PC に保存する」(P. 66)</p>
031-594 031-595		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、ネットワークエラーが発生しました。</p> <p>【処置】 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
031-597		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、同名ファイルあるいはフォルダーがあったため、処理を中止しました。</p> <p>【処置】 複数の機械から同一サーバーの同一フォルダーにアクセスしない状態で、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
031-598		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、ファイルに対する書き込み処理に失敗しました。</p> <p>【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。</p>
031-599		○				<p>【原因】 FTP で PC 保存しようとしたが、FTP サーバーへの接続後、ファイルに対するファイル生成処理に失敗しました。</p> <p>【処置】 FTP サーバーの保存先フォルダーのアクセス権を確認してください。</p>
031-700	○					<p>【原因】 接続プリンターに異常が発生しました。</p> <p>【処置】 プリンターの操作パネルを確認してください。対処方法はプリンターの取扱説明書を参照してください。</p>
031-701	○					<p>【原因】 接続プリンターとの通信が遮断されました。</p> <p>【処置】 スキャナーとプリンターの接続を確認し、プリンターの電源が入っていることを確認してください。</p>
031-702	○					<p>【原因】 接続プリンター側でジョブが中止されました。</p> <p>【処置】 プリンターを確認してください。</p>

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-710	○	○	○	○		<p>【原因】 読み取り範囲の認識に失敗しました。</p> <p>【処置】 原稿をセットし直し、スキャンし直してください。 再び同じメッセージが表示された場合は、表示内容を書き写してください。 そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>
031-722					○	<p>【原因】 宛先表の保存 / 復元に失敗しました。</p> <p>【処置】 CentreWare Internet Services、DocuScan マネージャーからアクセスしている可能性があります。 CentreWare Internet Services、DocuScan マネージャーからのアクセスを中止して、保存 / 復元し直してください。</p>
031-723					○	<p>【原因】 宛先表の復元に失敗しました。</p> <p>【処置】 宛先表の内容が適正でない可能性があります。スキャナーから保存した宛先表かどうかを確認してください。</p>
031-724					○	<p>【原因】 スキャナー内の宛先数が最大登録可能数（350 件）を超えたため、すべての宛先表データを復元できませんでした。</p> <p>【処置】 CentreWare Internet Services または DocuScan マネージャーで、スキャナー内の不要な宛先を削除してから、復元を行ってください。</p> <p>参照 <ul style="list-style-type: none"> ・「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) ・CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ ・DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ </p>
031-730 031-731					○	<p>【原因】 設定 / 登録データの保存に失敗しました。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・USB フラッシュメモリーが抜けていないかを確認してください。 ・USB フラッシュメモリーに不良（空き容量含む）がないかを確認してください。 ・USB フラッシュメモリーがライトプロテクトされていないかを確認してください。 </p>
031-732					○	<p>【原因】 設定 / 登録データの復元に失敗しました。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・USB フラッシュメモリーが抜けていないかを確認してください。 ・USB フラッシュメモリーに不良（空き容量含む）がないかを確認してください。 ・復元するファイルが壊れていないかを確認して、再度、復元を実行してください。 </p>
031-733					○	<p>【原因】 設定 / 登録データの復元に失敗しました。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・復元するファイルが壊れていないかを確認して、再度、復元を実行してください。 </p>
031-764			○			<p>【原因】 SMTP サーバーとの接続時にエラーが発生しました。</p> <p>【処置】 システム管理者にご相談ください。</p>
031-765			○			<p>【原因】 SMTP サーバーの容量が不足しています。</p> <p>【処置】 システム管理者にご相談ください。</p>

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-766			○			<p>【原因】 SMTP サーバーで、メールボックスの容量が不足しています。</p> <p>【処置】 システム管理者にご相談ください。</p>
031-767			○			<p>【原因 1】 宛先のメールアドレスが正しくありません。</p> <p>【処置 1】 メールアドレスを確認して、スキャンし直してください。</p> <p>【原因 2】 SMTPサーバーでPOP before SMTP認証エラーが発生しました。</p> <p>【処置 2】 送信時の認証方式がPOP before SMTPかどうかを確認してください。POP before SMTP 認証を使用する場合は、POP3 サーバーの設定が必要です。送信時の認証方式、およびPOP3 サーバーの設定は、CentreWare Internet Services で確認、および変更できます。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) ・CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
031-768			○			<p>【原因】 送信元のメールアドレスが正しくありません。</p> <p>【処置】 メールアドレスを確認して、スキャンし直してください。</p>
031-786		○				<p>【原因】 スキャンデータの送受信でタイムアウトエラーが発生しました。</p> <p>【処置】 ネットワークケーブルが断線していないか、正しく接続されているかどうかを確認してください。ネットワークケーブルに問題がない場合は、システム管理者にご相談ください。</p>
031-788		○		○		<p>【原因】 ファイル名が同じファイルが存在しました。</p> <p>【処置】 以下のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル名重複時の処理で [上書き保存] を指定するか、[ファイル名を変更して保存] を指定してください。 ・保存先の同一名のファイルを削除してください。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3.4 PC に保存する」(P. 66)
031-950				○		<p>【原因】 USB フラッシュメモリーの空き容量が不足しています。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・USB フラッシュメモリーに保存できる空き容量を確保してください。 ・原稿の枚数を減らしてください。 ・解像度を下げてください。 ・フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げてください。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読み取り解像度 (読み取る解像度を指定してスキャンする)」(P. 108) ・「画像圧縮率 (画像の圧縮率を指定してスキャンする)」(P. 104)

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-951				○		<p>【原因】 メディア保存しようとしたファイルサイズが上限に達しました。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げてください。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」 (P. 108) ・ 「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」 (P. 104)
031-985			○			<p>【原因】 メール送信できるデータサイズの上限に達しました。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のデータサイズ上限値を増やしてください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のページ分割送信の単位を少なくしてください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は圧縮率を上げてください。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」 (P. 15) ・ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ ・ 「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」 (P. 108) ・ 「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」 (P. 104)
031-986		○	○	○		<p>【原因】 保存しようとしたファイルサイズがファイルフォーマットの上限に達しました。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ フルカラーでスキャンする場合は、圧縮率を上げてください。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読み取り解像度（読み取る解像度を指定してスキャンする）」 (P. 108) ・ 「画像圧縮率（画像の圧縮率を指定してスキャンする）」 (P. 104)

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
031-987			○			<p>【原因】 スキャンデータを蓄積する本機内のメモリーがいっぱいになりました。</p> <p>【処置】 以下のいずれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のデータサイズ上限値を増やしてください。 ・ CentreWare Internet Services で、メール送信のページ分割送信の単位を少なくしてください。 ・ 解像度を下げてください。 ・ 画像を縮小して (A3 → A4 など)、再送信してください。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」 (P. 15) ・ CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ ・ 「読み取り解像度 (読み取る解像度を指定してスキャンする)」 (P. 108) ・ 「画像圧縮率 (画像の圧縮率を指定してスキャンする)」 (P. 104)
062-360					○	<p>【原因】 キャリッジロックがロックされている可能性があります。</p> <p>【処置】 いったん電源を切り、キャリッジロックを解除してから、電源を入れ直してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「10.3 スキャナーを移動するときは」 (P. 312) ・ 「2.3 電源を入れる / 切る」 (P. 46)
062-790	○	○	○	○		<p>【原因】 読み込んだ原稿が、コピー禁止の原稿です。</p> <p>【処置】 『セットアップ & クイックリファレンスガイド』の「法律上の注意事項」を参照して、コピーできる原稿を確認してください。</p>
131-701		○		○		<p>【原因】 PC 保存またはメディア保存で、ファイル名を変更して保存しました。</p> <p>【処置】 [閉じる] を押します。</p>
131-702		○		○		<p>【原因】 PC 保存またはメディア保存で、ファイル名を上書きして保存しました。</p> <p>【処置】 [閉じる] を押します。</p>
131-703	○	○	○	○		<p>【原因】 スキャンした総枚数が最大蓄積枚数 (500 枚) を超えました。</p> <p>【処置】 ページを確認して残りの原稿を再セットし、スキャンし直してください。</p>

その他のエラーについて

以下のようなメッセージが表示された場合の処置について説明します。

エラーコード	分類					原因 / 処置
	C	P	M	U	O	
機械内部に異常が発生しました。 電源を切り、画面の表示が消えるのを確認してから電源を入れてください。 (xxx-yyy)	○	○	○	○	○	<p>【原因】 エラーが発生しました。</p> <p>【処置】 電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、再度、電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、「xxx-yyy」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのタッチパネルディスプレイが消灯してから、当社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。</p>

9.7 こんなときには Q & A

スキャナーを使っていて、「こんなときには、どうしたらいい?」といった疑問への回答を記載しています。

疑 問	回 答
機械管理者暗証番号を忘れて、[仕様設定]画面を表示できません。どうしたらいいですか	<p>機械管理者暗証番号を設定している場合、暗証番号を入力しないではできません。</p> <p>どうしても思い出せない場合は、当社プリンターサポートデスクにお問い合わせください。機械管理者暗証番号を忘れないように管理してください。</p>
暗証番号を入力する画面が表示されました。何を入力すればいいですか	<p>鍵マークのついた宛先表フォルダーを選択していますか?</p> <p>宛先表フォルダーに設定されている暗証番号を入力してください。</p> <p>参照 ・「8.2 宛先を登録する」(P. 231)</p>
	<p>[仕様設定] を押ししましたか?</p> <p>機械管理者暗証番号を入力してください。</p> <p>参照 ・「7.8 機械管理者情報の設定」(P. 227)</p>
	<p>〈PC 保存〉や〈コピー〉などのボタンを押ししましたか?</p> <p>機能認証の暗証番号を入力してください。</p> <p>参照 ・「7.4 共通設定」(P. 174)</p>
ネットワーク環境がない場合、何の機能が使えますか	<p>メディア保存とコピー機能が使えます。</p> <p>メディア保存機能は、直接スキャナーに差し込んだ USB フラッシュメモリーに、スキャンデータを保存します。コピー機能は、直接 USB ケーブルで接続したプリンターを使用し (USB2.0 接続)、ネットワークを経由しません。</p>
USB コネクタが、いくつかありますが、それぞれ何に使うのですか	<p>USB コネクタは、前面、背面、側面のいずれかにあります。</p> <p>前面の USB コネクタは、メディア保存機能を使うときに USB フラッシュメモリーを挿入します。</p> <p>背面 / 側面の USB コネクタは、メディア保存機能を使うときに USB フラッシュメモリーを挿入したり、コピー機能を使うときにプリンターと接続するために使用したりします。</p> <p>なお、同時に複数のプリンターは接続できません。また、USB コネクタを使ってコンピューターとは接続できません。</p> <p>参照 ・「2.1 各部の名称と働き」(P. 35) ・「3.6 メディアに保存する」(P. 88) ・『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「1 スキャナーの設置」</p>
コピーのときに、プリンターに取り付けてあるフィニッシャーは使えますか	<p>プリンターにフィニッシャーを取り付けている場合でも、コピー時にフィニッシャーの機能は使用できません。</p>
毎回 [カラーモード] を設定しないで済む方法はありますか	<p>初期値を変更してください。</p> <p>または、スキャンの定型設定をしてください。</p> <p>参照 ・「7.7 スキャナー設定」(P. 213) ・「8.2 宛先を登録する」(P. 231)</p>

疑問	回答
<p>原稿はどうしたら正しい向きに取り込めますか</p>	<p>コンピューターに取り込んでから、向きを直してください。 たとえば、A3 でよこ向きの原稿をたて長にセットしたら、原稿ガラスからはみ出してしまいます。A4 より大きいよこ向きの原稿を読み込むときは、よこ長にセットするしかありません。コンピューターに取り込んでから DocuScan マネージャー、DocuWorks などのソフトウェアで開いて修正してください。 DocuScan マネージャーは、同梱の「Software Pack」CD-ROM からインストールできます。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インストール方法：『ソフトウェアバック操作ガイド』 ・ 修正のしかた：「8.6 画像を1つずつ編集する」(P. 262)
<p>両面原稿をスキャンして、コンピューターで開いたら、向きが指定したとおりではありません。どうしてですか</p>	<p>JPEG または TIFF の場合は、両面のセット向きを指定しても無効になります。 原稿送り装置を使って両面の原稿をスキャンする場合、[原稿セット向き指定] を [読める向き] にすると、コンピューターで開いたときに正しい向きで取り込めます。ただし、この機能は、出力ファイル形式を PDF または DocuWorks 文書にした場合にだけ働きます。JPEG または TIFF の場合は、コンピューターに取り込んでからソフトウェアで開いて修正してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿セット向き指定：「3.8 その他のスキャン項目を設定する」(P. 103) ・ 出力ファイル形式：「3.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 95) ・ 修正のしかた：「8.6 画像を1つずつ編集する」(P. 262)
<p>DocuWorks 文書にしたいのですが、ファイル形式はどこで選ぶのですか</p>	<p>スキャンをするときに、[基本スキャン] 画面の [出力ファイル形式] で変更してください。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「3.7 基本スキャン項目を設定する」(P. 95)
<p>PC 保存、メディア保存のときに、フォルダーが自動的に作成されないようにできますか</p>	<p>スキャンをするときに、変更できます。または、仕様設定で初期値を変更できます。 スキャンをするときは、[PC 保存先] / [保存先] 画面で、[ファイル名変更...] > [詳細設定...] > [フォルダー作成] > [しない] を選択すると、自動作成しない設定に変更できます。 初期値を変更するときは、操作パネルで、[仕様設定] > [スキャナー設定] > [スキャナー名の詳細設定] > [1. フォルダー作成] > [しない] を選択すると、自動作成しない設定に変更できます。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PC 保存時の変更：「フォルダー作成」(P. 75) ・ メディア保存時の変更：「フォルダー作成」(P. 92) ・ 初期値の変更：「フォルダー作成」(P. 220)
<p>自動で付くファイル名の「img-xxx」のルールを変える方法がありますか</p>	<p>スキャンをするときに、変更できます。 PC 保存、メディア保存のときは、[PC 保存先] / [保存先] 画面の [ファイル名変更...] を押して変更します。 メール送信のときは、[メール宛先] 画面で [詳細設定...] を押し、[詳細設定] 画面で [ファイル名] を選択して、[設定 / 変更] を押し、変更します。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「3.4 PC に保存する」(P. 66) ・ 「3.5 メールで送信する」(P. 79) ・ 「3.6 メディアに保存する」(P. 88)
<p>高圧縮 PDF に対応していますか</p>	<p>対応していません。 通常の圧縮での PDF ファイルになります。</p>

疑問	回答
宛先表フォルダーに鍵のマークが表示されています。どうしてですか	<p>鍵のマークが表示されている宛先表フォルダーには、暗証番号が設定されています。</p> <p>鍵のマークが表示されている宛先表フォルダーを選択すると、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力すると、開けます。</p> <p>参照 ・「5.3 スキャナーでの宛先表の使い方」(P. 161)</p>
宛先表とは何ですか	<p>宛先とは、PC 保存の保存先、メール送信の送信先、メディア保存の保存先のことです。</p> <p>宛先表は、宛先を登録した情報の集まりです。宛先表を使うと、スキャンするときに宛先を選択するだけで、保存先や送信先の指定ができます。</p> <p>参照 ・宛先の登録：「8.2 宛先を登録する」(P. 231)</p>
1つのデータとしてスキャンできる枚数は何枚ですか	<p>500枚です。</p> <p>画面に表示される【次原稿あり】を使って、1つのデータ(ジョブ)としてスキャンできます。</p> <p>参照 宛先の登録：「次の原稿があるとき」(P. 60)</p>
スキャンが正常に完了したか確認することができますか	<p>ジョブ一覧を表示して、正常にスキャンが完了したかどうかを確認できます。</p> <p>同じように、コピーが正常に完了したかどうかを確認できます。</p> <p>参照 ・「6 ジョブを確認する」(P. 168)</p>
スキャンしたとき、コンピューターへの接続やスキャン開始に時間がかかる場合、実行中のジョブをキャンセルする方法はありますか	<p>キャンセルできません。</p> <p>ただし、コンピューターへの接続を、自動的に中止するまでの時間を短くできます。</p> <p>設定は、CentreWare Internet Servicesで行います。</p> <p>SMBの場合： [プロパティ] > [SMB クライアント] で、[接続開始タイムアウト]の時間を短くします。</p> <p>FTPの場合： [プロパティ] > [FTP クライアント] で、[接続開始タイムアウト]の時間を短くします。</p>
Macintoshでスキャン文書は、取り込めますか	<p>取り込めます。</p> <p>Windowsと同じように、PC保存できます。あらかじめ、Mac OS X側で設定が必要です。</p> <p>参照 ・「Mac OS X に保存するための設定」(P. 30)</p>
[送信者]には、どのようなアドレスを入力したらいいですか	<p>受信できるメールアドレスを設定してください。</p> <p>エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。メール送信をするときは、[送信者]には、スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなど、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。</p>
分割して送信できますか	<p>CentreWare Internet Servicesの【プロパティ】>【プロトコル設定】>【メール】の【分割送信のページ単位】で、ページ分割送信の単位を設定できます。</p> <p>参照 ・CentreWare Internet Servicesのオンラインヘルプ</p>

疑問	回答
<p>スキャナーでメールを受信できますか</p>	<p>メールは受信できません。 しかし、エラー時に、メールサーバーから送信者にメールが送られることがあります。メール送信をするときは、[送信者] や [返信先アドレス] に、スキャナーの機械管理者のメールアドレス、またはメール送信実行者のメールアドレスなど、受信できるメールアドレスを設定することをお勧めします。</p>
<p>かんたん設定モードを使用するときに、知っておくことはありますか</p>	<p>Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Vista を使用している場合、Administrators または Power Users グループのユーザーでログオンして作業してください。</p> <p>Windows XP Professional を、ワークグループに接続されたネットワーク環境で使用している場合、保存先フォルダーの [フォルダオプション] で、[簡易ファイルの共有を使用する (推奨)] のチェックを外してください。</p> <p>参照 ・『セットアップ & クイックリファレンスガイド』「2 スキャンの準備」の「PC 保存の準備をする」</p> <p>かんたん設定モードで作成した宛先は、サーバー名に NetBIOS 名を使っています。このため、コンピューターとスキャナーが異なるサブネットにあって、かつ WINS を使用していない環境では、スキャン時にネットワーク転送エラーになります。保存先コンピューターに固定 IP アドレスを設定してから、宛先の登録内容の [サーバー名] を固定 IP アドレスに変更してください。</p> <p>参照 ・「8.3 宛先の登録内容を変更する」(P. 255)</p> <p>保存先が Windows XP Home Edition の場合は、かんたん設定モードは使用できません。</p>
<p>スキャナーの IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスはどこで確認できますか</p>	<p>操作パネルで確認できます。 IP アドレスとサブネットマスクは、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で確認。 MAC アドレスは、[仕様設定] > [共通設定] > [ソフトウェアバージョン] で確認。</p>
<p>コンピューターの IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレスはどこで確認できますか</p>	<p>次の操作で確認できます。</p> <p>Windows XP の場合： コントロールパネルの [ネットワーク接続] を表示して、[ローカルエリア接続] を右クリックし、[状態] を選択します。[サポート] タブで、IP アドレス、サブネットマスクを確認できます。[サポート] タブで [詳細...] をクリックすると、MAC アドレス (物理アドレス) を確認できます。詳細は、各 OS のオンラインヘルプを参照してください。</p> <p>Mac OS X の場合： アップルメニューから、[システム環境設定] > [ネットワーク] > [TCP/IP] を選択します。詳細は、Mac ヘルプを参照してください。</p>
<p>SMB で PC 保存をする場合、開放されていない具体的なポート・プロトコルは何ですか</p>	<p>保存先のコンピューターの、ポート 139 (TCP) と 137 (UDP) の両方が開放されている必要があります。 どちらか片方が開放されただけでは、SMB で PC 保存はできません。</p>

疑 問	回 答
サブネットが異なる場合の注意はありますか	<p>Windows XP ServicePack2、Windows Vista の場合： Windows ファイアウォールの [例外] タブの設定で、[ファイルとプリンタの共有] にチェックが入っていたとしても、[ファイルとプリンタの共有] のスコープの設定が、Windows XP SP2 の場合、[ユーザーのネットワーク (サブネットのみ)]、Windows Vista の場合、[ローカルサブネット] に設定されていると、異なるサブネットのコンピューターへの転送はできません (スキャナーと同一サブネット上のコンピューターに対しては転送できます)。 異なるサブネット上のコンピューターに対して転送する場合には、スコープの設定を任意、カスタムなどへ変更してご利用ください。 スコープの設定についての詳細は、Windows のオンラインヘルプを参照してください。</p>

10 日常管理

10.1 Web ブラウザーでスキャナーの状態を確認 / 管理する

本機を TCP/IP 環境に設置すると、ネットワーク上のコンピューターの Web ブラウザーを使用して、本機の状態を確認したり、本機の設定を行ったりできます。

この機能を、CentreWare Internet Services と呼びます。

CentreWare Internet Services では、本機で使用する宛先表の設定なども行うことができます。

参照

- 宛先表の詳細：「5 宛先表 / 登録リストを使用する」(P. 150)



補足

- 詳しい CentreWare Internet Services の使用方法については、「1.4 CentreWare Internet Services で スキャナーを設定する」(P. 15) を参照してください。

10.2 スキャナーの清掃

ここでは、本機の清掃について説明します。
本体外部、本体内部の清掃方法に分けて説明します。

⚠ 注意

- ・ 機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
- ・ 機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

注記

- ・ 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- ・ ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック製品の塗装、コーティングなどを傷めることがあります。
- ・ 水でぬらしすぎると、機械が故障したりスキャン / コピーするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

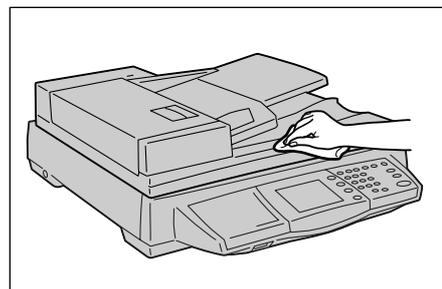
補足

- ・ 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

本体外部の清掃

本体外部の清掃について説明します。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側をふきます。
2. 柔らかい布で、水分をふき取ります。



本体内部の清掃

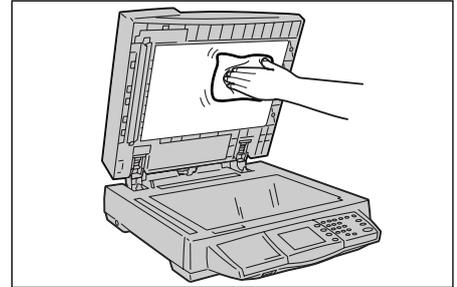
いつもきれいなスキャン / コピーをするために、1 か月に 1 回をめぐりに清掃してください。

原稿カバーの清掃

補足

- ・ 原稿カバーが汚れていると、スキャンやコピー時に汚れや、原稿サイズを正しく検知しないことがあります。

1. 水で湿らせた柔らかい布で、原稿カバーの汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。

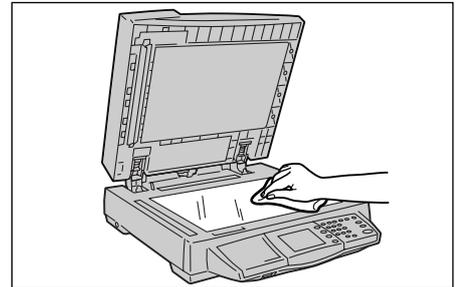


原稿ガラスの清掃

補足

- ・ 原稿ガラスが汚れていると、スキャンやコピー時に汚れが出る場合があります。

1. 水で湿らせた柔らかい布で、原稿ガラスの汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。

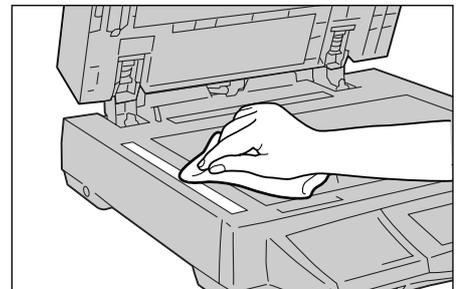


原稿読み取り部の清掃

補足

- ・ 原稿読み取り部が汚れていると、スキャンやコピー時に汚れや、原稿づまりを起こすことがあります。

1. 水で湿らせた柔らかい布で、原稿読み取り部の汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。



フィルム部の清掃

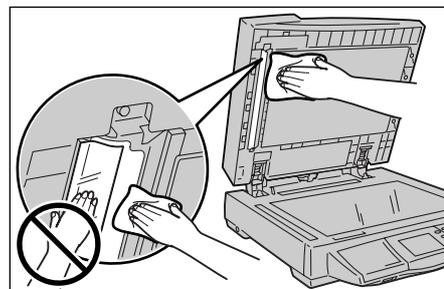
注記

- ・フィルム部は破損または変形しやすいので、強く押しすぎないでください。
- ・DocuScan C4260 の場合、白いフィルムと透明のフィルムがあります。透明のフィルムには触らないでください。

補足

- ・フィルム部が汚れていると、スキャンやコピー時に汚れが出る場合があります。

1. 水で湿らせた柔らかい布で、フィルム部の汚れをふき取り、乾いた柔らかい布でからぶきします。



ローラー部の清掃

ローラー部が汚れていると、スキャンやコピー時に汚れや、原稿づまりを起こす原因になることがあります。

いつもきれいなスキャン、コピーをするために、30,000 枚に 1 回をめぐりに清掃してください。

ローラー部は、水で濡らして固く絞った柔らかい布で清掃します。

注記

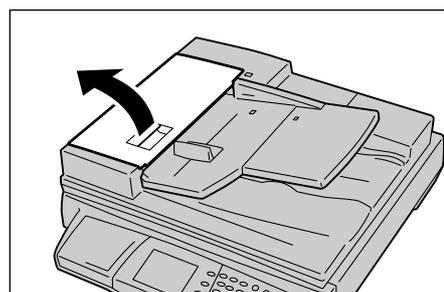
- ・布は水滴が落ちない程度に固く絞ってご使用ください。内部に水滴が落ちると、誤動作を起こす場合があります。

■ DocuScan C4260 の場合

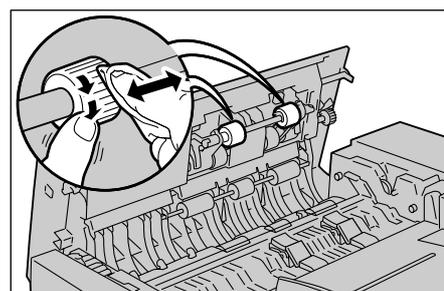
1. 自動原稿送り装置の左側カバーのレバーを引き上げて、左側カバーを止まるまで開けます。

補足

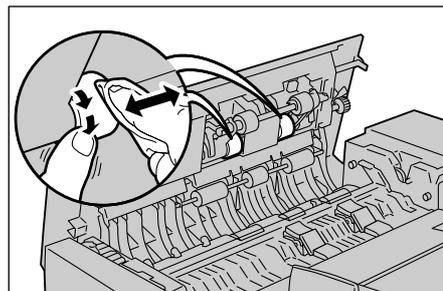
- ・カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。



2. ピックアップローラー (2 個) を手で回しながら、図の矢印方向へ清掃します。

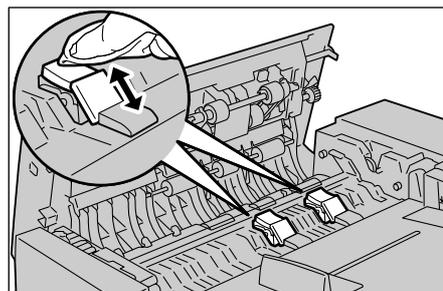


3. 給紙ローラー（2個）を手で回しながら、図の矢印方向へ清掃します。

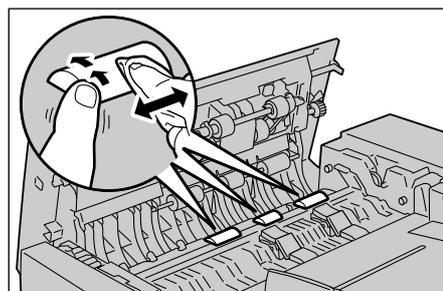


4. 分離パッド（2個）の表面を図のように清掃します。

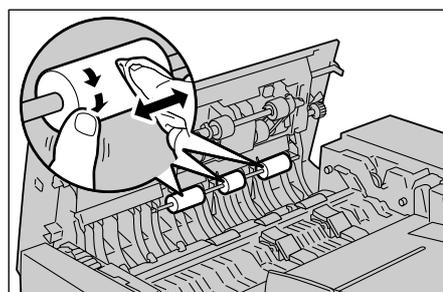
5. 分離パッドの前サバキゴムを図の矢印方向へ清掃します。



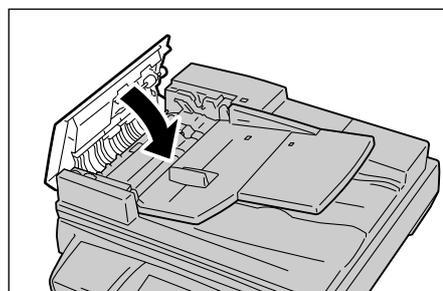
6. レジローラー（3個）を手で回しながら、図の矢印方向へ清掃します。



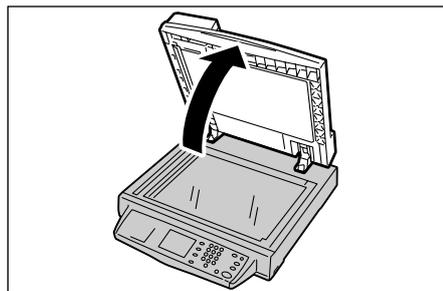
7. レジコロ（3個）を手で回しながら、図の矢印方向へ清掃します。



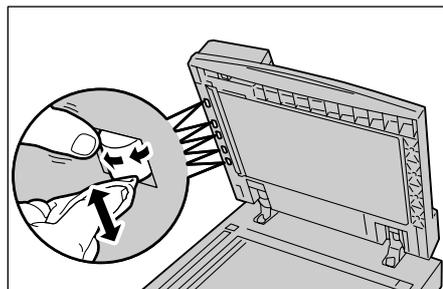
8. 自動原稿送り装置の左側カバーを、カチッと音がしてはまるまで、閉じます。



9. 原稿カバーを開けます。

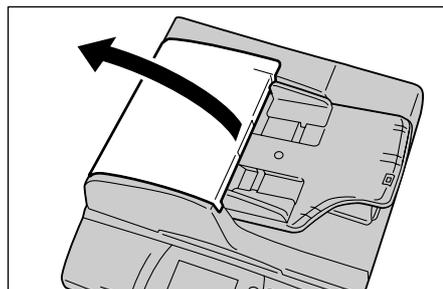


10. リードコロ (5 個) を手で回しながら、図の矢印方向へ清掃します。



■ DocuScan C3210 の場合

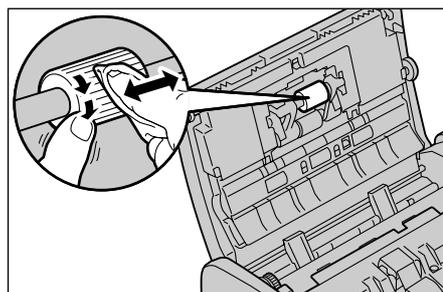
1. 自動原稿送り装置の左側カバー手前の取っ手を引き上げて、左側カバーを止まるところまで開けます。



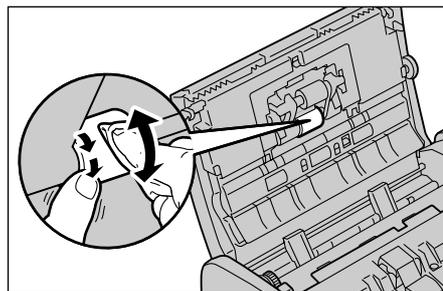
補足

・カバーを充分に開くと、固定される位置があります。カバーは、ゆっくりと開けてください。

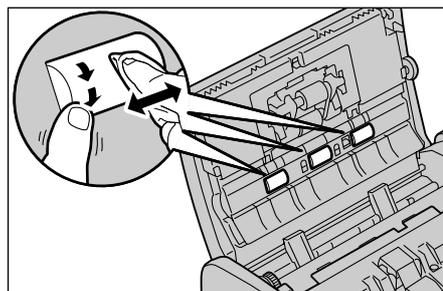
2. ピックアップローラーを手で回しながら、図の矢印方向へ清掃します。



3. 給紙ローラーを手で回しながら、図の矢印方向へ清掃します。



4. レジコロを手で回しながら、図の矢印方向へ清掃します。

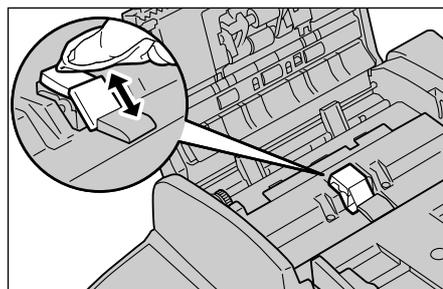


5. 分離パッドの表面を図のように清掃します。

6. 分離パッドの前サバキゴムを図の矢印方向へ清掃します。

注記

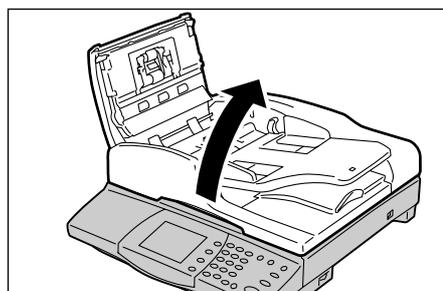
- ・ 分離パッドが外れた場合は、カチッと音がして、はまるまで押して、取り付けてください。



7. 原稿カバーを開けます。

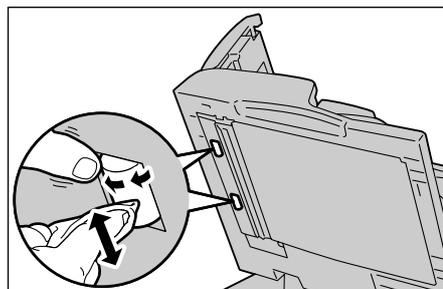
補足

- ・ 自動原稿送り装置の左側カバーを開けたまま、次のリードコロの清掃を行ったほうが、リードコロが回転しやすくなります。左側カバーを閉めた状態でリードコロを清掃することもできます。

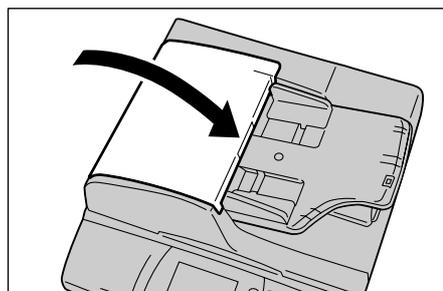


8. リードコロ (2 個) を手で回しながら、図の矢印方向へ清掃します。

9. 原稿カバーを閉じます。



10. 自動原稿送り装置の左側カバーを、カチッと音がしてはまるまで、閉じます。

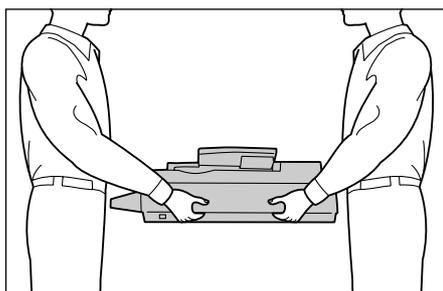


10.3 スキャナーを移動するときは

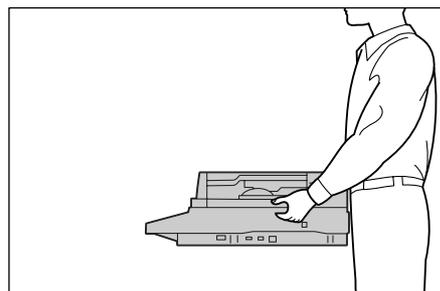
スキャナーを移動するときは、次の手順に従ってください。

⚠ 注意

- DocuScan C4260 の重さは、約 24.0kg です。必ず 2 人以上で持ち運んでください。
- DocuScan C4260 を持ち上げるときは、機械の前後に立って、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。
DocuScan C3210 を持ち上げるときは、機械の背面に向かって、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。
操作パネルなど、両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。



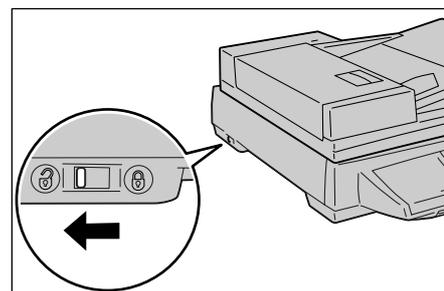
DocuScan C4260 の場合



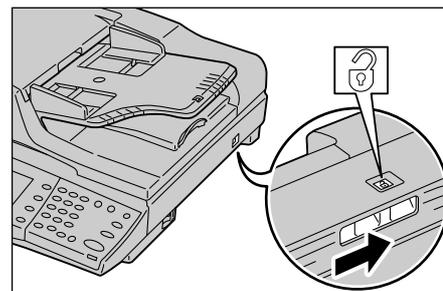
DocuScan C3210 の場合

1. 原稿ガラスや自動原稿送り装置の原稿送りトレイに原稿がセットされている場合や、自動原稿送り装置の原稿受けに原稿がある場合は取り除きます。
2. キャリッジロックが解除されていることを確認します。
解除されていないときは、次のようにして解除します。

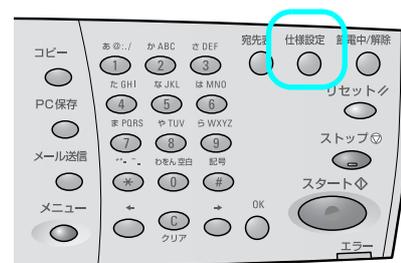
DocuScan C4260 の場合は、キャリッジロックを解除マーク側（背面方向）にスライドします。



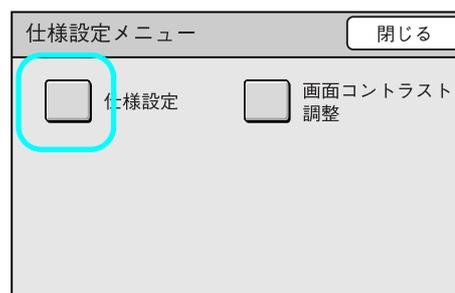
DocuScan C3210 の場合は、ロックマーク (固定マーク) の下部裏側にあるキャリッジロックを解除マーク側 (背面方向) にスライドします。



3. 操作パネルで〈仕様設定〉ボタンを押します。

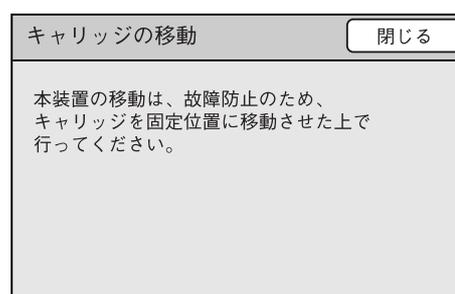


4. [仕様設定メニュー] 画面が表示されるので、[仕様設定] を押します。
[認証] 画面が表示され、[機械管理者暗証番号] の入力を求められます。



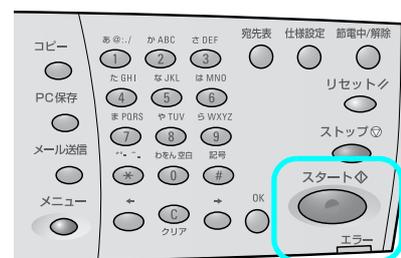
5. 操作パネルの数字ボタンで、暗証番号を入力し、[確定] を押します。

6. [共通設定] > [保守 / 診断] > [キャリッジの移動] の順に選択して [キャリッジの移動] 画面を表示します。

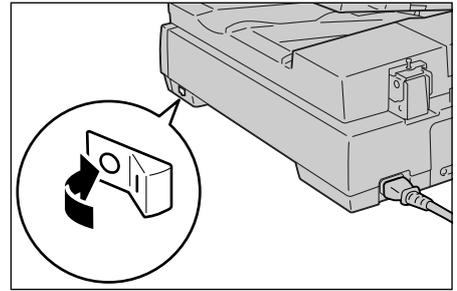


7. 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。
キャリッジが固定位置に移動します。

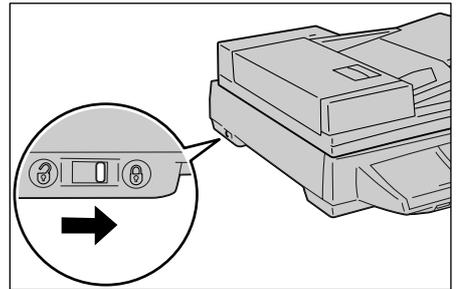
8. [電源の切り / 入り] 画面が表示されるまで [閉じる] ボタンを押します。



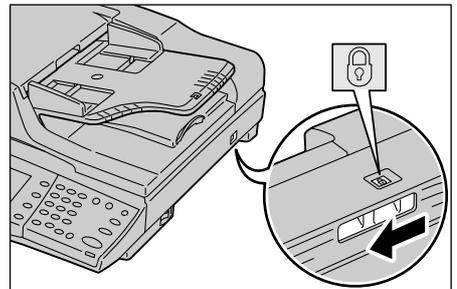
9. スキャナーの電源スイッチの〈○〉側を押して、電源を切ります。



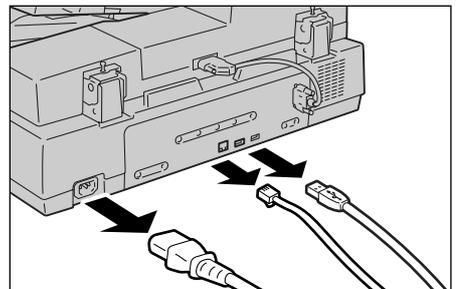
10. キャリッジをロック（固定）します。
DocuScan C4260 の場合は、キャリッジ
ロックを前面側にスライドさせます。



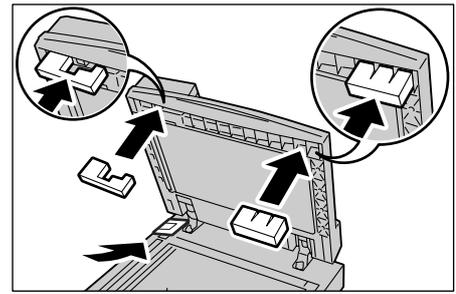
- DocuScan C3210 の場合は、ロックマーク
の下部裏側に手を挿入して、キャリッジ
ロックを前面側にスライドさせてロックし
ます。



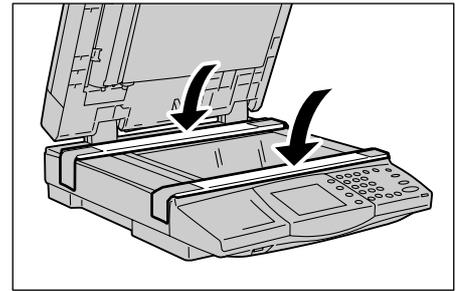
11. 電源コード、USB ケーブル、ネットワーク
ケーブルなど、すべての接続コードを外し
ます。



12. 設置時に取り外して保管しておいた緩衝材を取り付けます。
13. スキャナーを持って、静かに移動します。長距離を移動する場合は、梱包して運送してください。



DocuScan C4260



DocuScan C3210

A 付 録

A.1 DocuScan C4260/C3210 の主な仕様

スキャナーの主な仕様

項 目	内 容
形式	カラーレスキャナー (フラットベッド / シートフィード) CCD 固体走査方式
原稿読み取りサイズ	DocuScan C4260 最大 : 297.0 × 432.0mm (定形サイズの場合 A3、11 × 17") 最小 : 15.0 × 15.0mm (定形サイズの場合 官製はがき、4 × 6") DocuScan C3210 最大 : 215.9 × 297.0mm (定形サイズの場合 A4、8.5 × 11") 最小 : 15.0 × 15.0mm (定形サイズの場合 官製はがき、4 × 6")
光学解像度	600dpi
読み取り解像度	600、400、300、200dpi
読み取り階調	RGB 各色 10 ビット入力、8 ビット出力
原稿読み取り速度	DocuScan C4260 カラー 0.870msec/line (200 ~ 600dpi、各色 256 値) モノクロ 0.405msec/line (200 ~ 600dpi、2 値) DocuScan C3210 カラー 0.700msec/line (200 ~ 600dpi、各色 256 値) モノクロ 0.350msec/line (200 ~ 600dpi、2 値)
インターフェイス	100BASE-TX/10BASE-T、 USB2.0 (Hi-Speed 対応、HOST USB)
出力形式	フォーマット モノクロ 2 値 : TIFF (シングルページ、マルチページ)、 DocuWorks 文書、PDF グレースケール : TIFF、JFIF (JPEG)、DocuWorks 文書、PDF フルカラー : TIFF、JFIF (JPEG)、DocuWorks 文書、PDF 補足 ・ 非圧縮はサポートしていません。 ・ DocuWork バインダー形式 (.xbd) はサポートしていません。 圧縮方式 モノクロ 2 値 : MH (写真)、MMR (文字、文字 / 写真) グレースケール : JPEG フルカラー : JPEG
対応プロトコル	TCP/IP (FTP、SMB、SMTP)
対応 OS	参照 ・ 「PC 保存」(P. 319) の「対応 OS」の項 ・ 「DocuScan マネージャーの動作環境」(P. 320) の「対応 OS」の項

項目	内容
電源	DocuScan C4260 AC100V ± 10%、15A、50/60Hz 共用 DocuScan C3210 AC100V ± 10%、15A、50/60Hz 共用
消費電力	DocuScan C4260 最大 スタンバイ時 節電モード時 120W 以下 40W 以下 9W 以下 DocuScan C3210 最大 スタンバイ時 節電モード時 100W 以下 35W 以下 9W 以下 本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。
大きさ	DocuScan C4260 幅 582 × 奥行 658 × 高さ 209mm DocuScan C3210 幅 448 × 奥行 502 × 高さ 194mm
質量	DocuScan C4260 : 24.0kg DocuScan C3210 : 15.0kg
機械占有寸法	DocuScan C4260 幅 732 × 奥行 1,394mm DocuScan C3210 幅 648 × 奥行 1,119mm

自動両面原稿送り装置の主な仕様

項目	内容
原稿サイズ*1	<p>DocuScan C4260 100.0 × 148.0 ~ 297.0 × 432.0mm (定形サイズの場合 A3、B4、A4、A4 、B5、B5 、A5、A5 、B6、B6 、A6、A6 、官製はがき、官製はがき 、写真 2L サイズ、写真 2L サイズ 、写真 L サイズ、写真 L サイズ 、11 × 17"、8.5 × 14" (Legal)、8.5 × 13" (Legal)、8.5 × 11" (Letter)、8.5 × 11" (Letter) 、7.2 × 10.5" (Executive)、7.2 × 10.5" (Executive) 、5.5 × 8.5"、5.5 × 8.5" 、4 × 6" (Post Card)、4 × 6" (Post Card) 、八開、十六開、十六開 )</p> <p>DocuScan C3210 140.0 × 140.0 ~ 215.9 × 355.6mm (定形サイズの場合 A4、B5、A5、A5 、B6、B6 、A6、A6 、官製はがき、官製はがき 、写真 2L サイズ、写真 2L サイズ 、写真 L サイズ、写真 L サイズ 、8.5 × 14" (Legal)、8.5 × 13" (Legal)、8.5 × 11" (Letter)、7.2 × 10.5" (Executive)、5.5 × 8.5"、5.5 × 8.5" 、4 × 6" (Post Card)、4 × 6" (Post Card) 、十六開)</p>
原稿種類*2	<p>DocuScan C4260 35 ~ 120g/m² (両面時 : 50 ~ 120g/m²) DocuScan C3210 60 ~ 105g/m²</p>
原稿収容可能枚数*3	50 枚
ページ読み取り速度	<p>DocuScan C4260 片面 モノクロ : 40 枚 / 分、 カラー : 23 枚 / 分 (ITU-T/N0.1 チャート、A4、等倍、300dpi) モノクロ : 25 枚 / 分、 カラー : 12 枚 / 分 (ITU-T/N0.1 チャート、A4、等倍、600dpi) 両面 モノクロ : 10 枚 / 分、 カラー : 7 枚 / 分 (ITU-T/N0.1 チャート、A4、等倍、300dpi) モノクロ : 7 枚 / 分、 カラー : 4 枚 / 分 (ITU-T/N0.1 チャート、A4、等倍、600dpi) DocuScan C3210 片面 モノクロ : 31 枚 / 分、 カラー : 20 枚 / 分 (ITU-T/N0.1 チャート、A4 ヨコ、等倍、300dpi) モノクロ : 20 枚 / 分、 カラー : 10 枚 / 分 (ITU-T/N0.1 チャート、A4 ヨコ、等倍、600dpi) 両面 モノクロ : 7.5 枚 / 分、 カラー : 5 枚 / 分 (ITU-T/N0.1 チャート、A4 ヨコ、等倍、300dpi) モノクロ : 5 枚 / 分、 カラー : 3 枚 / 分 (ITU-T/N0.1 チャート、A4 ヨコ、等倍、600dpi)</p>

*1 片面 / 両面。

*2 不透明および半透明のシート状の原稿。

*3 当社 P 紙 (64g/m²)。

スキャン機能の主な仕様

■ PC 保存

項目	内容
対応プロトコル	TCP/IP (FTP、SMB)
対応 OS	<p>スキャンデータを保存する FTP サーバー OS :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft® Windows NT® Server 4.0 (Service Pack 1) → IIS4.0 の FTP サービス ・ Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 (Service Pack 1) → Personal Web Server 4.0 の FTP サービス ・ Microsoft® Windows® 2000 Server/ Microsoft® Windows® 2000 Professional → IIS5.0 の FTP サービス ・ Microsoft® Windows® XP Professional → IIS5.1 の FTP サービス ・ Microsoft® Windows Server® 2003 (Service Pack 1) → IIS6.0 の FTP サービス ・ Microsoft® Windows Vista™ → IIS6.0 の FTP サービス ・ NetWare® 5.11J/5.12Jを使用する場合は、OS標準のFTPサービス ・ Mac OS X 10.3/10.4 → FTP サービス <p>スキャンデータを保存する SMB サーバー OS :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft® Windows® 98 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows NT® Server 4.0 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows Vista™ 日本語版・英語版 ・ Mac OS X 10.3/10.4 日本語版・英語版 <p>注記 ・ 最新の対応 OS については、当社のホームページをご覧ください。</p>

■ メール送信

項目	内容
SMTP クライアント	RFC2821/2822 準拠、MIME Version 1.0 (Base64)
対応サーバー	Sendmail8.9.3 以降

■ メディア保存

項目	内容
対応メディア	USB フラッシュメモリー
対応フォーマット	2GB 以下の FAT 形式または FAT32 形式

コピー機能の主な仕様

項目	内容
複写原稿	DocuScan C4260 シート・ブック共に最大 297 × 432mm (A3、11 × 17") DocuScan C3210 シート・ブック共に最大 215.9 × 297mm (A4)
複写倍率	〈等倍〉 1 : 1 ± 0.7% 〈固定倍率〉 1 : 0.500、1 : 0.707、1 : 0.816、1 : 0.866、1 : 1.154、 1 : 1.225、1 : 1.414、1 : 2 〈任意倍率〉 1 : 0.5 ~ 1 : 2 (1% きざみ)
連続複写枚数	999 枚 注記 ・ 画質安定化処理のため、機械の動作を一時的に中断することがあります。
複写（用紙）サイズ	接続するプリンターによって異なります。
ファーストコピー・タイム	参照 ・ 当社のホームページをご覧ください。
連続複写速度	
給紙方式 / 給紙容量	

DocuScan マネージャーの動作環境

項目	内容
対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft® Windows® 98 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 (Service Pack4) 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows NT® Server 4.0 (Service Pack4) 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版・英語版 ・ Microsoft® Windows Vista™ 日本語版・英語版 <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の対応 OS については、当社のホームページをご覧ください。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DocuWorks は Microsoft® Windows NT® に対応してないため、Windows NTでは、DocuWorks文書のサムネール表示はできません。 ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition では、宛先を登録するときに、かんたん設定モードを利用できません。
CPU	Pentium® III 400MHz 以上 (Pentium® III 850MHz 以上推奨)
ハードウェア	PC/AT 互換機
メモリー	128MB 以上
ハードディスク空き容量	インストール時：20MB 以上 操作時：200MB 以上推奨

項目	内容
ソフトウェア	<p>Microsoft Internet Explorer 5～7</p> <p>メールアドレス帳をインポートする場合、対応するメールアプリケーションは、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft® Outlook® Express 5 ・ Microsoft® Outlook® Express 6 ・ Microsoft® Mail ・ Microsoft® Outlook® 2000 ・ Microsoft® Outlook® 2002 ・ Microsoft® Outlook® 2003 ・ Microsoft® Outlook® 2007 <p>DocuWorks 文書をサムネール表示する場合は、DocuWorks Viewer Light for Web 6.0.2～6.2.1 が必要です。DocuWorks Viewer Light for Web は、6.2.1 から DocuWorks Viewer Light に統合されました。DocuWorks Viewer Light は、本機に同梱されている「Software Pack」CD-ROM からインストールできます。</p>
ディスプレイ	VGA 以上 (SVGA (800x600) 以上のグラフィックスカードを推奨)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークインターフェイスカード ・ CD-ROM ドライブ (インストール時のみ)

倍率一覧表

		スキャン/コピー						
		A6	B6	A5	B5	A4	B4	A3
原稿	A6	100%	122%	141%	173%	200%	—	—
	B6	82%	100%	116%	142%	164%	—	—
	A5	71%	86%	100%	123%	141%	174%	200%
	B5	58%	70%	81%	100%	115%	141%	163%
	A4	50%	61%	70%	87%	100%	122%	141%
	B4	—	50%	58%	71%	81%	100%	115%
	A3	—	—	50%	61%	71%	86%	100%

A.2 オプション品の紹介

オプション品

主なオプション製品は以下のとおりです。お買い上げの際は、販売店までご連絡ください。

商 品 名	商品コード	備考
スキャナースタンド	ES100005	スキャナーを設置する専用のスタンドです。スキャナースタンドを使用すると、スキャナーとプリンターの設置スペースを効率化できます。

* 商品の種類や商品コードは 2007 年 7 月現在のものです。

A.3 補修用性能部品について

当社は機械の補修用性能部品（機械の機能を保持するために必要な部品）を製造打ち切り後 7 年間保有しています。

A.4 製品情報の入手方法

本機のファームウェアのバージョンアップについて

当社では、スキャナー本体に組み込まれたソフトウェア（以下、ファームウェアと呼びます）を提供しています。最新のファームウェアは、下記の当社ホームページのアドレス（URL）から取り出し、バージョンアップすることができます。

表示されたホームページの指示に従って、該当するファームウェアをダウンロードし、バージョンアップしてください。

<http://download.fujixerox.co.jp/>

補足

・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

A.5 注意 / 制限事項

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限事項について説明します。

各機能共通の注意 / 制限

■ 原稿サイズの自動検知について

節電中、または節電解除中（タッチパネルディスプレイに「お待ちください。」と表示されている状態）は、原稿ガラスにセットした原稿のサイズを検知することができません。

節電中、または節電解除中に、原稿ガラスでスキャンするときは、〈節電中 / 解除〉ボタンを押して「お待ちください。」という表示が消えてから原稿をセットしてください。

■ [次原稿あり] の使用について

原稿ガラスでスキャンしたあと、[次原稿あり] で (1 つのジョブとして) 自動原稿送り装置からスキャンすることはできません。また、自動原稿送り装置からスキャンしたあと、[次原稿あり] で (1 つのジョブとして) 原稿ガラスからスキャンすることはできません。

スキャン機能使用上の注意 / 制限

■ 白黒モード時の出力サイズについて

[カラーモード] に [白黒] を選択してスキャンした場合、[フルカラー]、[グレースケール] の場合に対して、出力サイズが最大で +16 ~ -16 画素の誤差が発生することがあります。

■ 両面原稿読み取り時のエラー (003-770) について

自動原稿送り装置から両面原稿を読み取った場合、原稿サイズ、画像解像度、読み取り倍率の組み合わせによって、拡大倍率が読み取り可能な範囲を超えてしまった場合は、エラーコード 003-770 のエラーになります。倍率を下げて、スキャンし直してください。

例： A3 の両面原稿を、600dpi の画像解像度で、166% 以上に拡大した場合

■ 宛先表のバックアップについて

宛先の新規登録、追加登録を行った場合は、宛先表のバックアップをとることをお勧めします。宛先表のバックアップは、[仕様設定] > [共通設定] > [保守 / 診断] > [設定 / 登録データの保守] で行います。また、DocuScan マネージャーからネットワーク経由で行うこともできます。

参照

- ・「設定 / 登録データの保守」(P. 192)
- ・ DocuScan マネージャーのオンラインヘルプ

■ JPEG、TIFF 形式の両面原稿読み取り時のページの向きについて

左右開きのポートレート (たて長) の原稿を、自動原稿送りに左向きにセットして、出力ファイル形式に JPEG または TIFF を指定し、両面でスキャンすると、偶数ページは天地逆になります。

このような原稿の場合は、コンピューターに取り込んでから DocuScan マネージャー、DocuWorks などのソフトウェアで開いて修正してください。

DocuScan マネージャーは、同梱の「Software Pack」CD-ROM からインストールできます。

補足

- ・ 出力ファイル形式が、PDF または DocuWorks に設定されている場合、正しい向きに取り込めます。
- ・ [原稿セット向き指定] を [読める向き] に設定してスキャンすると、正しい向きに取り込めます。

参照

- ・ DocuScan マネージャーによる画像編集：「8.6 画像を 1 つずつ編集する」(P. 262)
- ・ インストール方法：『ソフトウェアバック操作ガイド』

■ 操作パネルのタッチパネルディスプレイに表示できる漢字について

タッチパネルディスプレイに表示できる漢字は、JIS X0208 の第一水準すべてと、第二水準の一部です。

DocuScan マネージャー、および CentreWare Internet Services を使用して本機にデータを登録する場合、第二水準の漢字は、タッチパネルディスプレイに正しく表示されないことがあります。

コピー機能使用上の注意 / 制限

■ 手差しトレイの用紙への出力について

【用紙選択】で【手差し】を選択して非定形サイズの用紙にコピーする場合、プリンターによっては設定が必要になる機種があります。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

■ A3 サイズ、両面印刷について (DocuScan C4260 の場合)

A3 サイズの原稿を、両面にコピーする（【両面 / 片面選択】で【片面→両面】または【両面】→【両面】を設定する）場合、プリンターによってはメモリー増設が必要になる機種があります。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

■ プリンターの用紙サイズ変更について

コピー実行中に、プリンターの給紙トレイの用紙サイズを変更した場合、用紙サイズ情報がコピーに正しく反映されないことがあります。

■ プリンターに同一サイズの用紙をたて / よこにセットしている場合について

プリンターの給紙トレイの用紙サイズを、同一サイズでたてとよこの両方でセットしている場合、用紙の有無に関わらず、たてが選択されます。

例： A4□、A4□に用紙をセットしている場合

- ・両方に用紙がある場合 → A4□にコピーされる。
- ・A4□に用紙がない場合 → A4□にはコピーされず、用紙切れになる。

■ 両面原稿読み取り時のエラー (003-770) について

自動原稿送り装置から両面原稿を読み取った場合、原稿サイズ、倍率選択の組み合わせによって、拡大倍率が読み取り可能な範囲を超えてしまった場合は、エラーコード 003-770 のエラーになります。倍率を下げて、コピーし直してください。

例： A3 の両面原稿を、166% 以上に拡大した場合

■ プリンターの状態について

プリンターが故障している場合、プリンターの状態を正しく取得できないことがあります。その場合は、プリンターの操作パネルの表示を確認してください。

プリンターの状態を、本機の画面に正しく表示するには、プリンターを修理してから、コピー機能を使用してください。

参照

- ・プリンターの故障や修理について：プリンターの取扱説明書

■ プリンターに取り付けられているフィニッシャーの機能について

プリンターにフィニッシャーを取り付けている場合でも、コピー時にフィニッシャーの機能は使用できません。

A.6 用語集

【10BASE-T】

IEEE802.3 の規格の一つです。10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルを使った Ethernet（イーサネット）の接続方式です。

【100BASE-TX】

10BASE-T の拡張版で、FastEthernet（ファーストイーサネット）とも呼ばれるものの一つです。通信速度が 100Mbps で、10BASE-T の 10Mbps から大幅に高速になっています。

【Active Directory】

リソースの一元管理と、管理者やユーザーの負担を軽減するための機能を提供する Microsoft 社のディレクトリーサービスです。

【A3】

420 × 297mm の用紙のことです。

【A4】

297 × 210mm の用紙のことです。

【A5】

210 × 148mm の用紙のことです。

【B4】

364 × 257mm の用紙のことです。

【B5】

257 × 182mm の用紙のことです。

【CD-ROM】

コンパクトディスク（CD）にコンピューター用ソフトウェアや画像などのデータを記録したものです。

【CMYK】

カラー印刷などでの色の表現方法です。C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の 4 色に分解し、その 4 種類の色を重ね合わせて印刷します。

【DHCP】

Dynamic Host Configuration Protocol の略で、DHCP サーバーから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】

Domain Name System の略で、インターネットでホスト名へ対応する IP アドレス、または IP アドレスへ対応するホスト名を知るための名前解決サービスです。

【dpi】

Dot Per Inch の略で、1 インチ（約 25.4mm）幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を表す単位として使用します。

【HTTP】

インターネット上で WWW サーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【IP アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた4つの数値（10進数）で表します。

【JPEG ファイル】

JPEG は画像の圧縮方式で、JPEG ファイルとは、JPEG 方式で生成されたファイルです。圧縮率が高く、デジタルカメラで撮影した写真画像に多く使われています。

【NetWare】

Novell 社が開発したネットワーク OS です。

【OS】

コンピューターのハードウェアとソフトウェアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウェアで、Operating System の略です。アプリケーションソフトウェアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】

このマニュアルでは、Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウェアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示するには、Adobe Reader というソフトウェアをコンピューターにインストールする必要があります。

【RGB】

スキャナーやディスプレイなどでの色の表現方法です。光の三原色である赤 (R)・緑 (G)・青 (B) の3色の組み合わせで、すべての色を表現します。

【SMB】

Windows ネットワーク (Microsoft ネットワーク) 上でデータを送信できるネットワーク通信方法で、Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Mac OS X 上で使用できます。Samba というソフトウェアを使用すると、UNIX 系 OS で SMB を使用できます。ただし本機は、Samba が動作するサーバーに対応していません。

【SMB 署名】

Windows のファイル共有で使用されている SMB プロトコルに、電子証明書を付加することで、第三者によるデータの改ざん、なりすましを防ぐセキュリティ機能です。

【SNMP】

ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。管理する側には SNMP マネージャーというソフトウェアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウェアを組み込んで実行します。

【SSL】

通信情報を暗号化することにより、情報が漏洩するリスクを軽減するための技術です。

【TCP/IP】

DARPA (Defense Advanced Research Project Agency NetWork) で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピューターから大型コンピューターまで、さまざまな機種で使用されています。

【TIFF ファイル】

Aldus 社 (現在の Adobe Systems 社) と Microsoft 社によって開発された画像データのファイル形式です。

【USB】

Universal Serial Bus の略で、コンピューターと周辺機器との間のデータ転送方式の一つです。電源を入れたままで接続できる「ホットプラグ」機能に対応しており、コンピューターと周辺機器を簡単に接続できます。

【Web ブラウザー】

インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウェアです。代表的なものには、Netscape や Internet Explorer などがあります。

【WWW】

World Wide Web の略です。インターネットで Web ページを提供するしくみのことです。

【アドレス】

ネットワーク上のノード（各コンピューターや端末など）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウェア】

コンピューター上で作業を行う道具となるソフトウェアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウェアが販売されています。

【色空間】

機器で再現できる色の範囲や表現方式です。機器によって特性が異なるため各種の色空間があります。色の再現性を統一するために、国際標準として sRGB が発行されています。また、sYCC は sRGB より広い色空間をもち、デジタルカメラなどで採用されています。

【インストール】

ソフトウェアやハードウェアをコンピューターや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。ドライバーなどのソフトウェアをコンピューターのシステムに組み込むことや、ネットワーク拡張カードなどのハードウェアをコンピューターや周辺機器に組み込むことをいいます。

このマニュアルでは、主にコンピューターにソフトウェアを組み込むことを「インストール」と呼びます。

【インターフェイス】

互いに異なるシステム（系）が接触する部分を指します。コンピューターとスキャナーの間、人間と機械との間などを指す場合によく使用されます。

インターフェイスの仕様、特に電氣的仕様のことを単にインターフェイスということもあります。

【インターフェイスケーブル】

複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。

スキャナーとプリンターを直接接続する USB ケーブルや、スキャナーをネットワークに接続するネットワークケーブルなどがあります。

【オンラインヘルプ】

コンピューターの画面に表示されるマニュアルです。

【解像度】

画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といえます。

【階調】

色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

【キャリッジ】

スキャナーの読み取りヘッド部のことです。

【クリック】

マウスボタンを1回、押して離すことです。このマニュアルでは、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。

また、マウスのボタンをすばやく2回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】

ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。

逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【初期値】

工場出荷時、および NV メモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】

コンピューターなどが行う一連の処理を指します。本機では、スキャンまたはコピー1回の処理が1件のジョブになります。

【ソート】

複数部数を印刷したとき、1部ごとに1、2、3...1、2、3...の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウェア】

コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウェアもソフトウェアの一種です。

【ネットワークスキャナー】

このマニュアルでは、ネットワークケーブルでネットワークに接続したスキャナーを「ネットワークスキャナー」と呼びます。

【プロトコル】

複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウェア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ポート】

コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】

1m² の用紙1枚の質量です。

【ログイン】

コンピューターシステムの資源（ネットワーク上のハードディスクやスキャナーなど）にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

索引

「→○○○○」と記載しているものは、本索引内の○○○○の欄を参照してください。

記号・英数

〈→〉 ボタン	39
〈←〉 ボタン	39
2 アップ	143
Active Directory	72, 157, 280, 325
A 系 B 系表示 (仕様設定)	183
BOOTP	198
CentreWare Internet Services	32, 169
オンラインヘルプの使い方	19
概要	15
使用時のトラブル	283
使用するための設定	16
使用方法	17
設定できる項目	18
CW インターネットサービス (仕様設定)	197
C (クリア) ボタン	39
DHCP	198
DHCP/Autonet	198
DNS サーバー	32
DNS ホスト名	32
DocuScan 宛先表ツール	229
DocuScan ビューワー	228
DocuScan マネージャー	151, 159, 228
使用時のトラブル	282
アンインストール	19
インストール	19
DocuWorks	97
DocuWorks (1 ページ 1 ファイル)	98
Ethernet 設定 (仕様設定)	197
FQDN 形式	32
FTP	224, 242
Mac OS X	31
HTTP ポート	197
IP アドレス (仕様設定)	198
IP アドレスの取得方法 (仕様設定)	198
JPEG	98
Mac OS X	30, 31
MAC アドレス	192
NVM 初期化 (仕様設定)	195
OK ボタン	39
PC 保存	66
使用時のトラブル	279
PC 保存 (仕様設定)	186, 188
PC 保存プロトコル (仕様設定)	224
PC 保存ボタン	38
PDF	97
PDF (1 ページ 1 ファイル)	97
PKI (公開鍵基盤) 設定 (仕様設定)	199
RARP	198
SMB	224, 234, 239
SMB 署名	72, 326
SNMP (仕様設定)	196
SSL/TLS 設定 (仕様設定)	200

TIFF	97
TIFF の形式 / 色空間 (仕様設定)	223
TIFF の形式 (仕様設定)	223
USB コネクタ	35, 36
USB フラッシュメモリー	56
USB ケーブル	14
Windows 共有	30
WINS サーバー	33

ア

アクセス許可	
Windows 2000 Professional	24
Windows 98 Second Edition	28
Windows Vista	27
Windows XP Professional	24
宛先	81, 150
検索	165
詳細表示	166
選択	164
登録	231
宛先の種別	151
宛先の種類→宛先の種別	151
宛先の変更	255
宛先表	150
宛先表初期画面 (仕様設定)	226
宛先表ツール	229
宛先表のバックアップ	150
宛先表フォルダー	150
登録	233
宛先表ボタン	39
暗証番号の設定 (仕様設定)	227, 188
異常警告音 (仕様設定)	180
異常終了音 (仕様設定)	180
異常入力音 (仕様設定)	179
移動	312
色空間 (仕様設定)	224
色の選択	96, 127
印刷 (DocuScan ビューワー)	265
インチサイズ表示 (仕様設定)	183
内カバー	37, 267, 269
エラーランプ	39
エラー履歴 (仕様設定)	192
延長ガイド	37
音の設定 (仕様設定)	178
オプション品	322
おまかせ画質調整	133
オンラインヘルプ (CentreWare Internet Services)	19

カ

解像度	108
拡大コピー→倍率選択	125
拡大スキャン→読み取り倍率	107

各部の名称と働き	35
傾き補正	263
カラー (地図) (仕様設定)	211
カラーバランス	137
カラーバランス (仕様設定)	207
カラーモード	96, 127
カラーモード (仕様設定)	205, 213
カラー (文字 / 写真) (仕様設定)	211
カラー (文字) (仕様設定)	211
かんたん設定モード	234, 239
画質タイプの選択	100, 135
画質調整画面	133
画像	
印刷	265
表示	262
編集	260, 263
保存	265
画像圧縮率	104
画像圧縮率 (仕様設定)	216
画像編集アイコン	259
画面コントラスト調整	174
機械管理者 ID	18
機械管理者暗証番号	170, 227
機械管理者情報の設定 (仕様設定)	227
機械管理者パスワード	18
機器の識別情報	77
機器の識別情報 (仕様設定)	221
基点音 (仕様設定)	181
機能初期画面 (仕様設定)	181
機能認証 (仕様設定)	186
機能の使用許可 (仕様設定)	185
機能の制限 (仕様設定)	222
機能ボタン	38
基本画面	122
基本コピー画面 (仕様設定)	201
基本スキャン画面	95
キャリッジ	35, 36, 195, 314
キャリッジロック	35, 36, 314
共通設定 (仕様設定)	174
共有設定	
Windows XP Home Edition	21
共有フォルダー	
Windows 2000 Professional	22
Windows 98 Second Edition	28
Windows Vista	27
Windows XP Home Edition	21
Windows XP Professional	22
共有名	70
グループメンバー	151
ケーブルを接続する	14
検索	
宛先	165
件名	83, 159
ゲートウェイ (仕様設定)	199
原稿受け	37
原稿送りトレイ	37, 268, 270
原稿カバー	35
原稿カバー開閉センサー	35, 52
原稿ガイド	37
原稿が詰まったとき	267

原稿ガラス	35
原稿検知ランプ	37
原稿サイズ入力	148
原稿サイズボタン 1 ~ 12 (仕様設定)	184
原稿サイズボタン (仕様設定)	183
原稿セット向き指定	106, 144
原稿セット向き指定 (仕様設定)	208, 217
原稿の画質	100, 135
原稿の画質 (仕様設定)	206
原稿の向き	50
原稿の読み取りサイズ	148
原稿をセットする	48
個人情報の表示 (仕様設定)	191
コピー	115
コピー機能設定初期値 (仕様設定)	203
コピー設定 (仕様設定)	201
コピー濃度	132
コピー濃度 (仕様設定)	206
コピーの開始	117
コピーの中止	119
コピーボタン	38
困ったときには	266
コメント	86, 159
コントラスト	110
コントラスト (仕様設定)	218

サ

サーバー	69, 151, 231, 234
サーバー名	32
サイズ入力 (仕様設定)	183
サイズが異なる原稿	52, 113, 145
サイズ検知切り替え (仕様設定)	190
彩度	140
彩度 (仕様設定)	207
サブネット	33, 304
サブネットマスク (仕様設定)	199
システム時計 / タイマー設定 (仕様設定)	175
下地の除去	112, 136
シャープネス	112, 139
シャープネス (仕様設定)	206, 218
写真	100, 101, 135
縮小コピー→倍率選択	125
縮小スキャン→読み取り倍率	107
出力ファイル形式	97
出力ファイル形式 (仕様設定)	214
省エネ→節電モード	47
初期画面の設定 (仕様設定)	181
初期表示言語 (仕様設定)	183
仕様	316
仕様設定	170
仕様設定ボタン	39
使用できない原稿	49
使用できる環境	13
使用できる原稿	48
白黒 (地図) (仕様設定)	210
白黒 (文字 / 写真) (仕様設定)	210
白黒 (文字) (仕様設定)	210
仕分け	142
仕分け (仕様設定)	208
地色除去	112, 136

地色除去 (仕様設定)	207, 218
地色除去レベル (仕様設定)	209
時刻形式 (仕様設定)	176
時刻入力 (仕様設定)	176
自動原稿送り装置	37
自動リセット (仕様設定)	177
自動リセット事前通知 (仕様設定)	180
準備完了音 (仕様設定)	179
ジョブ自動解除 (仕様設定)	177
ジョブの確認	61, 119, 168
数字ボタン	38
スキャナー機能設定初期値 (仕様設定)	213
スキャナースタンド	322
スキャナー設定 (仕様設定)	213
スキャナーの選択	232
スキャン	55
使用時のトラブル	278
スキャンの開始	58
スキャンの中止	62
スキャンの定型設定	151, 237, 241, 244, 250, 253
スキャン開始日付 / 時刻	74, 86, 92
スタート可能画面 (仕様設定)	222
スタートボタン	39
ストップボタン	39
正常終了音 (仕様設定)	179
正常入力音 (仕様設定)	178
清掃	306
原稿カバーの清掃	307
原稿ガラスの清掃	307
原稿読み取り部の清掃	307
フィルム部の清掃	308
本体外部の清掃	306
本体内部の清掃	307
ローラー部の清掃	308
製品情報の入手方法	322
設定 / 登録データの保守 (仕様設定)	192
節電中 / 解除ボタン	39, 47
節電モード	47
節電モード設定 (仕様設定)	178
操作パネル	35, 38
送信者	83
ソート→仕分け	142
その他画面	103, 141
その他 (仕様設定)	183
その他の設定 (仕様設定)	189
ソフトウェアバージョン (仕様設定)	192
ソフトウェアバック操作ガイド	19

タ

タイムゾーン (仕様設定)	177
タッチパネルディスプレイ	38
蓄積	261
地図	135
中止	
コピー	119
スキャン	62
次の原稿があるとき	60, 118
手差し用紙サイズ (仕様設定)	204
手差し用紙種類 (仕様設定)	204

転送プロトコル	69
電源コードコネクタ	36
電源スイッチ	36
電源を入れる	46
電源を切る	46
登録データの編集 (仕様設定)	223
登録ボタン 1～3 (仕様設定)	182
登録リスト	159
登録リストのバックアップ	160
トラブル	
CentreWare Internet Services 使用時の	
トラブル	283
DocuScan マネージャー使用時の	
トラブル	282
PC 保存使用時のトラブル	279
画質のトラブル	276
スキャナー機能使用時のトラブル	278
スキャナー本体のトラブル	271
スキャン使用時のトラブル	278
メール送信使用時のトラブル	281
動作環境→使用できる環境	13

ナ

入力モード	40
ネットワーク環境を設定する	14
ネットワークケーブル	14
ネットワークコネクタ	36
ネットワークスキャナー	13
ネットワーク設定 (仕様設定)	196
ネットワークに接続する	14
ノイズ除去	264
濃度	102, 132
ノブ	37, 267, 269

ハ

範囲指定モード	263
バージョンアップ	
ファームウェア	322
倍率選択	125
倍率選択 (仕様設定)	205
倍率ボタン -3 段目 (仕様設定)	203
パスの設定	90
パスワード	73
左側カバー	37, 267, 269
左向き	51
日付入力 (仕様設定)	175
非定形サイズ of 原稿	51
ファイル形式	97
ファイル名重複時 (仕様設定)	221
ファイルの蓄積	261
ファイル名	74, 85, 91
ファイル名重複時の処理	76, 93
ファイル名の詳細設定 (仕様設定)	220
フォルダー	150
フォルダー作成 (仕様設定)	220
フォルダーの作成	75, 92
付せんが貼られている原稿	51
部数	117
プリンター情報 (仕様設定)	194

プリンターと接続する	14
プリンター認証の設定 (仕様設定)	212
プレビュー	59
プレビュー表示 (仕様設定)	219
プロトコル設定 (仕様設定)	197
返信先アドレス	84
保守 / 診断 (仕様設定)	191
保存先の設定	68, 90
保存場所	71
ポート	303
ポート設定 (仕様設定)	196

マ

まとめて1枚-2アップ	143
マルチページTIFF	98
ミックスサイズ原稿送り	52, 113, 145
ミックスサイズ原稿送り (仕様設定)	209, 220
ミリ / インチ切り替え (仕様設定)	189
メール (グループ)	151, 231, 248
メール (個人)	151, 231, 246
メール送信	79
使用時のトラブル	281
メール送信 (仕様設定)	185, 187
メール送信ボタン	38
メールの本文→コメント	86
メディア	151, 231, 252
メディア保存	88
メディア保存 (仕様設定)	186, 188
メニューボタン	38
文字の入力方法	40

ヤ

ユーザー名	71
用語集	325
用紙選択	123
用紙選択 (仕様設定)	204
用紙ボタン -2 段目 (仕様設定)	202
用紙ボタン -3 段目 (仕様設定)	202
読み込み濃度	102
読み込み濃度 (仕様設定)	215
読み取り解像度	108
読み取り解像度 (仕様設定)	217
読み取りサイズ	104
読み取り倍率	107
読み取り倍率 (仕様設定)	216
読める向き	50

ラ

リセットボタン	39
両面 / 片面選択	129
両面 / 片面選択 (仕様設定)	205
両面原稿送り	98
両面原稿送り (仕様設定)	214
レバー	267, 269

ワ

わく消し	111, 146
わく消し (仕様設定)	208, 219

商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守、操作、修理** (内容・期間・費用)のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、および本機を廃却する場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

THE DOCUMENT COMPANY FUJI XEROX	
保守・操作の問い合わせ、 消耗品のご用命は、 裏面の電話番号へご連絡ください。	
●裏面の記入がない場合の連絡先 富士ゼロックス株式会社 プリンターサポートデスク TEL : 0120-66-2209 受付時間 9:00~17:30(土、日、祝祭日を除く)	
XXXXXXXX	

表面

THE DOCUMENT COMPANY FUJI XEROX	
●保守・操作の問い合わせ (テレフォンセンター) TEL. <input type="text"/>	
FAX. <input type="text"/>	
●用紙・消耗品のご用命 (商品センター) TEL. <input type="text"/>	
●お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。 機種 <input type="text"/>	機械No. <input type="text"/>

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フリーダイヤル

フジゼロックス

 **0120-66-2209** FAX : 0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、休祝日を除く9時～17時30分、東京でお受けします。

ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話できる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuScan C4260/C3210 ユーザーズガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月—2007年7月 第1版

(管理番号：ME3938J1-1)